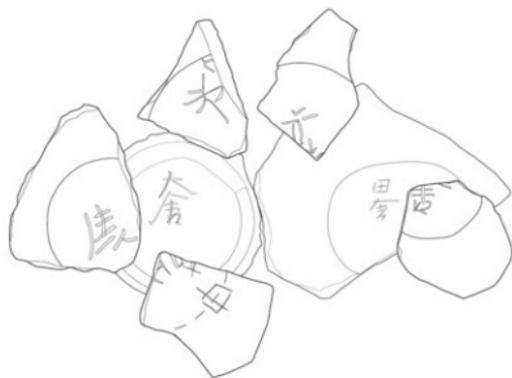


熊本県文化財調査報告第292集

# 花岡古町遺跡 2

南九州西回り自動車道（日奈久芦北道路）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査



March.2013

熊本県教育委員会



▲航空写真

▼航空写真



▲ 4区 SB77・75・74 検出状況

▼ 4区 SK160 遺物出土状況



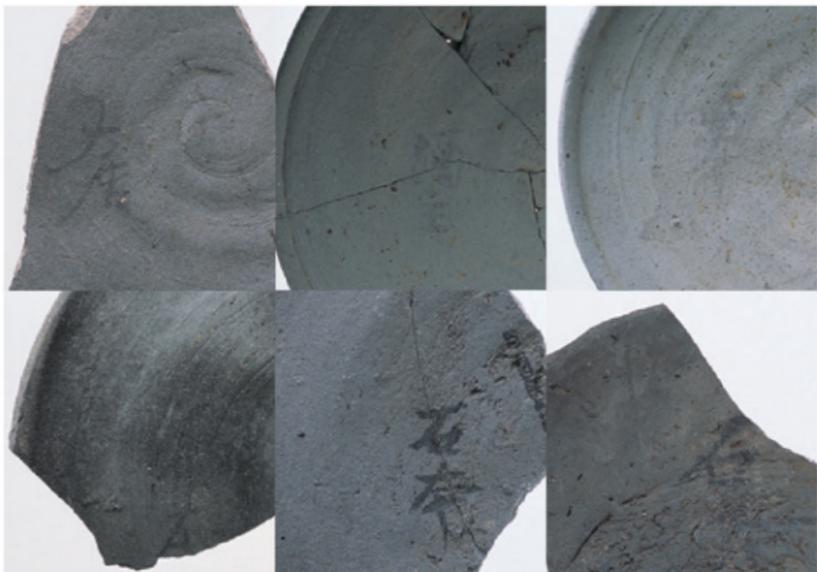
▲ 5区SD1 出土土器

▼ 5区SD1 出土土器



▲ 陶書土器

▼ 墨書土器



▲ 5区 SX504 出土土器

▼ 5区 SX597 出土土器



▲ 滑石二次加工品

▼ 滑石製石鋼(片)





熊本県文化財調査報告第292集

# 花岡古町遺跡 2

南九州西回り自動車道（日奈久芦北道路）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査



March.2013

熊本県教育委員会



## 序文

熊本県草部郡芦北町の花園古町遺跡は、南九州西回り自動車道（日奈久芦北道路）建設事業用地内に所在した遺跡である。国土交通省が自動車道建設事業を計画するにあたり、熊本県教育委員会が同地内の埋蔵文化財予備調査をおこなったところ、古代から中世に至る有力な遺跡が存在することが申明した。

南九州西回り自動車道の建設に先立ち、熊本県教育庁教育総務局文化課は、平成15年度から平成20年度まで現地での発掘調査を実施した。調査では、各時代の多種の遺構や多量の遺物を発見した。なかでも、古代官人の腰帯を飾った石製飾具、中国製青磁を貝えた中世墓等、芦北町佐敷のこの地が交通の要衝として熊本、そして東アジアの中に位置していたことを証するものである。

これらにつき、報告書として刊行し、滅失した遺跡の記録としたい。

なお、調査の実施にあたっては、国土交通省の協力はもとより、地元の芦北町当局、佐敷地区の皆さんの多大な協力と援助があった。心から厚く御礼申し上げる。

また、発掘現場を訪問され貴重な助言と励ましをいただいた全国の考古学研究者の皆さんに、深甚より感謝の誠を表したい。

平成25年3月31日

熊本県教育長 田崎 龍一

#### 例言

- 1 本書は、南九州西回り自動車道（日奈久芦北道路）建設事業に伴い記録保存を目的として実施した熊本県草北郡芦北町大字花岡所在の花岡古町遺跡（調査範囲は調査後に滅失）の発掘調査報告書である。
- 2 当該遺跡の調査は、熊本県教育委員会が調査主体となり、同教育総務局文化課が調査を担当した。
- 3 発掘資料の整理は、熊本県文化財資料室（熊本市南區城南町）で実施した。なお、記録及び遺物は、熊本県文化財資料室が保管している。
- 4 本書の編集は、宮崎敬士（文化財調査第一係）が担当し、山口節子、末武希代子（嘱託）がこれを補佐した。

# Table of CONTENTS

口絵	Frontispieces
序文	Introduction
例言	Preface
目次	Contents

## 1 調査の目的と方法

1-1 発掘調査の概要	3
1-1-1 概要	
1-1-2 調査の目的	
1-1-3 調査の経緯	
1-1-4 調査体制	
1-1-5 調査経過	
1-1-6 整理体制	
1-1-7 整理経過	
1-1-8 保存及び活用	
1-1-9 調査協力者	
1-2 遺跡の立地と構造	9
1-2-1 遺跡の概要	
1-2-2 自然	
1-2-3 人文	
1-3 調査の方法	15
1-3-1 調査手順の概要	
1-3-2 発掘の方法	
1-3-3 整理の方法	

## 2 花岡古町遺跡の調査

2-1 花岡古町遺跡1区の調査	21
2-1-1 掘立柱建物 (SB)	
2-1-2 柵列 (SA)	
2-1-3 溝 (SD)	
2-1-4 土壌 (SK)	
2-2 花岡古町遺跡2区の調査	51
2-2-1 掘立柱建物 (SB)	
2-2-2 柵列 (SA)	
2-2-3 溝 (SD)	

2-2-4 土壌 (SK)	
2-2-5 その他 (SX)	
2-3 花岡古町遺跡3区の調査	75
2-3-1 掘立柱建物 (SB)	
2-3-2 柵列 (SA)	
2-3-3 溝 (SD)	
2-3-4 土壌 (SK)	
2-4 花岡古町遺跡4区の調査	91
2-4-1 掘立柱建物 (SB)	
2-4-2 竪穴建物 (SB)	
2-4-3 柵列 (SA)	
2-4-4 溝 (SD)	
2-4-5 土壌 (SK)	
2-5 花岡古町遺跡5区の調査	129
2-5-1 掘立柱建物 (SB)	
2-5-2 柵列 (SA)	
2-5-3 溝 (SD)	
2-5-4 土壌 (SK)	
2-5-5 その他 (SX)	

## 3 花岡古町遺跡出土遺物一覧表

出土土器一覧	180
出土土製品一覧	215
出土石器一覧	220
出土滑石製品一覧	223

## 4 写真図版

遺構写真	226
遺物写真	231



## 1 調査の目的と方法

花岡古町遺跡は、熊本県葦北郡葦北町大字花岡に所在する遺跡である。

南九州西回り自動車道（日奈久芦北道路）建設事業に伴い、当該用地内の花岡古町遺跡及び花岡木崎遺跡が滅失するため、当該遺跡の発掘調査を実施し、記録保存を行うことを目的とした。

Summary

# 1-1 発掘調査の概要

## 1-1-1 概要

花岡古町遺跡は、熊本県葦北郡芦北町大字花岡に所在する遺跡である。

花岡古町遺跡の西には、佐敷川が西流し、その右岸に花岡古町遺跡、左岸に花岡木崎遺跡が位置する。

花岡古町遺跡及び花岡木崎遺跡の埋蔵文化財発掘調査は、南九州西回り自動車道（日奈久芦北道路）建設事業に伴い実施された。その調査主体は熊本県教育委員会（以下、「熊本県教育庁」と記す。）及び芦北町教育委員会であり、現地における発掘調査は平成15年5月22日から平成20年11月17日まで行われ、発掘面積は花岡木崎遺跡17,450㎡、花岡古町遺跡6,750㎡、合計24,200㎡である。

なお、花岡古町遺跡及び花岡木崎遺跡が近接していること及び埋蔵文化財発掘調査の迅速化、合理化を図るため、両遺跡を一括した調査手順が計画され、実施された。このため、本節では花岡古町遺跡、花岡木崎遺跡、両遺跡に係る記述をおこなう。

## 1-1-2 調査の目的

南九州西回り自動車道（日奈久芦北道路）建設事業に伴い、当該用地内の花岡古町遺跡及び花岡木崎遺跡が滅失するため、当該遺跡の発掘調査を実施し、記録保存を行うことを目的とした。

## 1-1-3 調査の経緯

国土交通省は、熊本県八代市を起点として水俣市、鹿児島県川内市等を経由して鹿児島市に至る延長約140kmの南九州西回り自動車道を高規格幹線道路網の一環として計画した。熊本県内には北から八代日奈久道路（12.0km）、日奈久芦北道路（16.8km）及び芦北出水道路（約29km）が建設されることとなり、葦北郡芦北町大字花岡には芦北インターチェンジ（以後、「IC」と記す。）が設置されることとなった。

当該事業予定地は長大であり、遺跡の不時発見を回避するため熊本県教育庁は国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所（以下、「八代河川国道事務所」と記す。）の依頼を受けて予備調査を実施した。予備調査の結果、芦北IC予定地及びその近辺で花岡古町遺跡の存在を確認し、花岡木崎遺跡を新たに発見した。

以後、八代河川国道事務所調査第二課及び熊本県教育庁教育総務局文化課が協議し、当該事業が九州南西部の地域経済の活性化、高速定時性の確保を目的として計画され、代替地も求めることができないため、当初の計画のとおり芦北IC等を建設することとし、平成15年度から記録保存を目的とした発掘調査を実施することとなった。

文化財保護法第57条の3第1項の規定により八代河川国道事務所長は土木工事等のための発掘について花岡木崎遺跡は平成15年度、花岡古町遺跡は平成16年度に文化庁長官あて通知した。熊本県教育長は各通知に対し発掘調査が必要と八代河川国道事務所長あて通知している。

現地における発掘調査は、花岡古町遺跡は平成16年度から平成18年度まで、花岡木崎遺跡は平成15年度から平成20年度まで実施した。報告書作成のための整理は、両遺跡とも平成20年度から平成24年度まで実施した。

以下、発掘調査の実施に係る諸手続を記す。

## 予備調査

平成5年10月1日付け建九八二調第826号で建設省九州地方建設局八代工事事務所長から熊本県教育長あて南九州西回り自動車道日奈久芦北道路の埋蔵文化財の現地踏査について依頼があり、松本健郎文化財調査第一係長が踏査し、平成6年3月31日付け教文第1361号で熊本県教育長から八代工事事務所長あて踏査結果を通知するとともに、その内容を芦北町教育長あて通知した。以後、平成11年12月7日付け建九八二調第43号の踏査依頼及び平成12年3月28日付け教文第1437号の結果通知まで踏査が実施され、葦北郡芦北町大字花岡の事業予定地において試掘調査が必要との結論に至っている。

佐敷川左岸の事業予定地（花岡木崎遺跡）における試掘調査は、平成14年から15年まで実施された。平成14年3月25日付け国九整八二調第25号で八代河川国道事務所長から熊本県教育長あて南九州西回り自動車道日奈久芦北道路建設工事に伴う埋蔵文化財試掘調査について依頼があり、平成14年5月20日から5月23日まで水野哲郎文化財保護主事が調査し、

その結果を平成14年6月10日付け教文第661号で熊本県教育長から八代河川国道事務所長あて通知するとともに、その内容を芦北町教育長あて通知したことから試掘調査は始まっている。以後、平成15年4月10日付け国九整八二調第4号で試掘依頼があり平成15年5月1日から5月16日まで宮部武典文化財保護主事が調査し平成15年6月20日付け教文第881号でその結果を通知した試掘調査、平成15年11月11日付け国九整八二調第54号で試掘依頼があり平成15年11月13日から11月19日まで岡本真也参事が調査し平成15年12月19日付け教文第2690号でその結果を通知した試掘調査、並びに平成16年5月12日付け国九整八二調第13号で試掘依頼があり平成16年5月10日から7月1日まで宮部武典文化財保護主事が調査し平成16年7月16日付け教文第1156号でその結果を通知した試掘調査が実施された。

佐敷川右岸の事業予定地（花岡古町遺跡）における試掘調査は、平成15年に実施された。平成15年4月10日付け国九整八二調第4号で試掘依頼があり平成15年7月28日から8月6日まで岡本真也参事が調査し平成15年9月10日付け教文第197号で結果を通知している。なお、花岡古町遺跡は、平成14年に熊本県教育庁が実施した芦北球磨線緊急地方道路整備事業に伴う埋蔵文化財予備調査により発見された遺跡であり、平成15年の調査結果と併せて遺跡範囲等が確認されている。

#### 土木工事等による発掘

文化財保護法第57条の3第1項の規定により、花岡本崎遺跡については平成15年4月14日付け国九整八二調第7号で、花岡古町遺跡については平成16年4月15日付け国九整八二調第5号で、埋蔵文化財発掘について国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所長から文化庁長官あて通知があった。このことを受け、花岡本崎遺跡については平成15年4月30日付け教文第312号で、花岡古町遺跡については平成16年4月30日付け教文第307号で、周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について工事着手前に発掘調査を実施することと熊本県教育長から八代河

川国道事務所長あて通知した。

#### 埋蔵文化財の発掘調査

平成15年度は、花岡本崎遺跡の発掘調査について平成15年5月6日付け国九整八二調第11号で八代河川国道事務所長から熊本県教育長あて依頼があり、文化財保護法第98条の2第1項の規定により平成15年5月21日付け教文第544号で熊本県教育長から文化庁長官あて通知するとともに、その内容を八代河川国道事務所長及び芦北町教育長あて通知した。

平成16年度は、平成16年4月15日付け国九整八二調第6号（花岡本崎遺跡）及び平成16年4月15日付け国九整八二調第7号（花岡古町遺跡）で八代河川国道事務所長から熊本県教育長あて依頼があり、文化財保護法第98条の2第1項の規定により平成16年9月17日付け教文第1709号（花岡古町遺跡）で熊本県教育長から文化庁長官あて通知するとともに、その内容を八代河川国道事務所長及び芦北町教育長あて通知した。

平成17年度は、平成17年4月1日付け国九整八二調第1-2号（花岡本崎遺跡）及び平成17年4月1日付け国九整八二調第1-1号（花岡古町遺跡）で八代河川国道事務所長から熊本県教育長あて依頼があり、文化財保護法第99条第1項の規定により平成17年4月8日付け教文第58号（花岡古町遺跡）で熊本県教育庁文化課長から熊本県教育長あて通知するとともに、その内容を八代河川国道事務所長及び芦北町教育長あて通知した。

平成18年度は、平成18年3月22日付け国九整八二調第116号（花岡本崎遺跡）及び平成18年3月22日付け国九整八二調第115号（花岡古町遺跡）で八代河川国道事務所長から熊本県教育長あて依頼があり、文化財保護法第99条第1項の規定により平成18年4月14日付け教文第69号（花岡本崎遺跡）及び平成18年4月14日付け教文第68号（花岡古町遺跡）で熊本県教育庁文化課長から熊本県教育長あて通知するとともに、その内容を八代河川国道事務所長及び芦北町教育長あて通知した。

平成19年度は、花岡本崎遺跡の発掘調査について平成19年3月26日付け国九整八二調第100号及び

平成 19 年 11 月 5 日付け国九整八二調第 76 号（追加）で八代河川国道事務所長から熊本県教育長あて依頼があり、文化財保護法第 99 条第 1 項の規定により平成 19 年 4 月 5 日付け教文第 1 号及び平成 20 年 2 月 13 日付け教文第 2568 号（追加）で熊本県教育長から文化庁長官あて通知するとともに、その内容を八代河川国道事務所長及び芦北町教育長あて通知した。

平成 20 年度は、花岡木崎遺跡の発掘調査について平成 20 年 3 月 25 日付け国九整八二調第 99 号で八代河川国道事務所長から熊本県教育長あて依頼があり、文化財保護法第 99 条第 1 項の規定により平成 20 年 4 月 14 日付け教文第 109 号で熊本県教育庁文化課長から熊本県教育長あて通知するとともに、その内容を八代河川国道事務所長及び芦北町教育長あて通知した。

#### 文化財の発見

平成 15 年度の発掘調査で出土した文化財は、文化財保護法第 98 条の 3 第 1 項で準用する第 59 条第 1 項の規定により平成 15 年 11 月 12 日付け教文第 2307 号で熊本県教育長から芦北警察署長あて通知した。

平成 16 年度の発掘調査で出土した文化財は、文化財保護法第 100 条第 2 項で準用する第 100 条第 1 項の規定により平成 17 年 4 月 4 日付け教文第 2 号（花岡木崎遺跡）及び平成 20 年 4 月 4 日付け教文第 3 号（花岡古町遺跡）で熊本県教育長から芦北警察署長あて通知した。

平成 17 年度の発掘調査で出土した文化財は、文化財保護法第 100 条第 2 項で準用する第 100 条第 1 項の規定により平成 18 年 3 月 31 日付け教文第 3226 号（花岡木崎遺跡）及び平成 17 年 9 月 5 日付け教文第 1475 号（花岡古町遺跡）で熊本県教育長から芦北警察署長あて通知した。

平成 18 年度の発掘調査で出土した文化財は、文化財保護法第 100 条第 2 項で準用する第 100 条第 1 項の規定により平成 19 年 3 月 26 日付け教文第 3154 号（花岡木崎遺跡）及び平成 19 年 2 月 15 日付け教文第 2797 号（花岡古町遺跡）で熊本県教育長から芦

北警察署長あて通知した。

平成 19 年度の発掘調査で出土した文化財は、文化財保護法第 100 条第 2 項で準用する第 100 条第 1 項の規定により平成 20 年 3 月 13 日付け教文第 2891 号及び平成 20 年 3 月 13 日付け教文第 2892 号（追加）で熊本県教育長から芦北警察署長あて通知した。

平成 20 年度の発掘調査で出土した文化財は、文化財保護法第 100 条第 2 項で準用する第 100 条第 1 項の規定により平成 20 年 11 月 12 日付け教文第 1951 号で熊本県教育長から芦北警察署長あて通知した。

#### 1-1-4 調査体制

この報告書に記載する花岡木崎遺跡及び花岡古町遺跡の発掘調査は、熊本県教育庁が調査主体となり、熊本県教育庁教育総務局文化課が調査を担当した。

なお、調査担当者等は以下のとおりである。

#### 調査責任者

文化課長が担当した。

H15 成瀬烈大（文化課長）

H16 島津義昭（文化課長）

H17 梶野英二（文化課長）

H20 米岡正治（文化課長）

#### 調査統括

課長補佐が担当した。

H15 島津義昭（教育審議員）

H16 倉岡 博（課長補佐）

H18 江本 直（課長補佐）

#### 調査指導

文化財調査第一係長が担当した。

H15 高木正文（課長補佐、文化財調査第一係担当）

#### 調査担当

文化財調査第一係職員が担当した。

H15 宮部武典（文化財保護主事）H15.4～H17.3

H15 上高原聡（非常勤嘱託）H15.4～H15.11

H16 川俣幸次（非常勤嘱託）H16.4～H17.3

H17 江頭俊介（非常勤嘱託）H17.4～H19.3

- H17 村中智恵（非常勤嘱託）H17.11～H19.3  
 H18 宮崎敬士（主任学芸員、参事）H18.4～  
 H20.11  
 H19 伊藤友美子（非常勤嘱託）H19.4～H20.3  
 H19 横矢晋二郎（非常勤嘱託）H19.4～H20.11  
 H20 米村俊治（非常勤嘱託）H20.4～H20.11

#### 調査作業員

池田進、池田マサ子、一川律子、出野重徳、稲葉貴子、内園寿勝、漆下寿美子、江邑綱、大嶋多恵子、大塚一広、唐木ひとみ、川口絹子、川野絹子、桑本美津子、才木久美子、板崎タミエ、坂寺実、坂本文子、坂本麻衣、坂本由香、佐竹直美、佐竹二三四、塩坂勝、塩森喬、下村はつみ、白石まり子、白坂明子、白坂衣里、白坂雪春、田口クミ子、田口敏巳、竹永照子、竹本ゆかり、立坂昭剛、立坂春雄、立坂光、立作庄太郎、立作美智子、立作ヤス子、立古政治、立古フジ子、田中実子、田中輝美、田畑ヒロ子、田畑道雄、鶴坂隆治、遠山征子、鳥居浜子、鳥江聡子、中村美枝子、農嶋千年、橋本司、平木孝幸、平松ユキエ、廣松益子、福田ケイ子、瀧本ジツ子、瀧本勝、牧原安義、松本松枝、丸山祐佳里、水口伊津子、溝上勝昭、宮嶋フサ子、村上明美、木山千代子、山口シツ子、山口マサ子、山口雪子、山口義秀、山崎秀子、山崎康子、山田光徳、山本強、山本春美、吉田タエ子。（以上76名、順不同）

#### 1-1-5 調査経過

現地における発掘調査は、平成15年5月22日から平成20年11月17日まで実施した。花岡木崎遺跡及び花岡古町遺跡の2遺跡を調査対象としたが、調査は1班体制を採り、各遺跡を調査区に分割して用地買収、本体工事等の事業計画と調整しつつ発掘調査を実施した。

なお、平成17年度から平成20年度まで芦北町教育委員会が花岡木崎遺跡及び花岡古町遺跡の調査を担当している。芦北町教育委員会は八代河川国道事務所の依頼を受け、平成17年度は花岡木崎遺跡、平成18年度は花岡古町遺跡、平成19年度は花岡木崎遺跡、及び平成20年度は花岡木崎遺跡の発掘調査を実施した。その調査成果は、芦北町文化財調査報告として取

りまとめられ、平成24年度から順次刊行される予定である。

また、熊本教育庁教育総務局文化課は熊本県土木部の依頼を受け、芦北ICに接続する県道芦北琢磨線の改修工事に伴い花岡古町遺跡の発掘調査を実施し、その調査成果を『花岡古町遺跡』熊本県文化財調査報告第273集として平成24年3月31日付けで刊行している。当該調査は、文化財調査第二係が担当した。

いずれも同一遺跡を同時期に調査した例となるので、ここに記して参考に供した次第である。

#### 1-1-6 整体系制

整理作業は、平成20年度から平成24年度まで熊本県文化財資料室（熊本市南区城南町沈目）にて実施した。

なお、整理担当者は以下のとおりである。

##### 整理責任者

文化課長が担当した。

- H20 米岡正治（文化課長）H20～H21  
 H22 小田信也（文化課長）H22～H24

##### 整理統括

課長補佐が担当した。

- H20 江本直（課長補佐）  
 H21 木崎康弘（課長補佐）H21～H22  
 H24 西住欣一郎（課長補佐）

##### 整理指導

文化財調査第一係長が担当した。

- H20 高木正文（課長補佐、文化財調査第一係担当）  
 H21 村崎孝宏（文化財調査第一係長）H21～  
 H24

##### 整理担当

文化財調査第一係職員が担当した。

- H20 宮崎敬士（参事）H20～H24  
 H20 橋口冬美（非常勤嘱託）H20  
 H21 横山明代（非常勤嘱託）H21  
 H21 山口節子（非常勤嘱託）H21～H24

### 整理作業員

吉岡直子、赤星忠光、和泉裕見子、上田典子、尾方マサミ、北里五男、栗崎香代子、河野陽子、興裕富貴子、境美恵子、園田尚子、園田美佐樹、高森祐子、田中知恵美、中川愛子、中島里香、浪床せい子、橋本英子、平岡春代、廣瀬恵子、渡邊いわ子。

高濱悦子、青木美代子、一野幸枝、嘉村光代、柴田久美子、白木はる乃、武内沙霧、中村正子、畑島文博、平畑順子、古荘隆、宮守富子。（順不同）

なお、遺物の保存処理に際しては谷川亜紀子、遺物写真の撮影に際しては村田百合子、上田佳奈子、蓮池千恵の協力を得た。

### 1-1-7 整理経過

整理作業は、発掘調査期間中は発掘調査事務所の一部を実施し、平成20年10月から平成24年度までは熊本県文化財資料室（熊本市南区城南町沈目）で実施した。花岡木崎遺跡及び花岡古町遺跡の2遺跡を整理対象としているが、両遺跡を一括して整理作業の諸工程を経ることを基本として実施した。

製図作業は水洗、註記、接合、復元、実測、製図の各作業を経て、その成果が報告書に編集される。これらの作業を、水洗から復元までの作業を主に担当する一次整理と、実測、製図を主に担当する二次整理（田中知恵美、渡邊いわ子）とに分ち、平成20年度は橋口冬美、平成21年度は横山明代及び山口節子、平成22年度以降は山口節子及び末武希代子を中心となって実施した。

出土品の大半は現地調査の時に現地調査事務所で水洗し、註記作業の一部も実施している。したがって、文化財資料室における整理作業は、註記作業の一部及び土器等の接合作業から開始されている。接合から復元までの一次整理は平成20年度は高濱悦子、平成21年度以降は吉岡直子を中心となって実施した。実測から製図までの二次整理は、平成21年度まで遺構実測図の製図等、一次整理の成果を待つことなく実施できる作業から開始され、平成22年度に土器類の実測、製図に着手し、その一部を外部委託しながら平成

24年度まで実施している。

### 1-1-8 保存及び活用

花岡古町遺跡及び花岡木崎遺跡の調査は、現地における発掘調査の段階から埋蔵文化財の活用を図り、一定の成果を得た。

平成15年度は、湯浦小学校見学会（児童75名、教員4名）をはじめとする見学会6回（大野中学校、佐敷中学校、湯浦小学校、町内社会科教員、芦北町文化財保護委員会、花岡親子会）、芦北町文化祭への出展を実施し、芦北町広報誌「広報あしきた」No.263（芦北町内の全戸に配付）に紹介された。

平成16年度は、見学会2回（町内社会科教員、現地説明会）、体験発掘2回、芦北町文化祭への出展を実施した。

平成17年度は、見学会3回（八代高校、高森中学校、現地説明会）、体験発掘2回、芦北町文化祭への出展を実施した。

平成18年度は、11月2日から5日まで現場公開及び芦北町文化祭展示を実施し779名（現場39名、展示740名）の参加者を得た。現場公開は「体験発掘」「土器製作」「現地説明」、文化祭展示は「遺物展示」「拓本作成（天下泰平瓦、古銭）」の構成であった。また、8月22日に現場見学会及び体験学習（古銭採掘）を国土交通省「親子現場見学会」の一環として芦北町と共同実施し36名の参加者を得た。

平成19年度は、芦北町内遺跡公開を芦北町教委と共催し8月9日芦北小学校30名、8月11日田浦小学校40名の参加を得ている。また、11月3日から4日まで現場公開及び芦北町文化祭展示を実施し964名（現場107名、展示857名）の参加者を得た。現場公開は「現地説明」「体験発掘」「土器製作」、文化祭展示は展示「ちょっと寄って花岡木崎遺跡」体験学習「模擬発掘」の構成であった。この年、12月5日に花岡木崎遺跡から木簡が出土し、奈良文化財研究所の指導を得て保存処理を開始した。

平成20年度は、7月に広報紙「もぐらタイムリー」を作成し、町内の小・中・高12学校に配付した。また、11月2日から3日まで現場公開及び芦北町文化祭展示を実施し899名（現場4名、展示895名）の参加

者を得た。現場公開は「現地説明」、文化祭展示は展示「1200年前にも駅があった」体験学習「木簡を書いてみよう」の構成であった。2月20日には花岡木崎遺跡から木簡が出土したことが熊本日日新聞、読売新聞、朝日新聞等に掲載され、2月22日熊本県発掘調査速報会「熊本ば！発掘する」で保存処理を終えた木簡が一般公開された。

平成21年度は、11月1日から3日まで芦北町文化祭展示を実施し、直接解説を受けた方々484名の参加を得た。展示内容は、保存処理を終えた花岡木崎遺跡出土木簡の展示及び解説であった。

この他、花岡古町遺跡出土資料を用いた報告「水洗選別法を用いた植物遺存体の分析」(江頭ほか2008)、花岡木崎遺跡出土木簡の報告「熊本・花岡木崎遺跡」(宮崎2009)、「花岡木崎遺跡」(宮崎2011)、花岡木崎遺跡の紹介「肥後国」(木下2009)がある。

(書誌)

江頭俊介、宮本千恵子、宮崎敬士2008「水洗選別法を用いた植物遺存体の分析」九州古代種子研究会資料、九州古代種子研究会

木下良2009「肥後国」『事典日本古代の道と駅』吉川弘文館

宮崎敬士2009「熊本・花岡木崎遺跡」『木簡研究』31、木簡研究会

宮崎敬士2011「花岡木崎遺跡」『古代交通研究会第16回大会資料集』古代交通研究会

### 1-1-9 調査協力者

現地調査、整理の過程において、次に記すの方々に暖かな援助と指導をいただいた。衷心より感謝申し上げます。

岡本俊二、深川裕二、永井孝宏、和田好史、鶴嶋俊彦、谷川亜紀子、大森紘、板橋和子、花岡興史、村上恭通、木下良、烏津義昭。

奈良文化財研究所、肥後考古学会、熊本県文化財保護協会、芦北町及び芦北町教育委員会。

(順不同、敬称略)

## 1-2 遺跡の立地と構造

### 1-2-1 遺跡の概要

花岡古町遺跡は、平成14年に芦北球磨線緊急地方道路整備事業に伴い熊本県芦北地域振興局から依頼のあった埋蔵文化財予備調査の結果、発見された遺跡である。平成15年には南九州西回り自動車道日奈久芦北道路建設工事に伴う試掘調査が実施され、これら複数の調査結果を受けて『熊本県遺跡地図』地図87(佐敷)に熊本県(43)芦北町(482)の038花岡古町遺跡として新規記載されている。なお、「花岡古町」は、「はなおかふるまち」と発する。

### 1-2-2 自然

日本列島は、ユーラシア大陸の東縁に位置する5つの島弧の集合である。九州は、列島の最も西側に位置する琉球弧の中では最大の島であり、かつ、琉球弧の北端に位置する。また、九州は対馬海峡を経て、韓半島から大陸に連なり、関門海峡、豊後水道を挟んで西南日本弧を構成する本州西半部及び四国に接している。

九州及び四国では中央構造線が東西に走向し、その南部には山地が連続して形成されている。九州においては白樺一八代構造線の南側に急峻な九州山地が形成され、構造線の北側には別府-鳥原地溝が並走し、南側には九州脊梁山地が並び立て、九州の南北を地形的に画す結果となっている。

他方、九州は、九州脊梁山地を境として東西に区分することもできる。この九州を東西に画する区分は、平野部に主眼を置いた区分である。九州西半部では平野部が玄界灘または有明海に沿って連続、または山塊、丘陵等に断続されて広がる。この連続または断続する平野部の南限は、先の白樺一八代構造線であり、球磨川に沖積された八代平野が最南の平野部にあたる。

葦北地域は、熊本県南部、八代平野の南に位置する。葦北地域の大部分は山地で占められ、不知火海沿岸部にはリアス式海岸が形成されている。山地から不知火海に向かう小河川は、沿岸部に狭かな平地を形成しているが、各平地は山塊により寸断され、リアス式海岸と併せて平野部の伸展を許さぬ構造を採っている。

葦北地域は、南北を河川、東西を山海によって区分されている。その南方は矢筈岳から発する境川が鹿耳

島県出水地域と分かち、北方は人吉盆地を抜けた球磨川によって八代地域と分かれている。西方には不知火海が天草島嶼部の間に位置し、東方には九州山地が球磨地域、鹿耳島県大川地域、宮崎県えびの地域の間に構えている。

佐敷地区は、葦北地域沿岸部の南北中点に位置し、葦北地域最高峰の大関山(標高901.9m)を源流とした佐敷川によって沖積された平地である。北には佐敷太郎峠が田浦地区との間に、南には津奈木太郎峠が津奈木、水保地区との間に位置している。この佐敷太郎、津奈木太郎に、八代地域と田浦地区を画す赤松太郎(峠)を加えて「三太郎峠」「三太郎の嶮」と呼ぶが、不知火海沿岸部を南北に走る薩摩街道の難所として知られている。

大関山から塩釜、大野の平地を経て低山地を抜けた佐敷川は、不知火海の手前に長さ3km幅0.5km程の狭かな平地を沖積している。この佐敷平地は、不知火海から遡上すること約1km、その西端では佐敷川が城山を回りこむように屈曲しているため、一見、盆地の様相を呈している。この佐敷平地の北側には3つの山塊が横たわるが、中央の山塊は佐敷平地に舌状に張り出し、細長い平地を二等分している。花岡古町遺跡は、この突出部の西側基部に位置している。

花岡古町遺跡の位置は、佐敷川の汽水域上限にあたる。その下流側、中央山塊の北西麓には佐敷太郎峠への登坂口が在り、ここで佐敷平地は終焉する。さらに、急峻な城山を回りこんで佐敷川を1km程下れば、野坂の浦を経て、不知火海に至る。上流側、中央山塊の南東麓には宮浦川が緩やかな斜地を開き、佐敷川沿いの谷地を東に連れ、中流域の大野で路を球磨川沿いに代え、人吉盆地へと至り、中央山塊から平地をほとんど反対側、佐敷川支流の田川川あるいは五本松峠を経れば、湯浦川沿いの平地をとおる、大川内平地の津奈木太郎峠への登坂口に至る。

佐敷平地より上流では、川幅は細く、流れは早く、河川礫は大きくなり、平地を囲む山塊も切り立った裾野を並べている。山塊は、北方の球磨川流域より急峻となり、南方では緩やかな高原の連なりをみせる。

佐敷川が注ぐ野坂の浦は、鶴木山御番所の鼻(岬)と女島京の崎に抱かれた湾口0.7km、湾幅2.5km、



图1 花岡町遺跡周辺遺跡地図 (S=1/50,000)

奥行2.7kmを測る湾であり、不知火海に接続している。不知火海は、北は宇土半島、西は天草島嶼、南は鹿児島県長島、出水半島で囲まれた内海であり、南北長70km、東西幅約15kmを測る。不知火海は、北部では三角ノ瀬戸、柳ノ瀬戸、本渡ノ瀬戸で有明海に接続し、南部では長島海峡、黒之瀬戸で外洋の東シナ海に開けている。いずれも伏隆な湾口部であるが、長島海峡を主とする南湾口部の外洋水流入量、潮流速が最も大きく、他の湾口部では海水の交流、潮流速とも小さく、湾奥（北部）での干満差4mを惹起している。なお、湾奥部から湾奥部の潮流流動は停滞傾向にあり、朝凧、夕凧には鏡面のような海となる。

不知火海には、海底断層が走っている。熊本地域には阿蘇から上益城郡甲佐町、葦北部芦北町田浦を経て不知火海南部まで北東から南西方向に走る約100kmの布田川・日奈久断層帯が存在する。この布田川・日奈久断層帯は、八代から南に三角末端面が顕著な断層崖を連ね、芦北町田浦の御立岬から不知火海に没している。海底断層に姿を変えた布田川・日奈久断層帯は、御立岬から長島に走り、長島海峡、黒之瀬戸を抜け、鹿児島県瀬島に向かっている。リアス式海岸が東西両岸とも直線的に連なることから、この布田川・日奈久断層帯の沈降が不知火海を形成したと考えられる。

花岡古町遺跡は、九州を南北に二分する中央構造線から連なる断層帯に隣接し、東シナ海への接続湾口の手前、潮汐穏やかな最南地点であり、九州山地の急峻部と低山地との境界線最西端に位置している。

### 1-2-3 人文

葦北地域の既往発掘調査は、僅少である。旧石器時代の遺跡は水俣市石飛遺跡、縄紋時代の遺跡は葦北部芦北町大野遺跡(別称出葉山貝塚)、水俣市南福寺貝塚、草野貝塚、弥生時代の遺跡は芦北町横手遺跡、花岡木崎遺跡、水俣市初野貝塚、北園貝塚、古墳時代の遺跡は芦北町花岡木崎遺跡、宮浦地下式板石積石室古墳群、水俣市初野古墳群、北園上野古墳群、古代の遺跡は芦北町花岡木崎遺跡、花岡古町遺跡、水俣市湯の児製鉄跡、天草市御所浦町嵐口羅製鉄跡が発掘調査または踏査等の報告を有する遺跡である。

葦北部芦北町の横手遺跡は、弥生時代後期の集落跡

である。平成18年度に熊本県教育庁文化課により発掘調査が実施され、平面プランが円形を呈しベッド状遺構を備えた住居から弥生時代後期の円形土器等が出土している。熊本平野の白川流域の土器様式が、葦北地域に分布していることが確認された初例調査である。後、花岡木崎遺跡でも同時期の方形プランの住居が複数調査されている。

横手遺跡に隣接した宮浦地下式板石積石室古墳群は、数十基の地下式板石積石室墓で構成された墓群である。佐敷川と宮浦川の合流点、佐敷平地の中央山塊南東麓に位置し、うち4基が昭和45年2月に芦北町史編纂事業の一環として九州大学西健一郎、熊本博物館富田紘一、芦北農林高校他により発掘調査された。平成18年には芦北町水道事業の際に1基の地下式板石積石室墓が不時発見され、計画変更により現状保存がなされた。なお、地下式板石積石室墓は、地下2m程度まで墓壇を掘り下げ、その底面を平らに整え床とし、1m未満の割り石を半分程埋め込んだ高さ50cm程の側石を方形、円形に設え、その上部に割り板石を持ち送りながら鱗状に積み重ね、亀甲状の石蓋とした墓葬である。石室の規模は1.5m程度の例が多いが、0.5m程度の小型(鹿児島県出水郡長島町明神下岡遺跡、立神遺跡)、2.5m近い大型もある。また、数十基単位で構成される墓群と、数基の墓群とに分類することができ、古墳時代前期から中期にかけて不知火海沿岸、球磨地域、鹿児島県大口地域、宮崎県えびの地域に分布する墓葬である。宮浦地下式板石積石室古墳群の調査3例は、いずれも2.5m程度の円形を呈する石室で鉄鏃、鉄剣を副葬していた。不時発見例も同規模であり、宮浦阿蘇神社横の微高地一帯に数十基の大型墓葬が群集して墓域を形成していると考えられる。

葦北部芦北町の花岡木崎遺跡では古墳時代後期、古代の遺構が調査されている。また、中世の遺構も近在の花岡古町遺跡で多く調査された。

佐敷には中世城が2城存在する。一つは佐敷城であり花岡城と別称する。他の一つは東の城であり、佐敷平地の中央山塊に位置した。柵の山城と別称される。佐敷城跡は、佐敷川が河口1km上流で巻くように流れる急峻な城山に位置し、東の城の後代に築城され、1615年の一國一城令により破城となる。平成5年か

ら平成13年にかけて芦北町教育委員会が調査し、平成9年から城跡の整備を進め、平成20年に国史跡に指定された。佐敷城跡では、現在、中秋の名月の夜に能、狂言、演舞を中心とした観月会が催されている。この宵は、火縄銃射撃を披露する芦北鉄砲隊の号砲が、野坂の浦に映える月影を静かに揺らしながら逍遙する。

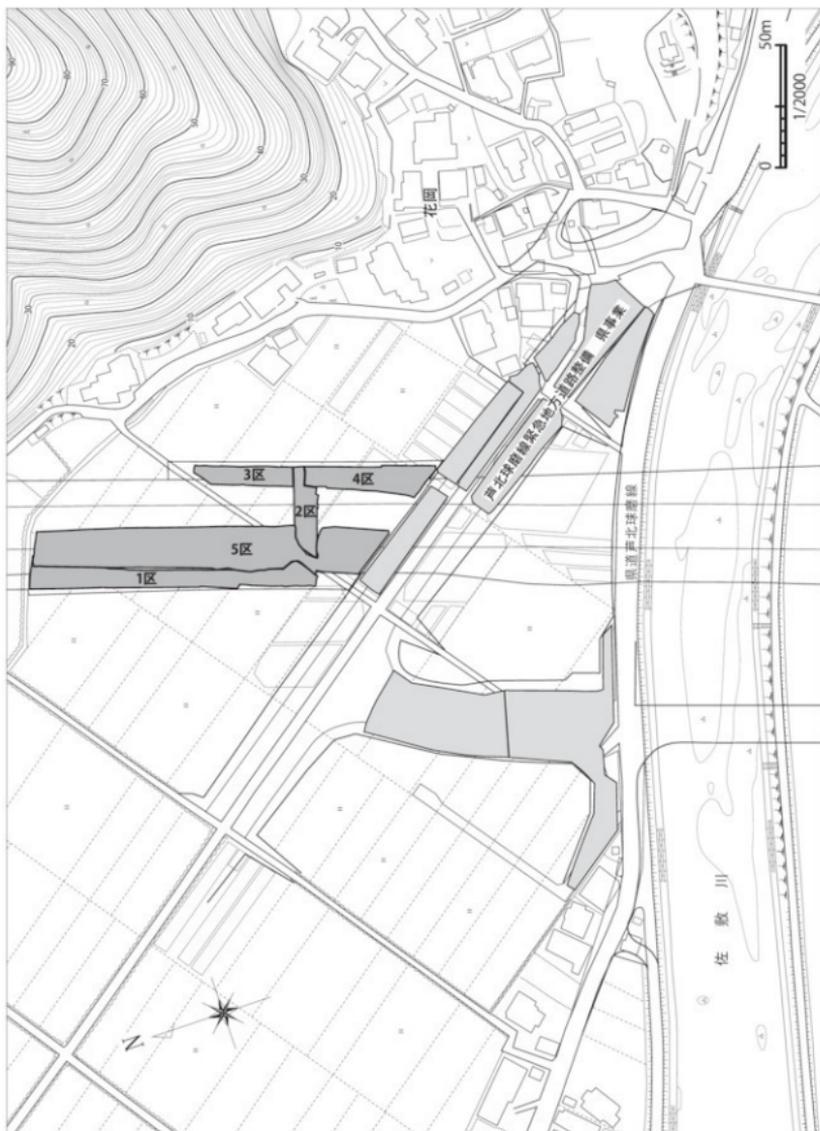


図2 花岡古町遺跡調査区位置図 (S=1/2000)

## 1-3 調査の方法

### 1-3-1 調査手順の概要

表土剥ぎは、現代の耕作層等を重機を用いて除去した。

包含層及び遺構の掘削は、人力により精査した。また、遺構埋土の回収と水洗による微細遺物の検出及び分布の把握等、目的に応じた精査手法も採用した。

記録作成に際しては、実測用紙は1mm方眼紙、光波測距儀を用いた実測、中判カメラ及び35mmカメラを用いた撮影、航空写真の撮影等の手法により実施した。

なお、出土遺物の水洗作業及び註記作業を発掘調査と併行して実施し、一部の土器類は現場で復元する等、見学者の便を図った。

現地調査終了後は、熊本県文化財資料室で整理作業を進めた。整理に際しても、作業のデジタル化等を行っている。

### 1-3-2 発掘の方法

発掘調査に際しては、グリッド法及び分層発掘法を基本としている。

#### グリッド

グリッドは、今回の調査対象範囲を包括するグリッド網を企画して、10mグリッドを基礎単位として設定した。

このグリッド網は、平面直角座標第Ⅱ系における $X = -77590$ 、 $Y = -45890$ を起点とした。南北軸においては、起点から座標南に向かい10m間隔で区分し、各区分には北から南にAからRまでアルファベットの名称を付した。東西軸も同様に10m間隔で区分し、各区分には西から東に1から7まで数字の名称を付した。なお、グリッドは、南北軸及び東西軸の区分の直交部分に10mグリッドが設置されることとなる。また、グリッド名は、「南北軸アルファベット名称+東西軸数字名称」と定め、「E4グリッド」のように記述している。おって、このグリッド名は、整理作業に際しても変更することなく用いた。したがって、遺物への註記、各種図面も上記グリッド名を用いて表記している。

#### 分層

層位は、遺構外の層序（以下「基本土層」という。）及び遺構内の層序（以下「遺構埋土」という。）とに分類し、各分類ごとに分層している。

層位名は、上層から、算用数字を用い「x層」と表記した。なお、漸移層等、細分した層位については、上層から「a」、「b」、「c」…とアルファベット小文字を付加して表記している。例えば、基本土層第2層の場合、表記は「2層」となり、細分層は、「2a層」、「2b層」…と表記される。

なお、同一遺跡を調査しているにも関わらず、各調査区によって1層から5層までの層と層名は一致していない。これは、現代の圃場整備に伴う層に該当し、調査対象外の層序を無闇に分層した結果である。6層から7層までは、細分層序は同一ではないが、基本土層においては層と層名は一致している。このため、基本土層6層及び7層が調査範囲全体で有意な層序となる。8層以下の層序の層と層名は一致していない。掘削深度を恣意的に設定していることに起因した現象である。

各層の註記は、土色（色彩）：黒褐色、赤褐色、黄灰色等、土種（粒度）：礫、砂、シルト、粘土等、成分（混合物）：砂礫混、焼土混等、その他：しまり、粘性、被熱等の強弱、その他について、『新版標準土色帖』に準拠して記述するよう努めた。

なお、基本土層と遺構埋土とは、遺構の生活面、堀込面または確認面における相互関係を記すよう努めた。

（文献）

小山正忠、竹原秀雄 1967『新版標準土色帖』2001年版、日本色研事業株式会社

#### 遺構

遺構は、主要な遺構と、その他の遺構（ビット群）とに分別している。

主要な遺構は、各調査区において、その種類に関係なく連番（以下「遺構番号」という。）を附し、その遺構番号の頭に次に示す略号を附し、分類した。SA：柵、土塁、堀。SB：建物。SC：廓。SD：溝。SE：井戸。SG：苑池。SH：広場。SK：土塹。SX：その他。なお、

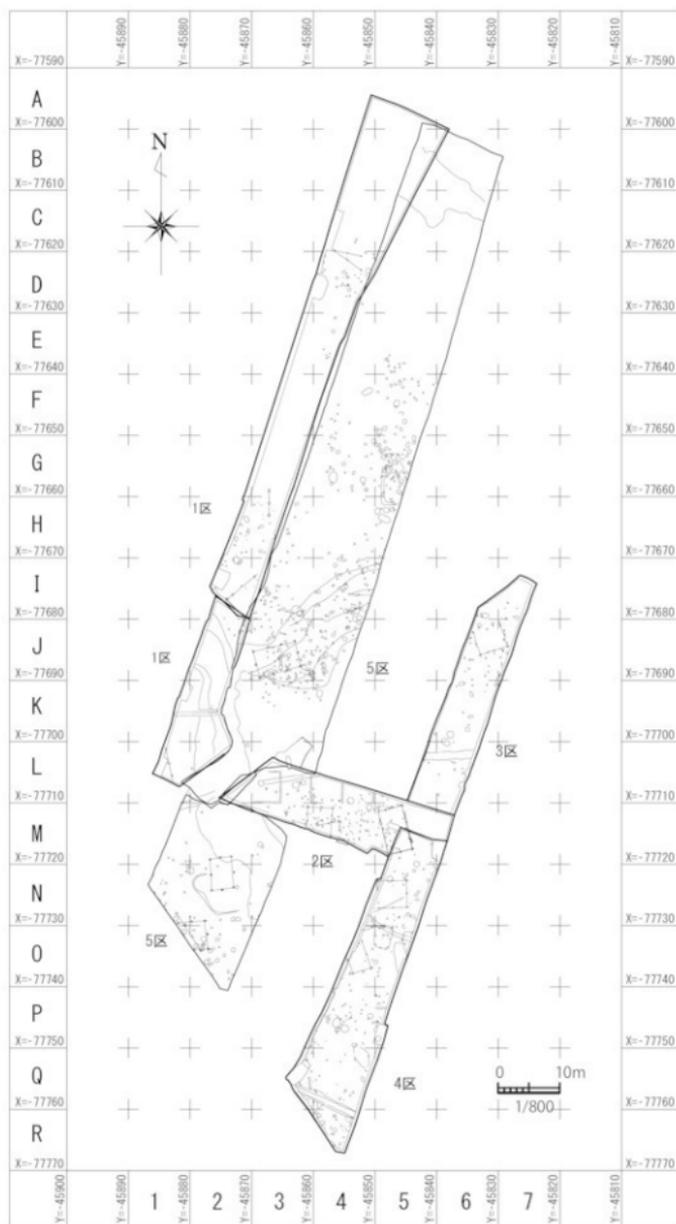


図3 花岡古町遺跡 グリッド配置図 (1/800)

遺構番号を付した後に複数の遺構が一つの遺構を構成することが判明した場合は、最小の遺構番号をもって新たに判明した遺構の遺構番号とし、その他の番号は欠番とした。

その他の遺構は、各調査区において、その種類に関係なく連番を附し、その遺構番号の頭に略号「S」を附している。

表1 遺構の略号

遺構	
SA	柵、土塁、塀
SB	建物
SC	廓
SD	溝
SE	井戸
SG	苑池
SH	広場
SK	土壇
SX	その他

#### 遺物

遺物は、随時、各グリッド、各層位に分別して取り上げた。

出土位置の記録が必要な遺物には、各調査区において、その種類に関係なく連番（以下「遺物番号」という。）を附し、光波測距儀を用いて出土地点を計測した。なお、遺物番号の欠番は、原則的に有り得ない。

#### 図面等

遺構実測図は、1/20 縮尺を用いた。

なお、実測に係る基点は、各遺構ごとにA-A'、B-B'と表記し、その位置が判るように適当な座標値を記入した。

また、一遺構につき原則1枚の用紙に各実測図を併載した。必要に応じ、複数の用紙に実測図を記載する場合は、平面図、断面図、特殊図面（一部拡大図等）の種別に応じて分類し、記載している。

おって、調査区名、遺構名、実測者名、実測日、遺構の規模に係る各種計測値（実測値）、観察所感等を記載するように努めた。

### 1-3-3 整理の方法

整理に際しては、作業の迅速化及び効率化を図るため、その機械化及び電子化を推進している。

#### 現地調査事務所

出土品の大半は現地調査の時に現地調査事務所で行った水洗し、登記した。一部の土器は接合し、必要な復元を講じて芦北町文化祭等で公開している。

なお、炭化物等、微細遺物の検出を目的として遺構埋土等、土壌の水洗を実施している。炭化物の検出を目的とした土壌水洗は、熊本大学考古学研究室から水洗選別機を借用し、現地において実施した。

また、現地調査事務所においても、すべての水洗作業は水道水（簡易水道を含む）を使用して実施した。

#### 文化財資料室

文化財資料室における一次整理は、土器等の接合作業から開始されている。

接合作業は、調査区を作業単位として展開し、まず、遺構またはグリッド（10mグリッド）を単位として接合を実施し、後、遺構とグリッド、さらに隣接グリッドとの相互接合を実施した。なお、土器の接合には接着剤「セメダインC」（セメダイン会社製）を用いた。

復元作業は、調査区を作業単位として実施した。なお、土器の復元には修復材「デンカ・キューテックス」（東郷化成株式会社製）を用いた。

文化財資料室における二次整理は、実測及び製図作業である。作業量が二次整理担当の処理能力を上回るため、その一部は外部に委託している。

実測作業は、小型の石器類等、一次整理の成果を待つことなく実測できる遺物から開始し、順次、復元作業が終了した土器の実測に移っている。なお、遺物の種類を問わず、実測はすべて縮尺1/1で実施し、実測用紙には1mm方眼紙を用いた。

製図作業は、電子トレース方式で実施した。電子トレースは、実測図をスキャンした後、電子トレースソフト「トレースくん」（株式会社CUBIC製）を用いた。

なお、土器等の整理作業に際しては、接合作業の後、順次、遺物に連番を付し（実測番号）、復元、実測、製図作業を実施した。このため、遺構等、出土単位内

で実測番号が連続するとは限らない。この報告書では、読者の便を図るため、この実測番号を用いず、掲載図版の順に図版番号を付し、図版番号を用いて本文を記述している。



## 2 花岡古町遺跡の調査

花岡古町遺跡は、熊本県草部芦北町大字花岡に所在する遺跡である。

花岡古町遺跡の西には、佐敷川が西流し、その右岸に花岡古町遺跡、左岸に花岡木崎遺跡が位置する。遺跡が所在する佐敷には中世城が2城存在する。佐敷城（花岡城）と東の城（梅の山城）であり、東の城から佐敷城に遷移する。花岡古町遺跡は、東の城の城下町に相当する位置をとり、人吉往還の走向と同主軸をとる掘立柱建物等により構成される集落跡である。

既往調査には、平成15年度から17年度まで熊本県教育庁が熊本県土木部の依頼を受け実施した発掘調査（『花岡古町遺跡』熊本県文化財調査報告第273集）、平成18年度に芦北町教育委員会が国土交通省の依頼を受け実施した発掘調査（平成24年度から報告書刊行予定）がある。

今次調査では中世集落の縁辺部に相当する地区を1区から5区の調査区に分割して調査し、掘立柱建物10棟、柵列9条、溝6条、竃葬3基及び土城群を検出した。これらは既往調査に比して遺構密度が低い状況であり、低地、河川敷といった地形に対応した形で集落が展開していることが判明した。併せて、竃穴建物3棟も調査され、集落と工房との位置関係を捉えることができる調査となった。

なお、古代の自然流路から墨書土器、篋書土器が多量出土している。古代駅伝制に係る「佐色駅」木簡が出土した花岡木崎遺跡が近接していることと併せて、芦北町佐敷の地が交通の要衝として重要な位置を占めていたことが判明する調査である。

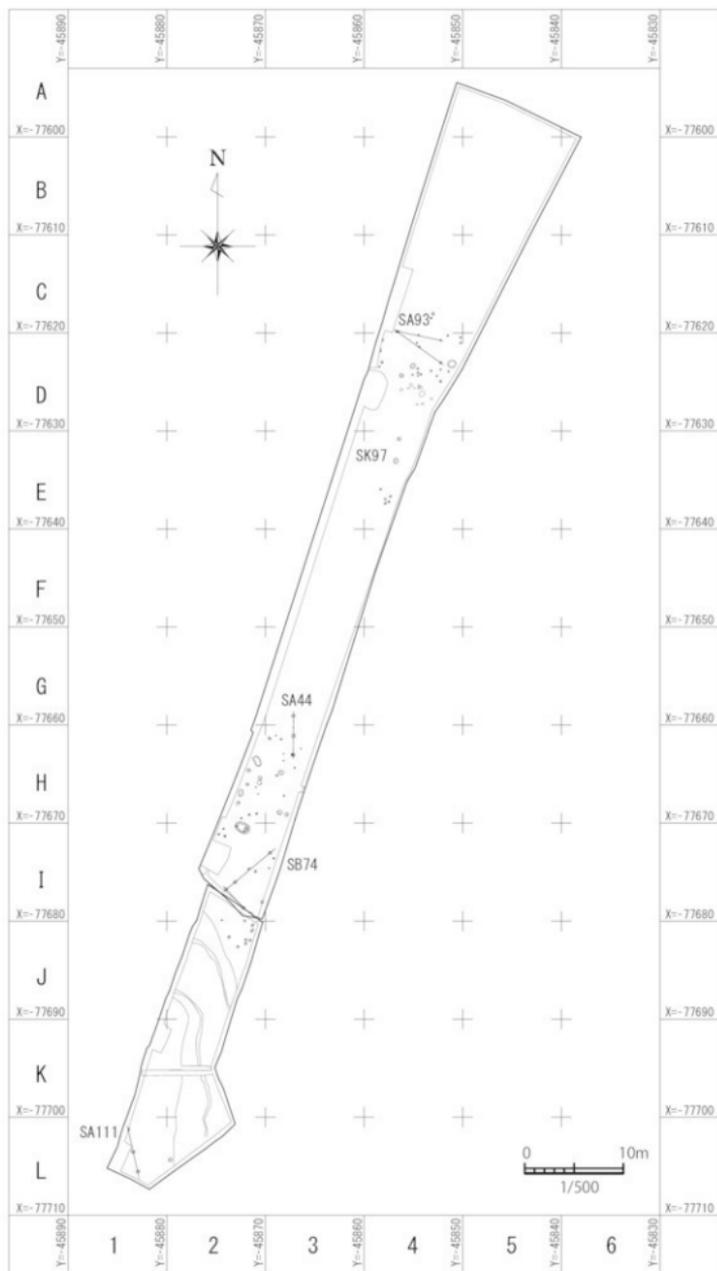


图4 1区遺構配置図(1/500)

## 2-1 花岡古町遺跡 1 区の調査

花岡古町遺跡 1 区は、側道及び用排水路の建設予定地区にあたり、調査区幅 8 ～ 14 m 程度の細長い形状の調査区を設定した。

1 区では、掘立柱建物 (SB) 1 棟、柵列 (SA) 3 条、溝 (SD) 1 条、土壌 (SK) 4 基を検出した。調査区が細長いため、掘立柱建物、柵列、溝は、いずれもその一部を検出したにとどまっている。

1 区の基本層序は次のとおりである。6 層：暗褐色土 (6a 層) または褐色土 (6b 層) で土師器、須恵器、陶磁器を多量に含む包含層である。7 層：にぶい黄褐色土で 7a 層及び 7b 層に細分された層である。各細分層の上面が遺構確認面となった。8 層：オリーブ褐色土で 8a 層及び 8b 層に細分された層である。9 層：オリーブ褐色砂質土 (9a 層)、暗オリーブ褐色砂質土 (9b 層) 及び黄褐色砂質土 (9c 層) に細分された層である。なお、8 層以下の層序は基盤層として取り扱われている。また、1 ～ 5 層は圃場整備に伴う整地以降に形成された層序であり、表土として取り扱う。おって、包含層出土遺物を、本節の末尾に掲載している。

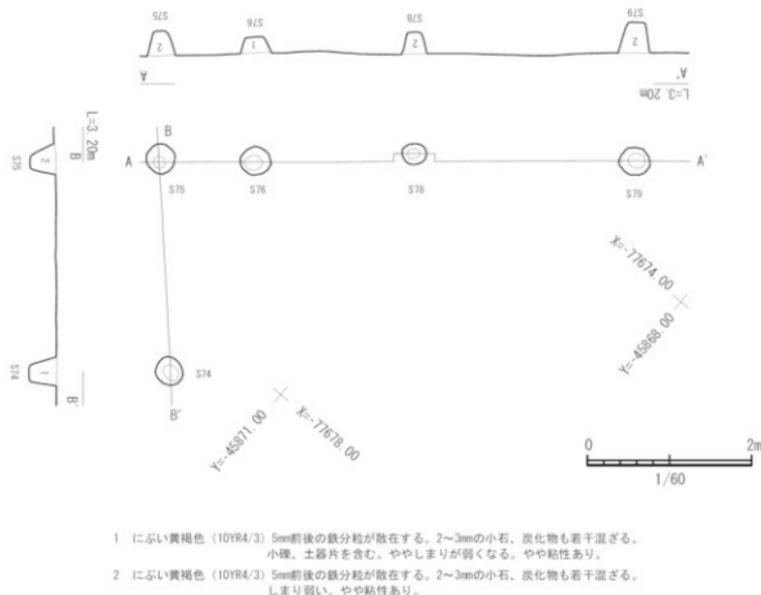


図 5 SB74 実測図 (1/60)

### 2-1-1 掘立柱建物 (SB)

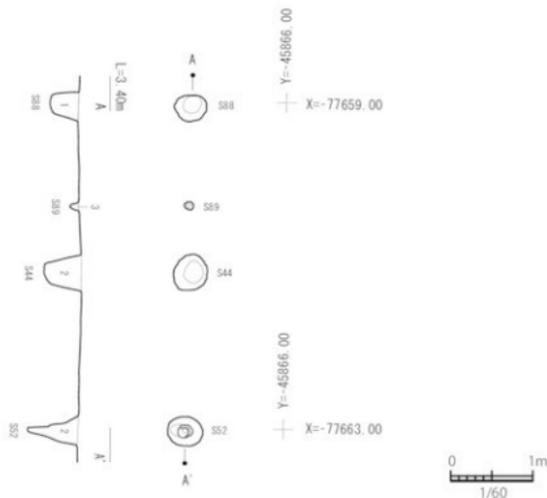
掘立柱建物は、1 棟検出している。

SB74

北西隅を確認できただけであるため、全様不明の掘

立柱建物である。

検出状況においては長軸を北東から南西方向に採る桁行 2 間 × 梁行 2 間の掘立柱建物である。桁 5.8m × 梁行 2.5m であり、柱間寸法は桁間 2.7 ～ 3.1 m、梁間 2.5m を測る。



- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 5mm前後の鉄分粒が散在する。  
2~3mmの小石、炭化物も若干混ざる。しまり強い、やや粘性あり。
- 2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 5mm前後の鉄分粒が散在する。  
2~3mmの小石、炭化物も若干混ざる。土器片を多く含む。しまり弱い、やや粘性あり。
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 5mm前後の小石、炭化物の粒が散在する。  
炭の混入量が多いためやや黒ずんで見える。炭ほかの混入物が少ない。しまり強い。

図6 SA44実測図 (1/60)

柱穴は直径29~39cmの円形を呈し、遺構確認面からの深さは26~37cmであった。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

S76は副柱と考えられる。

### 2-1-2 柵列 (SA)

柵列は、3条検出している。

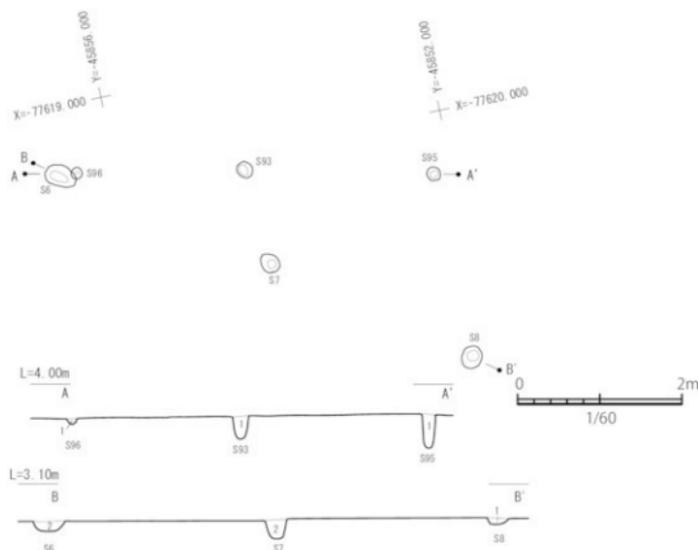
#### SA44

3基の柱穴で構成された、南北に走行する柵列である。

柵列の長さは3.9m、柱間寸法は2.0mを測る。各

柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

柱穴は直径26~48cmの円形を呈し、遺構確認面からの深さは34~61cmであった。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。なお、南端の柱穴S52の断面は漏斗形を呈しており、他の柱穴の断面が台形を呈することと異なっている。また、北側柱間には小ピットS89が位置している。



- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 5mm前後の鉄分粒が散在する。5mm前後の小石、焼土粒、炭化物が若干混ざる
- 2 褐色 (10YR3/3) 5mm前後の小石、炭化物の粒が散在する。炭の混入量が多いためやや黒ずんで見える。しまり強い。

図7 SA93 実測図 (1/60)

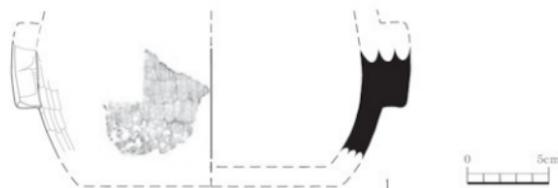


図8 SA93 出土遺物実測図

### SA93

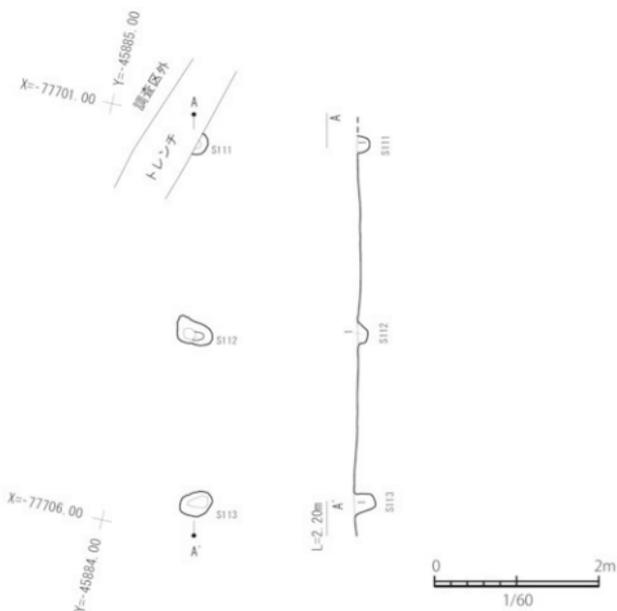
柵列の一部を確認できただけであるため、全様不明の柵列である。

柵列が「く」の字形に折り返す柵列であり、北側に3基の柱穴で構成された折り返し部が存在する。南側の柵列本体は北西から南東に走り、調査区外に延びているものと考えられる。

柵列の長さは4.3m、柱間寸法は2.0～2.3mを測る。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

柱穴は直径13～19cmの円形を呈し、遺構確認面からの深さは8～42cmであった。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

滑石製石罫 (片) が出土した。



1 暗褐色 (10YR3/3) 5mm前後の小石、炭化物の粒が散在する。  
炭の混入量が多いためやや黒ずんで見える。炭ほかの混入物が少ない。しまり強い。

図9 SA111 実測図(1/60)

## SA111

柵列の一部を確認できただけであるため、全様不明の柵列である。

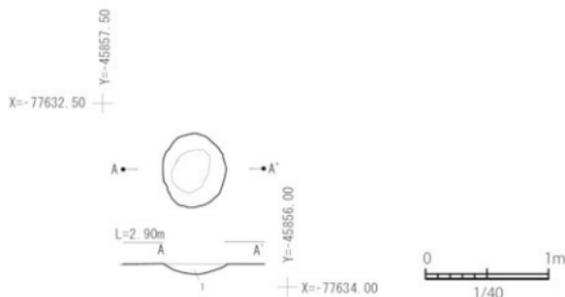
検出状況においては3基の柱穴で構成された、南北に走行する柵列である。なお、柵列は調査区外に延びているものと考えられる。

柵列の長さは4.3m、柱間寸法は2.0～2.3mを測る。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

柱穴は直径20～29cmの円形を呈し、遺構確認面からの深さは12～24cmであった。柱穴S111とS112は底面標高を概ね揃えているが、S113は深く掘削されている。

## 2-1-3 溝 (SD)

溝は1条、SD1が検出されている。(後述)



1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 5mm前後の鉄分粒が散在する。  
2~3mmの小石、炭化物も若干混ざる。しまり強い。やや粘性あり。

図 10 SK97 実測図 (1/40)



図 11 SK97 土器 (RP) 実測図

## 2-1-4 土壌 (SK)

土壌は、SK72、81、97、114 の4基が検出されているが、規模が整い、遺物を出土した土壌はSK97の1基である。

### SK97

円形を呈する土壌である。

長径 0.6m、短径 0.5m、遺構確認面からの深さ 0.1m を測る。

埋土には、須恵器環、移動式竈 (片) の遺物とともに、少量の炭化物が包含されていた。

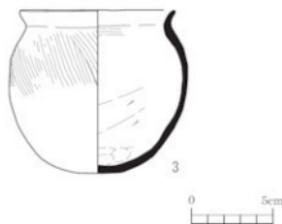


図 12 8層土器 (RP) 実測図 (土師器)

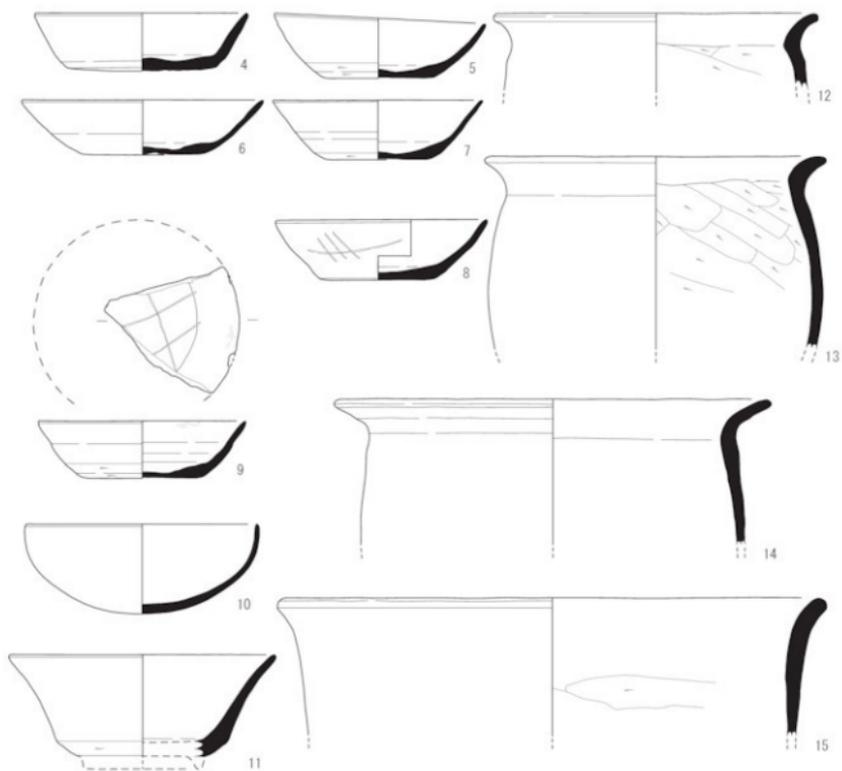


図 13 7層土器 (RP) 実測図 (土師器)

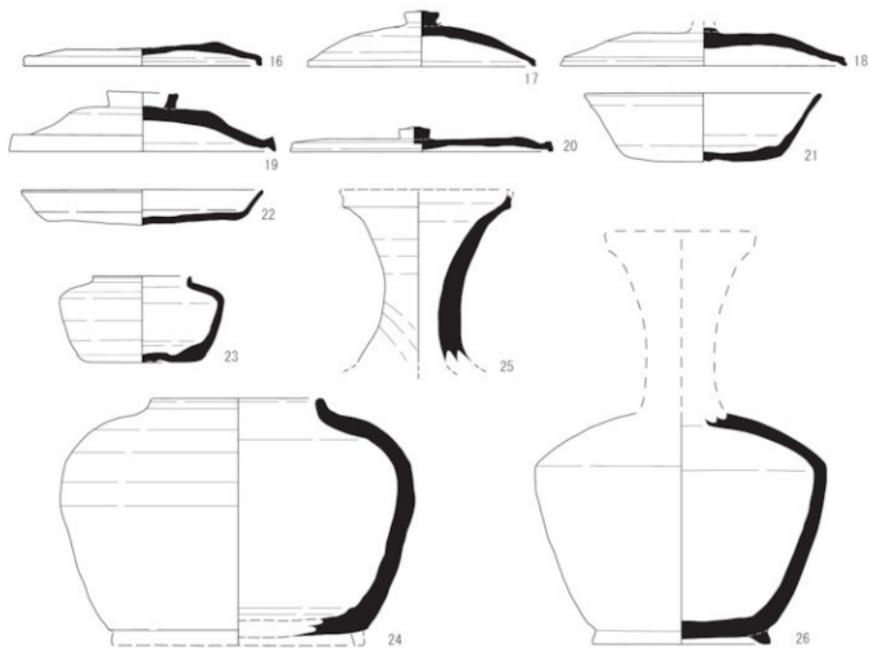


図 14 7層土器 (RP) 実測図 (須恵器)



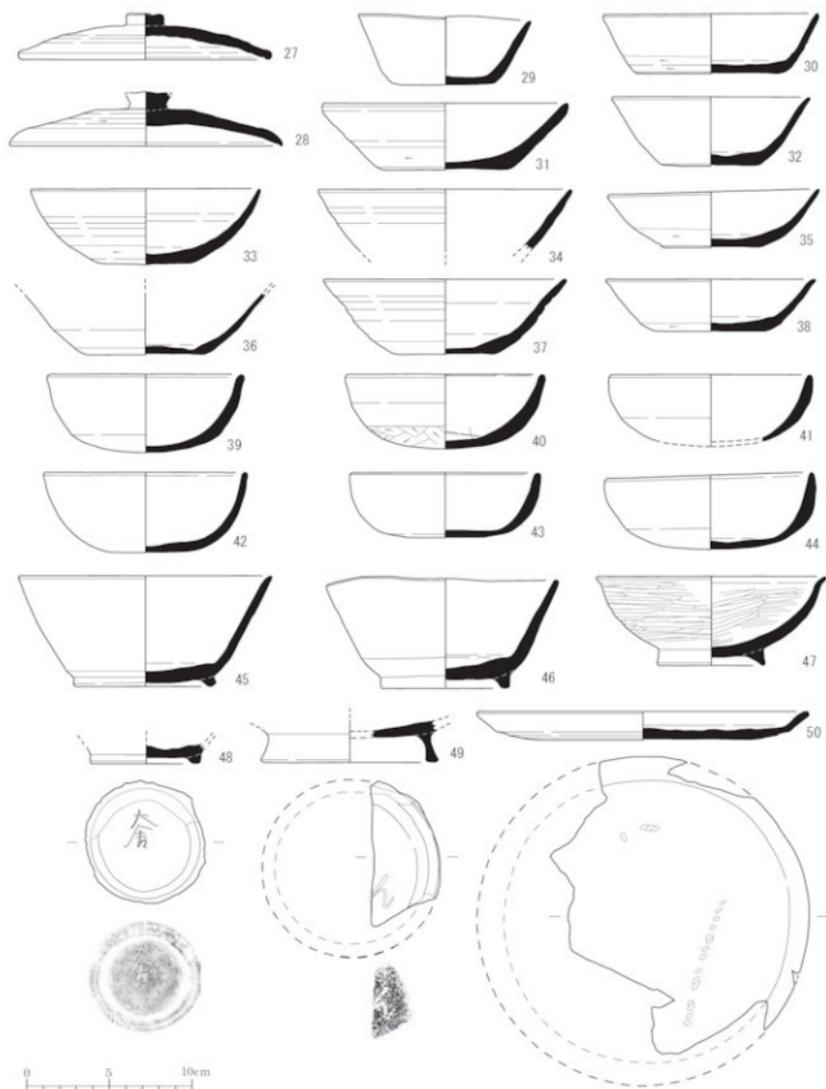


図 15 6層土器 (RP) 実測図 (土師器)

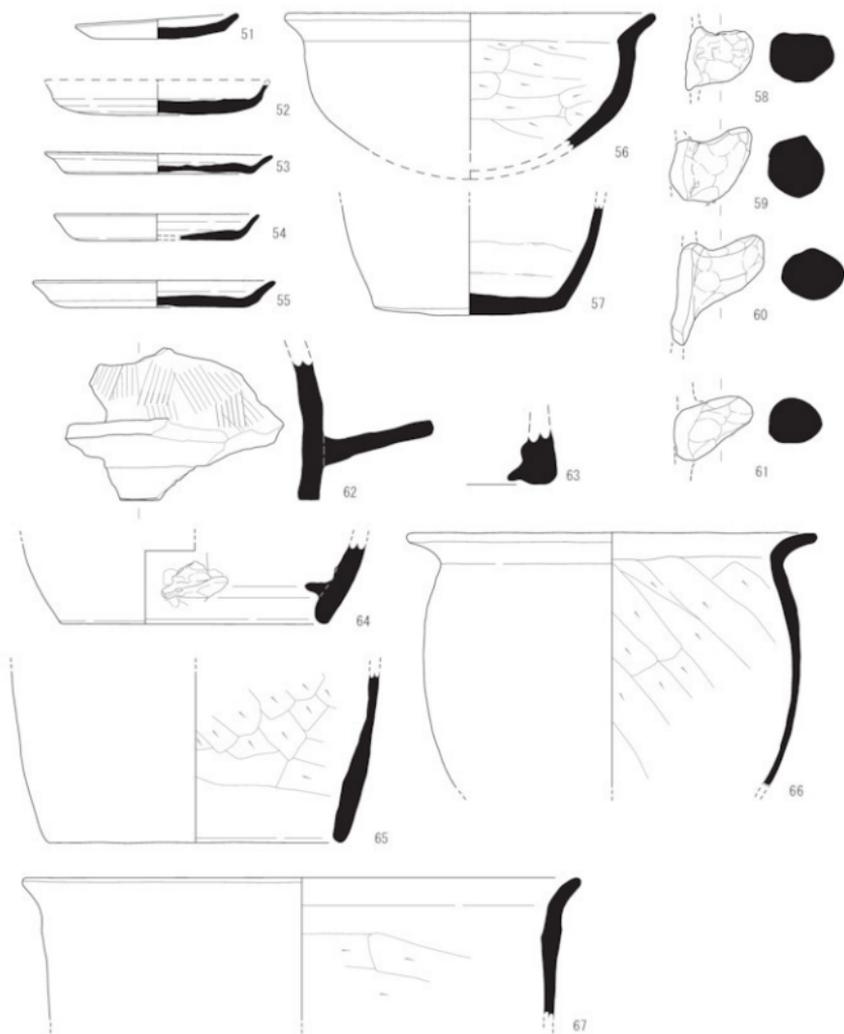


図 16 6層土器 (RP) 実測図 (土師器)



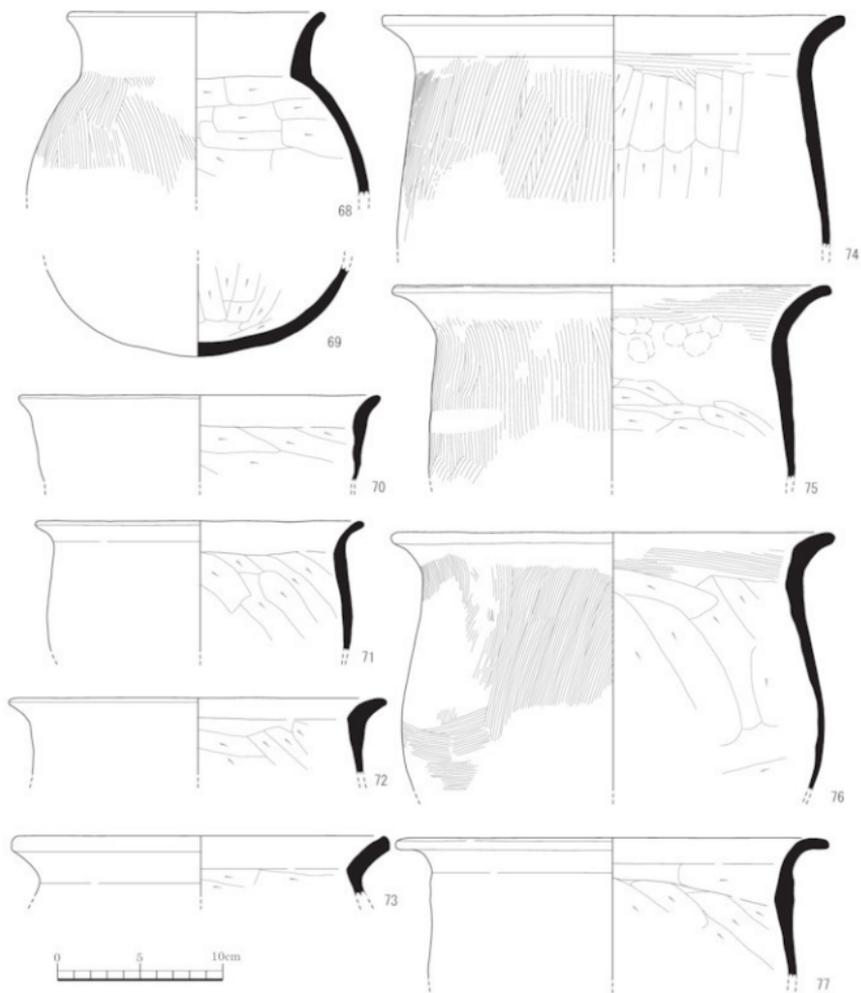


图 17 6 層土器 (RP) 実測図 (土師器)

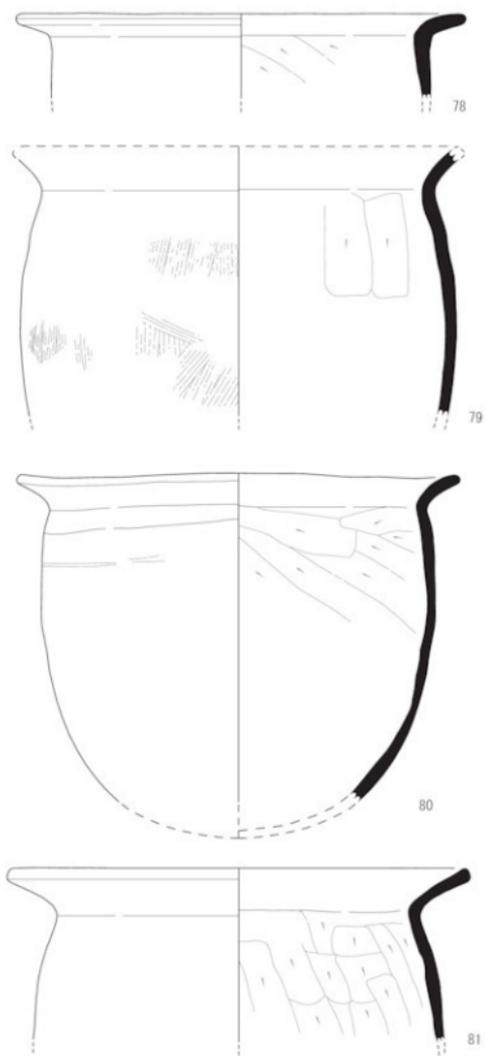


図 18 6層土器 (RP) 実測図 (土師器)

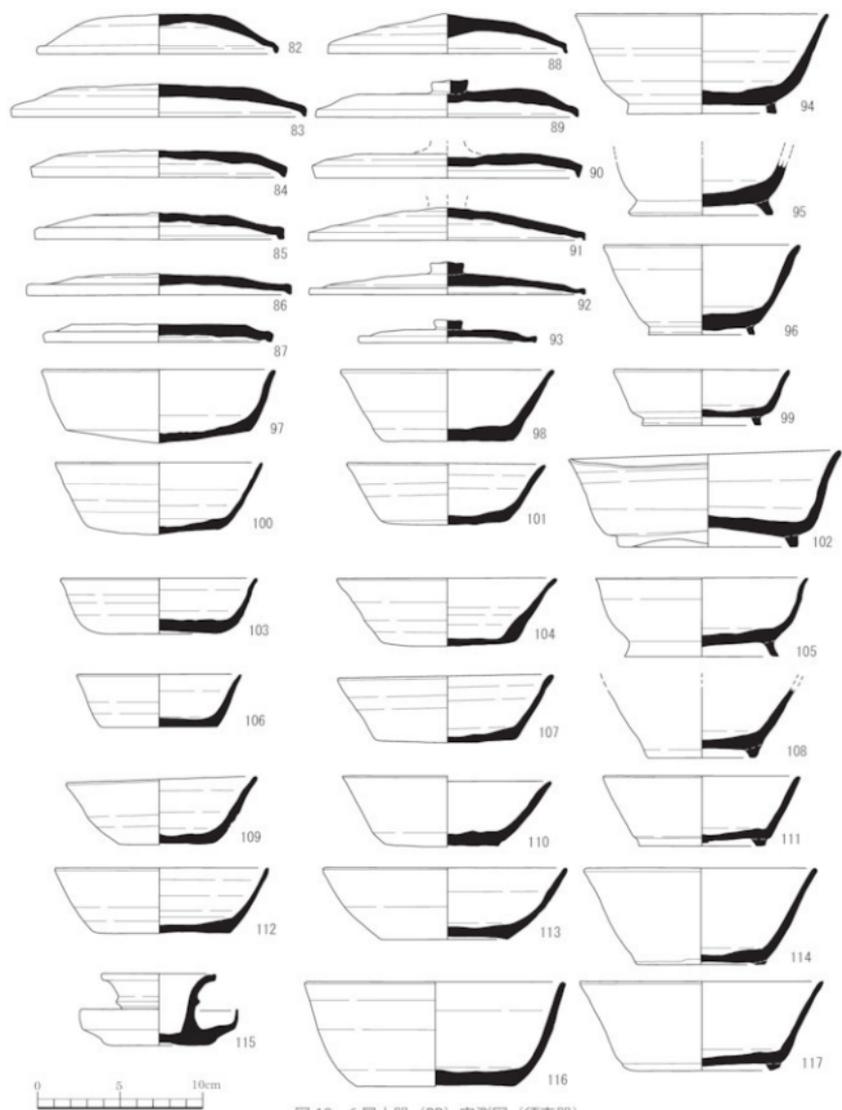


图19 6層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

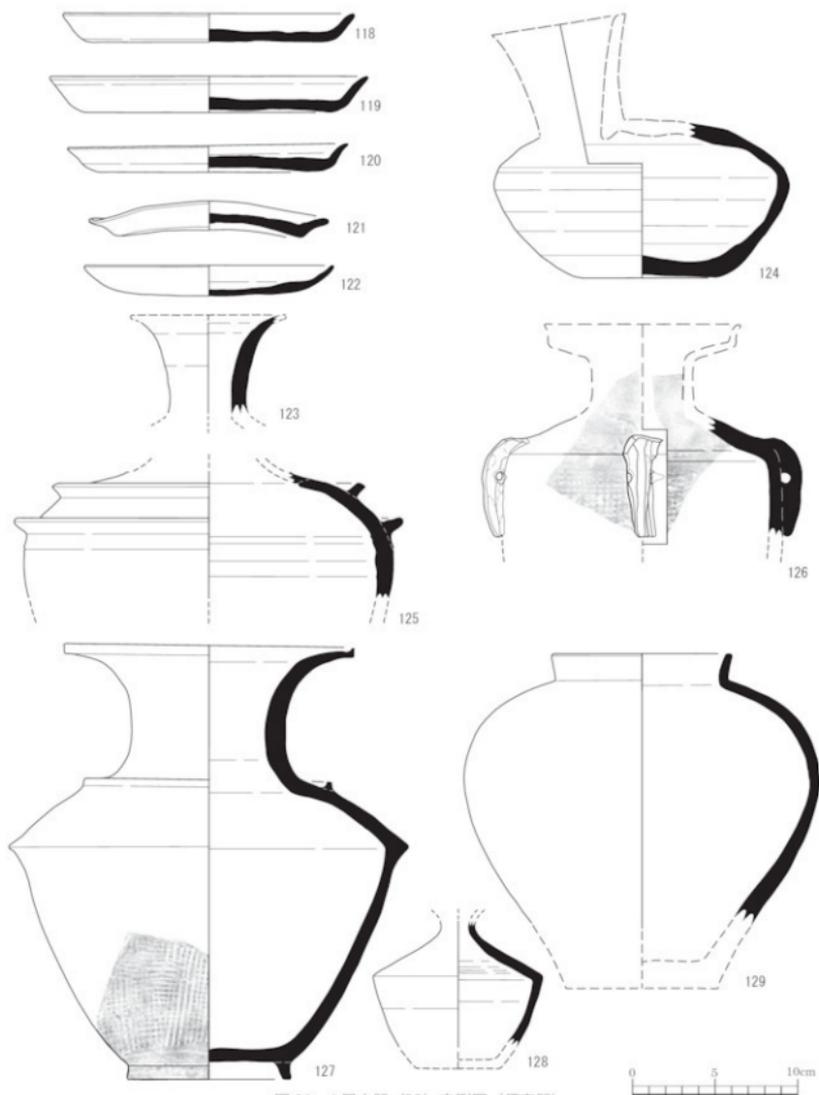


図 20 6層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

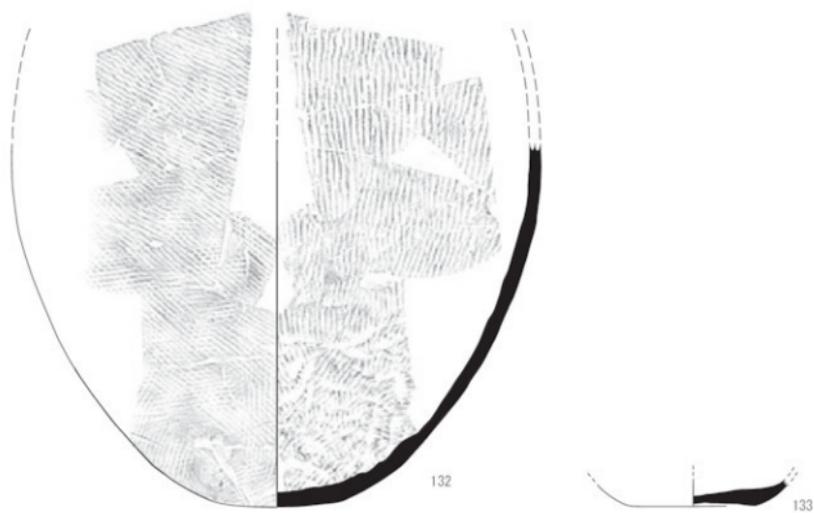
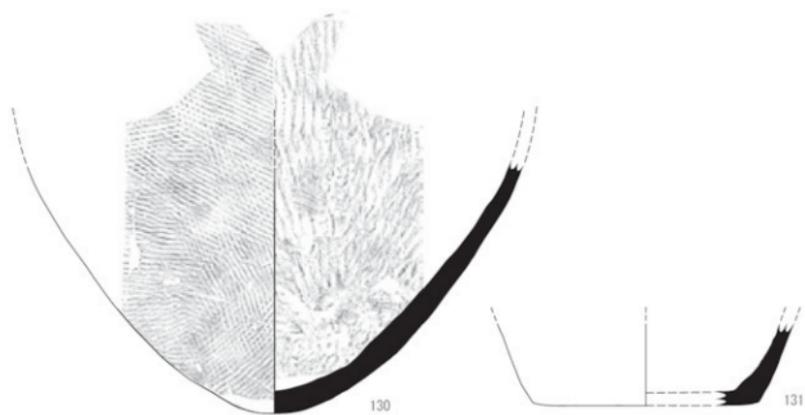


図 21 6層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

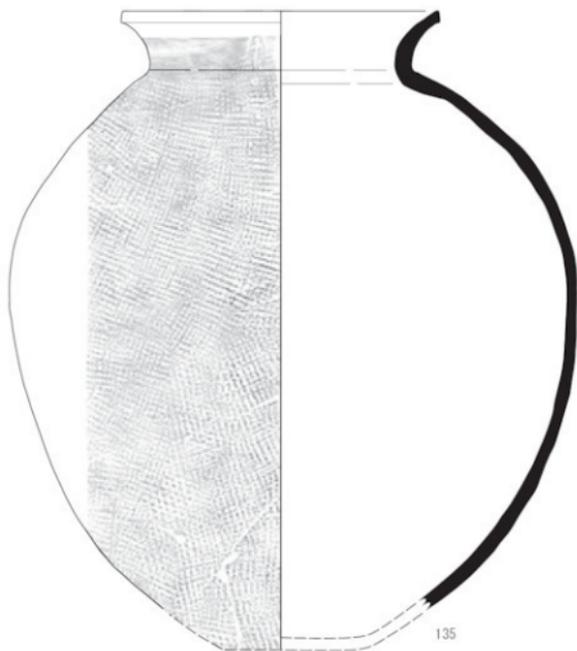
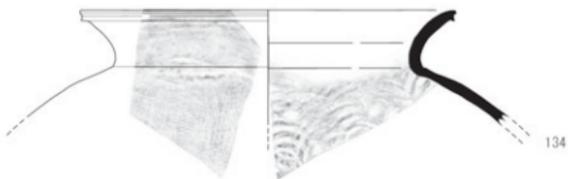


図 22 6層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

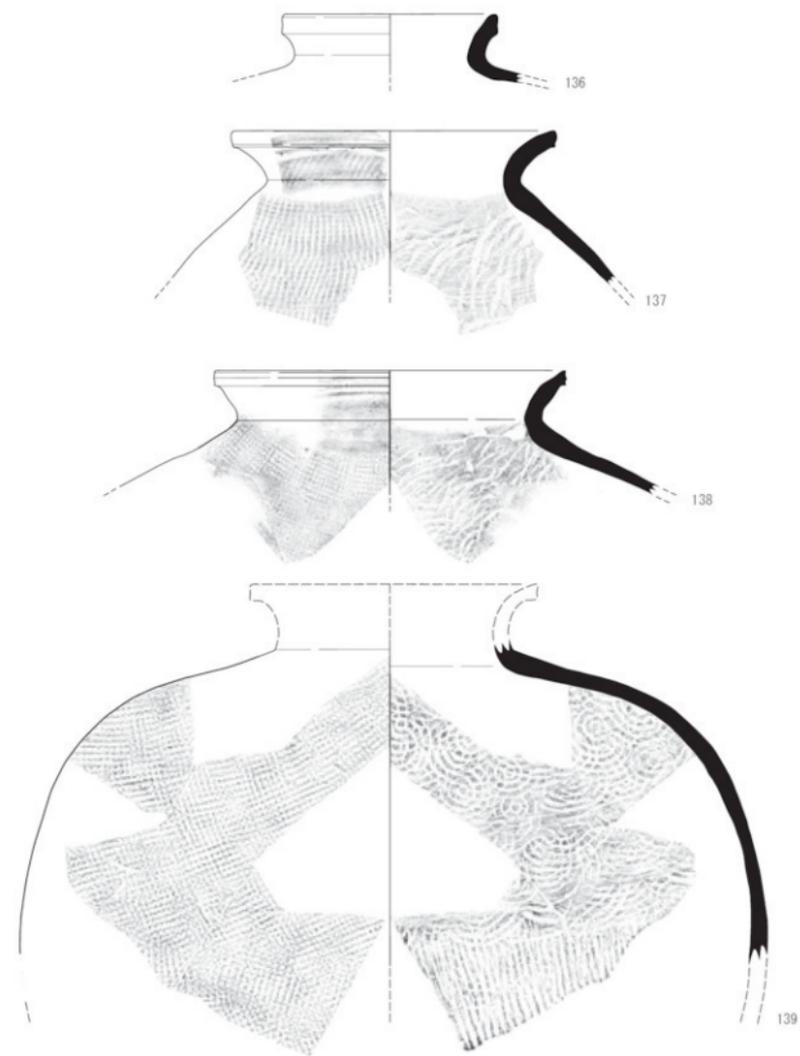


图 23 6 層土器 (RP) 実測図 (須惠器)

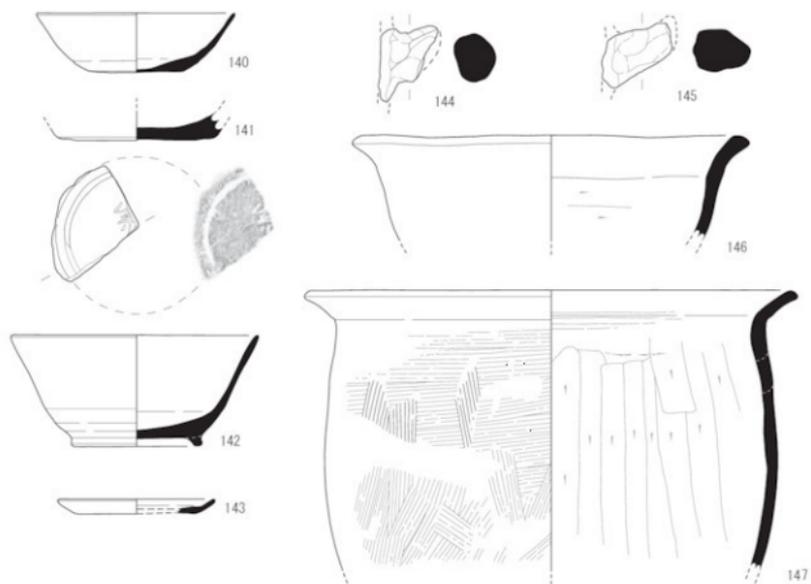


図 24 5層土器 (RP) 実測図 (土師器)

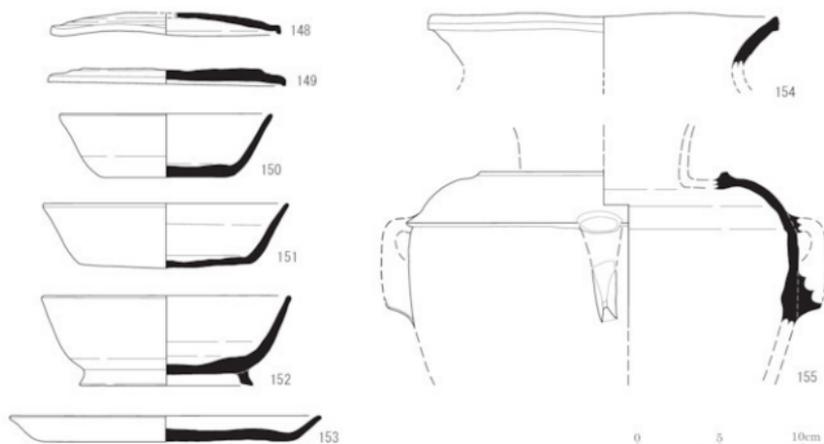


図 25 5層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

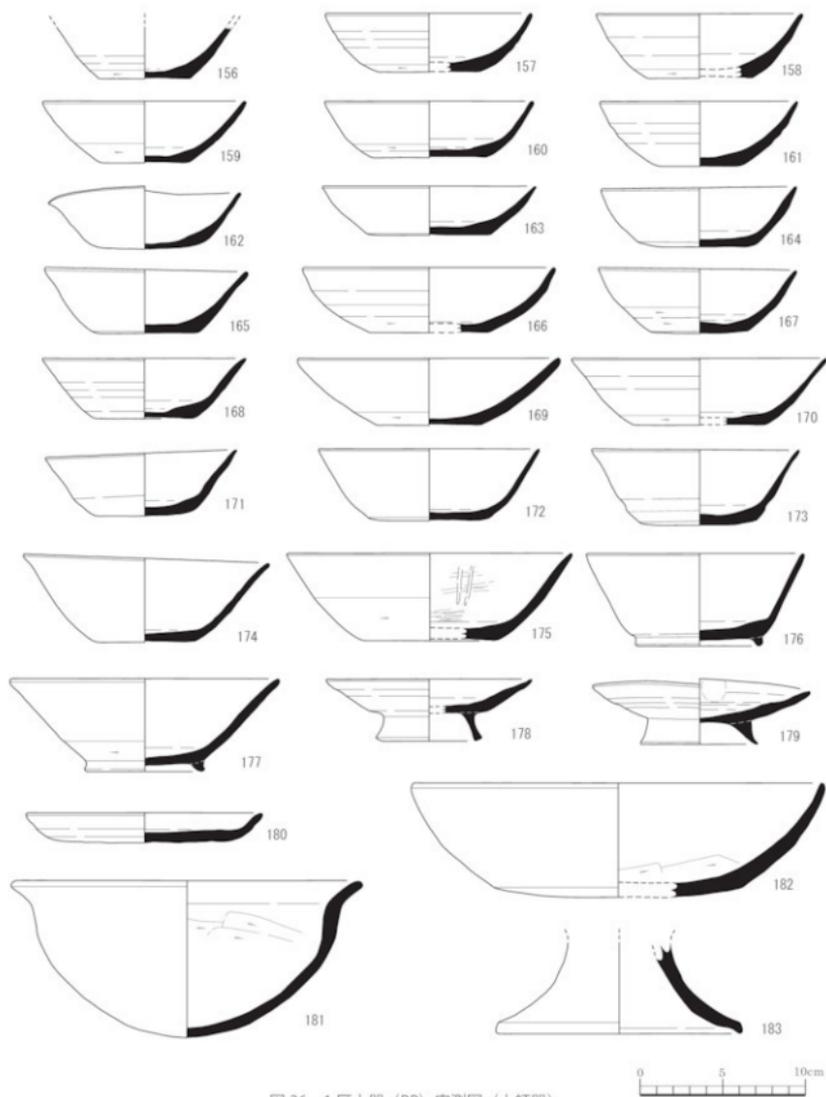


图 26 1区土器 (RP) 実測図 (土師器)

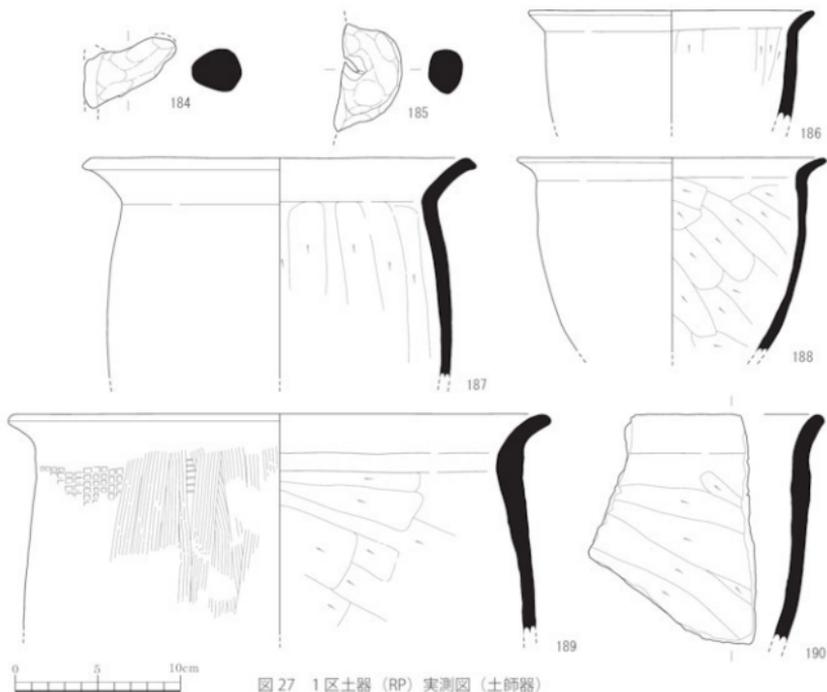


図 27 1区土器 (RP) 実測図 (土師器)

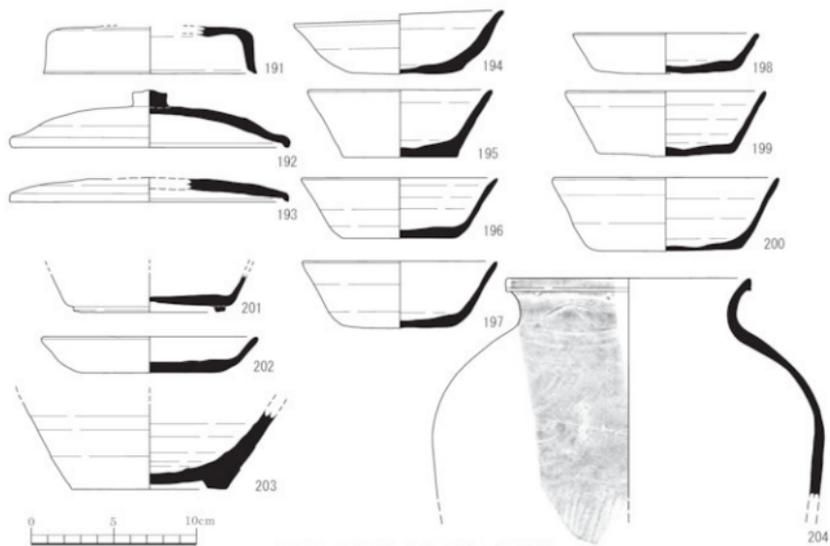


図 28 1区土器 (RP) 実測図 (須恵器)

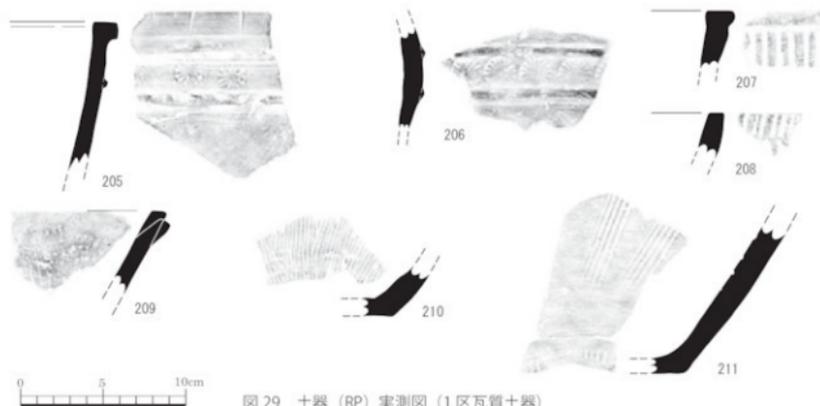


图 29 土器 (RP) 实测图 (1区瓦質土器)

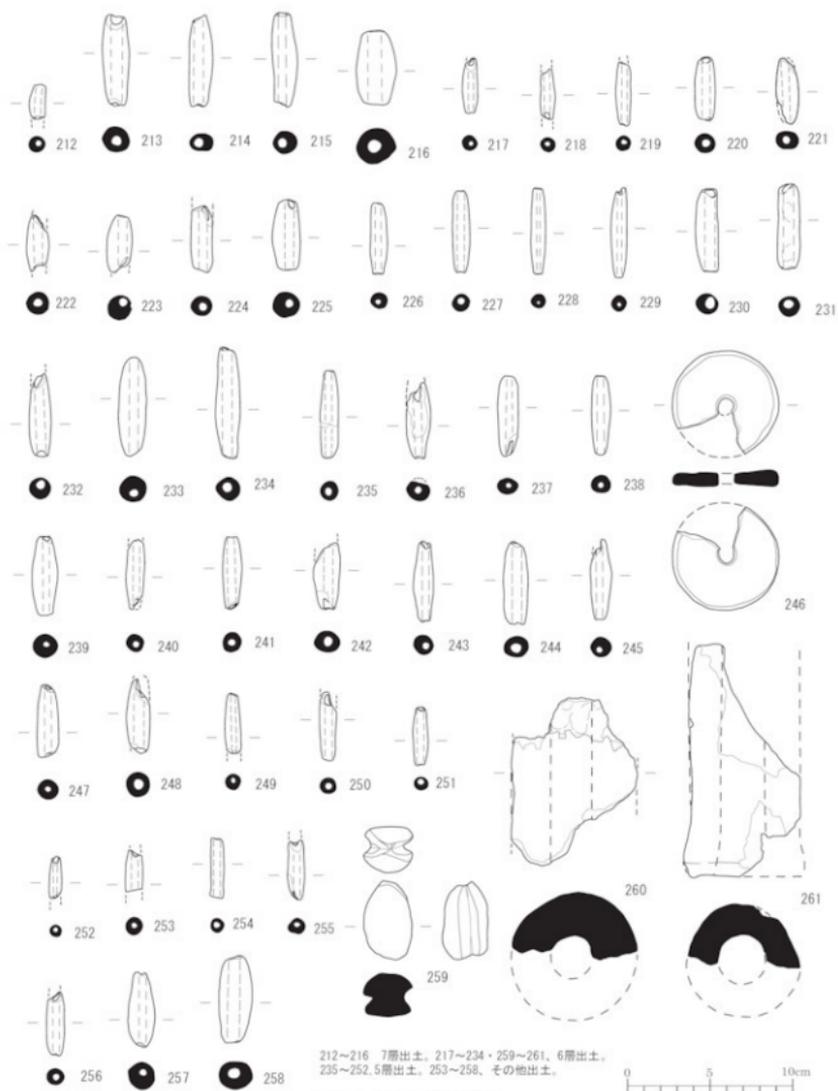


図 30 1区土製品実測図

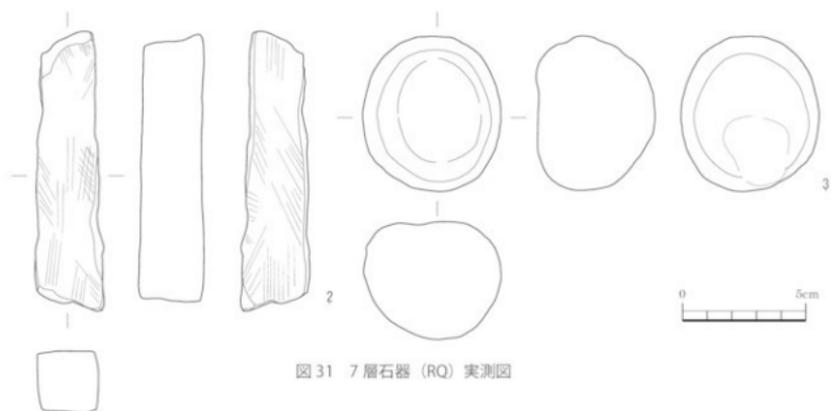


图 31 7 层石器 (RQ) 实测图

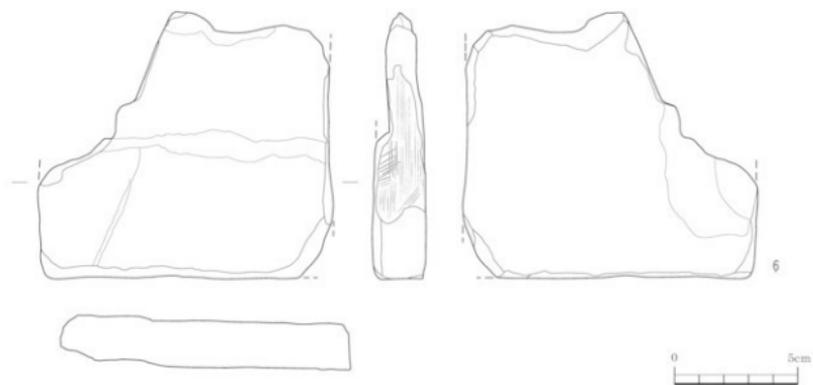


图 32 6 层石器 (RQ) 实测图



図33 6層石器 (RQ) 実測図

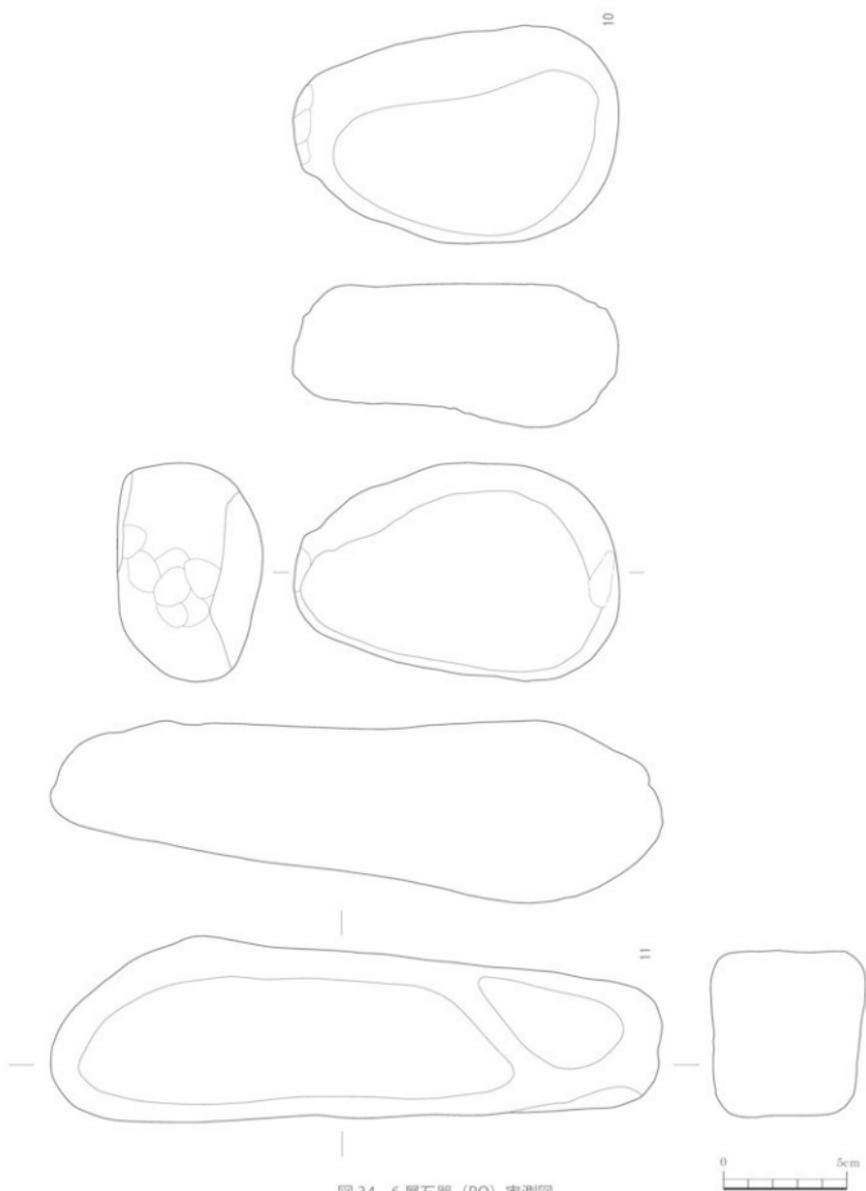


图 34 6 层石器 (RQ) 实测图

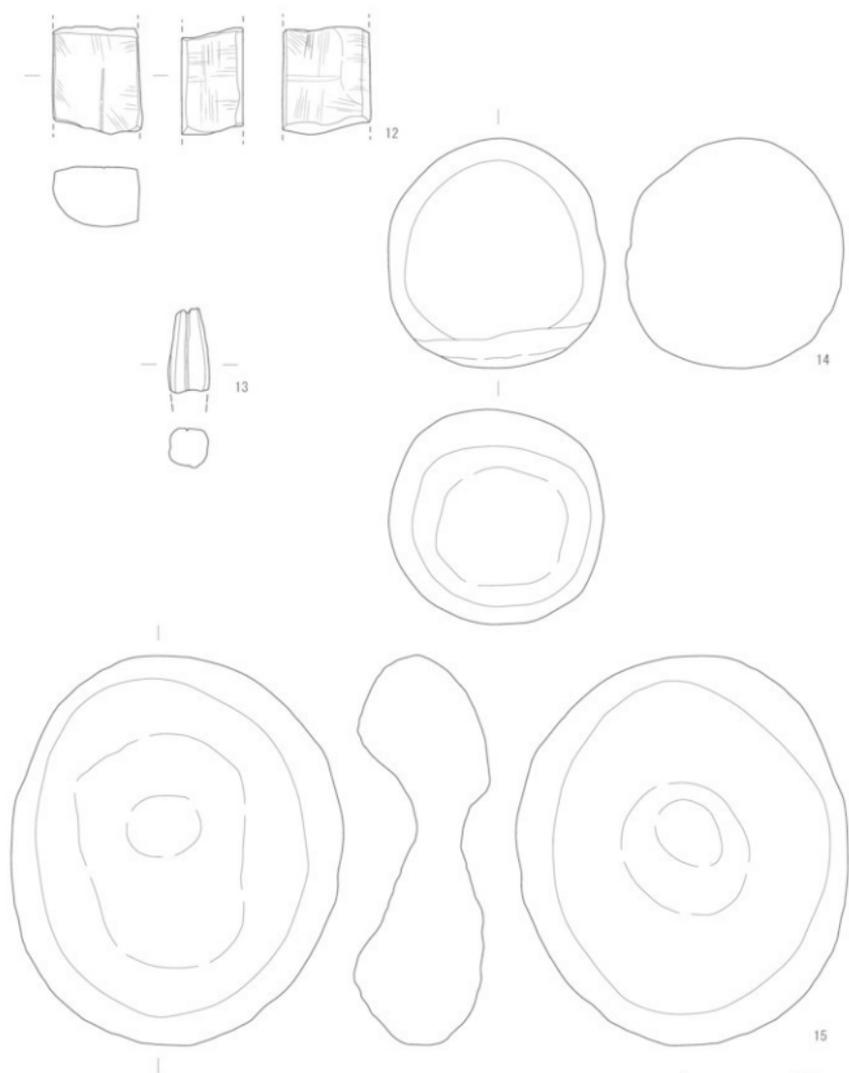


図 35 5層石器 (RQ) 実測図

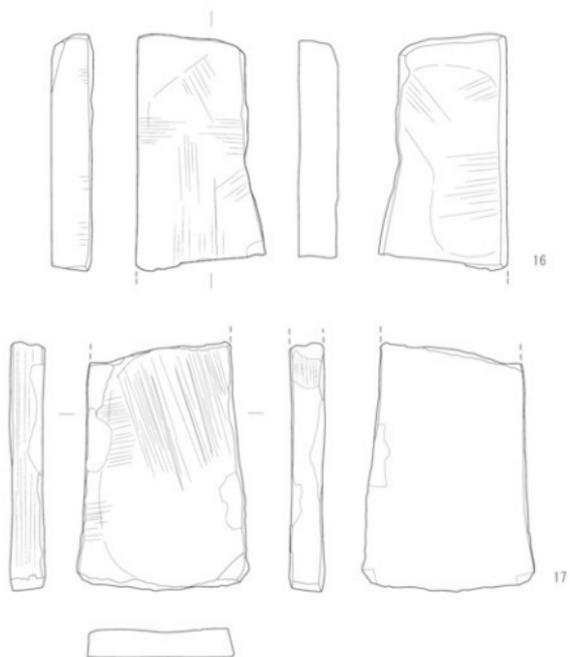


图 36 1 区石器 (RQ) 实测图

0 5cm

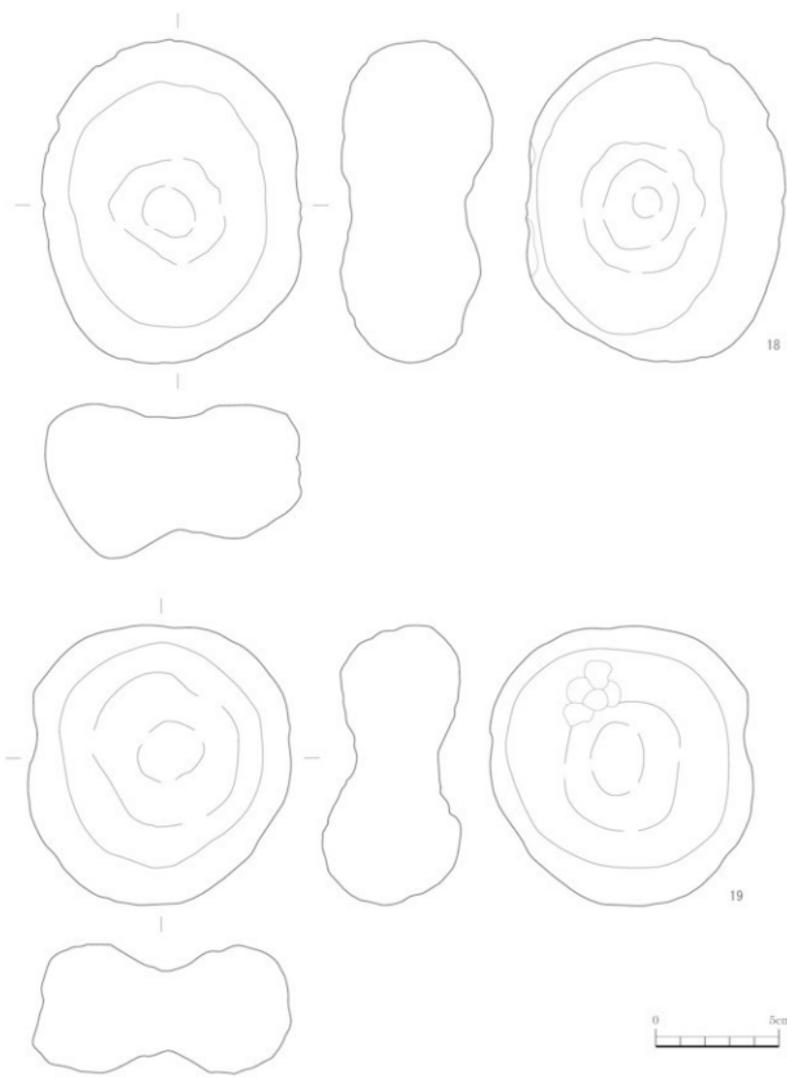
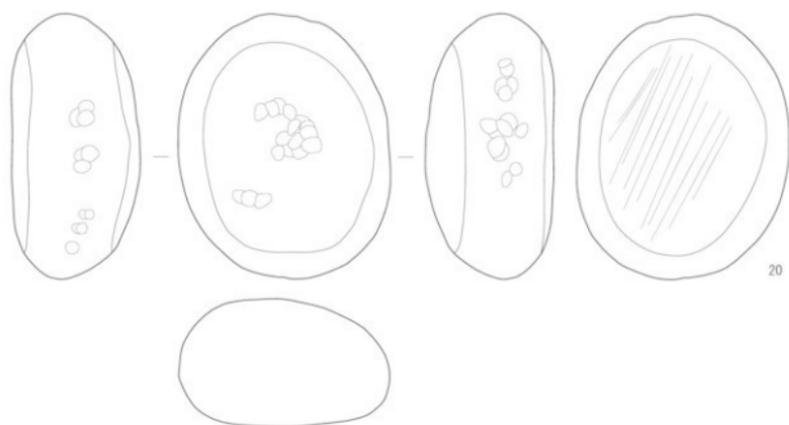
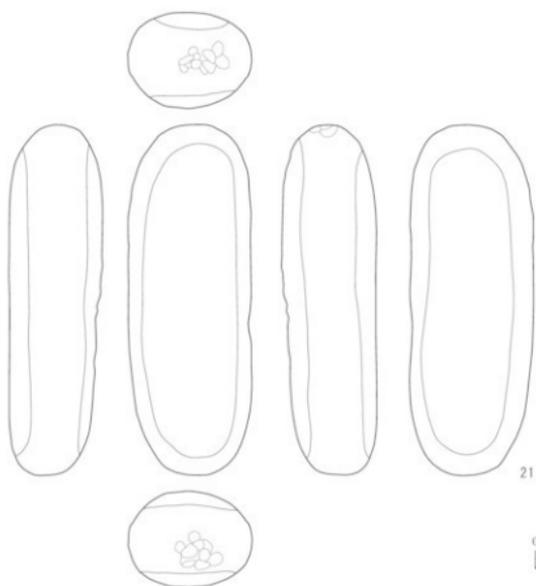


図 37 1区石器 (RQ) 実測図



20



21



图 38 1 区石器 (RQ) 实测图

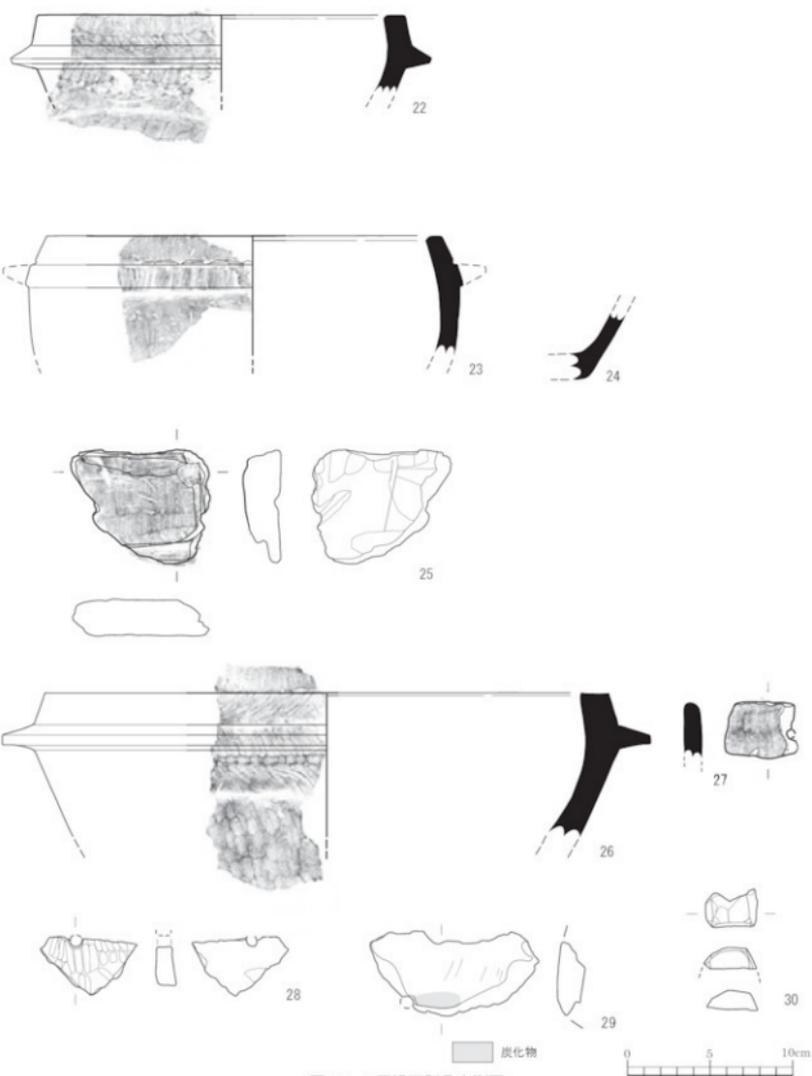


图 39 1区滑石製品実測図

## 2-2 花岡古町遺跡 2 区の調査

花岡古町遺跡 2 区は、自動車道本線の東西に並走する側道を連結する道路の予定地区にあたり、 $10 \times 35$  m 程度の比較的狭い調査区を設定した。

2 区では、掘立柱建物 (SB) 3 棟、柵列 (SA) 3 条、土壇 (SK) 9 基、溝 (SD) 2 条、SX (その他) 1 基を検出した。調査区が狭小なため、掘立柱建物、溝は、いずれもその一部を検出したにとどまっている。

2 区の基本層序は次のとおりである。6 層：暗褐色土 (6a 層) または褐色土 (6b 層) で土師器、須恵器、陶磁器を多量に含む包含層である。7 層：にぶい黄褐色土で 7a 層及び 7b 層に細分された層である。各細分層の上面が遺構確認面となった。なお、包含層出土遺物を、本節の末尾に掲載している。

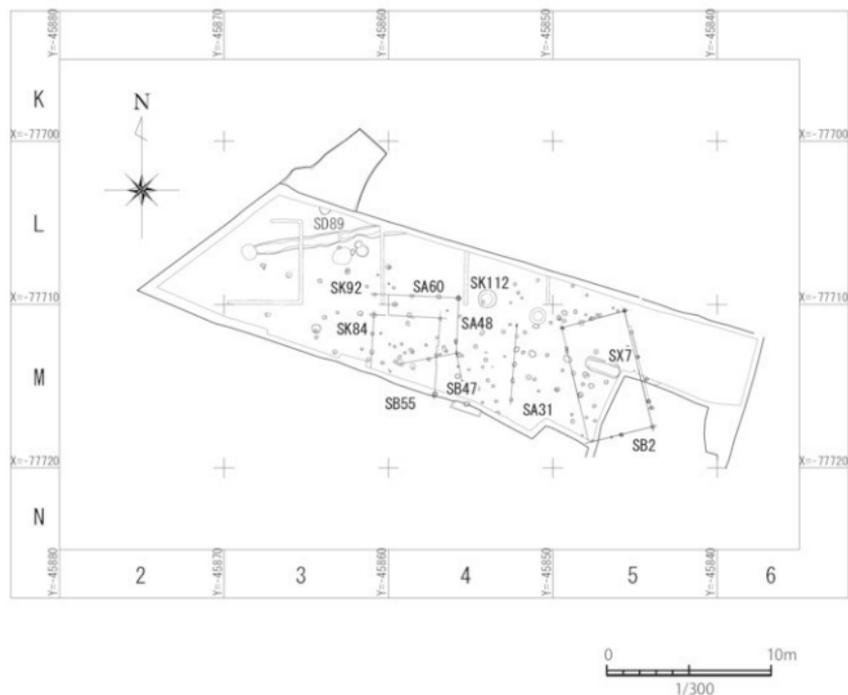
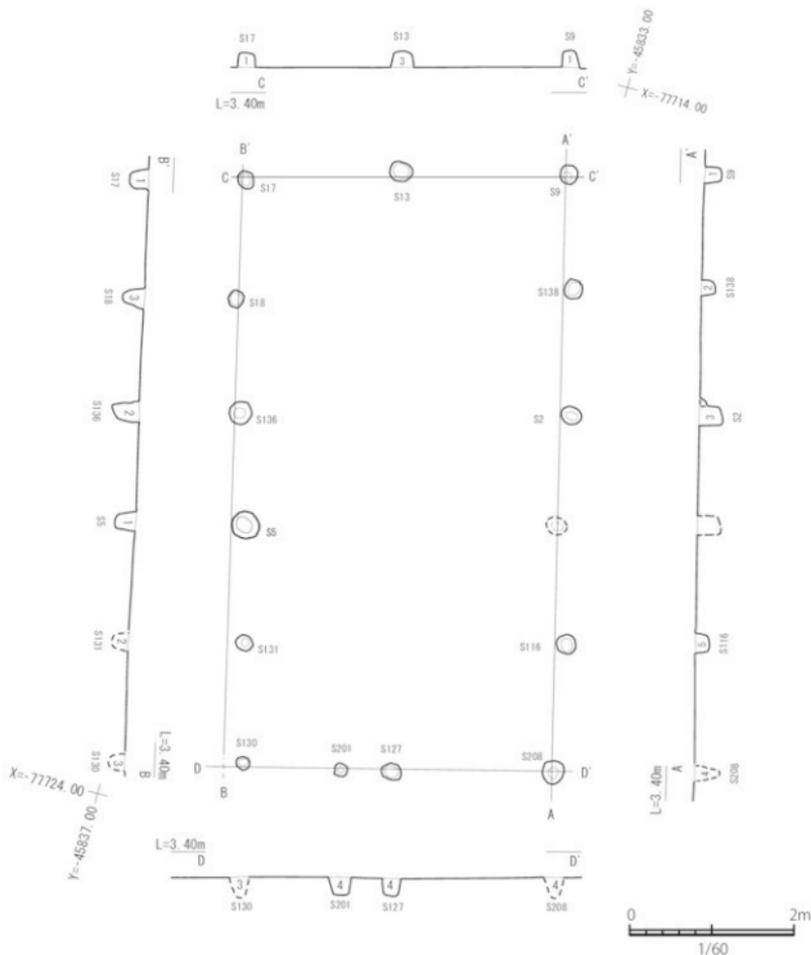
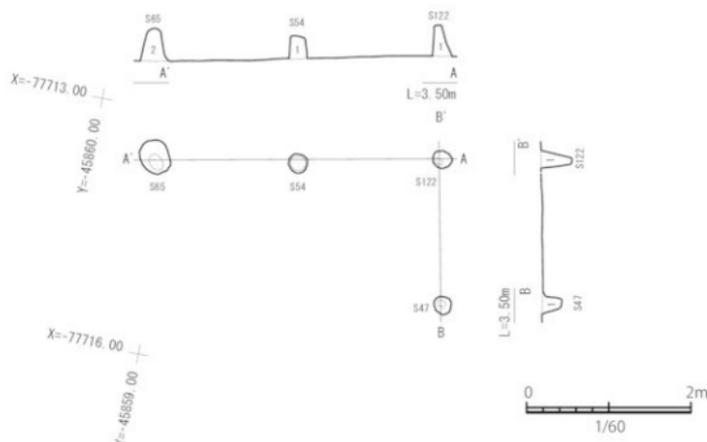


図 40 2 区遺構配置図 (1/300)



- 1 にふい黄褐色 (10YR4/3) 5mm前後の鉄分粒が散在する。2~3mmの小石、炭化物も若干湿ざる。しまり強い。やや粘性あり。
- 2 にふい黄褐色 (10YR4/3) 5mm前後の鉄分粒が散在する。2~3mmの小石、炭化物も若干湿ざる。小礫、土器片を含む。  
ややしまりが弱くなる。やや粘性あり。
- 3 灰黄褐色 (10YR4/2) 5mm前後の鉄分粒が散在する。5mm前後の小石、焼土粒、炭化物が若干湿ざる。1よりもしまり弱い、1よりも粘性強い。
- 4 暗褐色 (10YR3/3) 2mm前後の炭化物、焼土粒、マンガン粒を若干含む。2cm前後の小礫も少量含んでいる。しまり強。粘性あり。
- 5 黒褐色 (10YR3/2) 2~3mmの炭粒、焼土粒を若干含む、2cm前後の小礫も少量含む。しまり強。粘性あり。

図41 SB2実測図 (1/60)



- 暗褐色 (10YR3/3) 2mm前後の炭化物、焼土粒、マンガング粒若干含む。2cm前後の小石も少量含む。しまり強い。弱粘性。
- 黒褐色 (10YR3/2) 2~3mmの炭、焼土粒を若干含む、2mm前後の小石を少量含む。しまりあり。弱粘性。

図 42 SB47 実測図 (1/60)

### 2-2-1 掘立柱建物 (SB)

掘立柱建物は、3棟検出している。

#### SB2

南東隅が4区に位置するが、全様が明らかになった掘立柱建物である。M5グリッドに位置する。

長軸を北北西から南南東方向に採る桁行5間×梁行2間の掘立柱建物である。桁行6.8m×梁行3.8mであり、柱間寸法は桁間1.3~1.5m、梁間1.8~2.0mを測る。

柱穴は直径19~28cmの円形を呈し、遺構確認面からの深さは16~32cmであった。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

東側壁の柱穴S2とS116の間にはトレンチが設定されており、本来は柱穴S5に対応する柱穴が存在していたものと考えられる。西側柱穴列のS5およびS136は、他の柱穴より一回り大きくなっている。両柱穴間は西壁中央部であること、SB47との位置関係

を考慮すれば、当該部分がSB2の入口であった可能性が高い。

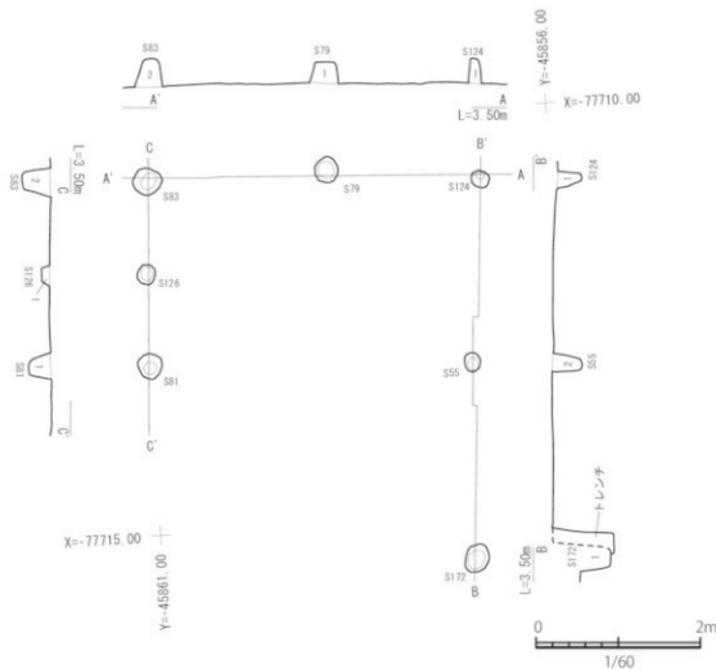
#### SB47

北東隅を確認できただけであるため、全様不明の掘立柱建物である。M4グリッドに位置する。

検出状況においては長軸を西南西から東北東方向に採り、桁行2間×梁行1間の部分が検出された掘立柱建物である。桁行3.4m×梁行1.7mであり、柱間寸法は桁間1.7m、梁間1.7mを測る。

柱穴は直径21~40cmの円形を呈し、遺構確認面からの深さは24~40cmであった。柱穴S65とS122、柱穴S47とS54は、それぞれ底面標高を概ね揃えている。

東柱穴列、北柱穴列とも調査区外に延びているものと考えられる。



- 1 暗褐色 (10YR3/3) 2mm前後の炭化物、焼土粒、マンガン粒若干含む。2cm前後の小石も少量含む。しまり強い。弱粘性。  
 2 黒褐色 (10YR3/2) 2~3mmの炭、焼土粒を若干含む、2mm前後の小石を少量含む。しまりあり。弱粘性。

図43 SB55 実測図 (1/60)

#### SB55

北壁を確認できただけであるため、全様不明の掘立柱建物である。M4 グリッドに位置する。

長軸を南北方向に採り、検出状況においては桁行2間×梁行2間が確認された掘立柱建物である。桁行4.7m×梁行3.9mであり、柱間寸法は桁間2.3~2.4m、梁間1.8~2.1mを測る。

柱穴は直径21~34cmの円形を呈し、遺構確認面からの深さは26~68cmであった。柱穴S172以外の柱穴は、それぞれ底面標高を概ね揃えている。

東柱穴列、西柱穴列とも調査区外に延びているもの

と考えられる。また、西柱穴列S81とS83の間には、やや小振りな柱穴S126が中点を占めている。

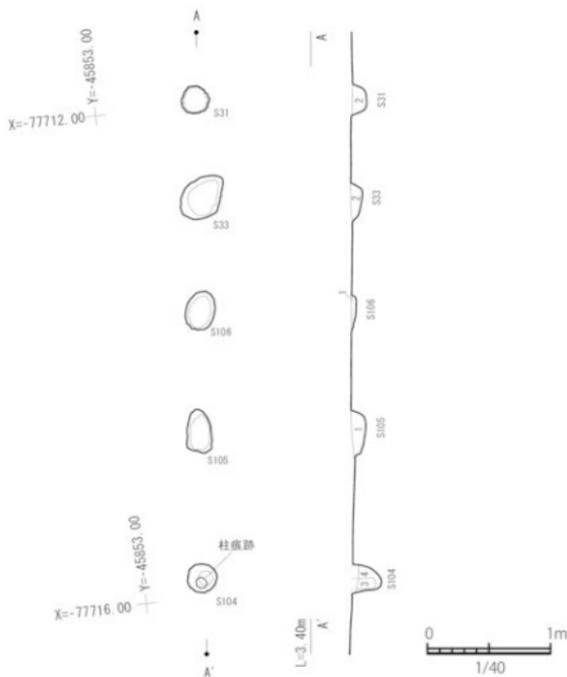
#### 2-2-2 柵列 (SA)

柵列は、3条検出している。

#### SA31

5基の柱穴で構成された、南北に走行する柵列である。柵列は南北に延びる可能性がある。M4 グリッドに位置する。

柵列の長さは総計3.9m、柱間寸法は0.8-1.2mを



- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 5mm前後の炭化物、マンガン粒を若干含む、2mm前後の焼土粒を微量に含む。しまり強い。弱粘性。
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 2~3mmの炭、焼土粒を若干含む、2mm前後の小石を少量含む。しまりあり。弱粘性。
- 3 灰黄褐色 (10Y4/2) 5mm前後の炭化物・マンガン粒を若干含む、ややしまる。粘性が強い。
- 4 暗褐色 (10YR3/3) 2mm前後の炭化物・焼土粒・マンガン粒を若干含む。かたくしまる。

図44 SA31実測図(1/40)

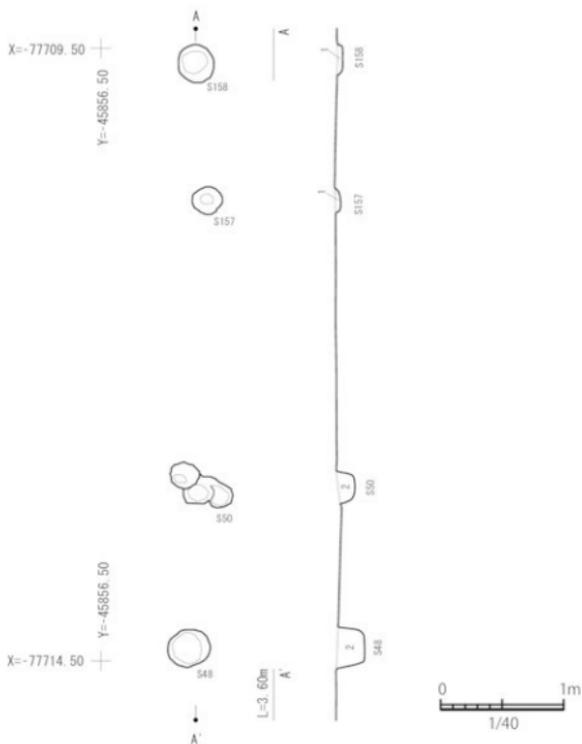
測る。S104を除く各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

柱穴は直径22~43cmの円形を呈し、遺構確認面からの深さは4~23cmであった。各柱穴の底面標高は一致しない。なお、南端の柱穴S104は、他の柱穴と異なり、柱痕跡、柱穴深度が、しっかりした構造を持っている。他の柱穴は長方形に近い平面形を呈し、柱穴深度も浅い。また、北側柱間には小ピットS89が位置している。

S105から土師器環が出土した。



図45 SA31土器(RP)実測図(土師器)



- 1 にふい黄褐色（10YR4/3）5mm前後の炭化物、マンガン粒を若干含む、2mm前後の焼土粒を微量に含む。しまり強い。弱粘性。
- 2 暗褐色（10YR3/3）2mm前後の炭化物、焼土粒、マンガン粒若干含む。2cm前後の小石も少量含む。しまり強い。弱粘性。

図 46 SA48 実測図 (1/40)

#### SA48

4 基の柱穴で構成された、南北に走行する柵列である。北端で SA60 と直交して接し、角を形成する。なお、柵列は南に延びる可能性がある。M4 グリッドに位置する。

柵列の長さは総計 4.8m、柱間寸法は 1.1~2.4m を測る。各柱穴の底面標高はまちまちである。

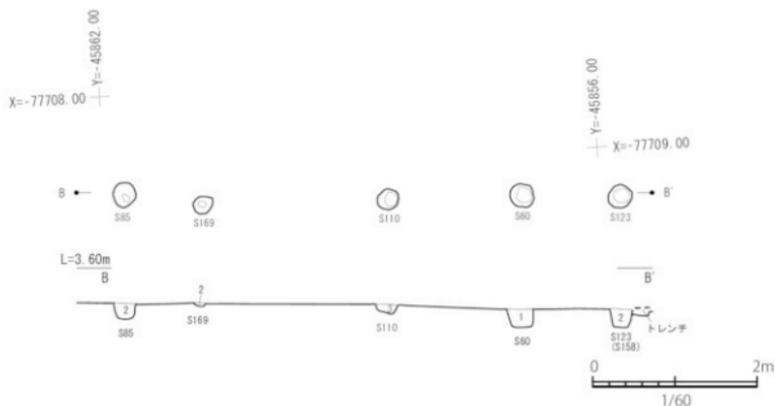
柱穴は直径 24 ~ 33cm の円形を呈し、遺構確認面  
56 花園古町遺跡

からの深さは 4 ~ 22cm であった。各柱穴の底面標高は一致しない。

S50 は 3 基の小ピットが複合した柱穴であるが、筋の通りから、中央に位置する小ピットが本柱、左右の小ピットは副柱と考えることもできる。

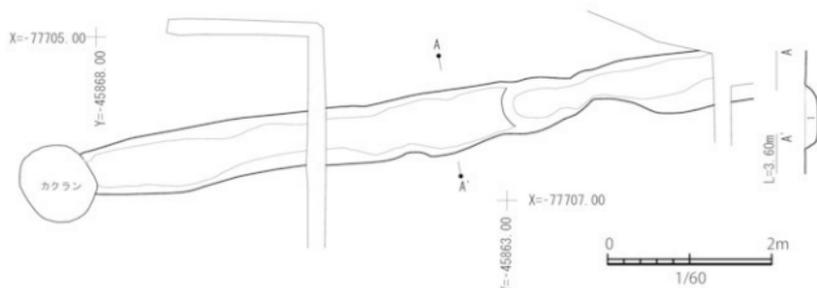
#### SA60

5 基の柱穴で構成された、東西に走行する柵列であ



- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 5mm前後の炭化物、マンガン粒を若干含む、2mm前後の焼土粒を微量に含む。しまり強い、弱粘性。
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 2mm前後の炭化物、焼土粒、マンガン粒若干含む、2cm前後の小石も少量含む。しまり強い、弱粘性。
- 3 黒褐色 (10YR3/2) 2~3mmの炭、焼土粒を若干含む、2mm前後の小石を少量含む。しまりあり、弱粘性。

図 47 SA60 実測図 (1/60)



- 1 黒褐色 (10YR3/2) 2~3mmの炭、焼土粒を若干含む、2mm前後の小石を少量含む。しまりあり、弱粘性。

図 48 SD89 実測図 (1/60)

る。東端でSA48と直交して接し、角を形成する。L4グリッドに位置する。

柵列の長さは総計6.0m、柱間寸法は0.9~2.2mを測る。各柱穴の底面標高はまちまちである。

柱穴は直径23~29cmの円形を呈し、遺構確認面からの深さは3~22cmであった。東端のS60およびS123、西端のS85は、同規模で、各柱穴の底面標高が概ね一致する。

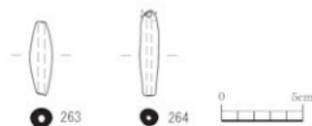
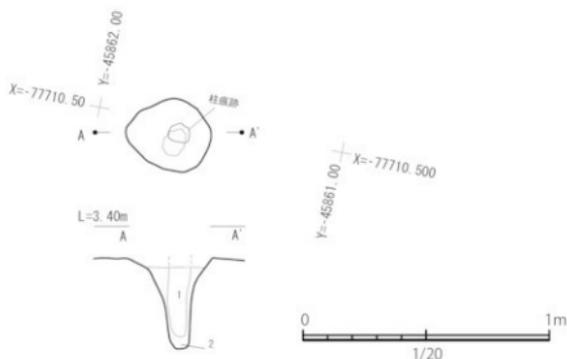
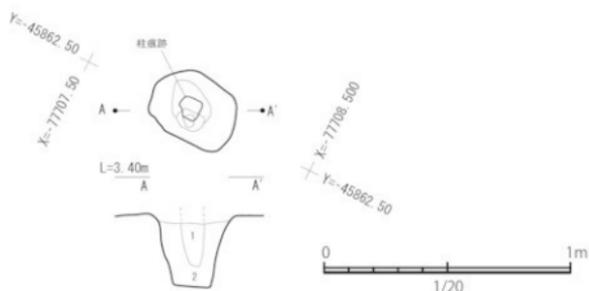


図 49 SD89 土製品実測図



- 1 黒褐色 (10YR 2/3) 混入物は少なく、やや粘性がある(柱穴跡)
- 2 黒褐色 (10YR 3/2) 2~3mmの炭、焼土粒子を若干含み、かたくしまる

図 50 SK84 実測図 (1/20)



- 1 暗褐色 (10YR3/3) 2mm前後の炭・焼土粒子を微量含み、サラサラしている (柱痕跡)
- 2 灰黄褐色 (10YR9/2) 5mm前後の炭化物・マンガング粒を若干含み、かたくしまる

図 51 SK92 実測図 (1/20)

### 2-2-3 溝 (SD)

溝は2条、SD1(後述)およびSD89を検出している。

#### SD89

SD89は、長さ8.7m幅0.8mを測る。検出状況においては西南西から東北東方向に直線走向し、東端は調査区外に延びている。L3グリッドに位置する。

なお、溝の途中で溝底に段差が加えられている。

また、土製魚網錘2点が出土している。

### 2-2-4 土壌 (SK)

土壌は、SK6、23、25、26、50、84、92、112、127の9基が検出されているが、柱痕跡を有し、有意な立地と考えることができる土壌はSK84、92、112の3基である。

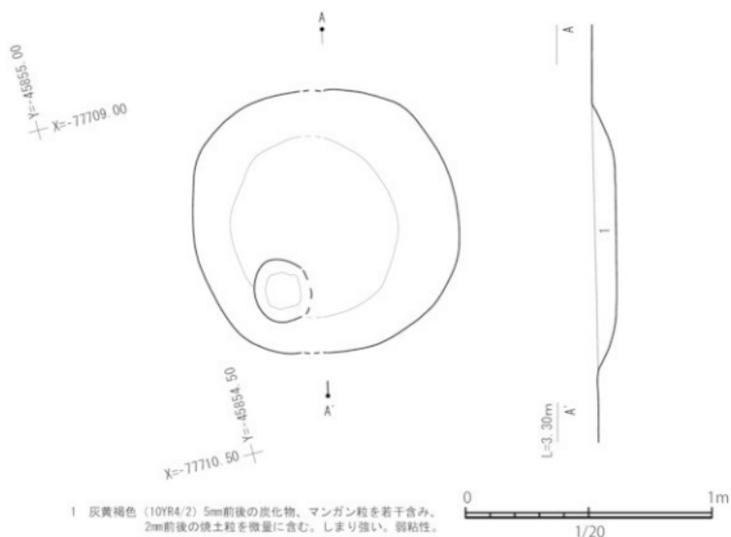


図 52 SK112 実測図 (1/20)

#### SK84

円形を呈する土壌である。M3 グリッドに位置する。

長径 0.3m、短径 0.2m、遺構確認面からの深さ 0.3m を測る。直径 8cm の柱痕跡を確認している。

SB55 の北柱穴列主軸上に並び、SB55 北西角の外側に位置する。

#### SK92

円形を呈する土壌である。L3 グリッドに位置する。

長径 0.4m、短径 0.3m、遺構確認面からの深さ 0.3m を測る。直径 8cm の柱痕跡を確認している。

SK92 と SK84 を結ぶ軸線が、SB2、SB47 の主軸方向に一致すること、柱痕跡を有する構造等から、有意な位置にあると現地調査段階で判断している。

#### SK112

円形を呈する土壌である。土師器 5 点、須恵器 4 点が出土した。L4 グリッドに位置する。

長径 1.0m、短径 1.0m、遺構確認面からの深さ 0.1m を測る。土壌底部には直径 20cm の小ピットが複合している。

SK112 は SA30 と SA48 に挟まれた筋の中位に在り、SA60 の主軸に一致する。すなわち、SK112 は、3 条の柵列が構成する叉路に設けられ、土壌内に土器を多数埋納した、土器埋納土壌である。埋納土器は、土師器の杯、皿、椀、甕ならびに須恵器の杯、杯蓋、甕であり、土師器の甕と椀は底部を抜き、須恵器の甕は頸を欠いて用いている。

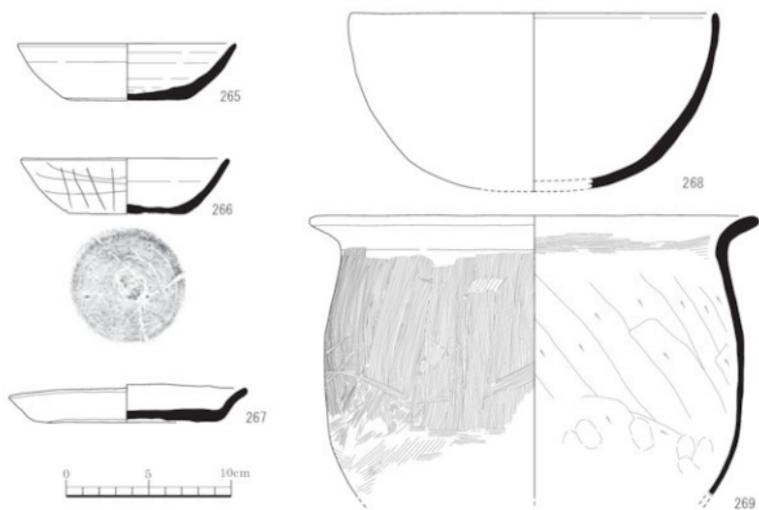


图 53 SK112 土器 (RP) 实测图 (土师器)

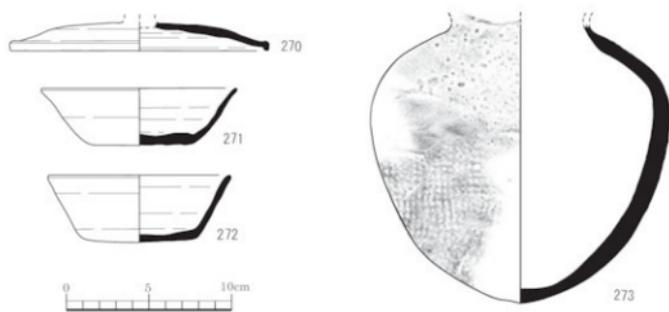


图 54 SK112 土器 (RP) 实测图 (须惠器)



図 55 SX7 実測図 (1/40)

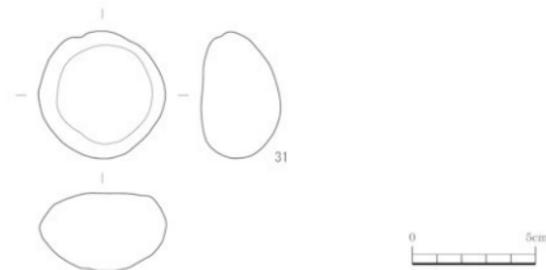


図 56 SX7 石器 (RQ) 実測図

## 2-2-5 その他 (SX)

その他の遺構として、木棺墓 1 基がある。

### SX7

長方形を呈する土壌に、木棺を埋納した墓葬である。長軸は西北西から東南東に向かう M5 グリッドに位置する。

土壌は、長辺 2.1m、短辺 0.8m、遺構確認面からの深さ 0.1m を測る。

土壌内には「木柩」の痕跡を認めることができ、これを木棺と解釈して現地調査を実施している。木棺は、長辺 1.9m、短辺 0.5m、棺材厚 5cm を測る。

SX7 は、土壌底部を平坦に掘りあげ、焼土、小土器片が混じる混和土で墓床を設けている。棺床東端には平石が据えられ、石杖、木棺の支持、あるいは買地等精神的用材となっている。木棺痕跡は「木柩」のみであることから、底板、棺蓋は伴わない墓葬である可能性も高い。被葬者は、墓床の平石の位置から東頭位を採り、「木柩」の法量から単体伸展葬で埋葬されたものと考えられる。墓葬内へ流入した埋土には、土師器片、白磁片の他、焼土粒、炭化物粒が含まれており、火を用いた埋葬方式を想定することができる。なお、磨石 1 点が出土したが、墨痕を認めることはできない。また、釘、鏝等は出土していない。



図 57 その他遺構土器 (RP) 実測図 (須恵器)

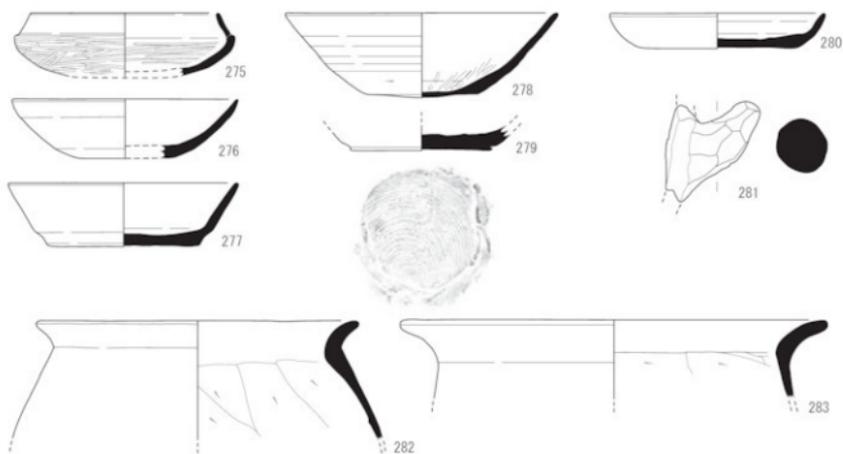


図 58 七層土器 (RP) 実測図 (土師器)



図 59 七層土器 (RP) 実測図 (縄紋土器)



図 60 七層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

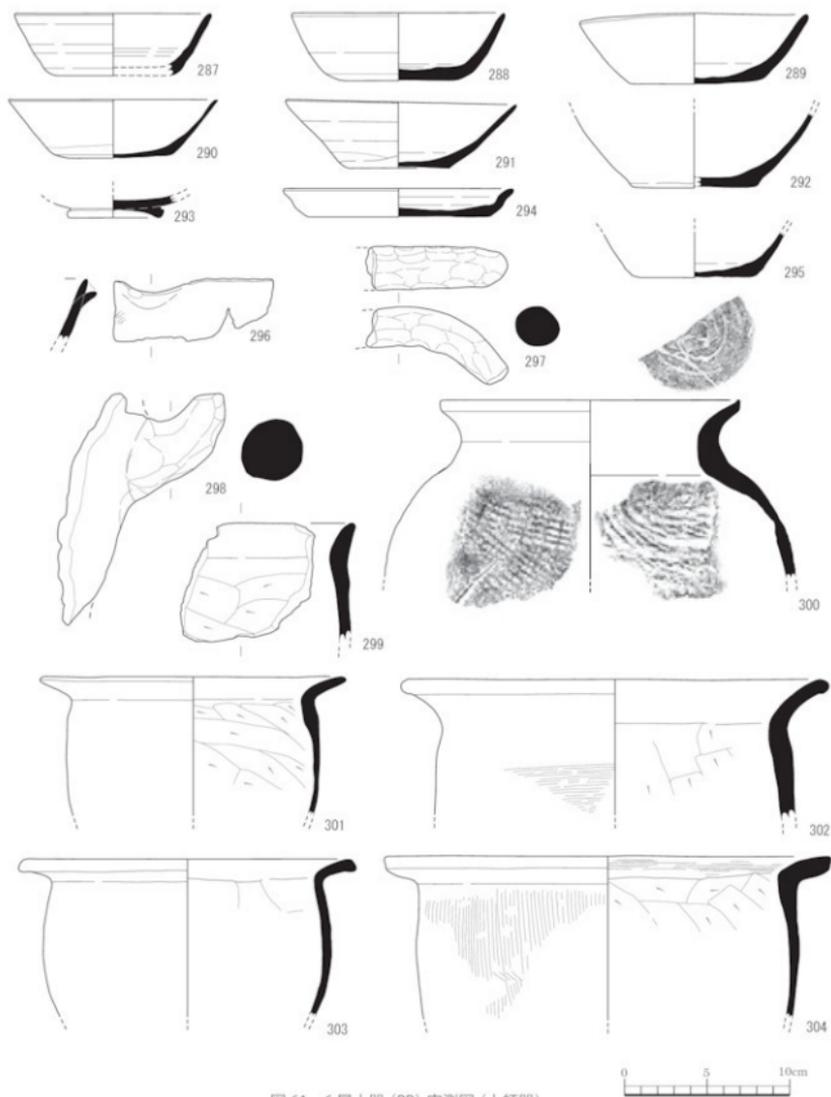


図 61 6層土器 (RP) 実測図 (土師器)

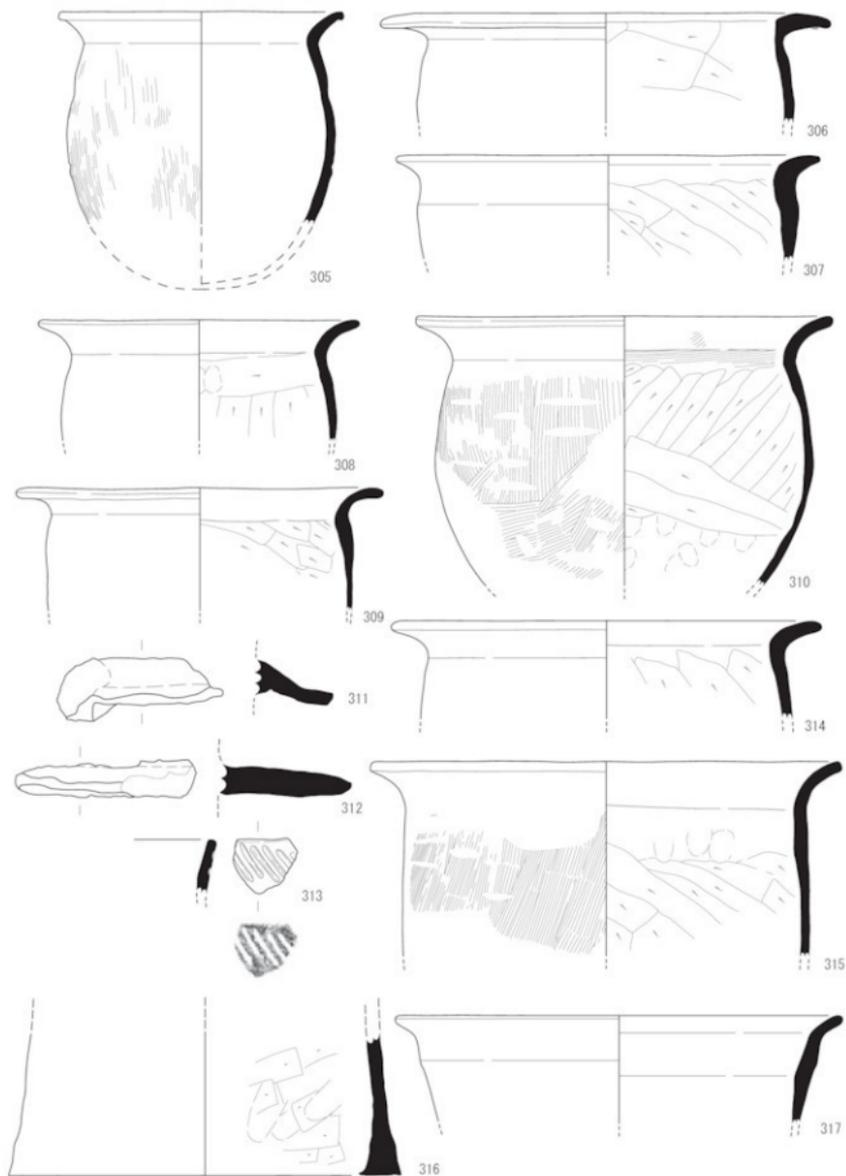


図62 6層土器 (RP) 実測図 (土師器)

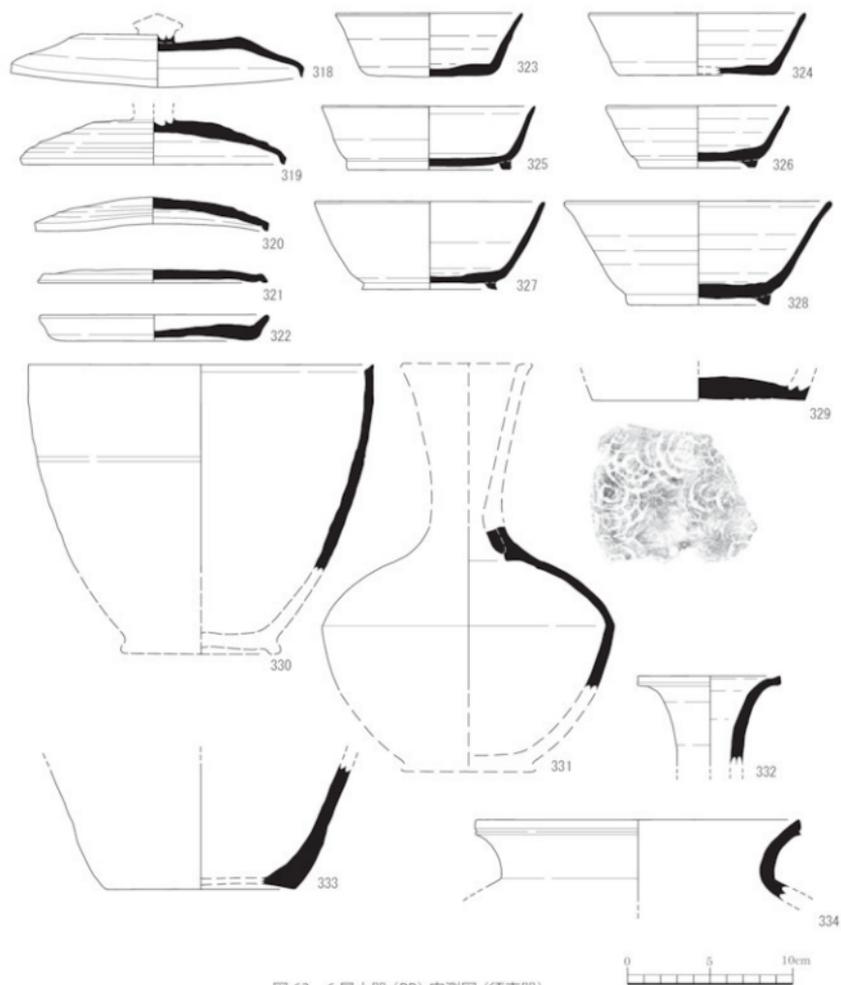


図 63 6層土器 (RP) 実測図 (須恵器)



图 64 5 層土器 (RP) 実測図 (土師器)

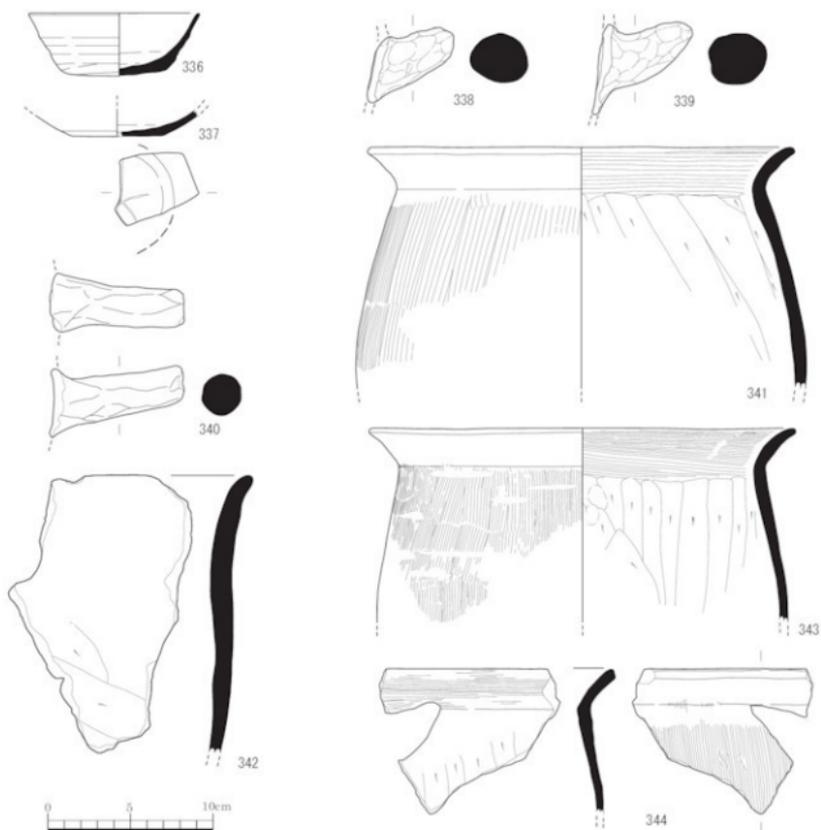


图 65 2 区土器 (RP) 実測図 (土師器)

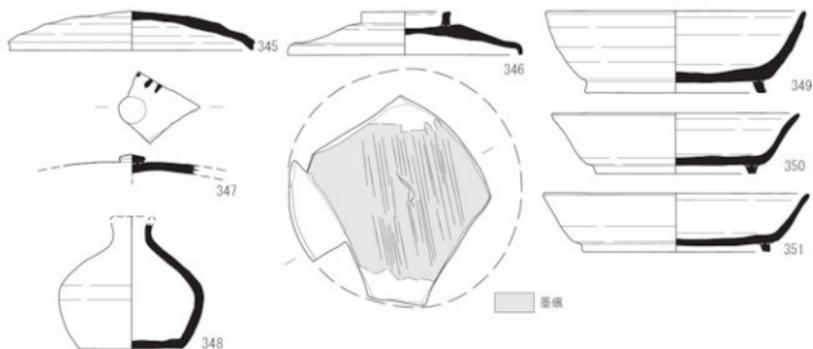


図 66 2区土器 (RP) 実測図 (須恵器)

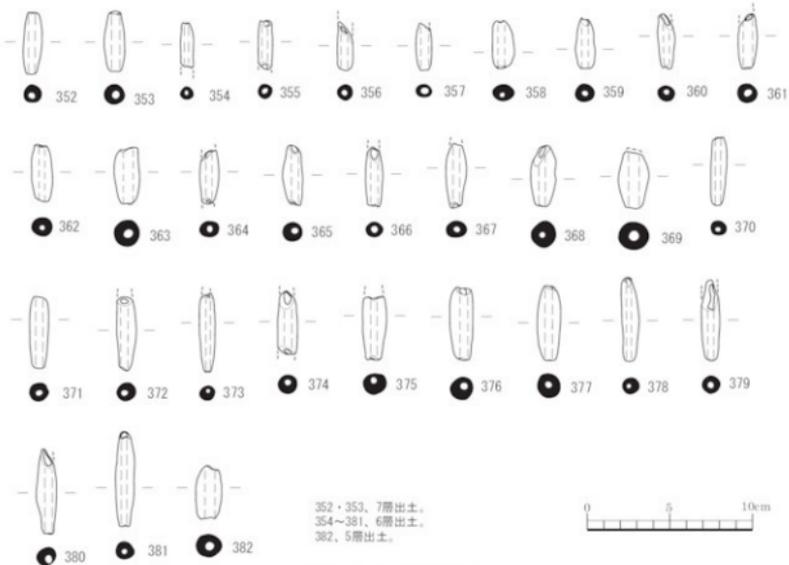


図 67 2区土製品実測図

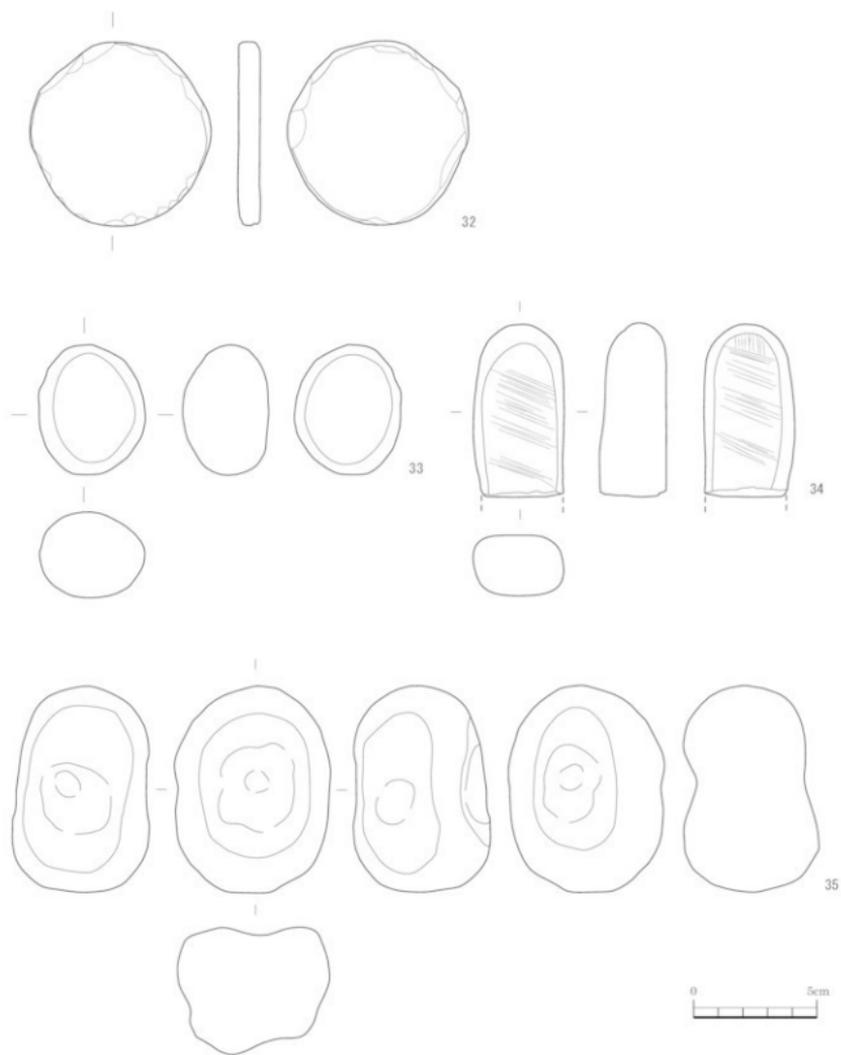


图 68 6層石器 (RQ) 実測図

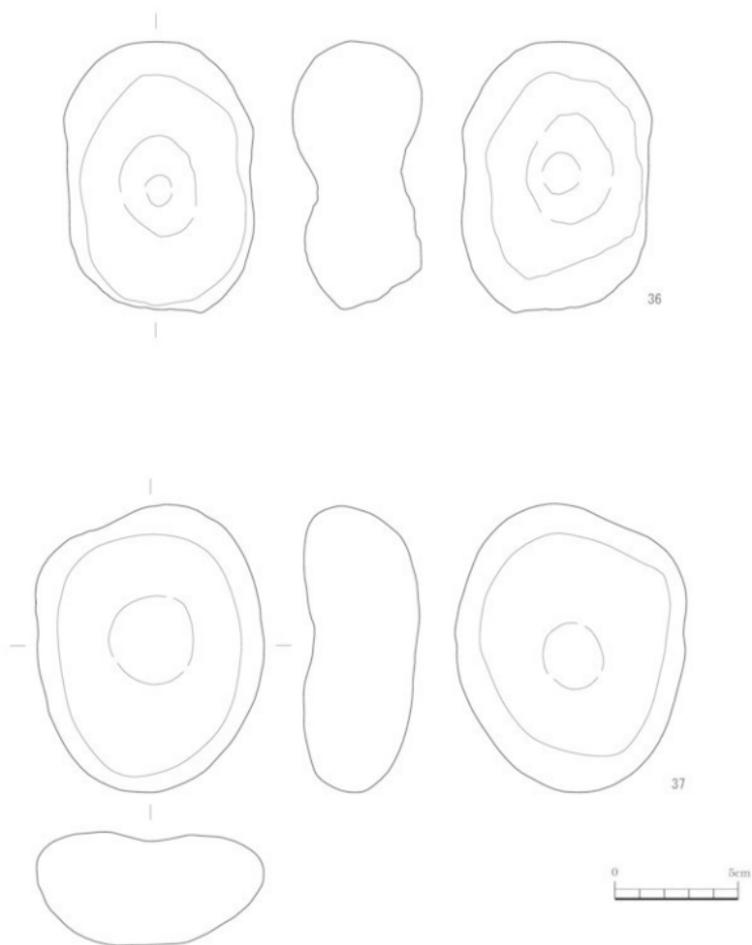


图 69 6層石器 (RQ) 実測図

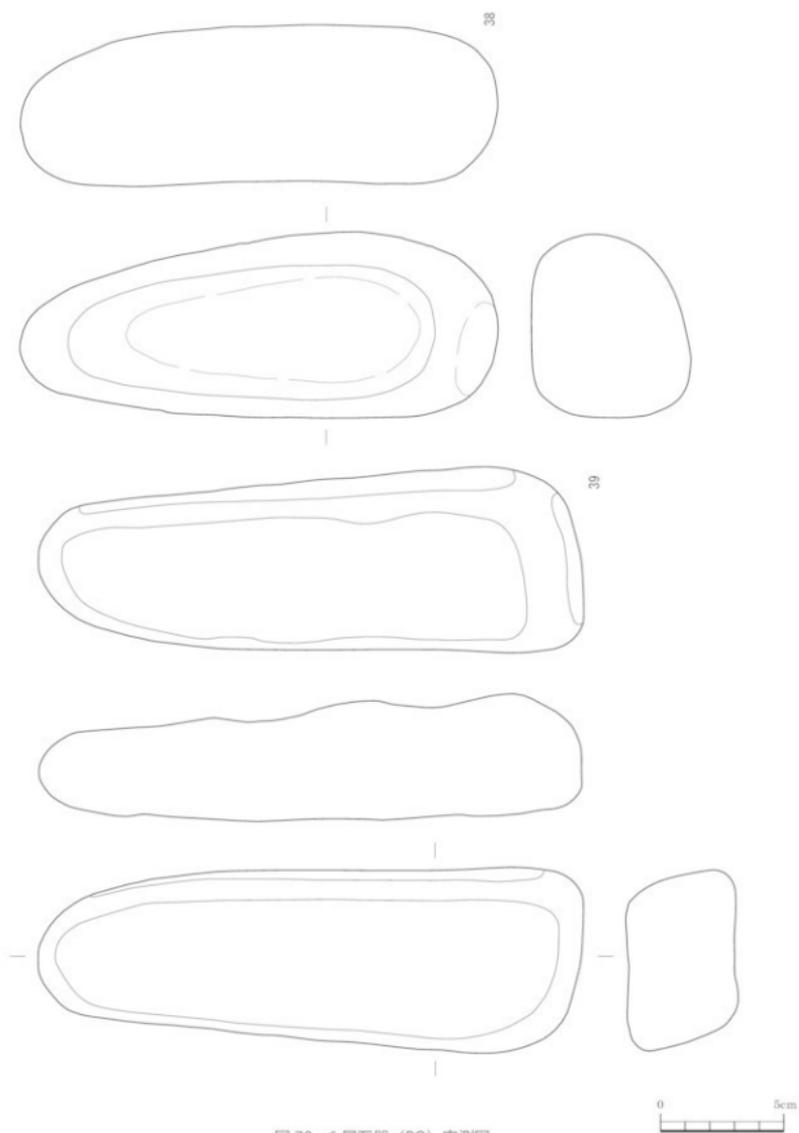


图 70 6 层石器 (RQ) 实测图

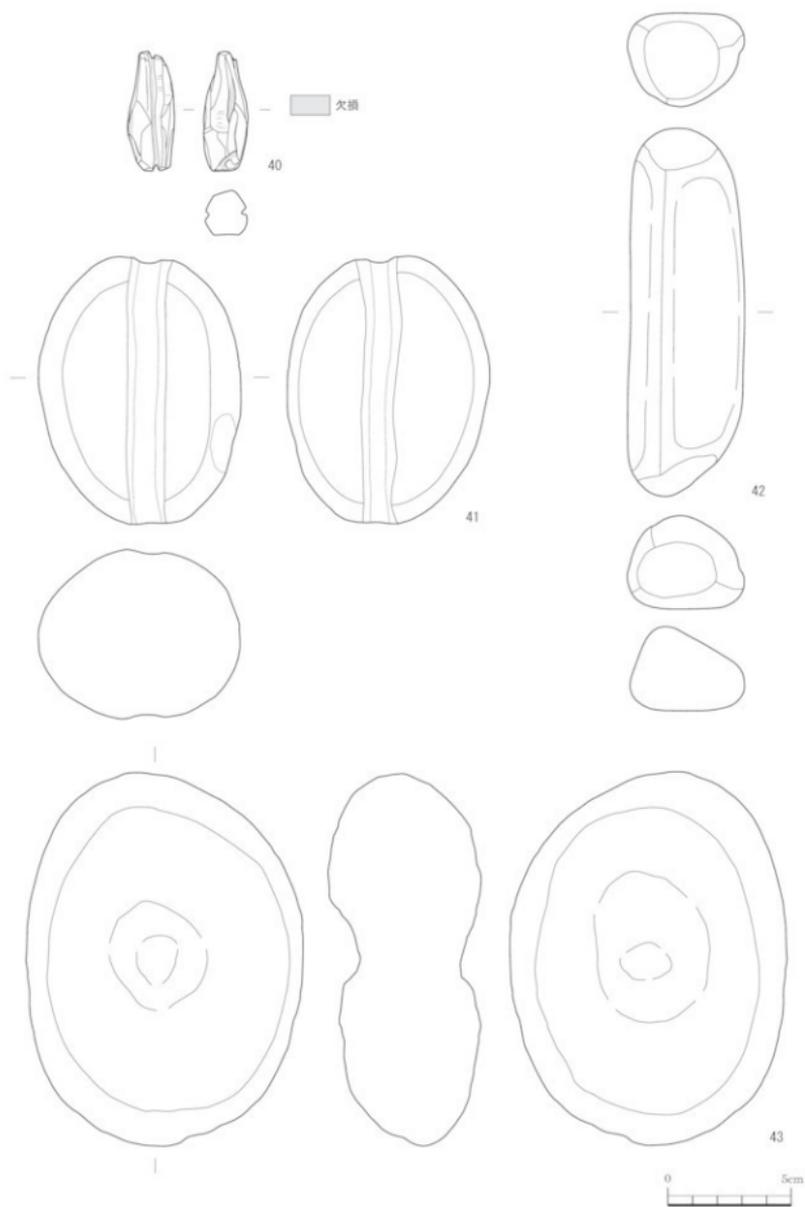


図 71 2区石器 (RQ) 実測図

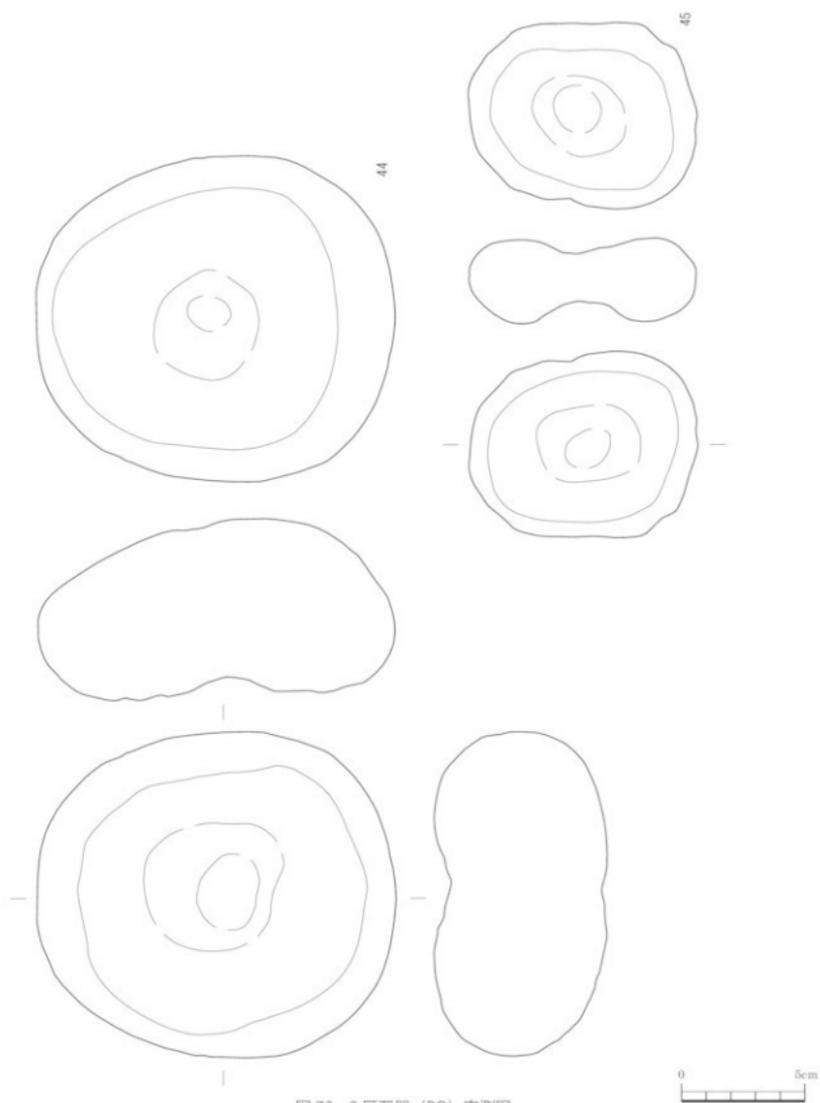


图 72 2区石器 (RQ) 实测图

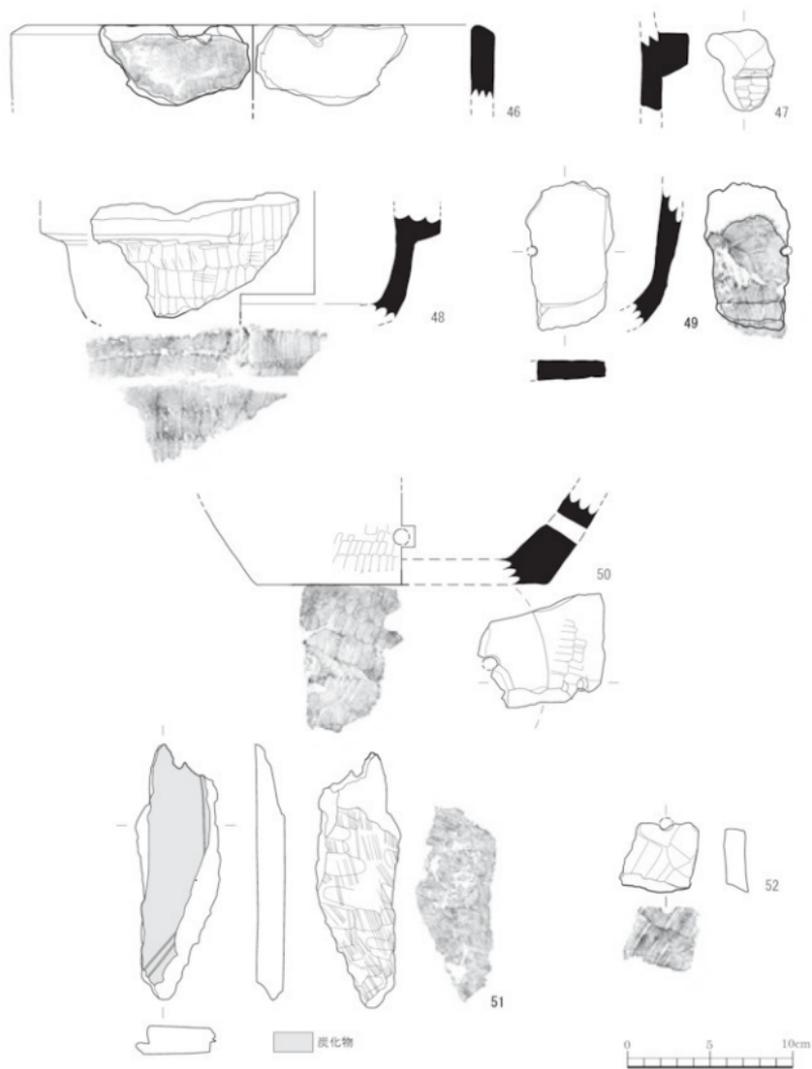


图 73 6層滑石製品実測図

## 2-3 花岡古町遺跡 3 区の調査

花岡古町遺跡 3 区は、側道の建設予定地区にあたり、調査区幅 8 m 程度の細長い形状の調査区を設定した。

3 区では、掘立柱建物 (SB) 1 棟、柵列 (SA) 1 条、溝 (SD) 1 条、土坑 (SK) 6 基を検出した。調査区が細長いため、掘立柱建物、柵列、溝は、いずれもその一部を検出したにとどまっている。

3 区の基本層序は次のとおりである。6 層: 暗褐色土 (6a 層) または褐色土 (6b 層) で土師器、須恵器、陶磁器を多量に含む包含層である。7 層: にぶい黄褐色土で 7a 層、7a' 層及び 7b 層に細分された層である。各細分層の上面が遺構確認面となった。なお、包含層出土遺物を、本節の末尾に掲載している。

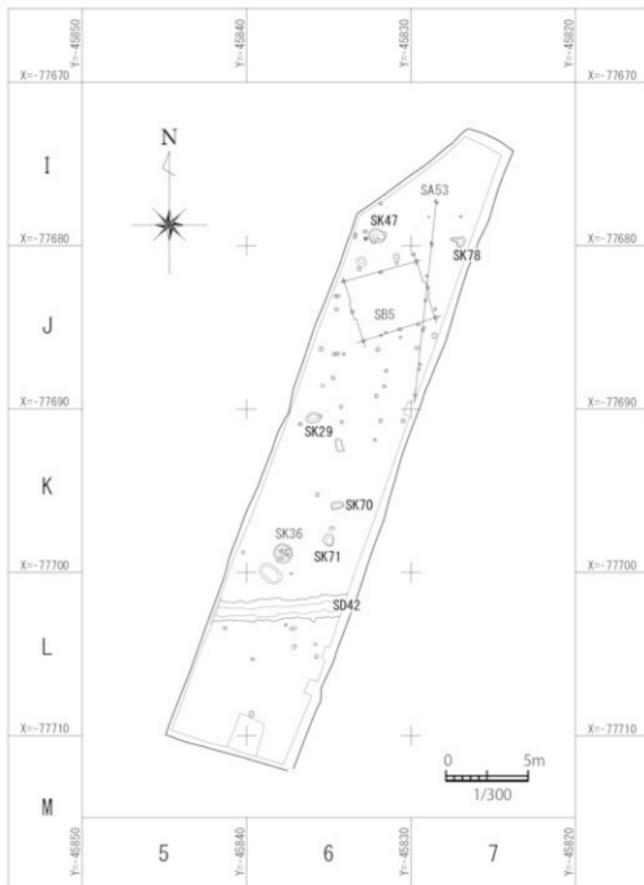


図 74 3 区遺構配置図 (1/300)

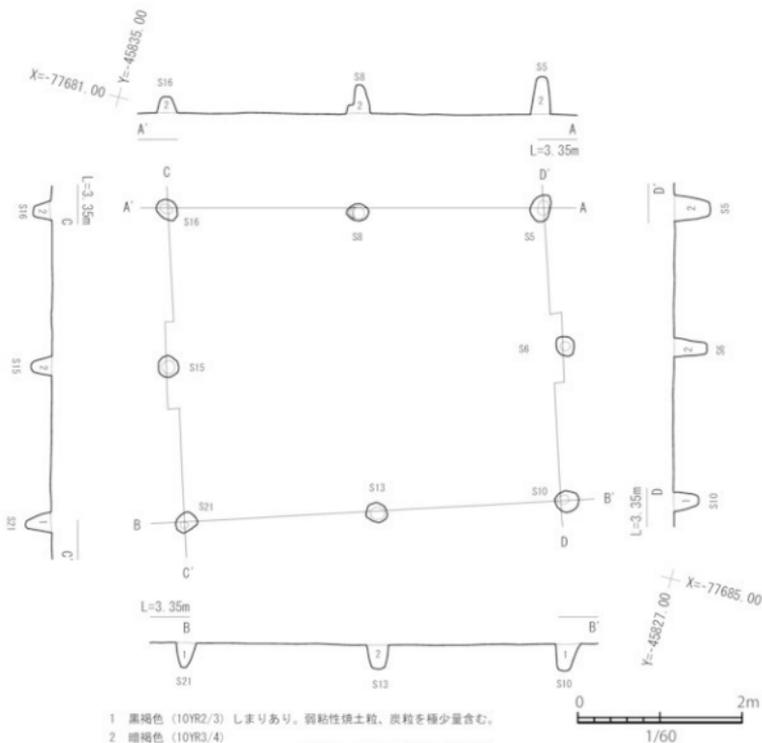


図 75 SB5 実測図 (1/60)

### 2-3-1 掘立柱建物 (SB)

掘立柱建物は、1 棟検出している。

#### SB5

全様が明らかになった掘立柱建物である。J6 グリッドに位置する。

長軸を西南西から東北東方向に採る桁行 2 間×梁行 2 間の掘立柱建物である。桁行 4.5m×梁行 3.6m であり、柱間寸法は桁間 2.2～2.3 m、梁間 1.7～2.0m を測る。

柱穴は直径 27～36cm の円形を呈し、遺構確認面

からの深さは 20～46cm であった。各柱穴は、底面標高を概ね描えている。

### 2-3-2 柵列 (SA)

柵列は、1 条検出している。

#### SA53

柵列の一部を確認できただけであるため、全様不明の柵列である。

検出状況においては 7 基の柱穴 (群) で構成された、南北に走行する柵列である。なお、柵列の北端は S53

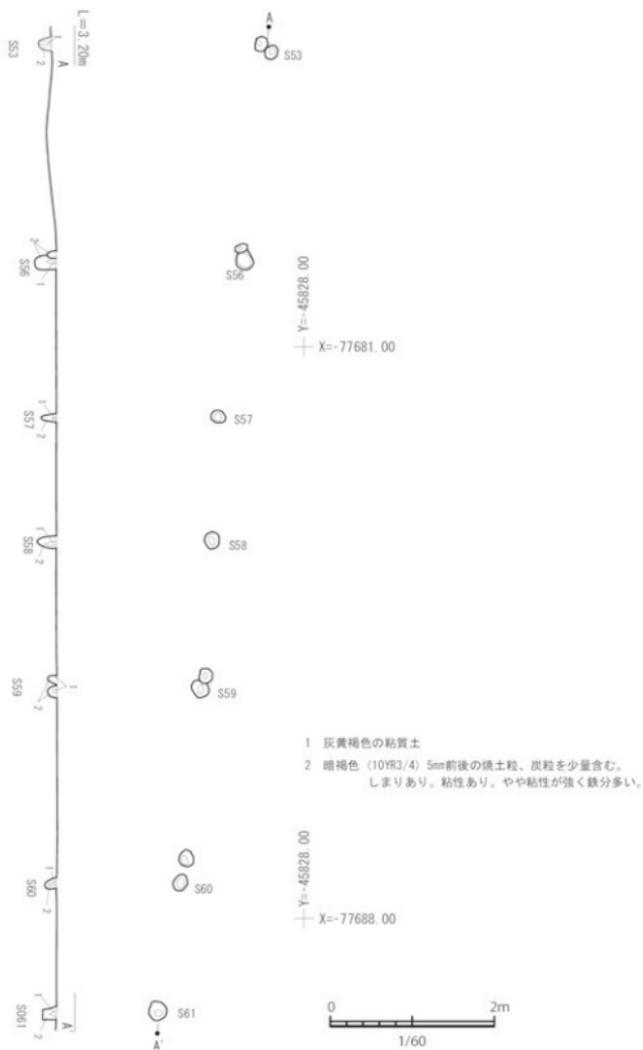


図 76 SA53 実測図 (1/60)

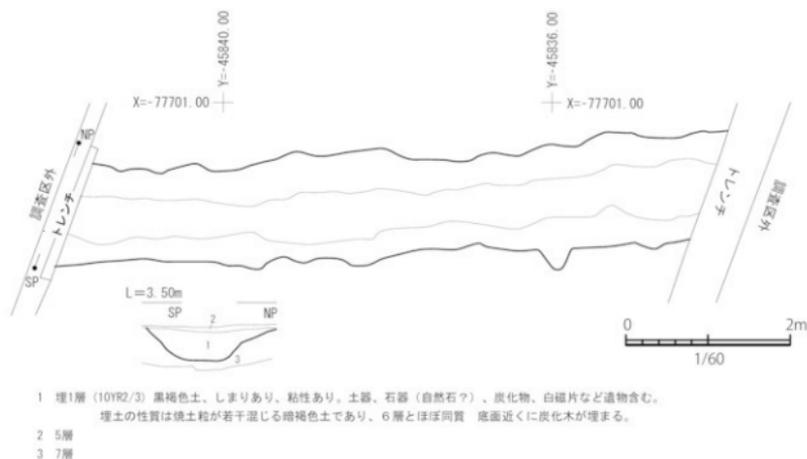


図 77 SD42 実測図(1/60)

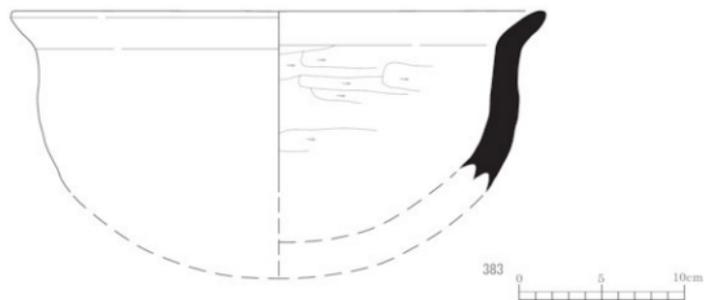


図 78 SD42 土器 (RP) 実測図 (土器)

であるが、南端は調査区外に延びている。

柵列の長さは 12m、柱間寸法は 1.5-2.7m を測る。  
各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

各柱穴は直径 19～25cm の円形を呈し、遺構確認  
面からの深さは 23～54cm であった。各柱穴には、  
直径 22cm 程度の柱痕跡が認められた。なお、北端  
の柱穴 S53、S56、S59、S60 は、2 基の柱穴が隣接  
して群を構成している。これは、柵立柱の建て直し、

78 花園古町遺跡

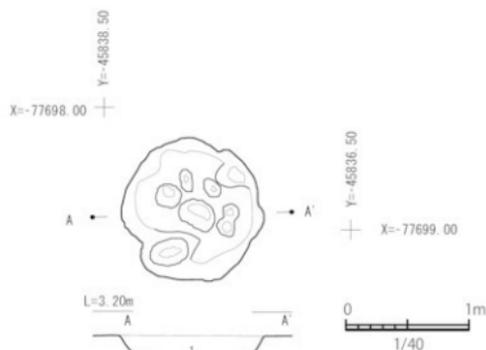
または補助柱の設置があったことを示していると考え  
える。

### 2-3-3 溝 (SD)

溝は、1 条検出されている。

### SD42

SD42 は、花園古町遺跡 2 区で調査した SD89 に連



1 黒褐色 (10YR2/3) しまりあり。弱粘性。焼土粒、炭粒を少量含む。

図 79 SK36 実測図 (1/40)



図 80 SK36 土器 (RP) 実測図 (土師器)

続すると考えている溝である。

SD42 は、長さ 7.6m 幅 1.5m を測る。検出状況においては東西方向に直線走向し、両端は調査区外に延びている。L6 グリッドに位置する。

なお、溝埋土には図示した土師器の他、白磁 (片)、鏝、炭化物 (片) が包含され、溝底面近くには炭化材が流入した状態で位置していた。壁面中位には傾斜変異点があり、SD42 が掘り直し等、一定の保守作業を受けていたことが判明する。

#### 2-3-4 土壌 (SK)

土壌は、SK29、36、47、70、71、78 の 6 基が検出されているが、深度が浅く、不定形な土壌が大半である。

なお、SK36 からは、焼土、骨片、1/2 程度が残存した土製平底鍋が出土し、SK71、SK78 の埋土には、焼土が多量に含まれていた。

#### SK36

円形を呈する土壌である。K6 グリッドに位置する。長径 1.2m、短径 1.1m、遺構確認面からの深さ 0.3m を測る。直径 33cm の柱痕跡を確認している。

埋土には焼土、骨片が含まれ、1/2 程度が残存した土製平底鍋が出土した。

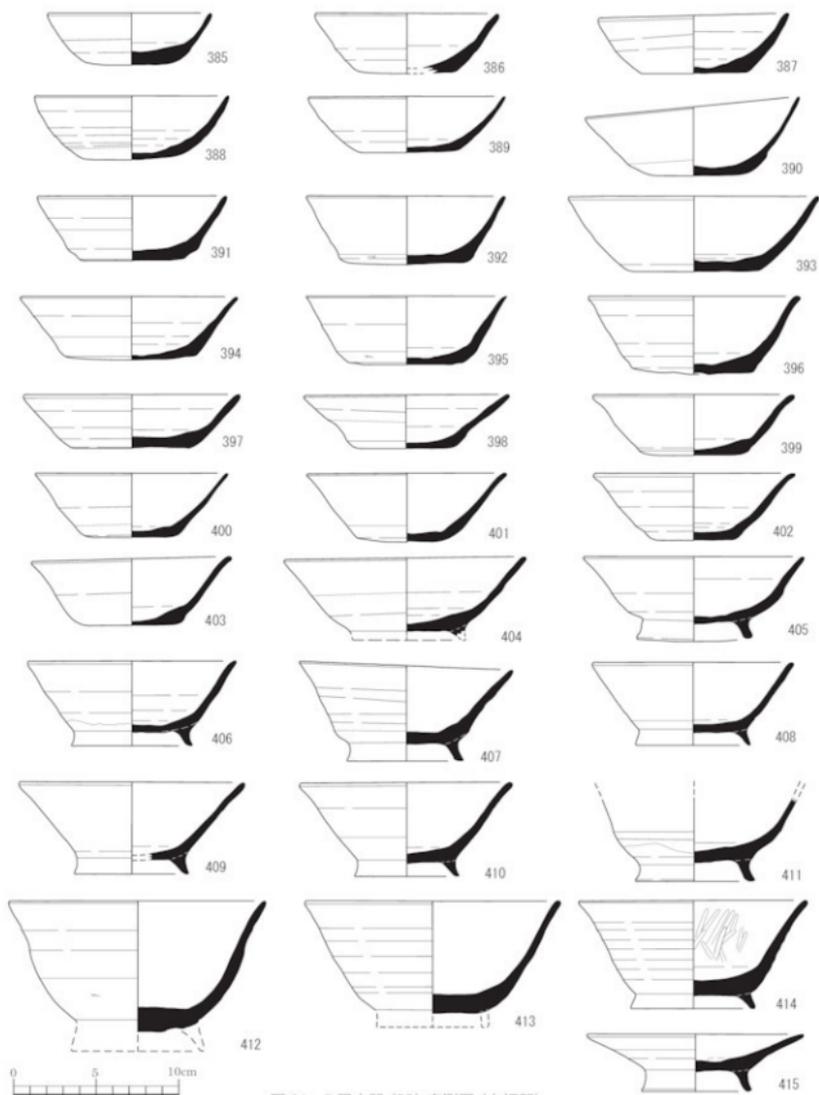


图 81 7 層土器 (RP) 実測図 (土師器)

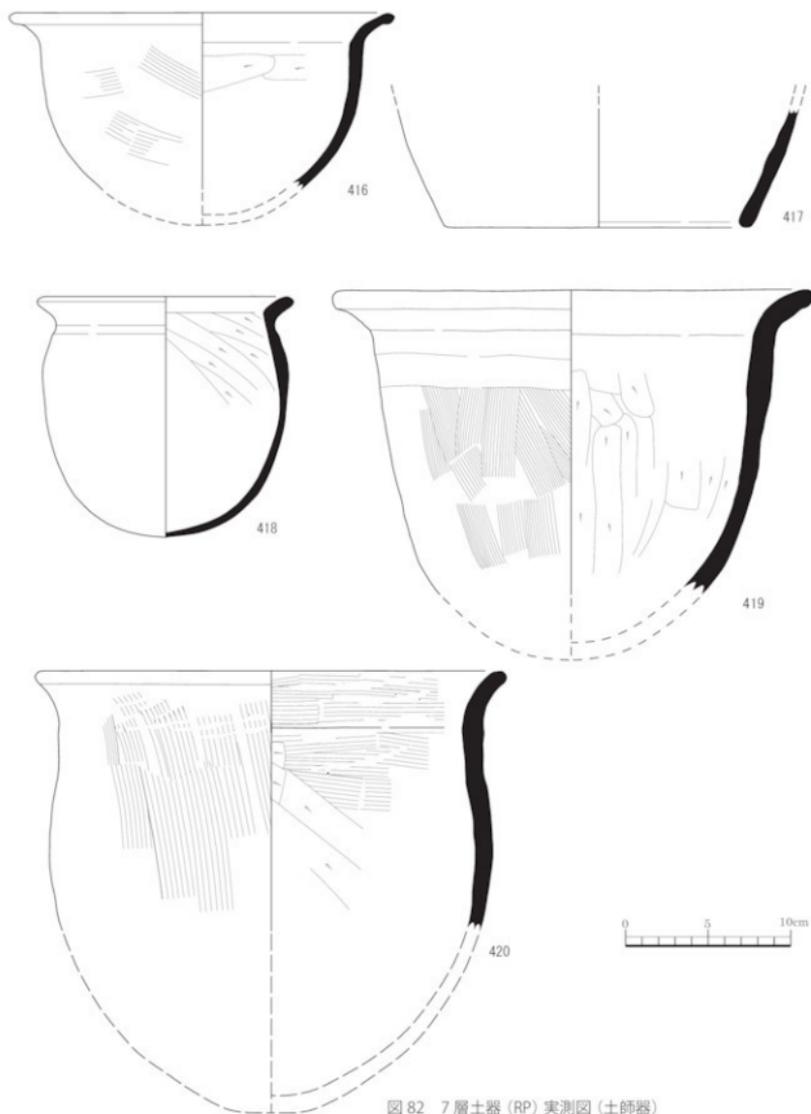


図82 7層土器(RP)実測図(土師器)

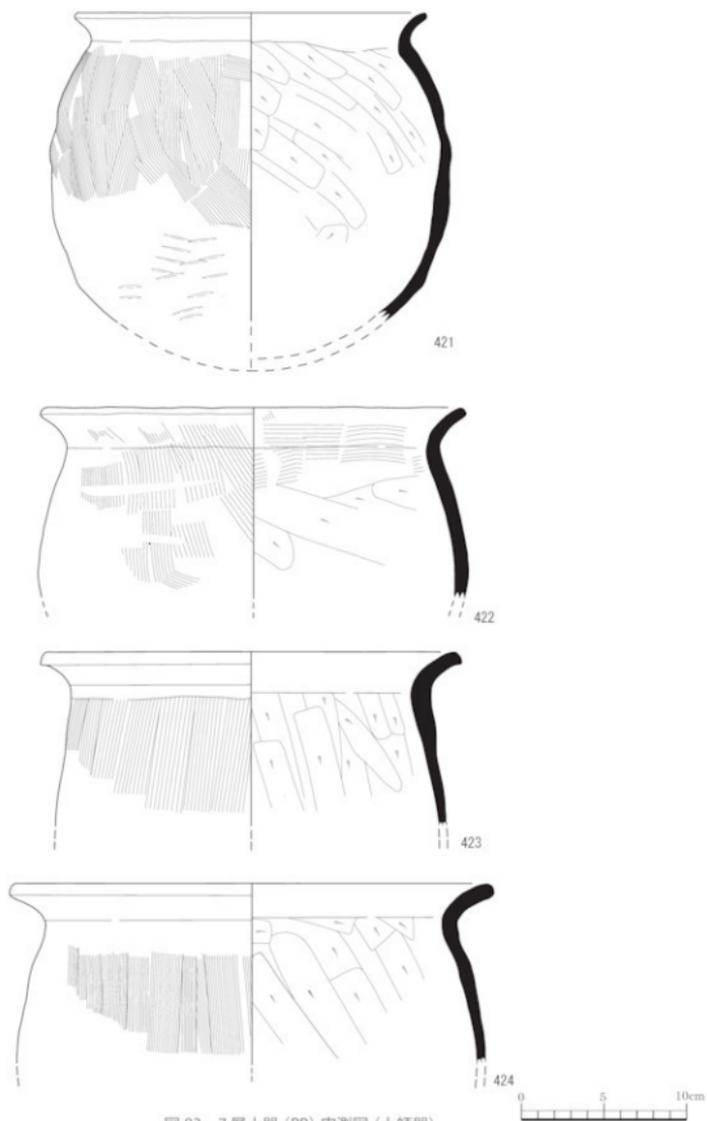


图 83 7 層土器 (RP) 実測図 (土師器)

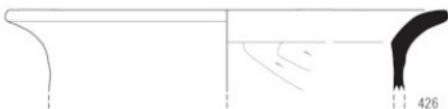
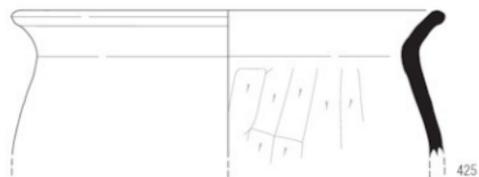


図 84 7層土器 (RP) 実測図 (土師器)



図 85 7層土器 (RP) 実測図 (須恵器)



図 86 6層土器 (RP) 実測図 (土師器)

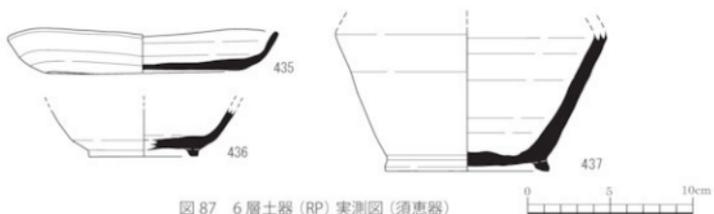


図 87 6層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

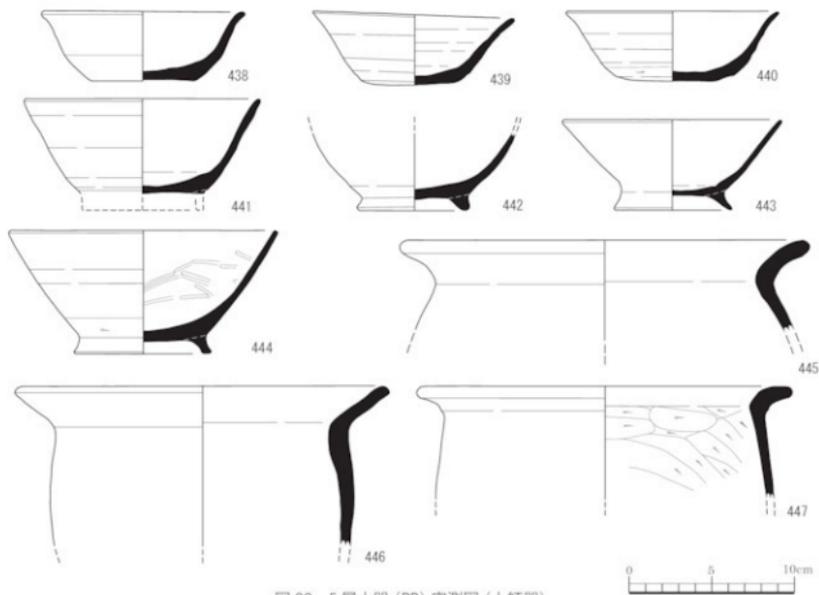


図 88 5層土器 (RP) 実測図 (土師器)



図 89 5層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

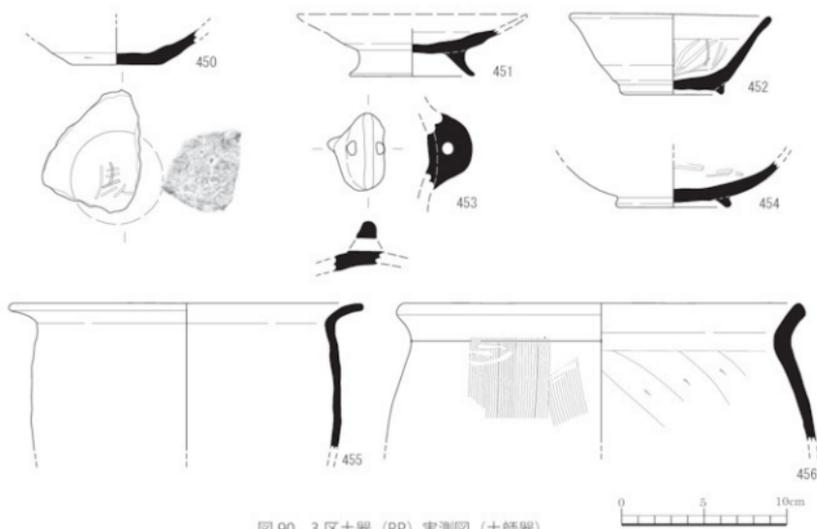


図90 3区土器 (RP) 実測図 (土師器)

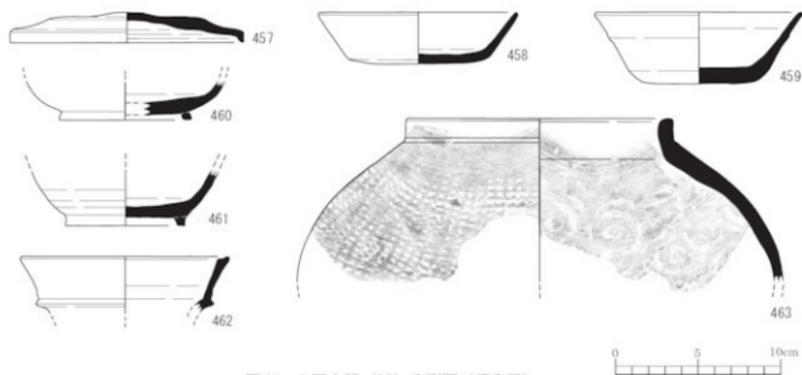


図91 3区土器 (RP) 実測図 (須恵器)

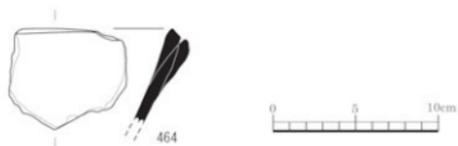
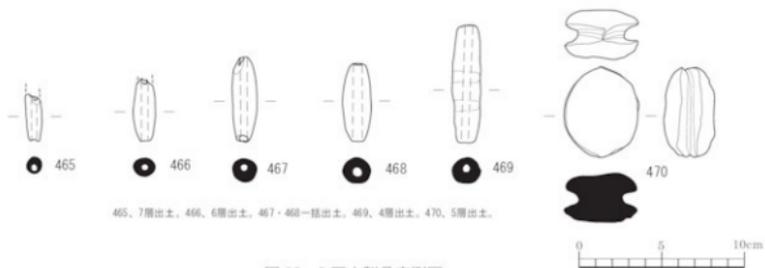


图 92 土器 (RP) 实测图 (3区瓦質土器)



465、7層出土。466、6層出土。467・468一様出土。469、4層出土。470、5層出土。

图 93 3区土製品实测图

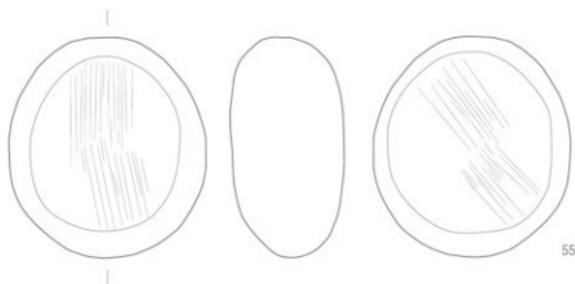
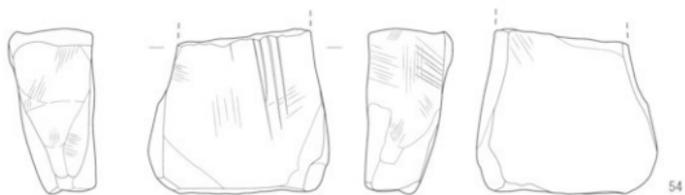
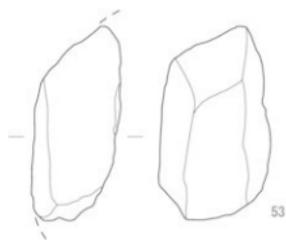


図 94 7層石器 (RQ) 実測図

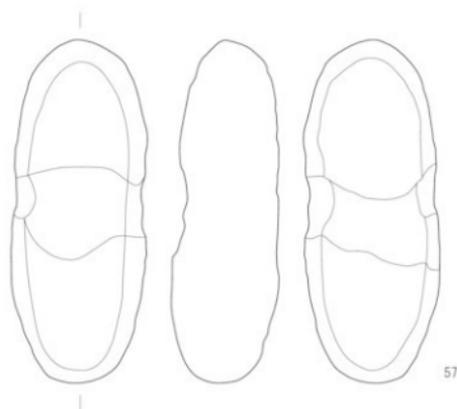
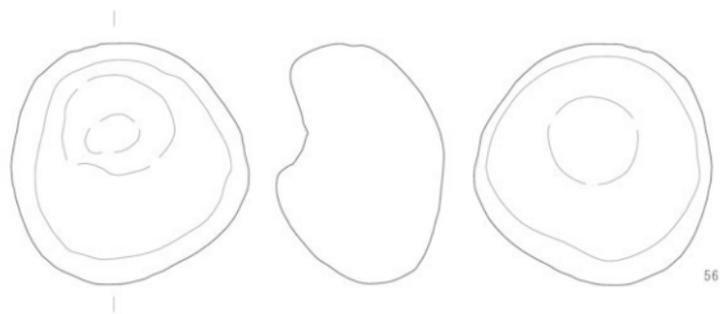


图 95 7 層石器 (RQ) 実測図

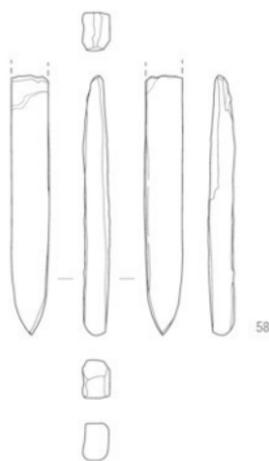


図 96 3区石器 (RQ) 実測図

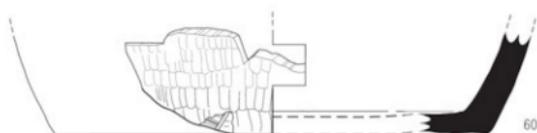


図 97 3区滑石製品実測図

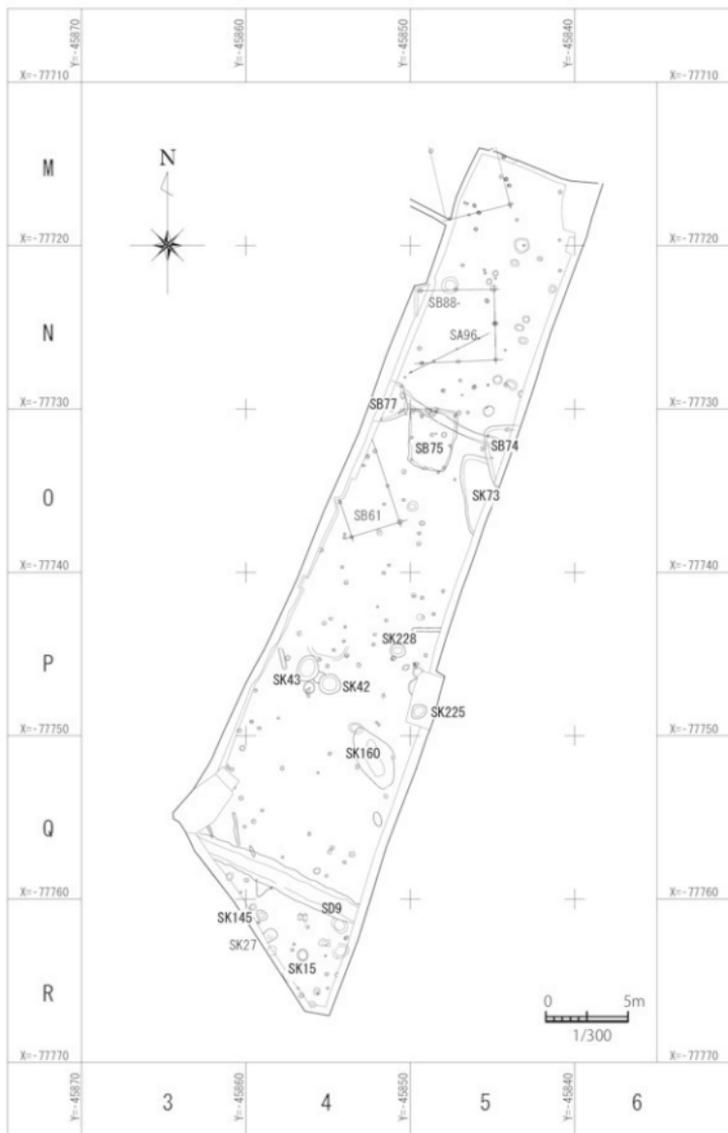


図 98 4 区遺構配置図 (1/300)

## 2-4 花岡古町遺跡 4区の調査

花岡古町遺跡4区は、側道の建設予定地区にあたり、調査区幅8～12m程度の細長い形状の調査区を設定した。

4区では、掘立柱建物(SB)2棟、竪穴建物(SB)3棟、柵列(SA)1条、溝(SD)1条、土壇(SK)44基を検出した。調査区が狭小なため、掘立柱建物、溝は、いずれもその一部を検出したにとどまっている。

4区の基本層序は次のとおりである。6層：暗褐色土で土師器、須恵器、陶磁器を多量に含む包含層である。7層：暗褐色土で7a層、7b層及び7c層に細分された層である。7a層及び7b層の上面が遺構確認面となった。7c層は古代の遺物を主体とする包含層である。8層：にぶい黄褐色土で8a層及び8b層に細分された層である。8a層は、7c層と8b層の漸移層である。9層：暗褐色砂礫で9a層及び9b層に細分された層である。なお、8層以下の層序は基盤層として取り扱われている。また、1～5層は圃場整備に伴う整地以降に形成された層序であり、表土として取り扱う。おって、包含層出土遺物を、本節の末尾に掲載している。

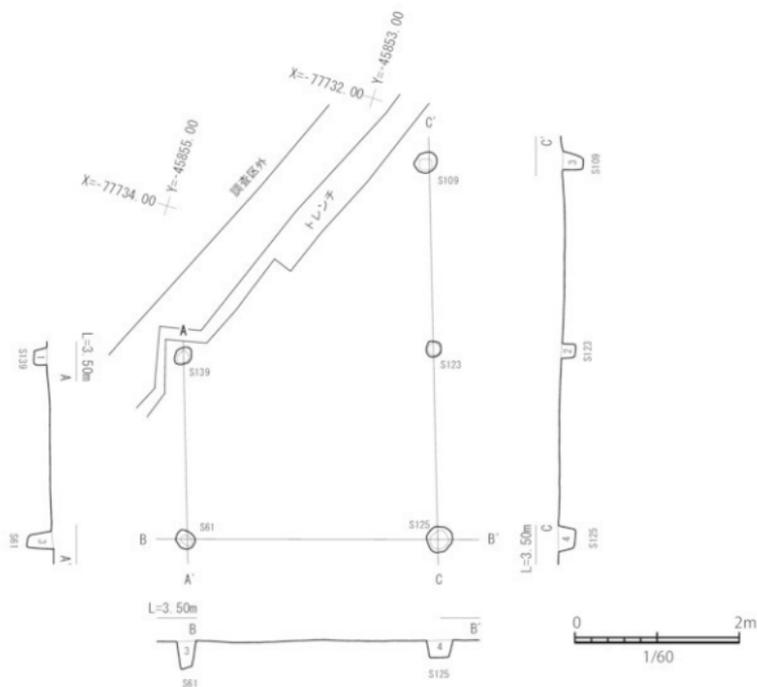
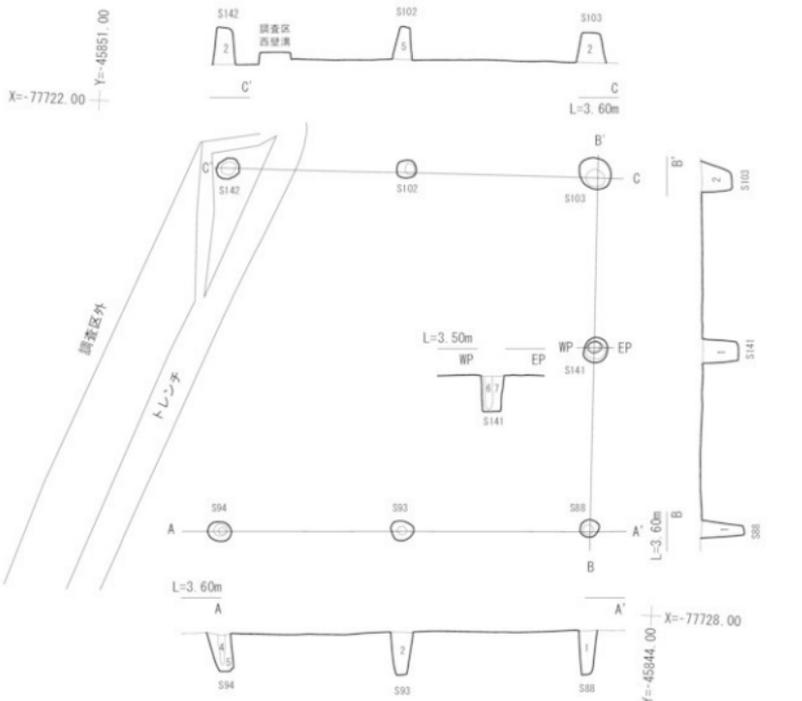


図99 SB61実測図(1/60)



- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 2mm前後の炭粒、焼土粒を若干含む。しまり弱。粘性あり。
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 2mm前後の炭化物、焼土粒、マンガン粒を若干含む。  
2cm前後の小礫も少量含んでいる。しまり強。粘性あり。
- 3 黒褐色 (10YR2/3) 2mm前後の炭粒、焼土粒を少量含み、粘性が強い。しまりあり。
- 4 暗褐色 (10YR3/3) 柱痕跡 混入物は少ない 粘性あり しまり弱い
- 5 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 5mm前後の炭化物を若干含む 粘性あり しまり弱い
- 6 暗褐色 (10YR3/3) 柱痕跡1cm前後の炭化物を上層部に特に多く含む しまりなし 粘性ややあり
- 7 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 1cm前後の小石が数個含む程度で混入物は少ない しまりなし 粘性ややあり

図 100 SB88 実測図 (1/60)

## 2-4-1 掘立柱建物 (SB)

掘立柱建物は、2棟検出している。

### SB61

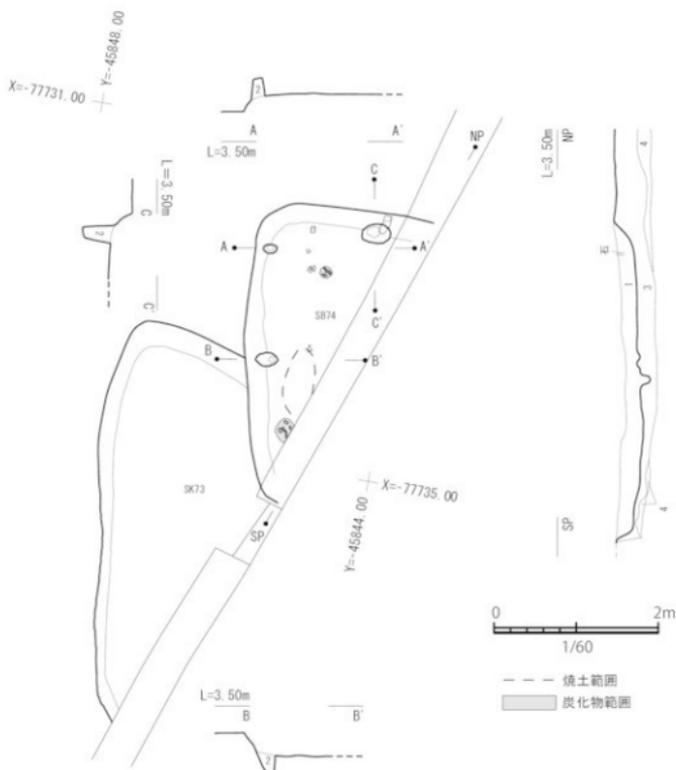
南東隅、南西隅を確認できただけであるため、全様不明の掘立柱建物である。O4 グリッドに位置する。

検出状況においては長軸を北北西から南南東方向に

採る桁行2間×梁行1間の掘立柱建物である。桁行4.7m×梁行3.0mであり、柱間寸法は桁間2.3～2.4m、梁間3.0mを測る。

柱穴は直径21～32cmの円形を呈し、遺構確認面からの深さは17～35cmであった。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

なお、確認された建物隅は、厳密には南東隅だけで



- 1 SB74埋土 暗褐色 (10YR3/3) 1~3cm大のしっかりとした炭化物を多く含む。土器碎片も多く含む。しまりややあり。粘性あり。
- 2 灰黄褐 (10YR4/2) 2~3mmの炭を上層部に多く含む。やや粘性あり。しまりは弱い。焼土粒 (2~3mm) も若干含む。
- 3 7a層 暗褐色 (10YR3/4) しまりあり。粘性あり。Mn (5mm大) 粒を多量に含む。焼土、炭粒を少量含む。
- 4 砂礫層

図 101 SB74・SK73 実測図 (1/60)

あり、建物が調査区の西に延びる可能性もある。

#### SB88

北東隅、南東隅を確認できただけであるため、全様不明の掘立柱建物である。N5 グリッドに位置する。検出状況においては長軸を東西方向に採り、桁行2間×梁行2間の部分が検出された掘立柱建物である。

桁行 4.5m × 梁行 4.3m であり、柱間寸法は桁間 2.2 ~ 2.3 m、梁間 2.1 ~ 2.2m を測る。

柱穴は直径 25 ~ 43cm の円形を呈し、遺構確認面からの深さは 38 ~ 53cm であった。柱穴 S94 では直径 9cm の、S141 では直径 16cm の柱痕跡を確認している。



図 102 SK73 土器 (RP) 実測図 (土師器)

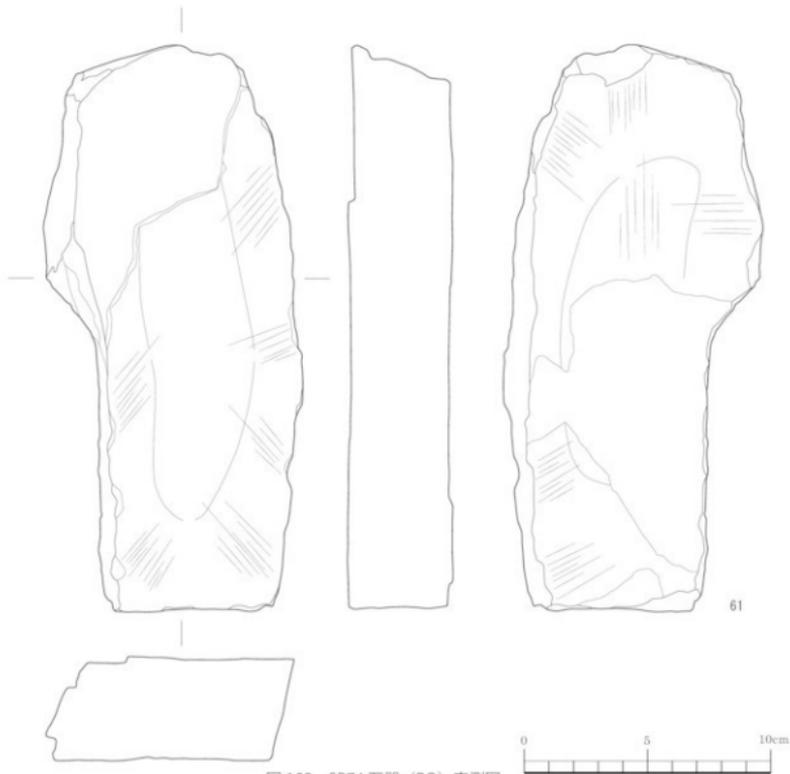


図 103 SB74 石器 (RQ) 実測図

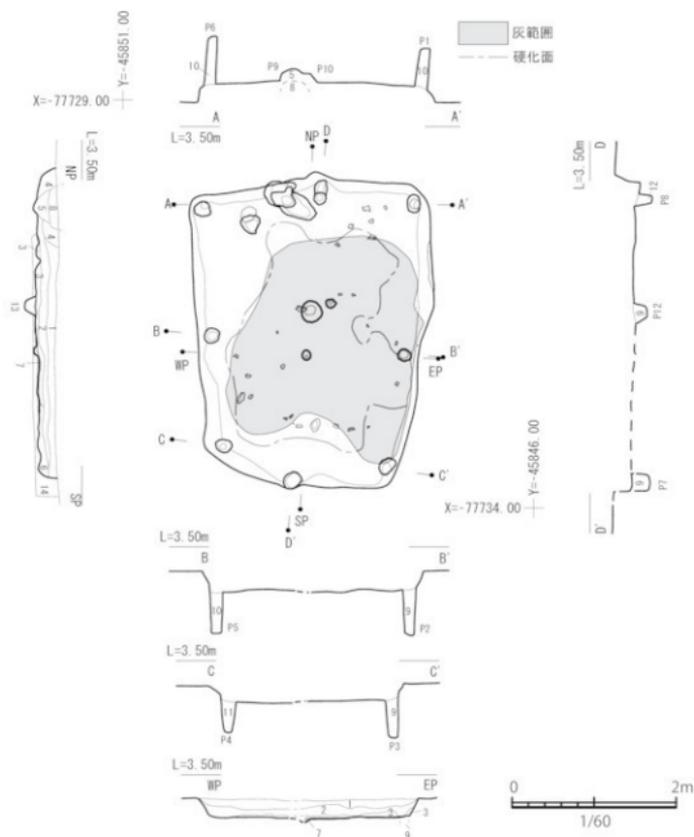
## 2-4-2 竪穴建物 (SB)

竪穴建物は、3棟検出している。花岡古町遺跡では、この3棟のみが確認された竪穴建物である。O5グリッドを中心とした狭い範囲に、切り合うことなく、凝集した遺構群であり。SB75が、全様を知ることができる例となる。

## SB74

北西隅、南西隅を確認できただけであるため、全様不明の竪穴建物である。O5グリッドに位置する。

検出状況においては、竪穴平面形は3.7m × 2.2mの長方形を呈し、遺構確認面からの深さ27cmを測る。竪穴の側壁際には、各隅、側壁中点に柱穴を設けている。



- 1 黒褐色 (10YR2/3) 5mm前後の焼土粒、炭粒子を若干含む 土師器も数点含む 硬くしまる
- 2 黒褐色 (10YR2/2) 5mm前後の焼土粒、1cm前後の炭化物を若干含む 1層に比較して炭の量が増す しまりやや弱い 粘性
- 3 褐灰色 (7.5YR6/1~5/1) きめの細かい灰が堆積している5mm前後の炭、焼土粒が微量混ざるが、  
基本的に混入物は少ない下の7層との境に白磁片が数点出土
- 4 暗褐色 (10YR3/3) 5mm前後の焼土粒、炭を微量含む しまりややあり 粘性強い
- 5 黒褐色 (10YR3/2) 1cm前後の焼土、炭ブロックを若干含む しまり弱い 粘性ややあり S71に掘られたpitの埋土か？
- 6 暗褐色 (10YR3/3) 2~3cm大の地山 (7層) ブロックが混在 1cm前後の炭も若干混ざる しまりややあり 粘性あり
- 7 黒 (N1.5/0) 炭化物が堆積 下の地山土 (床面) は堅穴中央部が硬化している
- 8 S71埋土 灰黄褐色 (10YR4/2) 5mm前後の炭化物、マンガン粒を若干含む、2mm前後の焼土粒を微量に含む。しまり強い、粘性あり。
- 9 灰黄褐色 (10YR4/2) 5mm前後の炭を若干含む、粘性強く、黄色土ブロックも混ざる。
- 10 灰黄褐色 (10YR4/2) 2~3cmの小礫も若干混ざる。
- 11 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 5mm前後の炭、焼土粒を若干含む、粘性が強く、しまりはない。
- 12 黒褐色 (10YR3/2) 5mm前後の炭を若干含む、ややしまる。
- 13 3に似ている
- 14 地山

図 104 SB75 実測図 (1/60)

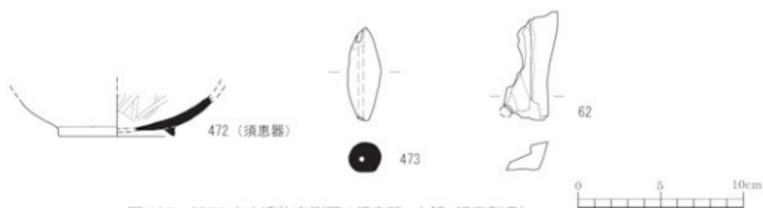


図 105 SB75 出土遺物実測図 (須恵器・土鍾・滑石製品)

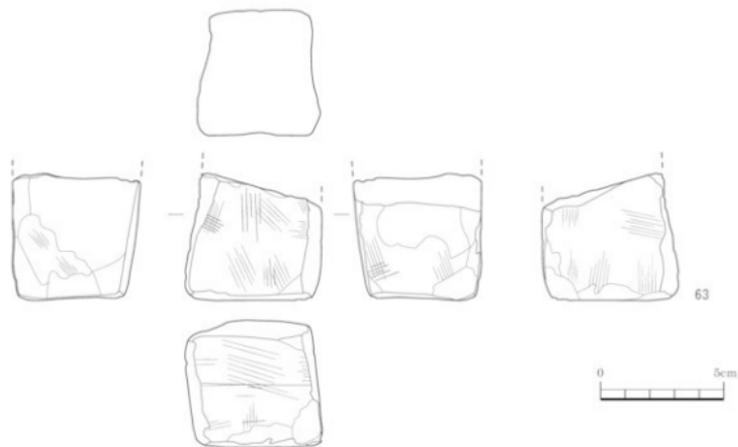


図 106 SB75 石器 (RQ) 実測図

柱穴は直径 16～32cmの円形を呈し、床面からの深さは 22～36cmを測る。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

埋土には炭化物が多く含まれているが、床面の南西部には、焼土、炭化物が集中する範囲があった。

なお、北側壁中点の柱穴から石皿が出土した。

また、SB74 の南西部には、平面が台形を呈した浅い掘り込み部分である SK73 が位置している。この SK73 は、調査段階では地形的な窪みに過ぎないと分析もあった。しかし、SB74 との接点は SB74 の西側壁中点であり柱穴が配されていること、SK73 の北端部の東西幅は SB74 の幅の 1/2 であることから、SK73 は SB74 と複合する設備である可能性が高い。

この場合、SB74 に附設された作業場、備蓄場等が考えられる。

#### SB75

全様が明らかになった掘立柱建物である。O5 グリッドに位置する。

長辺を南北に採った長方形の竪穴と、その内部の四周に巡らせた柱穴群で構成された遺構である。竪穴平面形は 3.8m × 2.9m の長方形を呈し、遺構確認面からの深さ 23cmを測る。竪穴の側壁際には、各隅、側壁中点に合計 8 基の柱穴を設けている。

柱穴は東、西側壁に沿った柱穴列と、南、北側壁の中点に位置する柱穴に区分される。

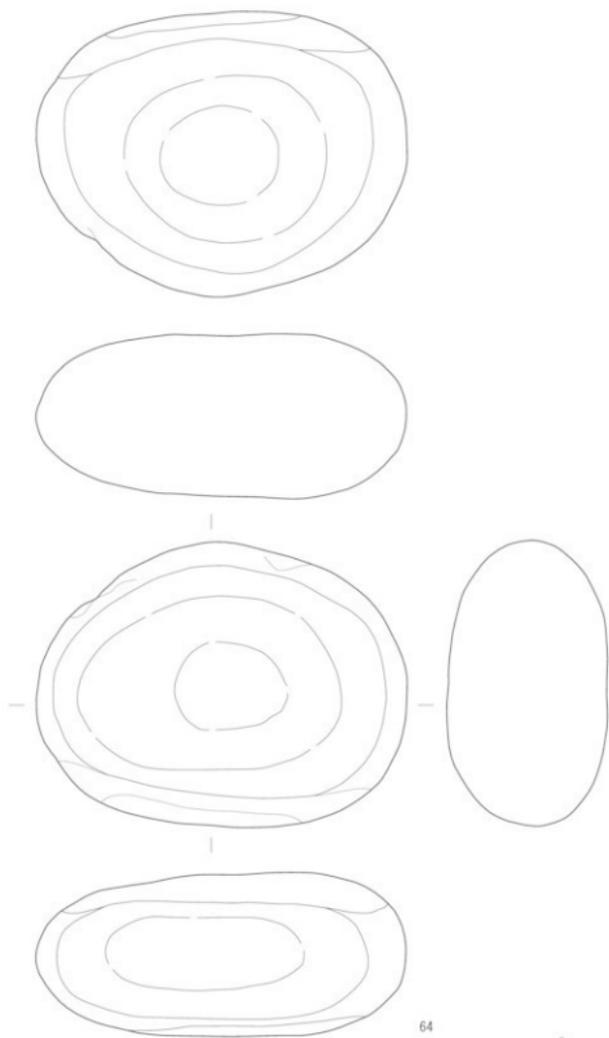


图 107 SB75 石器 (RQ) 实测图



- 1 黒褐色 (10YR3/1) 2~3mm前後の焼土・炭粒子を若干含む。しまり弱い。粘性なし。サクサクしている。
- 2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粘性強い。鉄分の沈殿あり(灰が土壌化したものか?)
- 3 黒褐色 (10YR3/2) 2~3mmの焼土・炭粒子を若干含む。ややしまり、粘性もある。
- 4 黒褐色 (10YR3/2) 2~3mmのマンガン粒、焼土粒を若干含む。しまりややあり。
- 5 黒 (10YR7/1) 炭化物増積層。しまり弱い。
- 6 黒褐色 (10YR3/2) 埋4層に似る。
- 7 暗褐色 (10YR3/3) 5mm前後のマンガン粒、焼土粒を若干含む。ややかたくしまり、粘性もある。
- 8 S71埋土。灰黄褐色 (10YR4/2) 5mm前後の炭化物、マンガン粒を若干含む、2mm前後の焼土粒を微量に含む。しまり強い、粘性あり。
- 9 黒褐色 (10YR3/2) 灰、焼土を多量に含む。ややしまる。やや粘性あり。
- 10 にぶい黄褐色 (10YR3/2) 炭粒子を若干含む。ややしまる。
- 11 7層。暗褐色 (10YR3/4) しまりあり、粘性あり。マンガン(5mm大)粒を多量に含む。焼土、炭粒を少量含む。

図 108 SB77 実測図 (1/60)

東、西側壁に沿った柱穴は、直径 14 ~ 20cm の円形を呈し、床面からの深さは 37 ~ 59cm を測る。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。この柱穴列は、他の柱穴に比して著しく深い柱穴で構成されている。

南、北側壁の中心に位置する柱穴は、直径 14 ~ 21cm の円形を呈し、床面からの深さは 15 ~ 22cm を測る。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。なお、この柱穴群のほぼ中間に同規模のピットが 1 基検出されている。

床面には、ほぼ全体に硬化面が形成されている。壁際には硬化面が形成されないが、東側壁南半部には壁

際に接続した部分がある。

埋土には炭化物が多く含まれているが、床面の南西部には、焼土、炭化物が集中する範囲があった。

なお、砥石、磨石、土製魚網錘の他、滑石製石鍋(片)を再加工した石製品が出土した。

#### SB77

東半部を確認できただけであるため、全様不明の竪穴建物である。N4 グリッドに位置する。

検出状況においては、竪穴平面形は 1.8m × 2.0m の方形を呈し、遺構確認面からの深さ 33cm を測る。



図 109 SB77 土器 (RP) 実測図 (須恵器)

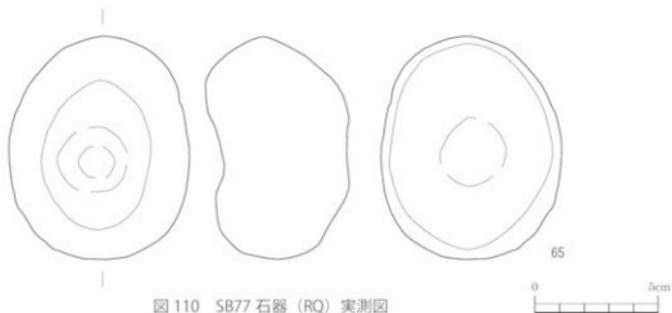


図 110 SB77 石器 (RQ) 実測図

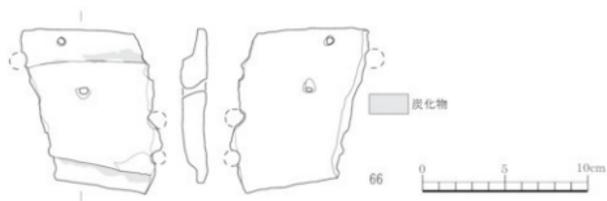


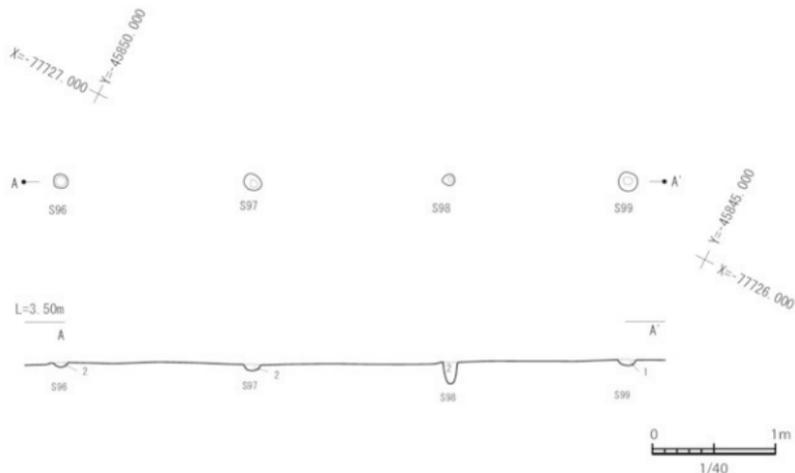
図 111 SB77 滑石製石鍋実測図

竪穴の東側壁際には、南北側に柱穴を設けている。平面が正方形を呈し、 $2 \times 2$ の4本柱建ての可能性も存在する。

柱穴は直径11～19cmの円形を呈し、床面からの深さは10cmを測る。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

埋土には炭化物が多く含まれているが、床面全体に灰が分布し、その2/3程度の広さで炭化物が集中する範囲があった。北側壁際には、焼土が分布している。

なお、土器、凹石の他、滑石板(片)を再加工した石製品が出土した。



- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 5mm前後の炭化物、マンガン粒を若干含む、2mm前後の焼土粒を微量に含む。しまり強い、粘性あり。
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 2mm前後の炭化物、焼土粒、マンガン粒を若干含む。2cm前後の小礫も少量含んでいる。しまり強、粘性あり。

図 112 SA96 実測図 (1/60)

### 2-4-3 柵列 (SA)

柵列は、1 条検出している。

#### SA96

4 基の柱穴で構成された、西南西から東北東に走行する柵列である。柵列は西南西に延びる可能性がある。N5 グリッドに位置する。

柵列の長さは総計 4.6m、柱間寸法は 1.4-1.6m を測る。

柱穴は直径 10 ~ 15cm の円形を呈し、遺構確認面からの深さは 4 ~ 15cm であった。各柱穴の底面標高は一致しない。

### 2-4-4 溝 (SD)

溝は 1 条、SD9 を検出している。

#### SD9

SD9 は、長さ 10.7m 幅 1.6m を測る。検出状況に

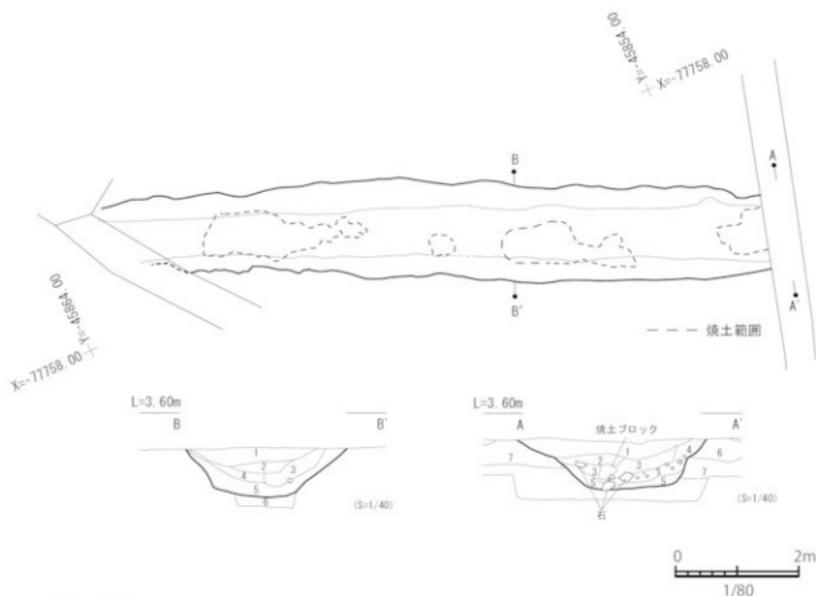
100 花岡古町遺跡

おいては西北西から東南東方向に直線走向し、東西端は調査区外に延びている。Q4 グリッドに位置する。

なお、壁面中位には傾斜変異点があり、SD 9 が掘り直し等、一定の保守作業を受けていたことが判明する。

また、溝埋土の中位層には焼土ブロック、炭化物が混在下、下位層には図示した土師器の他、陶磁器 (片)、礫が包含される。焼土ブロックは溝全体に断続して分布していた。

土製魚網錘、石製魚網錘が出土した他、滑石製石鏃、板状石製品、凹石が出土している。



(A-A' 断面)

- 1 埋1層 黒褐色 (10YR2/3) 1cm前後の炭化物、2~3mmの焼土粒、1cm前後の小石を若干含む しまり弱い B-B' 断面の2層に相当か?
- 2 埋2層 暗褐色 (10YR3/3) 5mm前後の焼土粒、炭化物を若干含む しまり弱い 粘性ややあり
- 3 埋3層 焼土堆積層 (5YR4/8) 5cm前後の焼土ブロック混在 1cm前後の炭も若干混ざる
- 4 埋4層 黒褐色 (10YR2/2) 10~15cm大の礫、小石が混在 土層断面B-B'の5に相当
- 5 埋5層 黒褐色 (10YR3/2) 2~3mmのマンガン粒を若干含む しまり弱い 粘性ややあり
- 6 黒褐色 10YR (3/2) 5mm前後の焼土、炭粒子を多く含む かたくしまる 6~7層間の漸移層
- 7 7層

(B-B' 断面)

- 1 暗褐色 (10YR3/3) 焼土粒、炭 (5mm前後) を若干含む かたくしまる 土器片も混ざる
- 2 黒褐色 (10YR2/3) 焼土粒、炭を微量含む 粘性あり
- 3 焼土堆積層 5cm前後の焼土ブロック (赤褐色土 5YR4/8) 混在 1cm前後の炭化物も若干混ざる
- 4 黒褐色 (10YR2/3) 2~3cm大の焼土粒を若干含む 粘性ややあり 炭も含む
- 5 黒褐色 (10YR2/2) 15cm大の礫、小石が混在 陶磁器、土師片も多数出土 粘性ややあり A-A'の4に相当。
- 6 地山 (7層)

図 113 SD9 実測図 (1/80)

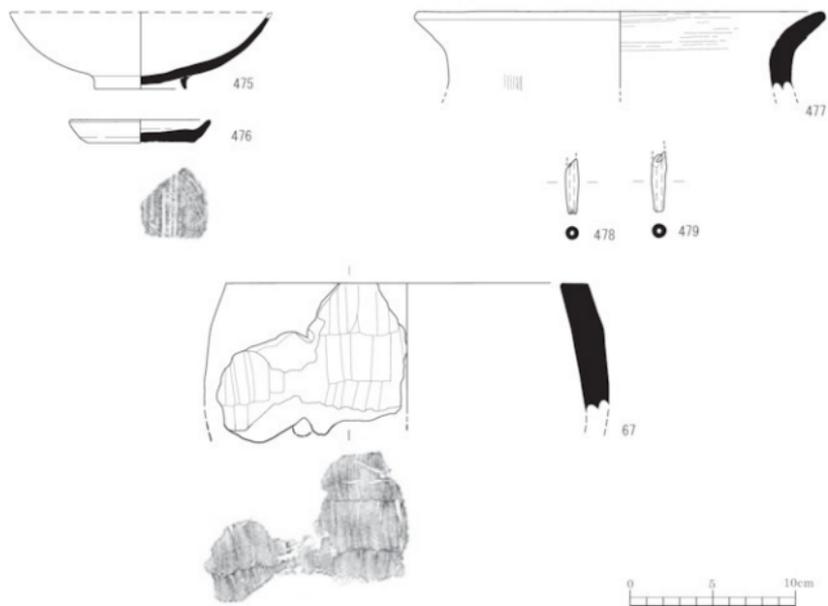


图 114 SD9 出土遺物実測図(土師器・土錘・石鍋)

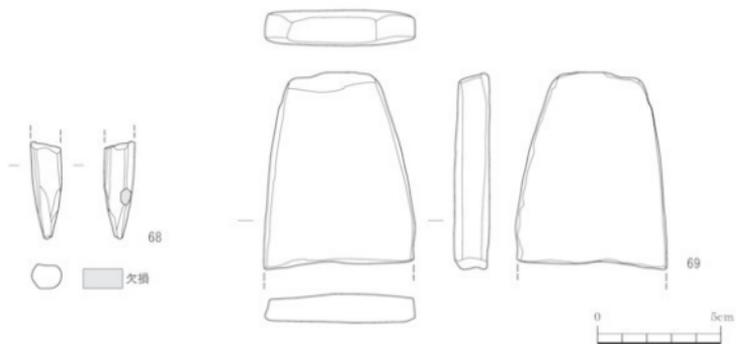


图 115 SD9 石器 (RQ) 实测图

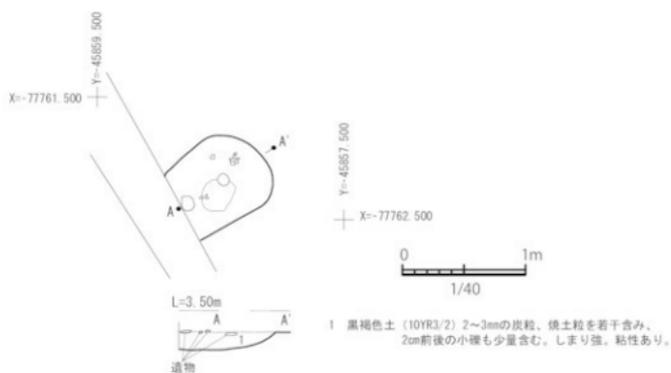


図 116 SK27 実測図 (1/40)



図 117 SK27 土器 (RP) 実測図

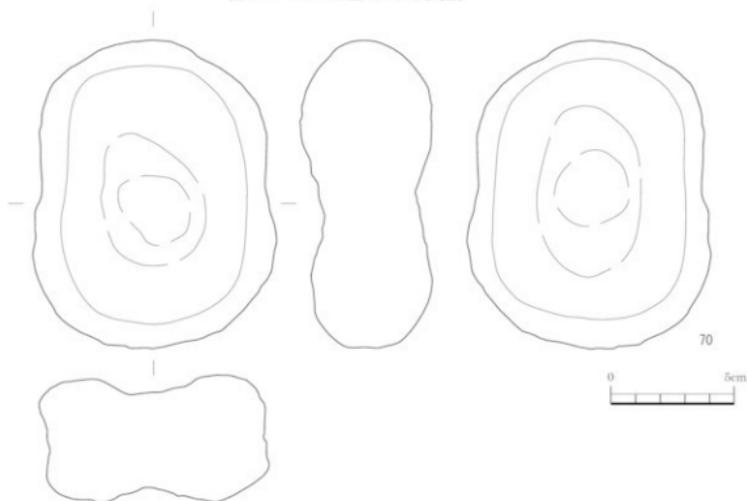
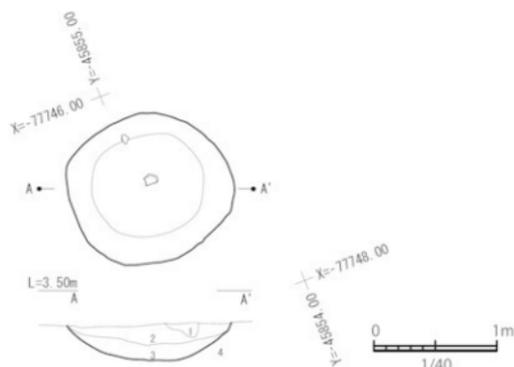


図 118 SK27 石器 (RQ) 実測図



- 1 埴1層 黒褐色土 (10YR2/3) 5mm前後の焼土粒、炭を若干含む、粘性あり。土師片を数点含む。
- 2 埴2層 黒褐色土 (10YR3/2) 黄褐色粘土と炭混在、焼土粒も若干含む。粘性あり。3層との境に黄褐色粘土、炭が集中
- 3 埴3層 暗褐色土 (10YR3/3) 5mm前後の炭粒子を若干含む。粘性ややあり。しまりあり。
- 4 7層 暗褐色 (10YR3/4) しまりあり。粘性あり。Mn (5mm大) 粒を多量に含む。焼土、炭粒を少量含む。

図 119 SK42 実測図 (1/40)



図 120 SK42 土器 (RP) 実測図

#### 2-4-5 土壌 (SK)

土壌は、SK15、17、20、22、23、27、29、31、41、42、43、44、45、49、60、73、84、86、87、90、91、92、100、104、108、111、135、148、149、150、154、160、167、168、187、188、196、197、206、207、223、225、228、235 の 44 基が検出されているが、柱痕跡を有する、遺物を包含する等、有意性を検討することができる土壌は SK27、42、43、160、225、228 の 6 基である。

#### SK27

SK27 は南西部分が調査区外に延びているが、概ね円形を呈する土壌である。土師器 2 点、石器 1 点が出土した。R4 グリッドに位置する。

長径 0.8m、短径 0.6m、遺構確認面からの深さ 0.2m を測る。

底部に糸切痕および板目状圧痕を有する皿 2 点並びに凹石 1 点が出土した。

#### SK42

円形を呈する土壌である。須恵器 1 点が出土した。P4 グリッドに位置する。

長径 1.4m、短径 1.2m、遺構確認面からの深さ 0.3m を測る。

壺の底部 1 点が出土した。

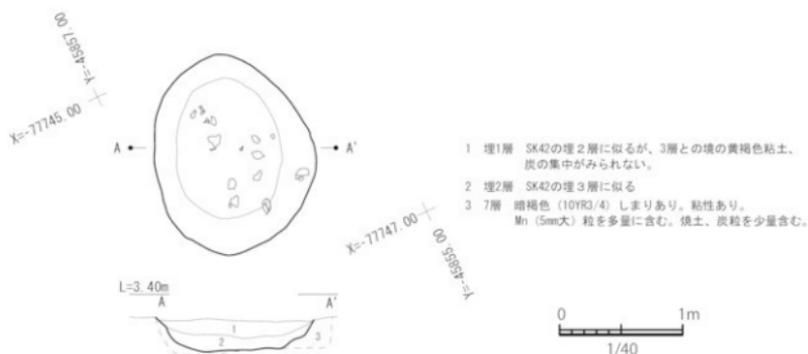


図 121 SK43 実測図 (1/40)

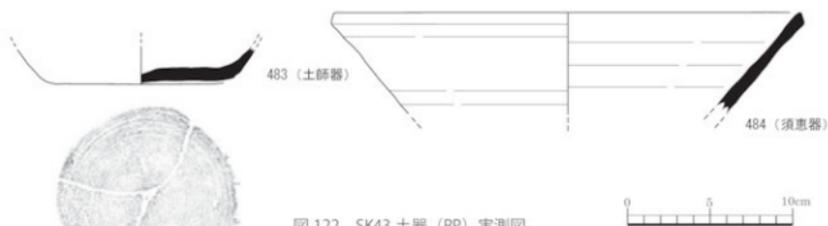


図 122 SK43 土器 (RP) 実測図



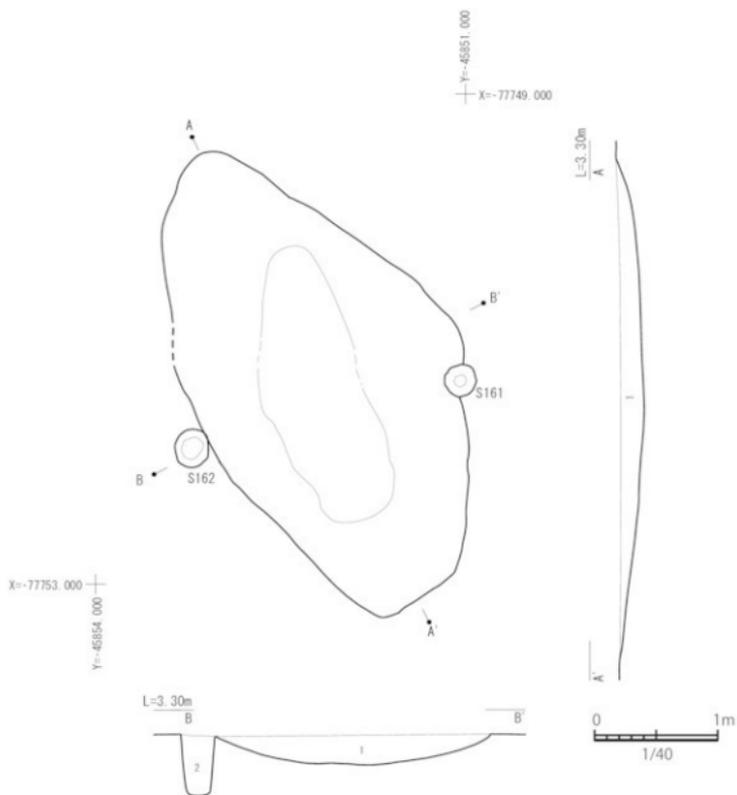
図 123 SK43 滑石製品実測図

### SK43

円形を呈する土坑である。土師器 1 点、須恵器 1 点、石製品 1 点が出土した。P4 グリッドに位置する。

長径 1.6m、短径 1.2m、遺構確認面からの深さ 0.3m を測る。

鉢 1 点、底部に糸切痕を有する坏、滑石製石鍋 (片) が出土した。



- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 2mm前後の炭粒、焼土粒を若干含む。しまり弱。粘性あり。  
 2 暗褐色 (10YR3/3) 2mm前後の炭化物、焼土粒、マンガン粒を若干含む。2mm前後の小礫も少量含んでいる。しまり強。粘性あり。

図 124 SK160 実測図 (1/40)

#### SK160

楕円形を呈する大型土壌である。多数の遺物が出土したが、土師器 24 点、須恵器 8 点、土製品 1 点、石製品 3 点を図示した。Q4 グリッドに位置する。

長径 4.0m、短径 2.2m、遺構確認面からの深さ 0.2m を測る。

土師器には、須恵器模倣環、須恵器模倣環蓋、環、皿、

甕、甗が出土している。須恵器には、環、壺、鉢、甕が出土している。土製品には土製魚網錘 1 点、石製品には凹石 3 点が出土している。

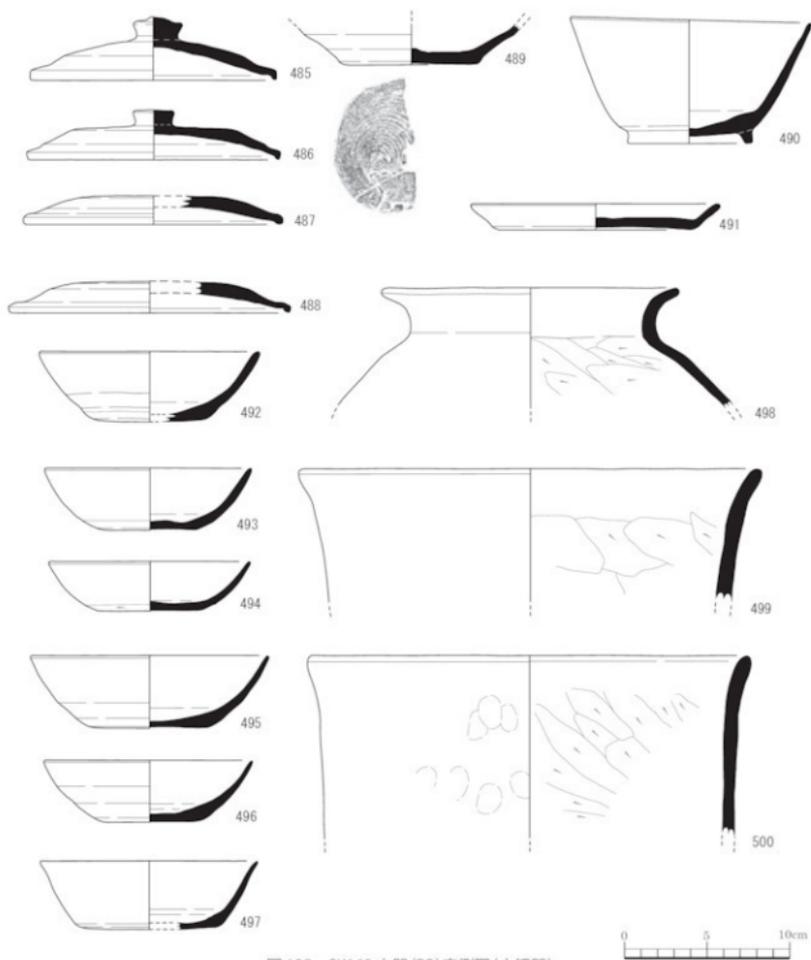


図 125 SK160 土器 (RP) 実測図 (土師器)

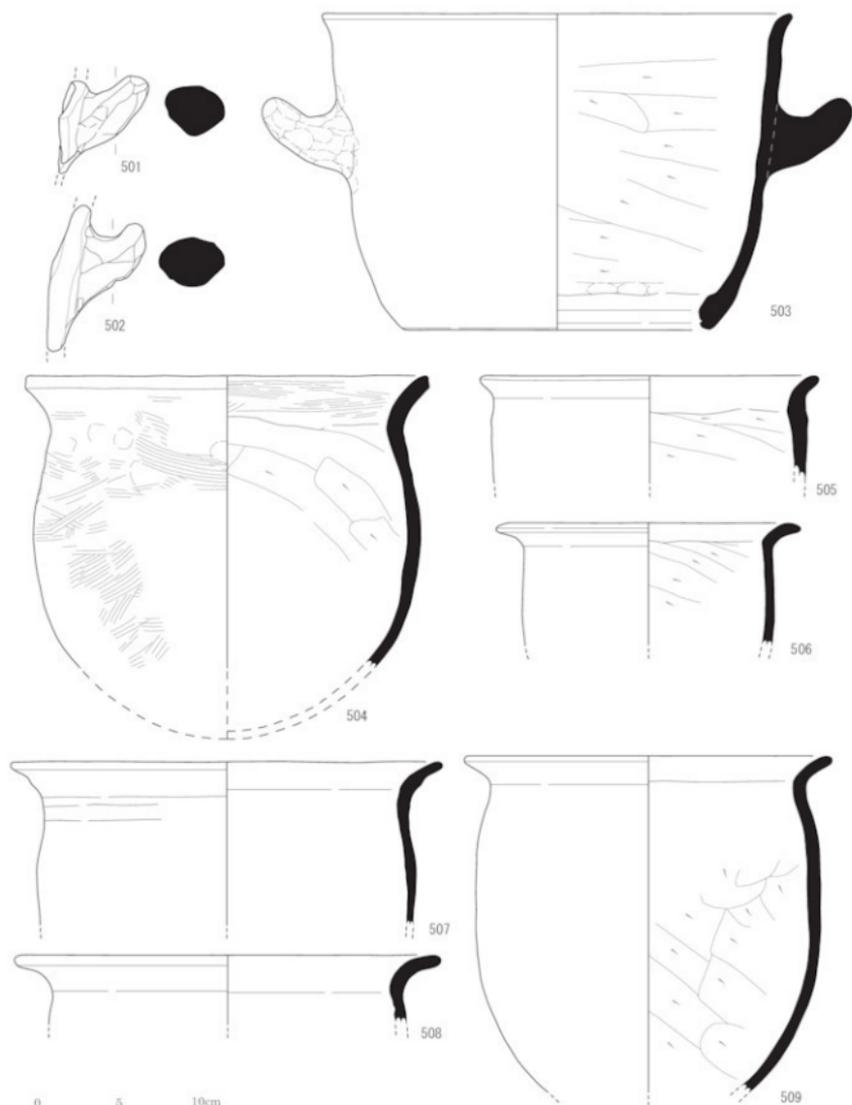


图 126 SK160 土器 (RP) 实测图 (土師器)

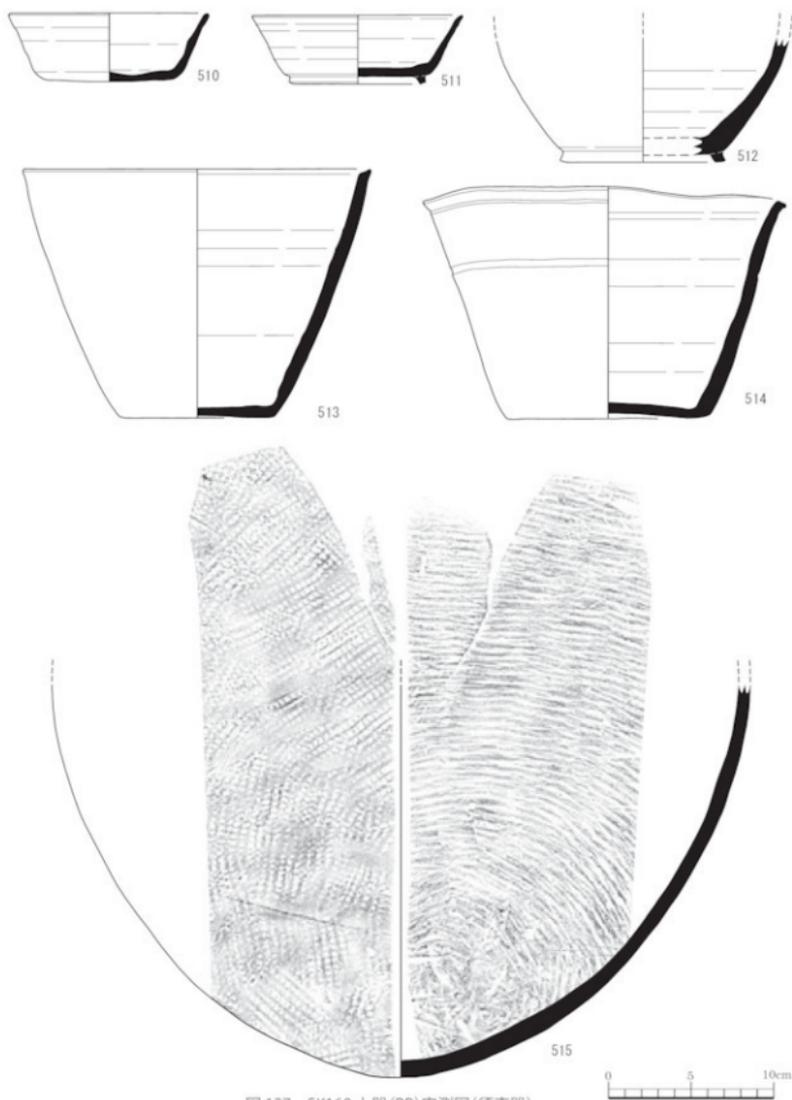


図 127 SK160 土器 (RP) 実測図 (須恵器)

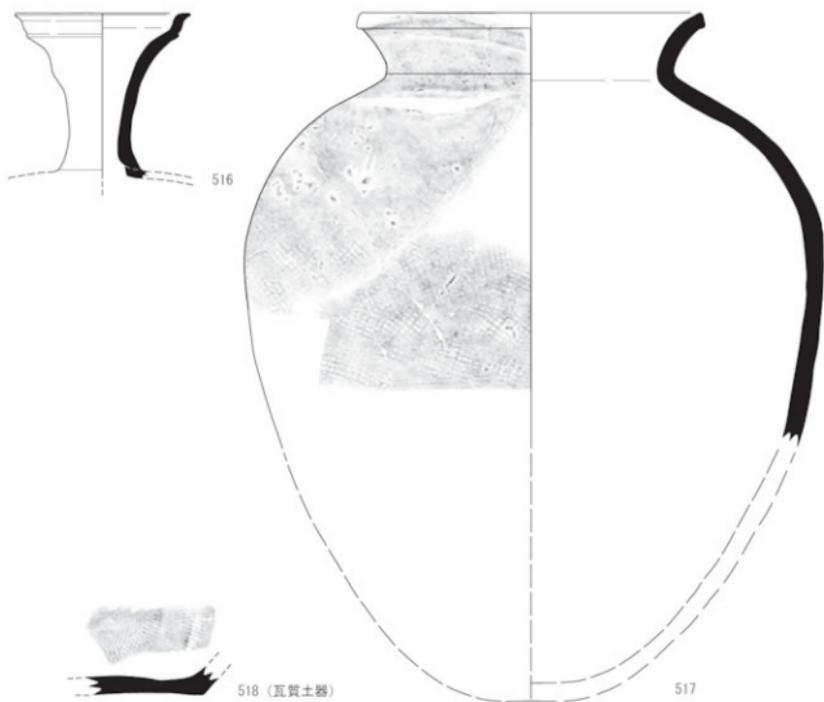


図128 SK160 土器 (RP) 実測図 (須恵器・瓦質土器)



図129 SK160 土製品実測図

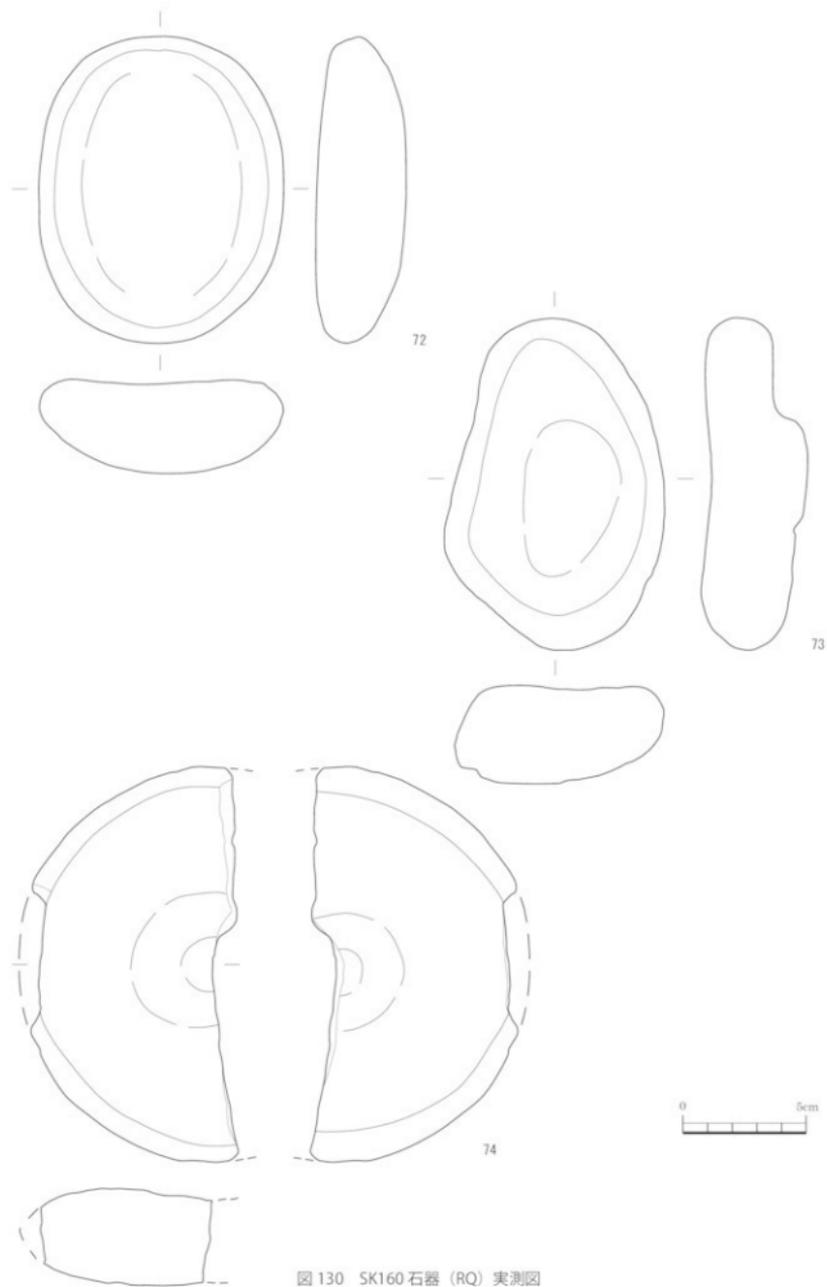
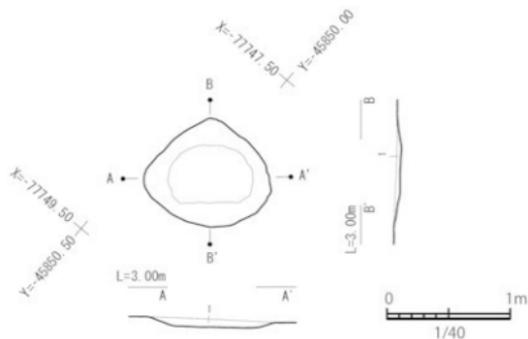


图 130 SK160 石器 (RQ) 実測図



1 黒色 (10YR2/1) 炭が大部分をしめる。一部に焼土がみられる。

図 131 SK225 実測図 (1/20)

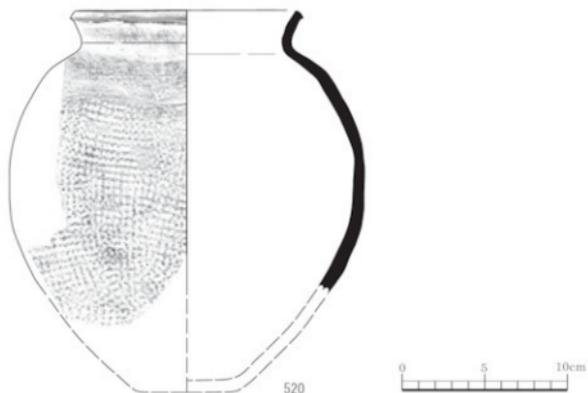


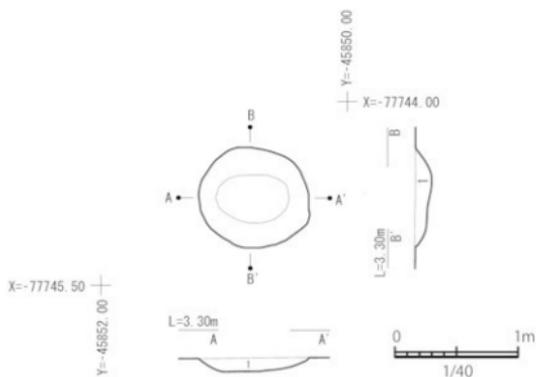
図 132 SK225 土器 (RP) 実測図 (須恵器)

#### SK225

概ね円形を呈する土壌である。須恵器 1 点が出土した。P5 グリッドに位置する。

長径 1.0m、短径 0.8m、遺構確認面からの深さ 0.3m を測る。

黒色炭に焼土粒が混じる埋土中から、底部を欠く裏(片)が出土した。



1 黒褐色 (10YR3/2) 2~3mmの炭粒、焼土粒を若干含み、2cm前後の小礫も少量含む。しまり強。粘性あり。

図 133 SK228 実測図 (1/40)

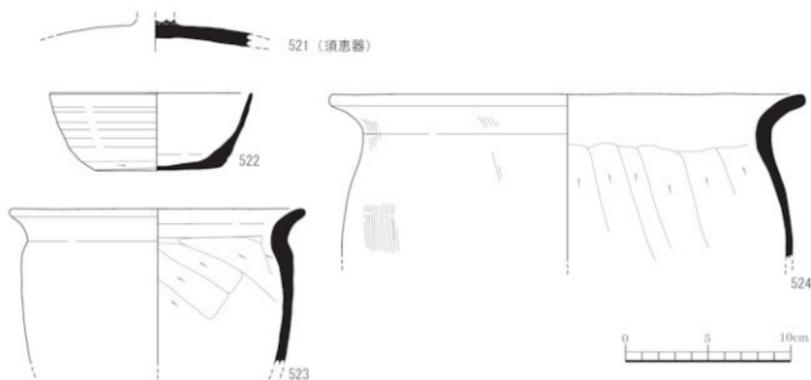


図 134 SK228 土器 (RP) 実測図

#### SK228

円形を呈する土壇である。土師器 3 点、須恵器 1 点  
が出土した。P4 グリッドに位置する。

長径 0.9m、短径 0.8m、遺構確認面からの深さ  
0.1m を測る。

土師器は坏、甕等、須恵器は坏蓋が出土した。

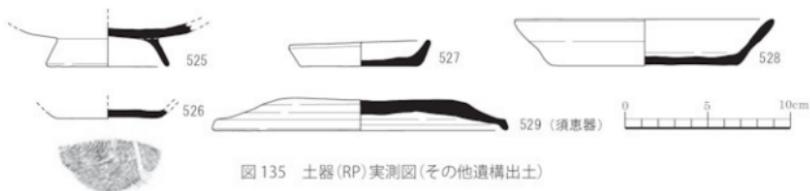


図 135 土器 (RP) 実測図 (その他遺構出土)



図 136 8層土器 (RP) 実測図 (土師器)

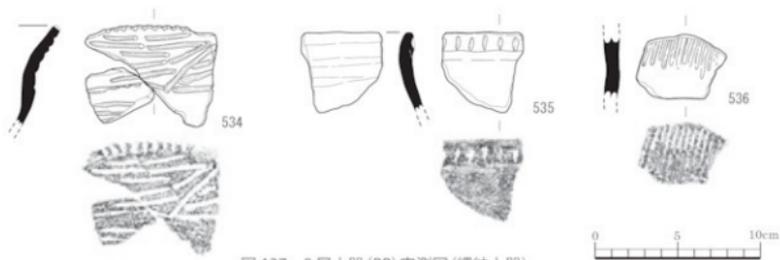


図 137 8層土器 (RP) 実測図 (織紋土器)

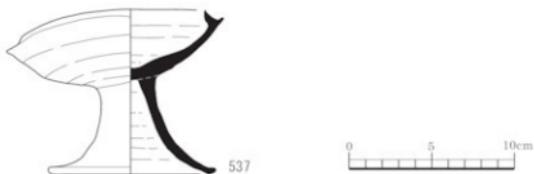


図 138 8層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

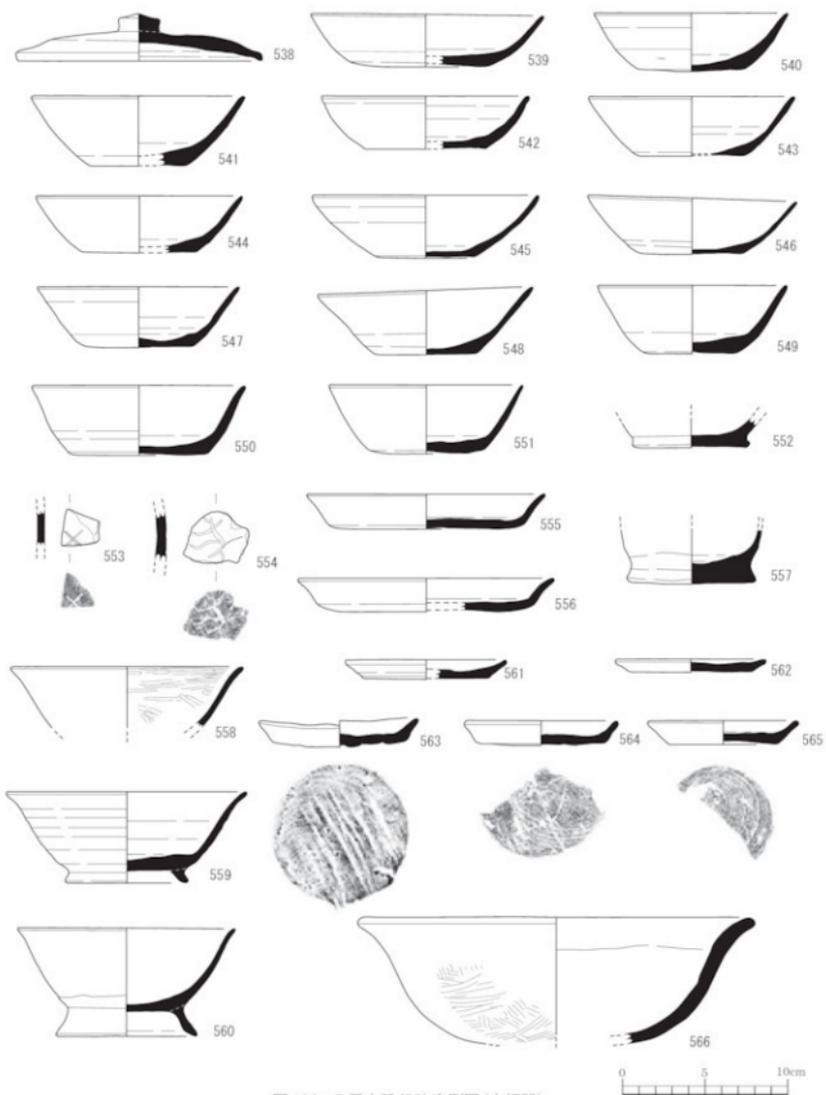


図139 7層土器(RP)実測図(土師器)

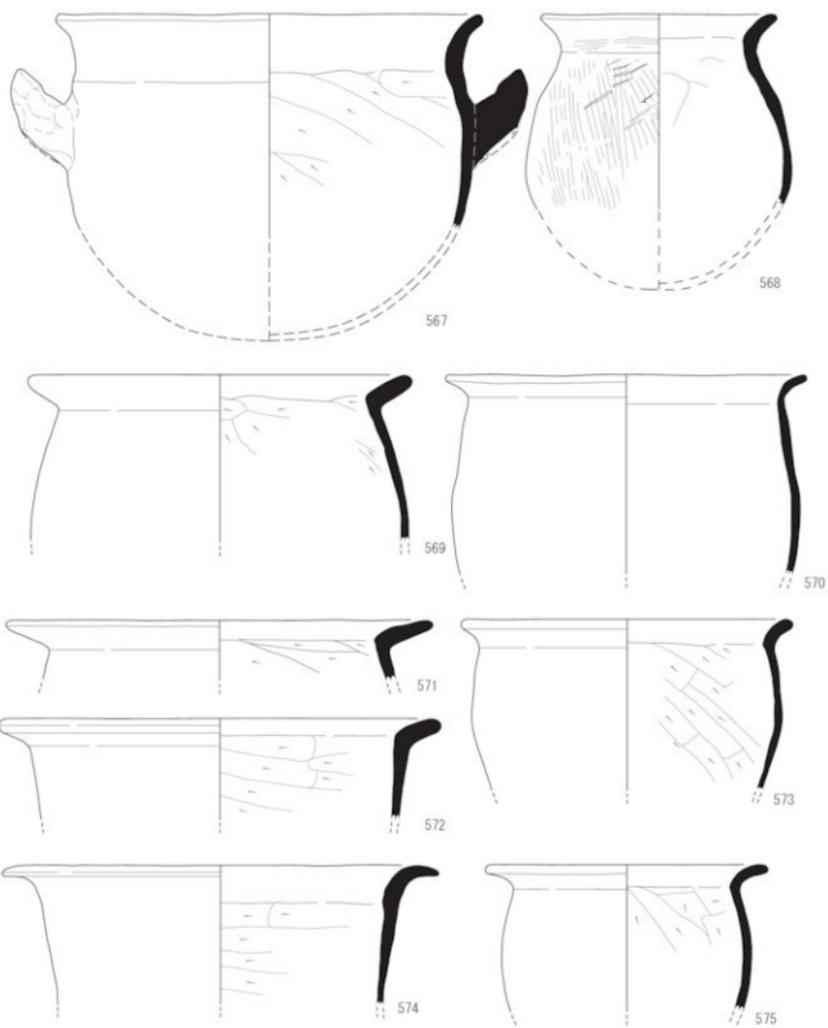


图 140 7 層土器 (RP) 実測図 (土師器)

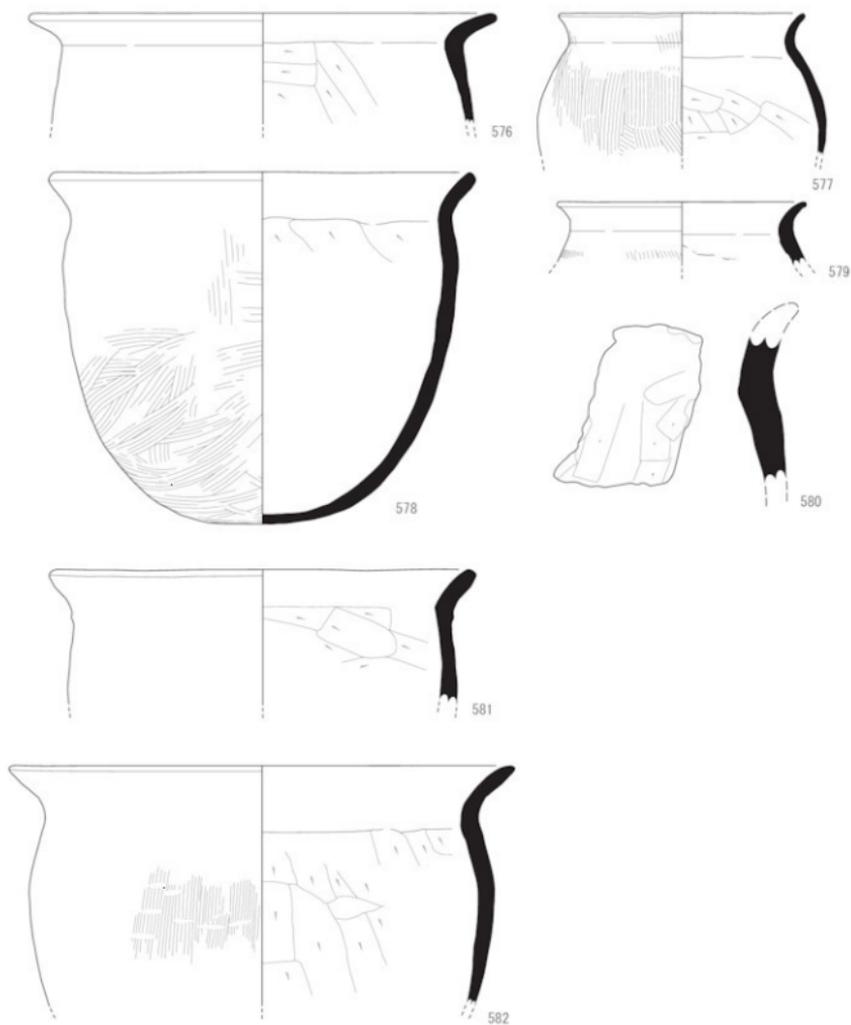


図 141 7層土器(RP)実測図(土師器)



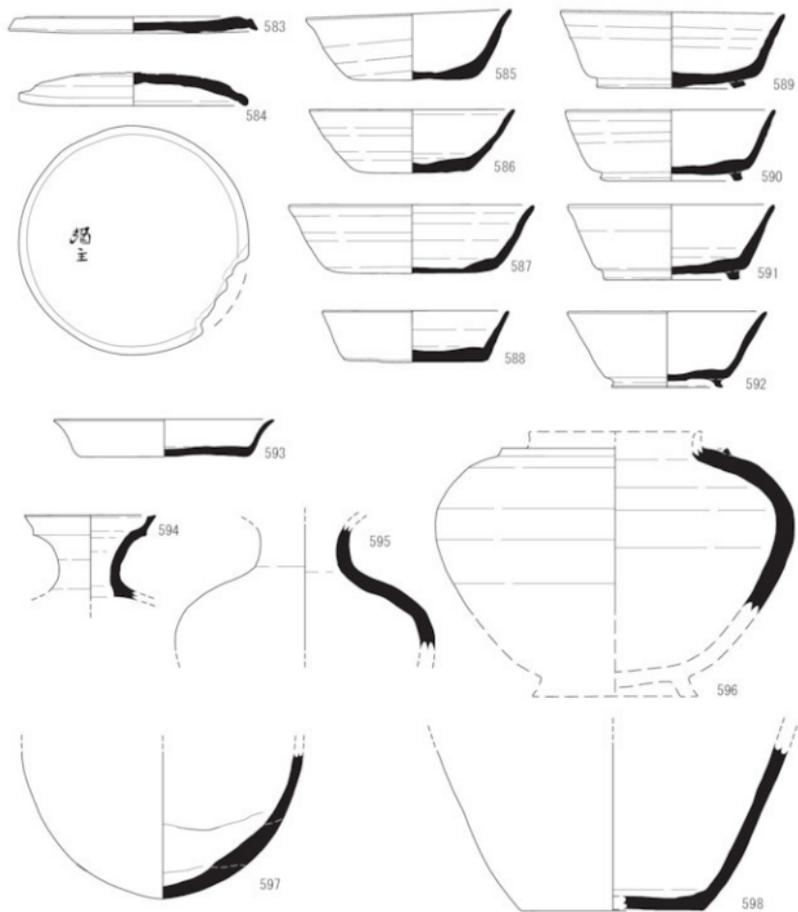


图 142 7 层土器 (RP) 实测图 (须惠器)



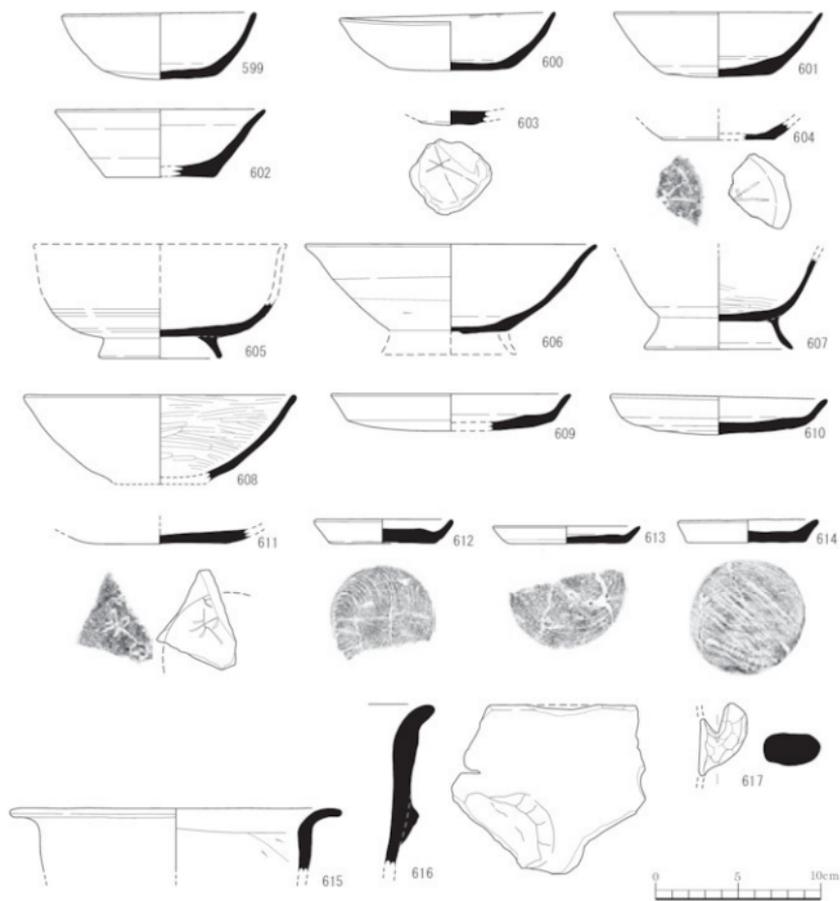


図 143 6層土器 (RP) 実測図 (土師器)

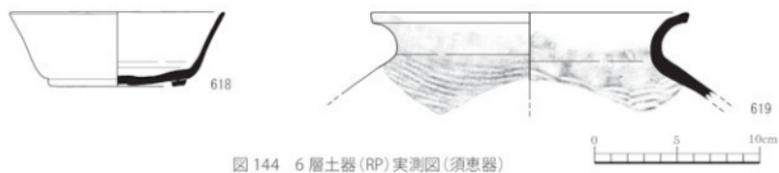


図 144 6層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

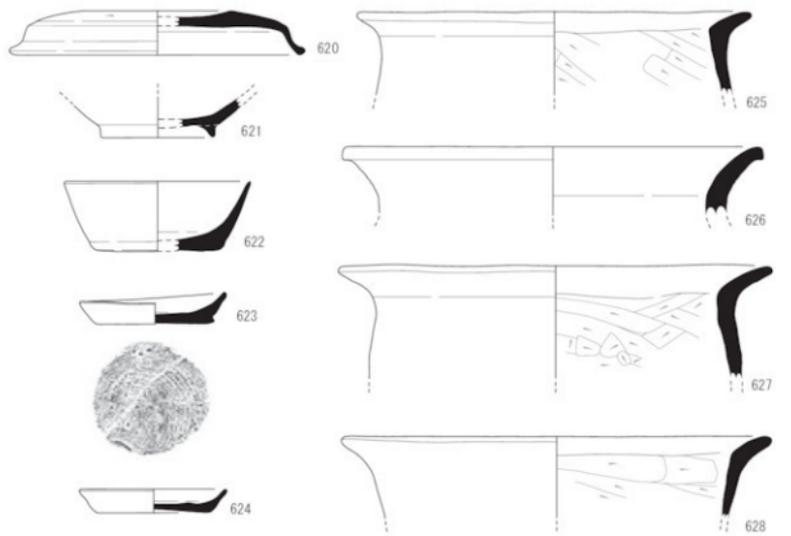


图 145 4区土器(RP)实测图(土师器)

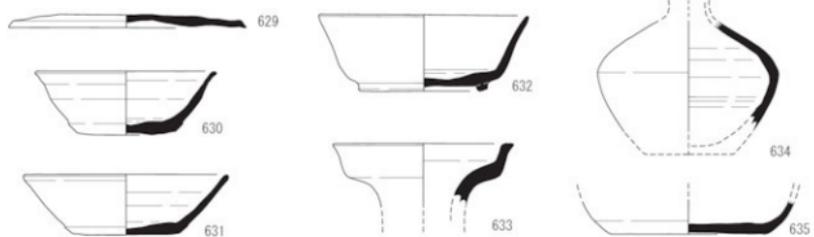
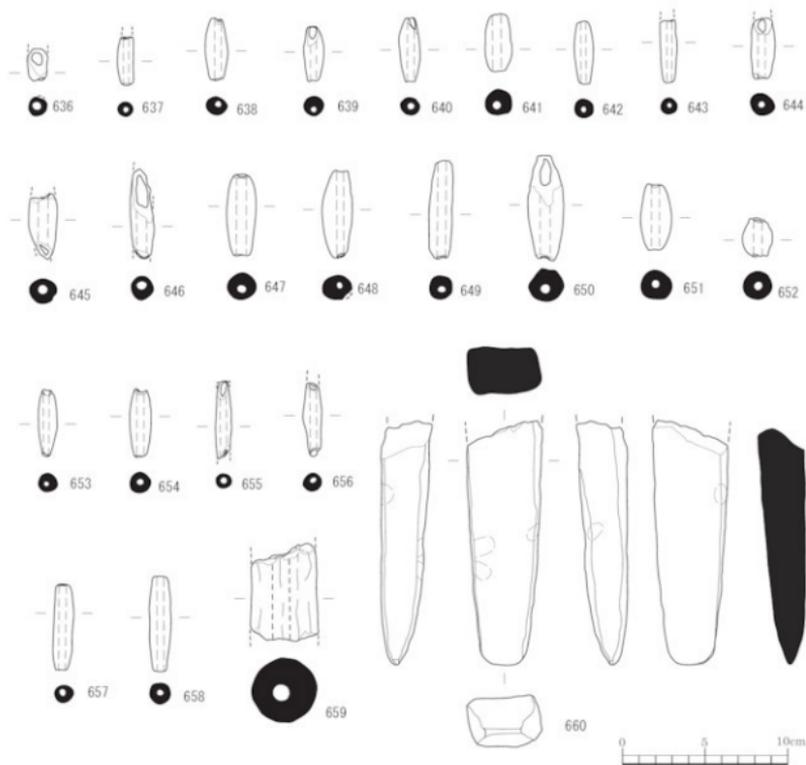


图 146 4区土器(RP)实测图(须惠器)





636~649、7層出土。650~655、5層出土。656・659、4層出土。657~658・660、その他出土。

図 147 4区土製品実測図



図 148 石器 (RQ) 実測図 (その他遺構出土)

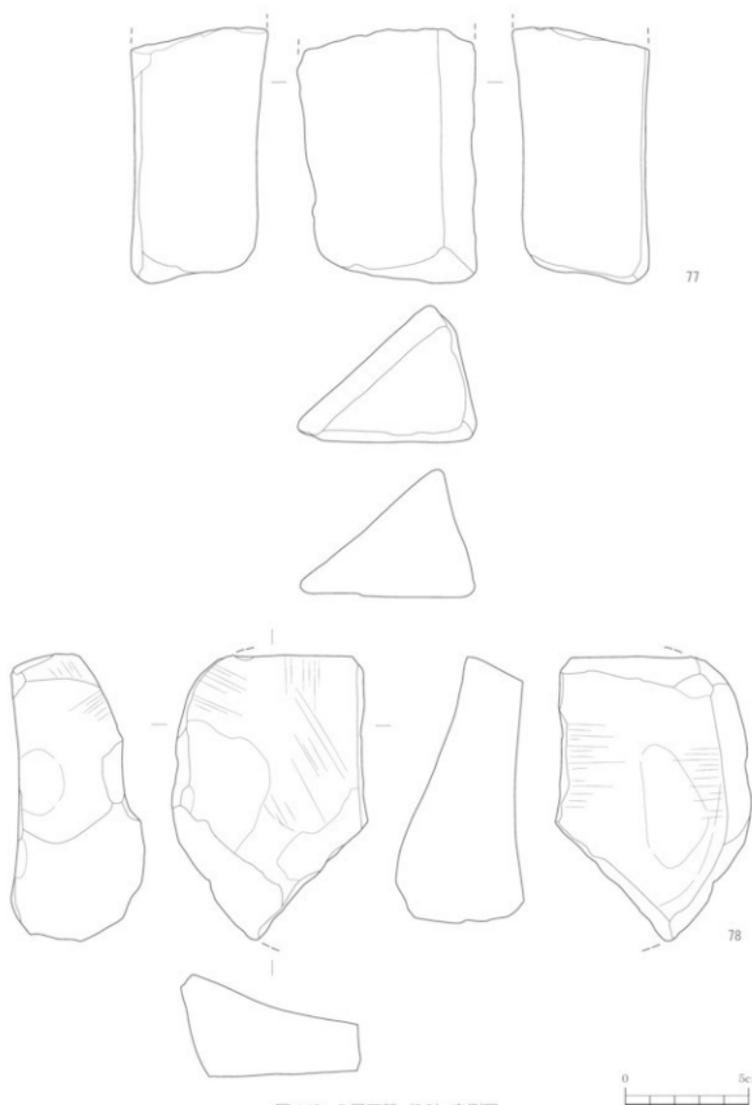


图 149 7層石器 (RQ) 実測図



图 150 7 層石器 (RQ) 実測図

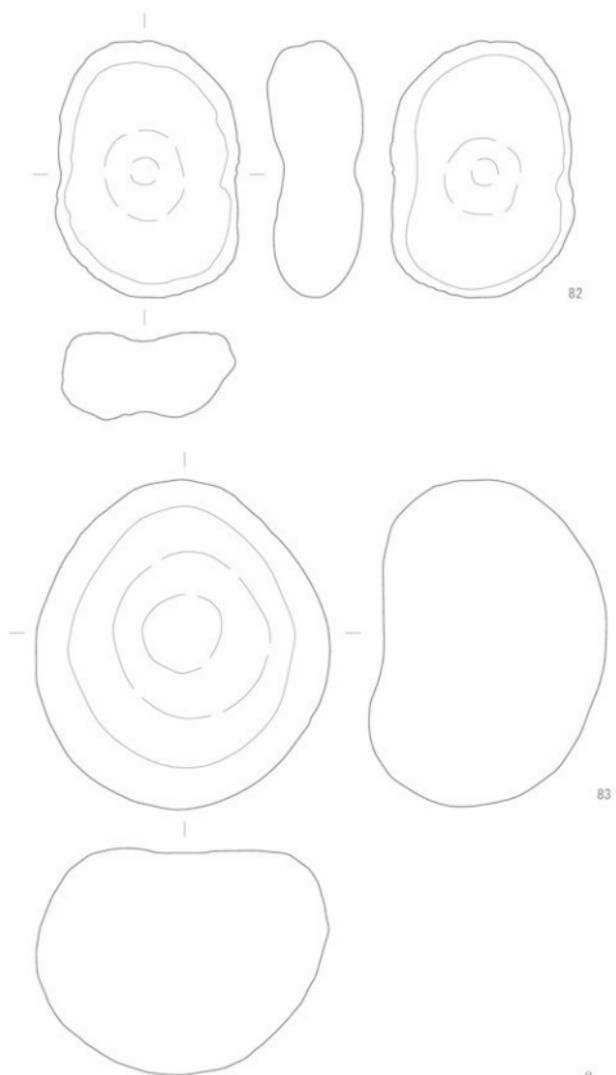


図 151 7層石器 (RQ) 実測図

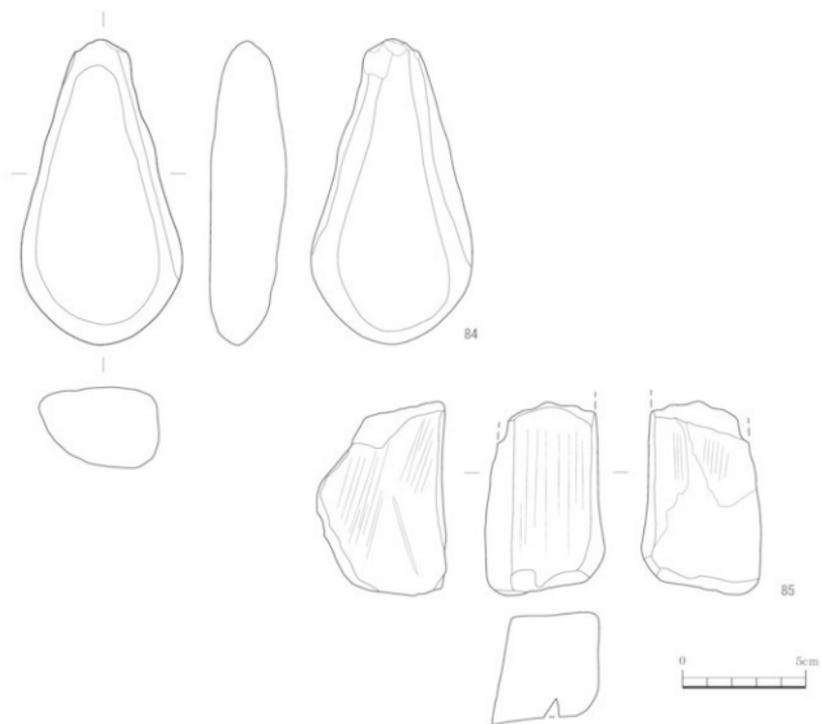


图 152 7 層石器 (RQ) 実測図

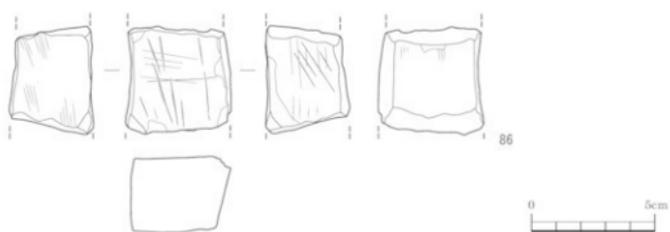


图 153 6 層石器 (RQ) 実測図

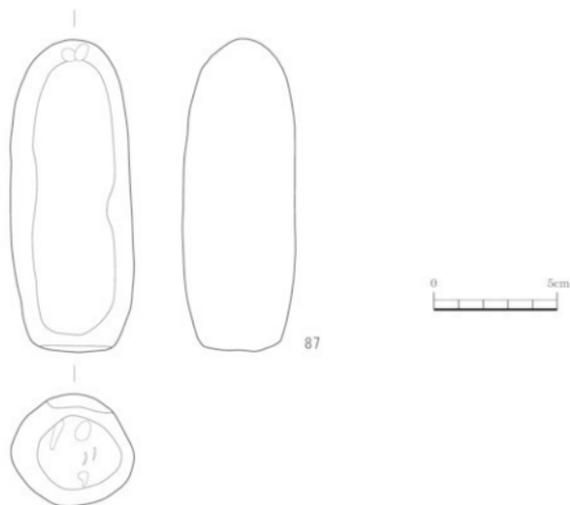


图 154 4区石器 (RQ) 实测图

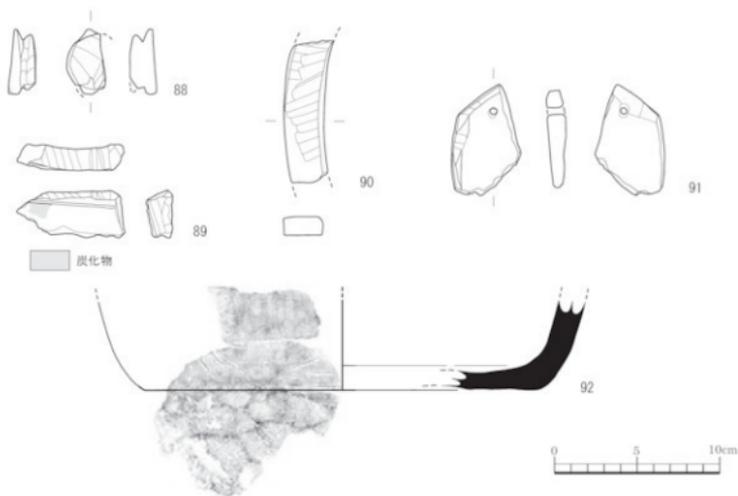


图 155 4区滑石製品实测图

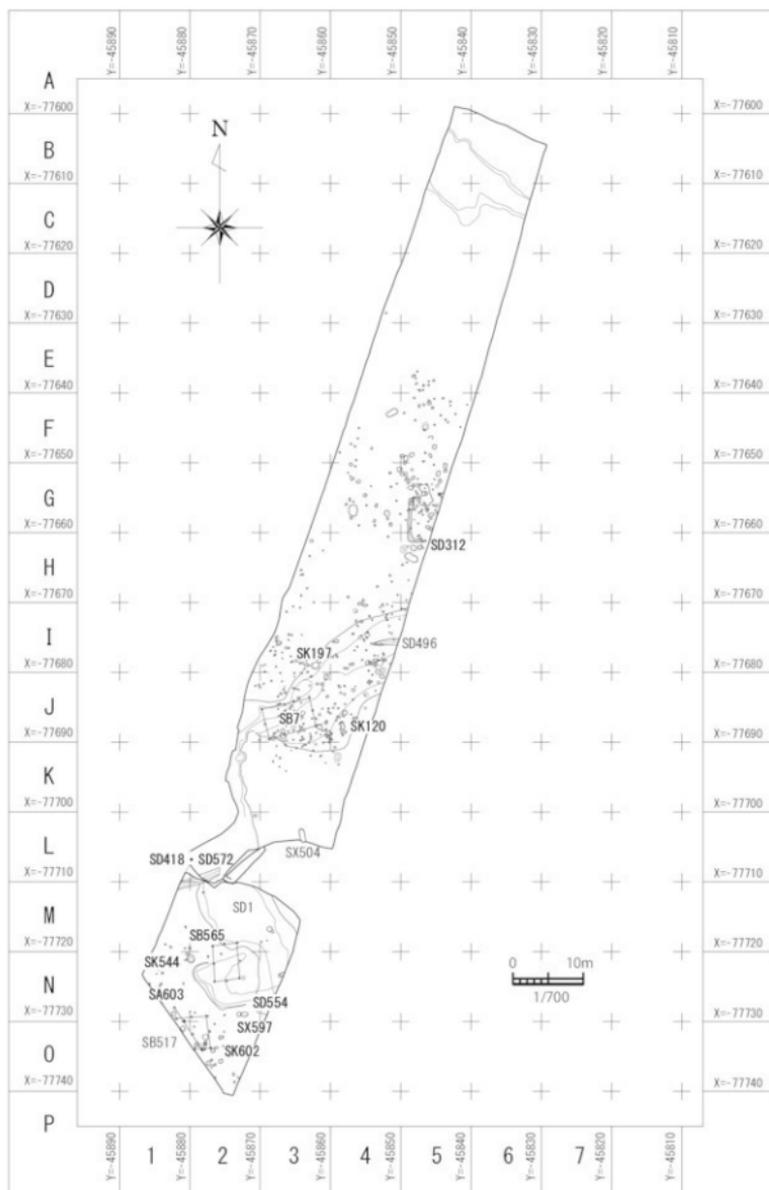


图 156 5区遺構配置図(1/700)

## 2-5 花岡古町遺跡 5 区の調査

花岡古町遺跡 5 区は、自動車道本道の建設予定地区にあたり、調査区幅 18 m 程度の細長い形状の調査区を設定した。

5 区では、掘立柱建物 (SB) 3 棟、柵列 (SA) 1 条、溝 (SD) 5 条、土壇 (SK) 6 基、その他 (SX) 2 基を検出した。

5 区の基本層序は次のとおりである。6 層：黒褐色粘土で土師器、須恵器、陶磁器を多量に含む包含層である。7 層：にぶい黄褐色粘土で 7a 層及び 7b 層、オリーブ褐色砂の 7c 層に細分された層である。7a 層及び 7b 層の上面で遺構確認を実施したが、両確認面に時期的な差異を認めることはできないとの認識に至っている。7c 層は古代の遺物を主体とする包含層である。8 層：その存在を認識することができない。9 層：暗褐色砂礫層である。なお、4 区 8 層で古墳時代土師器製の完形品が出土したため、9 層以下の層序を古墳時代以前の基盤層として取り扱っている。また、1～5 層は圃場整備に伴う整地以降に形成された層序であり、表土として取り扱う。おいて、包含層出土遺物を、本節の末尾に掲載している。

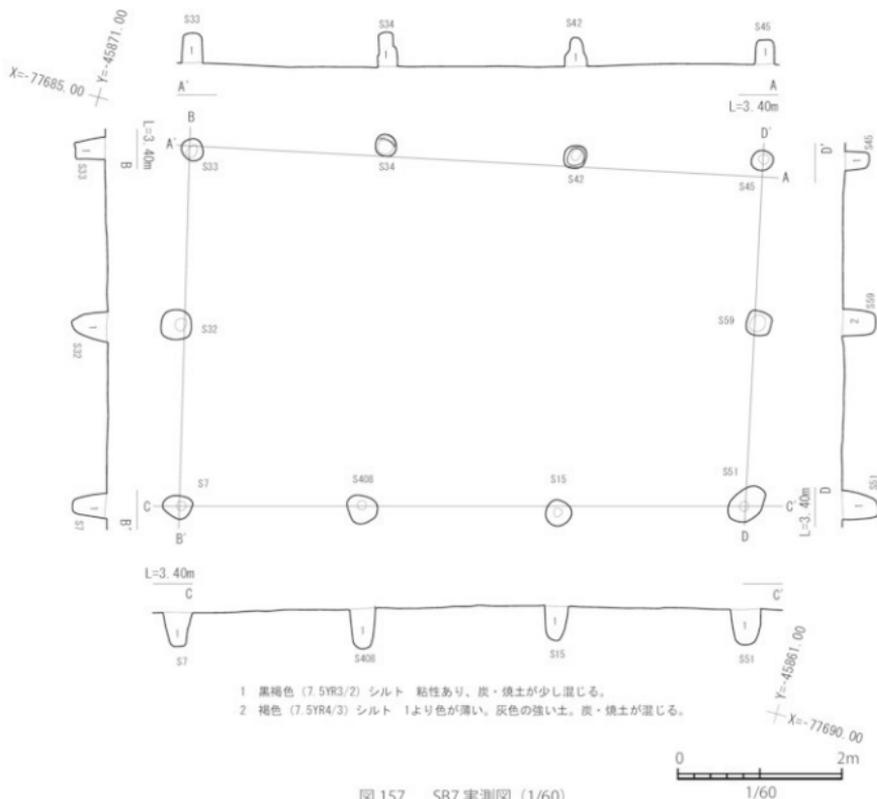
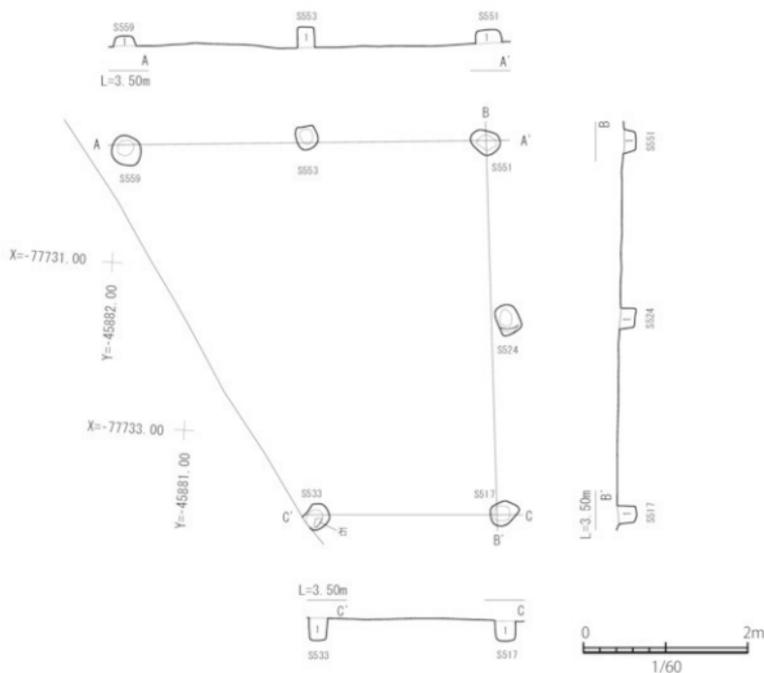


図 157 SB7 実測図 (1/60)



1 褐色 (7.5YR4/3) シルト 黒褐色土より色が薄い、灰色の強い土。炭・焼土が混じる。

図 158 SB517 実測図 (1/60)

## 2-5-1 掘立柱建物 (SB)

掘立柱建物は、3 棟検出している。

### SB7

全様が明らかになった掘立柱建物である。J3 グリッドに位置する。

長軸を西南西から東北東方向に採る桁行 3 間 × 梁行 2 間の掘立柱建物である。桁行 7.0m × 梁行 4.2m であり、柱間寸法は桁間 2.2 ~ 2.4 m、梁間 2.0 ~ 2.2m を測る。

柱穴は直径 29 ~ 53cm の円形を呈し、遺構確認面

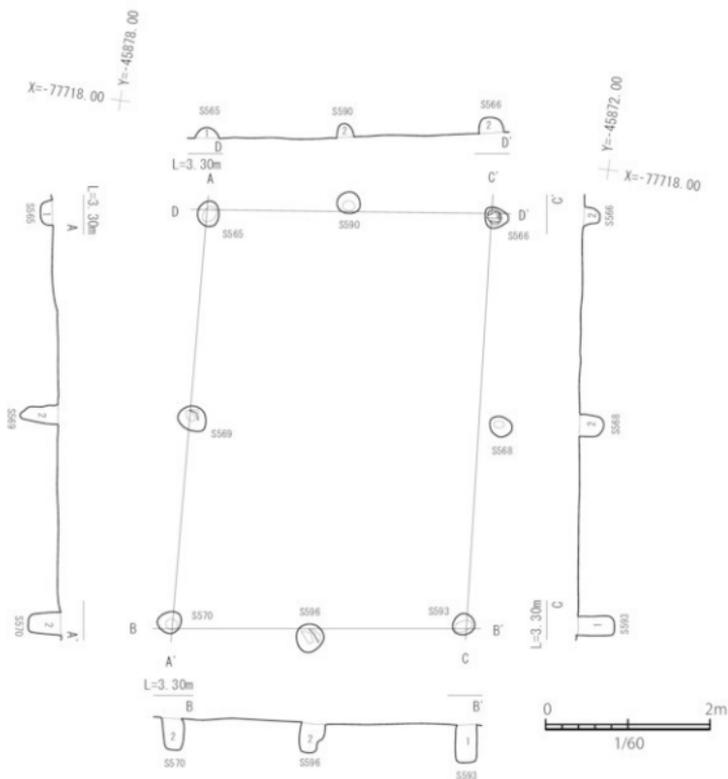
からの深さは 30 ~ 50cm であった。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

### SB517

東部分を確認できただけであるため、全様不明の掘立柱建物である。O3 グリッドに位置する。

検出状況においては長軸を東西方向に採る桁行 2 間 × 梁行 2 間の掘立柱建物である。桁行 4.4m × 梁行 4.6m であり、柱間寸法は桁間 2.2 ~ 2.3 m、梁間 2.2 ~ 2.4m を測る。

柱穴は直径 32 ~ 41cm の円形を呈し、遺構確認面



- 1 黒褐色 (7.5YR3/2) シルト 粘質土 灰・焼土が少し湿じる。
- 2 褐色 (7.5YR4/3) シルト 1より色が薄い、灰色の強い土。灰・焼土が湿じる。

図 159 SB565 実測図 (1/60)

からの深さは 14～28cm であった。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

#### SB565

全様が明らかになった掘立柱建物である。N2 グリッド下に位置する。

長軸を南北方向に採る桁行 3 間×梁行 2 間の掘立柱建物である。桁行 3.5m×梁行 5.0m であり、柱間寸法は桁間 1.7～1.9m、梁間 2.5～2.6m を測る。

柱穴は直径 29～37cm の円形を呈し、遺構確認面からの深さは 15～47cm であった。各柱穴は、底面標高が北ほど浅く、南ほど深くなっている。

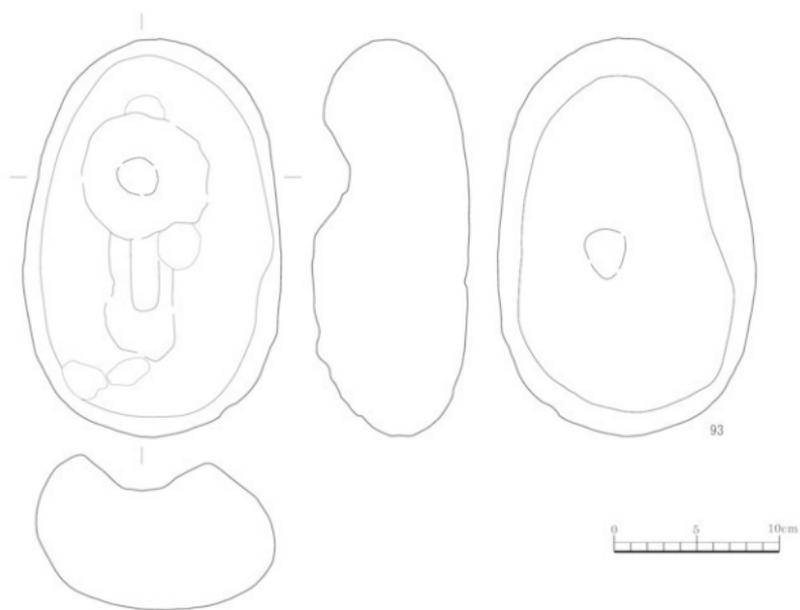
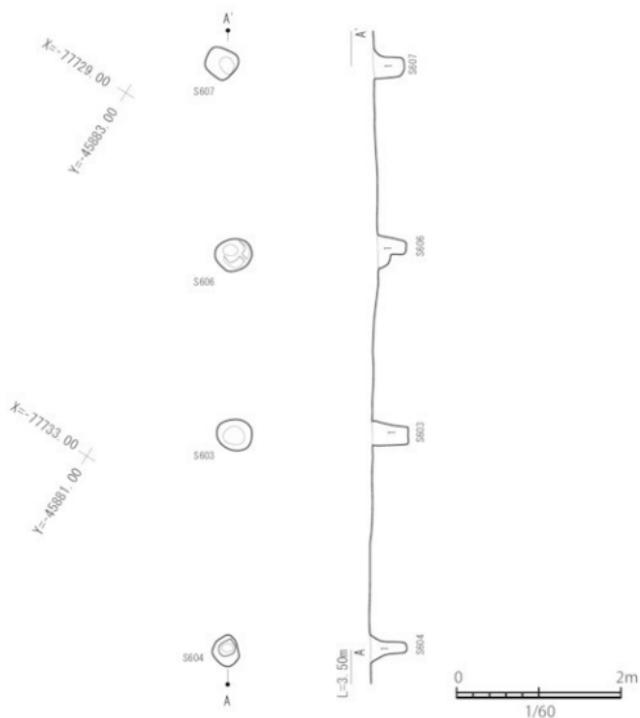


图 160 SB565 (S566) 石器 (RQ) 实测图



1 褐色 (7.5YR4/3) シルト 黒褐色土より色が薄い、灰色の強い土。炭・焼土が混じる。

図 161 SA603 実測図 (1/60)

## 2-5-2 柵列 (SA)

柵列は、1 条検出している。

### SA603

検出状況においては 4 基の柱穴 (群) で構成された、南東から北西に走行する柵列である。

柵列の長さは 7.2m、柱間寸法は 2.2-2.6m を測る。各柱穴は、底面標高を概ね揃えている。

各柱穴は直径 28 ~ 35cm の円形を呈し、遺構確認

面からの深さは 36 ~ 44cm であった。

なお、この柱穴列を柵列としたが、掘立柱建物の側面である可能性も存在する。

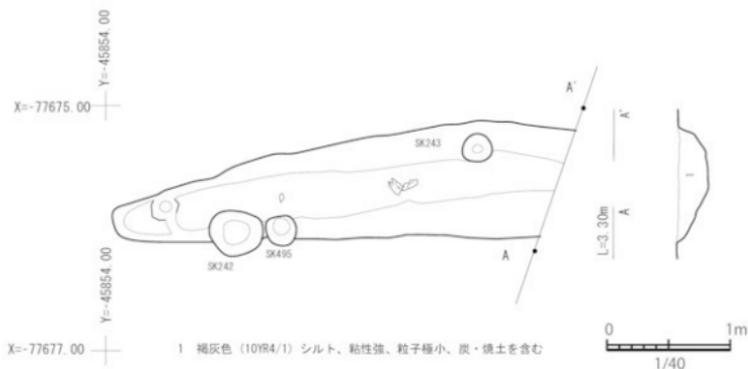


図 162 SD496実測図(1/40)



図 163 SD496土器(RP)実測図(土師器)

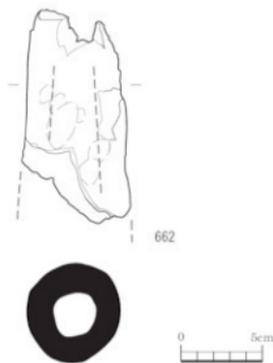


図 164 SD496土製品実測図

### 2-5-3 溝 (SD)

溝は、4 条検出されている。

#### SD496

SD496 は、東西に走る幅 1.0m、長さ 3.6m の溝である。14 グリッドに位置する。

この溝の東側は調査区外に伸びているため、規模等、全様を知ることができない。

溝から環、輪羽口が出土している。

#### SD312

SD312 は、L 字形に曲がる溝である。南北方向に走る長さ 6.1m、幅 0.4m の溝の南端が、ほぼ直角に東方向に曲がり、長さ 2.6m、幅 0.4m を測る溝として延伸している。H5 グリッドに位置する。

溝の北端は幅が増し、当該箇所に SK419 が複合する。この他、5 基のピットが溝と複合して区画帯を形成していると考えられるが、遺構の東側が未調査なため、詳細を知ることができない。

#### SD554

SD554 は、東西に走る幅 7.3m、長さ 10.3m の浅い溝である。溝底面を平坦に整えるため、黒褐色シルトを敷き込んでおり、広場 (SH) と表示したほうが

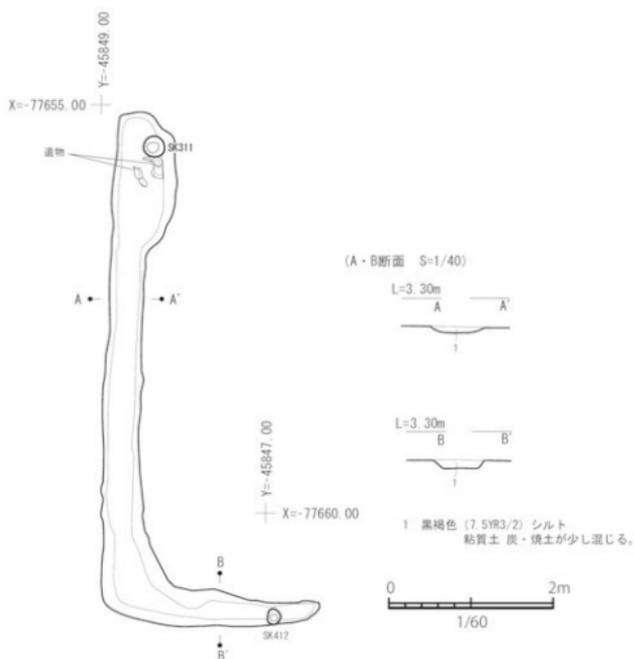


図 165 SD312 実測図 (1/60)

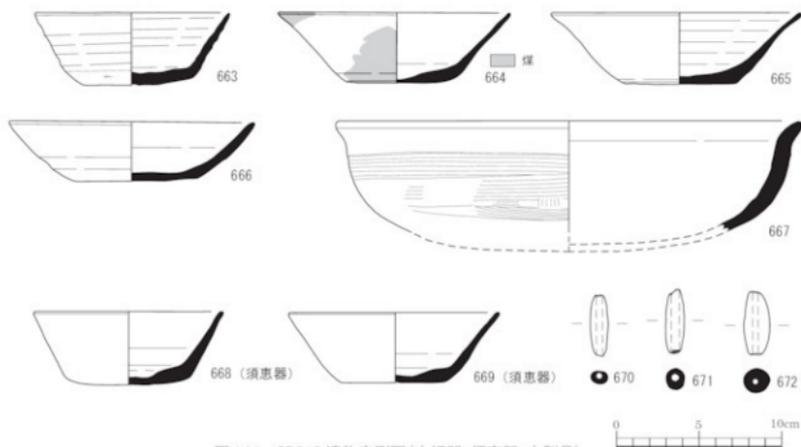


図 166 SD312 遺物実測図 (土師器・須恵器・土製品)

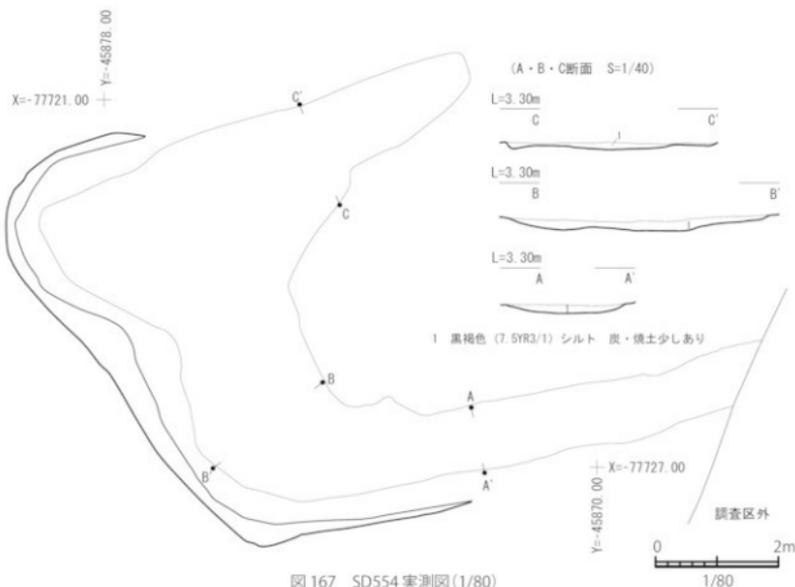


図 167 SD554 実測図 (1/80)

適切かもしれない。N2 グリッドに位置する。

溝の西端は、地山をコ字形に削り込み、削平が過ぎた箇所には黒褐色シルトを敷き込み、他の部分は地山削平を進めて、全体的に平坦な面を作り出している。この溝の東側は調査区外に延びているため、規模等、全様を知ることができない。

SD1 を切っており、自然流路が埋没した後に長方形の施設、例えば作業場等として構築されたものと考えられる。

#### SD418 および SD572

SD418 および SD572 は、2 区で調査した SD89、3 区で調査した SD42、5 区で調査した SD418 および SD572 に連続すると考えている溝である。

5 区の調査の前半で SD418、後半で SD572 を調査したため、統一性に欠く表記となった。なお、以後は SD418 と統一して表記する。

SD418 は、長さ 6.2m 幅 1.2m を測る。検出状況に

おいては西南西から東北東方向に直線走向し、西端は調査区外に延びている。L2 グリッドに位置する。

なお、溝から欄羽口、凹石が出土している。

#### SD1

SD1 は、1 区、2 区、5 区で調査された溝である。不均一な幅等、その構造から自然流路と判断している。SD1 は、ほぼ北流する本流と、西流して J2 グリッドで本流に合流する支流により構成される。

支流は、河川底の傾斜も緩やかで、埋土の堆積も静かな堆積状況を示しているが、本流は他層を巻き込んだ状況が観察できるような堆積状況であった。

SD1 の上層には、遺構検出面とした 7 層が堆積し、SD1 をバックアップしている。この 7 層は、主に古代の遺物を包含していた。SD1 の埋土は、埋 2 層を中心として墨書土器等、古代の遺物が包含され、少量ではあるものの片刃石斧等、弥生時代の遺物も含まれている。

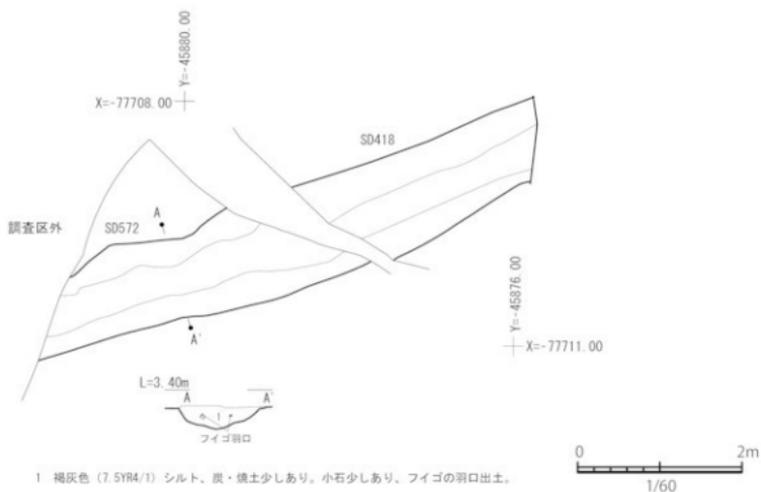


図 168 SD418・SD572 実測図 (1/60)

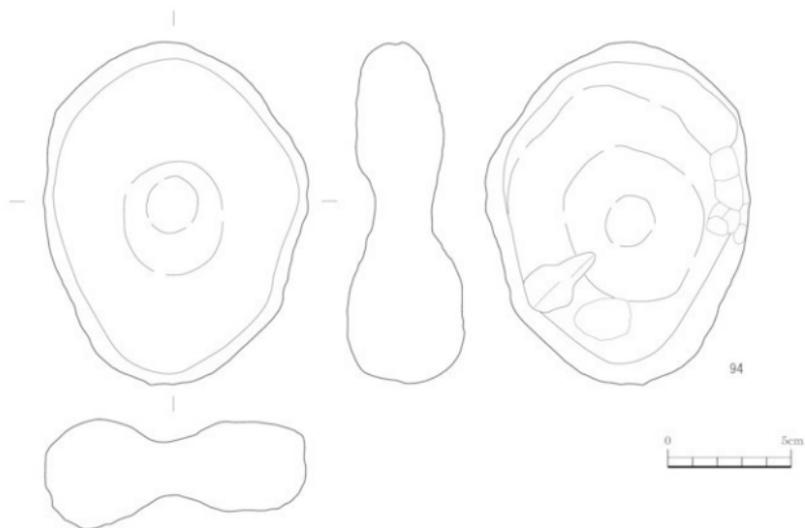


図 169 SD572 石器 (RQ) 実測図

(A断面 S=1/150)

L=3.80m



- 1 7a層 にぶい黄褐色粘土 (10YR4/3) しまりあり、縦すじ状に灰色粘土を多く含む。  
径1~2mmのマンガンを含み。
- 2 7b層 にぶい黄褐色粘土 (10YR4/3) しまりあり、粘性強、7a層より明るく見える。
- 3 7c層 オリーブ褐色砂 (2.5YR4/3) 上部は7b層の影響を受けて、粘性が強いが下部は砂質が強い。鉄分が2%程度見られる。

(B断面 S=1/150)

L=3.80m



- 1 6層
- 2 1区埋戻土
- 3 埋1a層=7層
- 4 埋2b層
- 5 埋2c
- 6 青色砂礫
- 7 砂礫



(C断面 S=1/150)

L=3.50m



- 1 6層
- 2 7層
- 3 埋1a層 にぶい黄褐色土 (10YR 5/3) シルト 粘性強い
- 4 埋1b層 暗灰黄色土 (2.5Y 5/2) 細砂 粒子細かい 粘性弱い
- 5 埋1c層 灰黄褐色土 (10YR 5/2) シルト 粘性強い
- 6 埋2a層 黄灰色土 (2.5Y 4/1) シルト 埋1b層の砂がまじる
- 7 埋2b層 黒色土 (5Y 2/1) シルト 砂がまじる
- 8 埋2c層 黒色土 (5Y 2/1) シルト 植物遺体とシルトにより成る

X=-7770.00  
Y=-45850.00

図 170 SD1 実測図 (1/300)

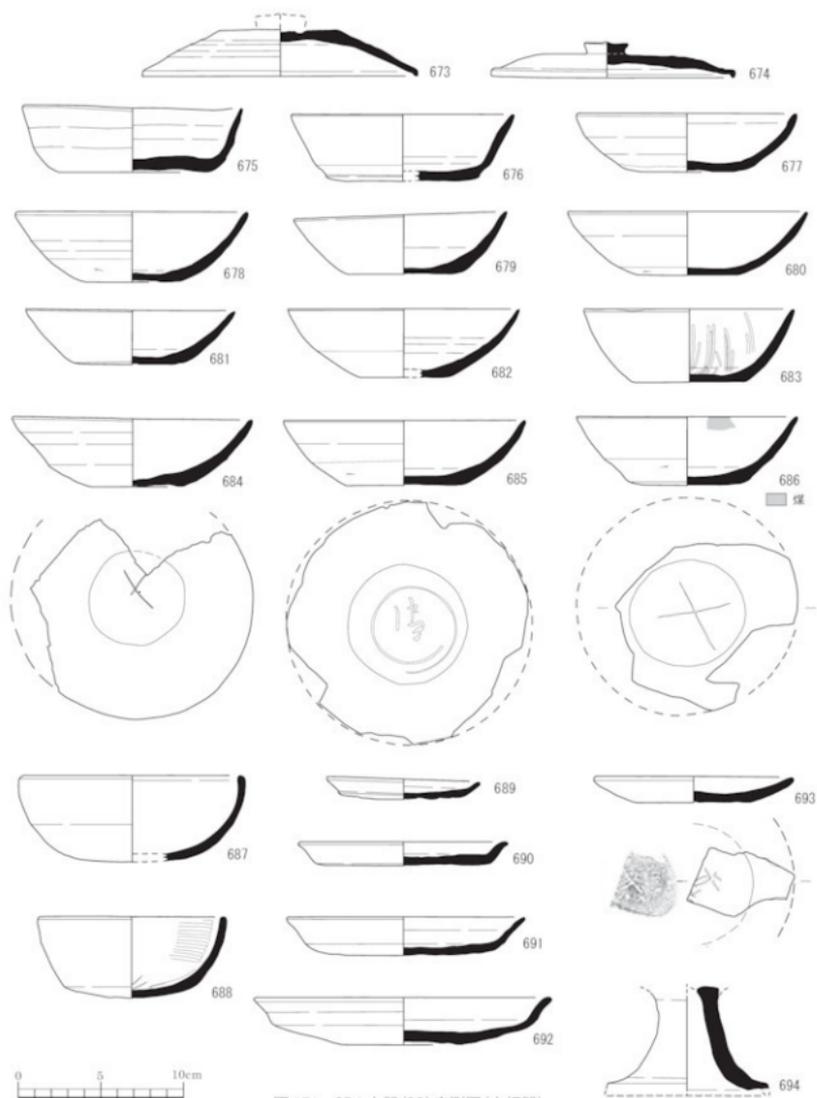


図 171 SD1 土器 (RP) 実測図 (土師器)

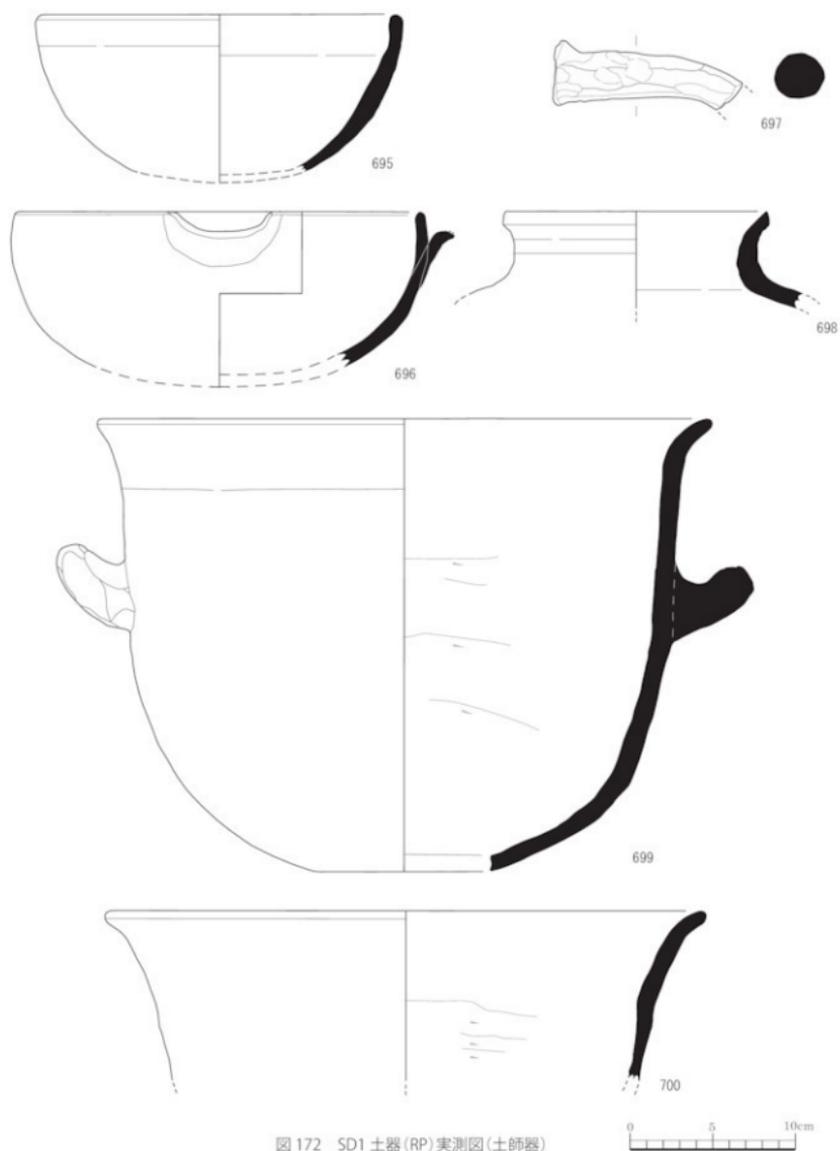


图 172 SD1 土器 (RP) 実測図 (土師器)

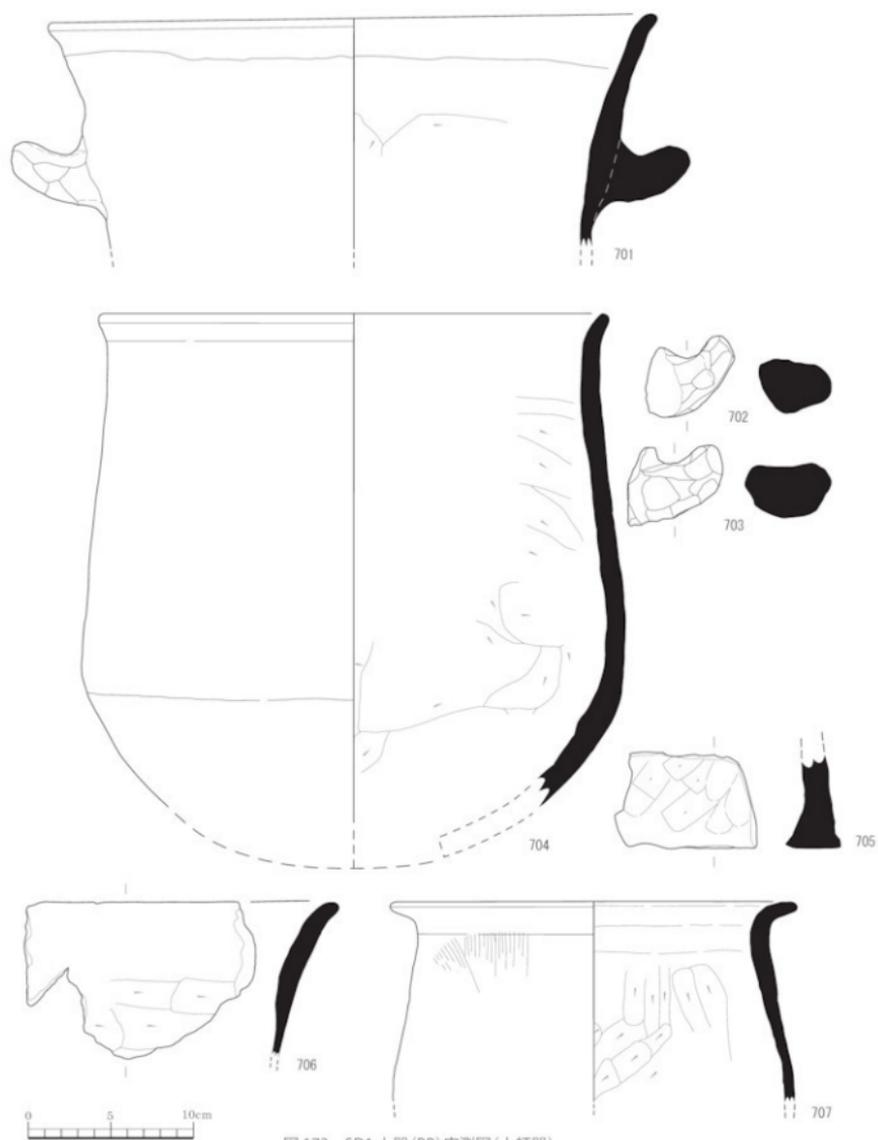


图 173 SD1 土器 (RP) 実測図 (土師器)

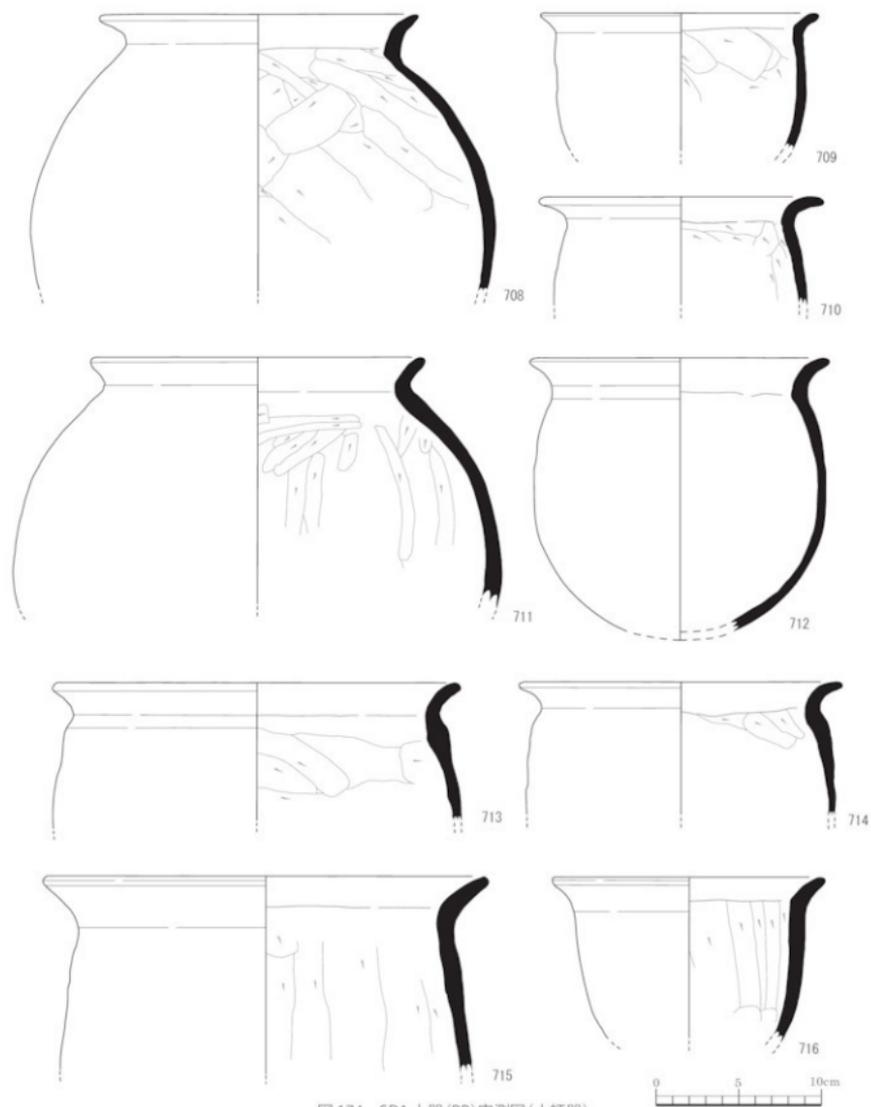


图 174 SD1 土器 (RP) 实测图 (土师器)

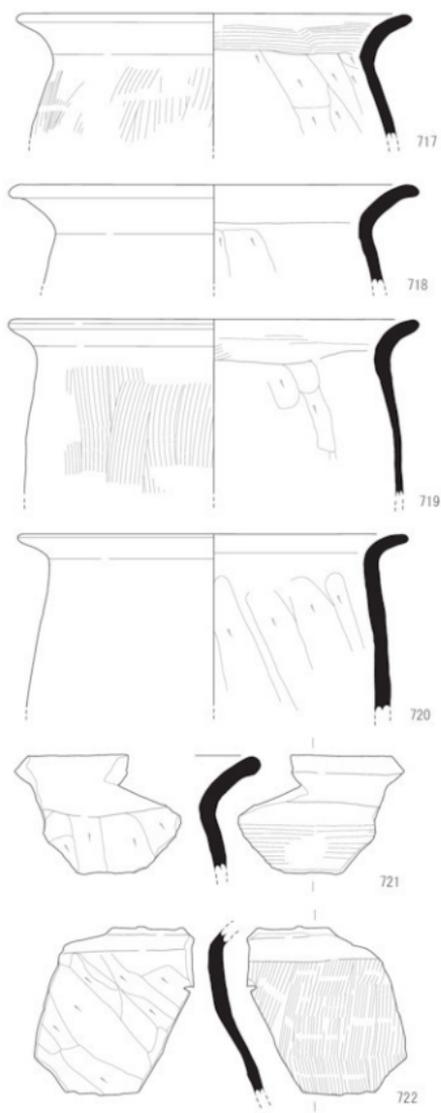
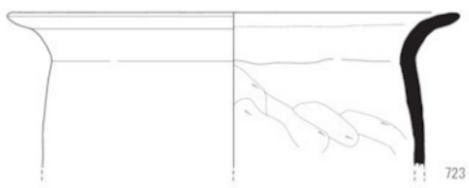
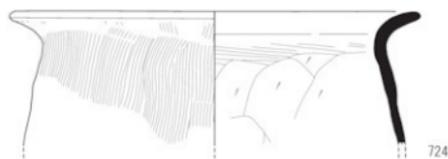


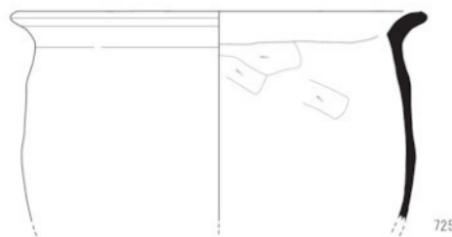
図 175 SD1 土器 (RP) 実測図 (土師器)



723



724



725



図 176 SD1 土器 (RP) 実測図 (土師器)

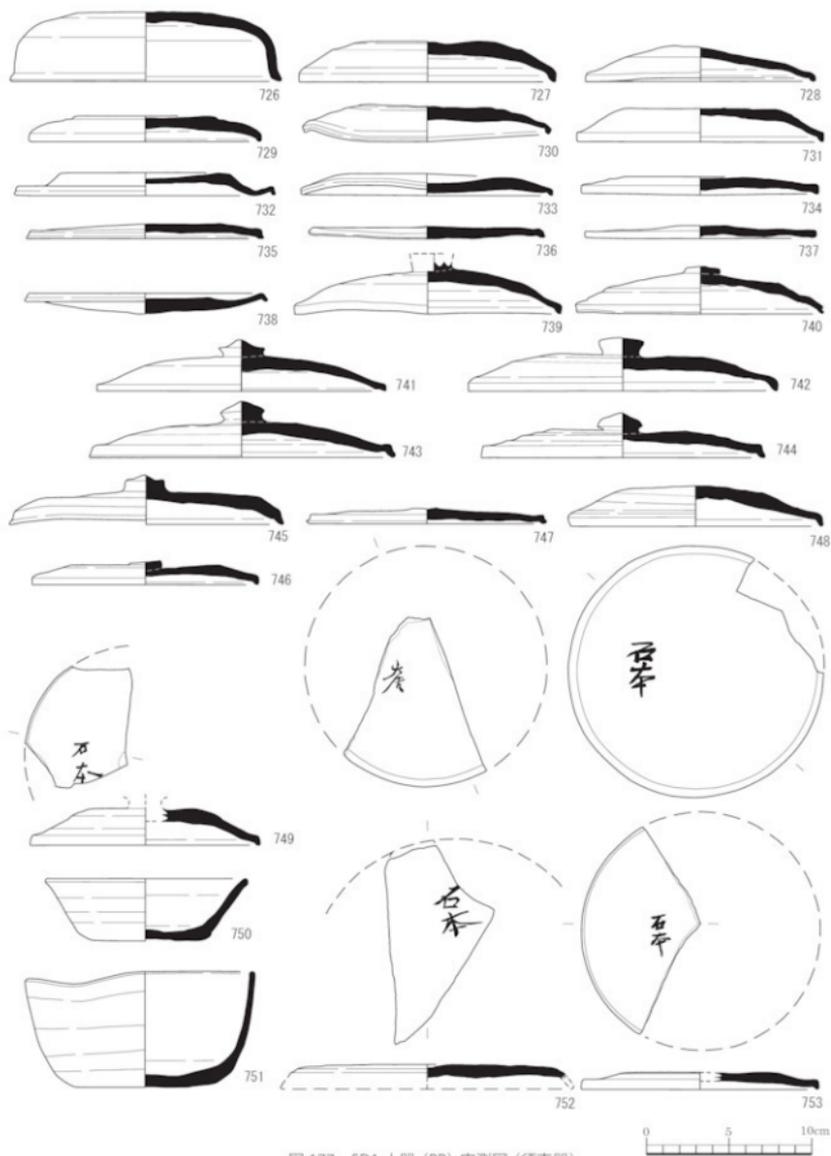


図 177 SD1 土器 (RP) 実測図 (須恵器)

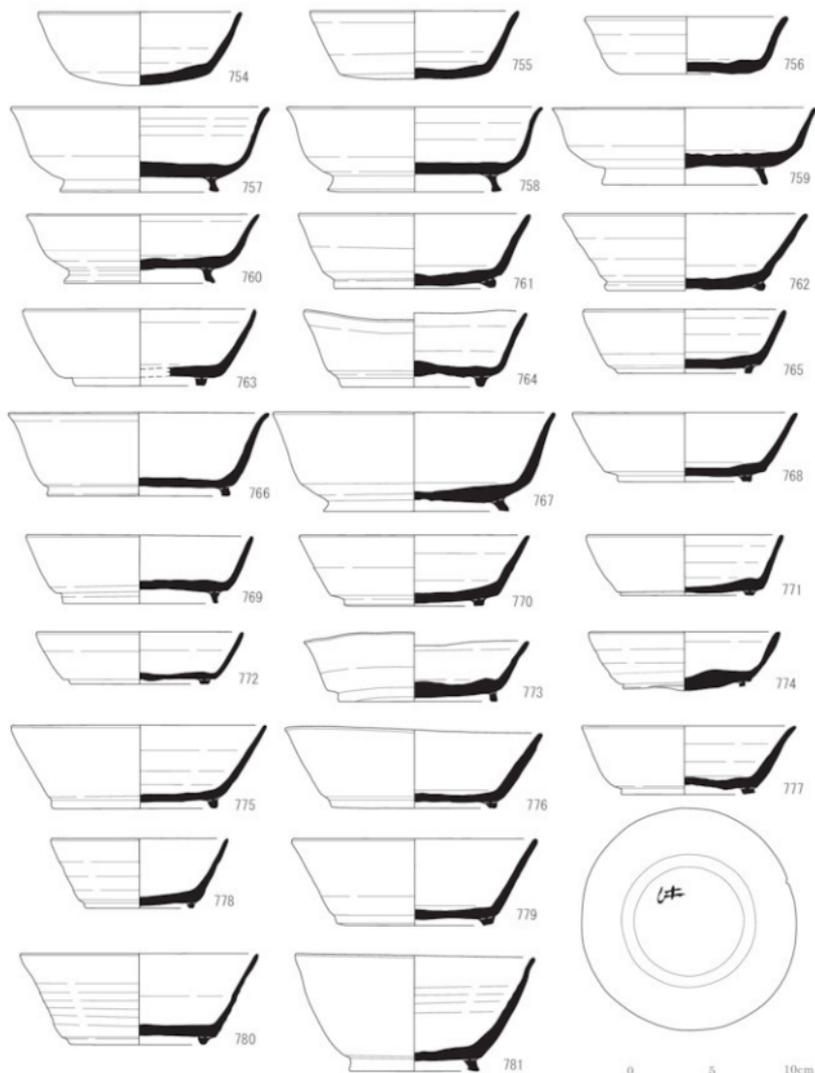


图 178 SD1 土器 (RP) 实测图 (须惠器)

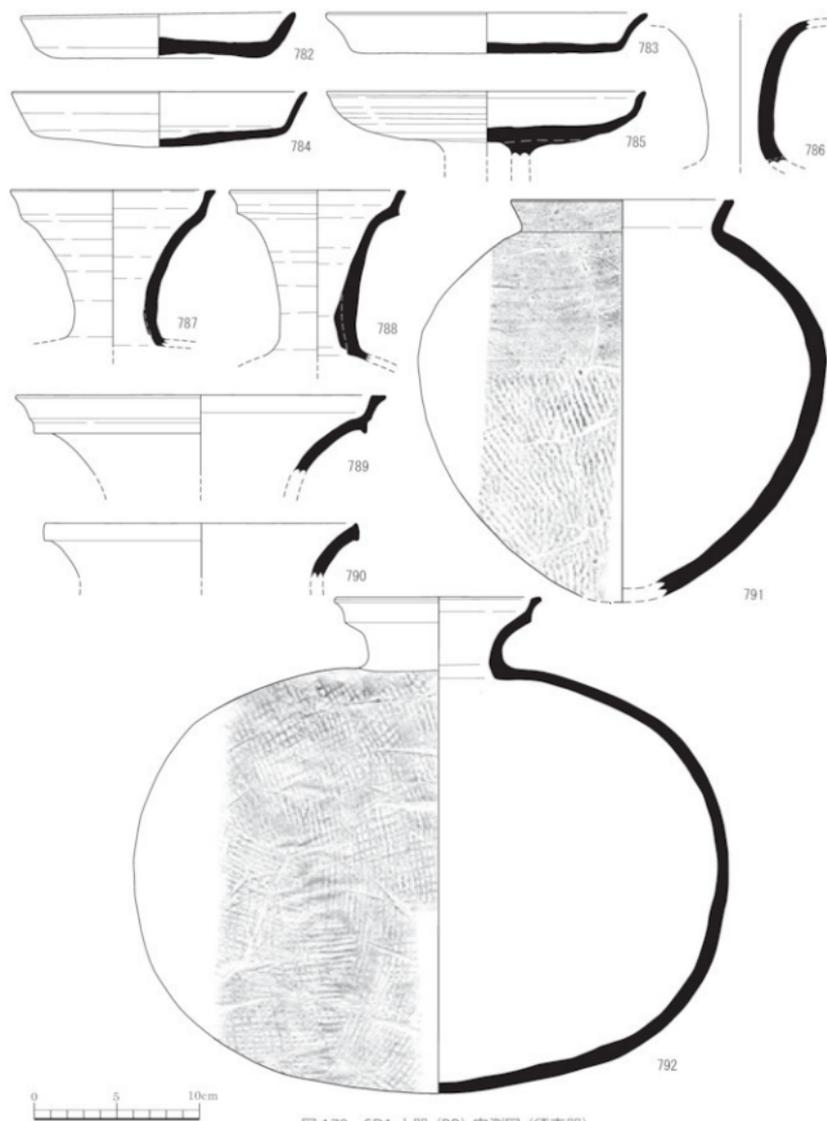


図 179 SD1 土器 (RP) 実測図 (須恵器)

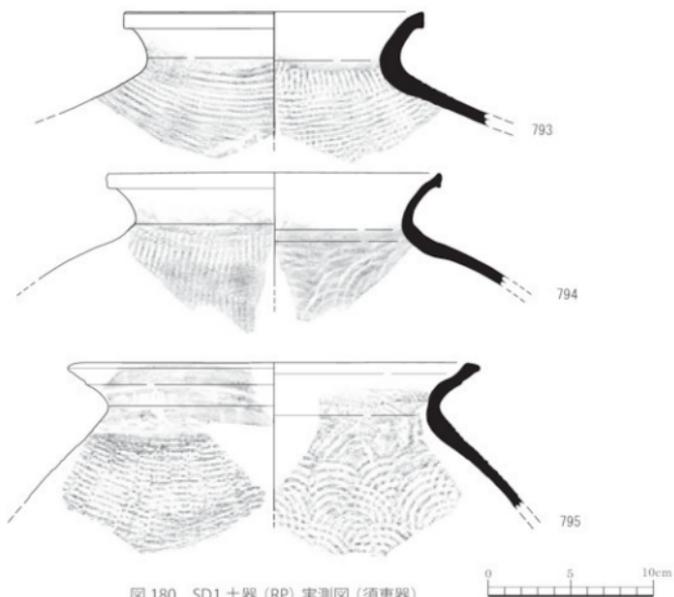


图 180 SD1 土器 (RP) 实测图 (须惠器)

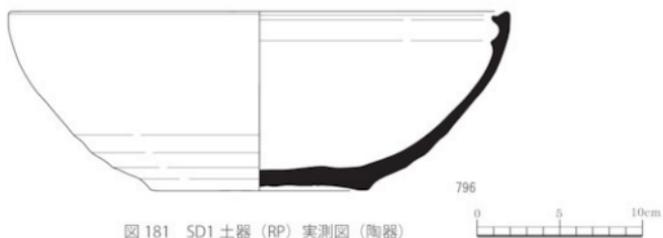


图 181 SD1 土器 (RP) 实测图 (陶器)

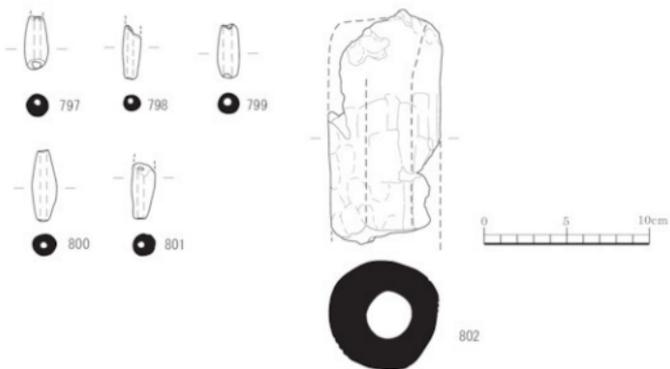


图 182 SD1 土製品实测图



图 183 SD1 滑石製品実測図

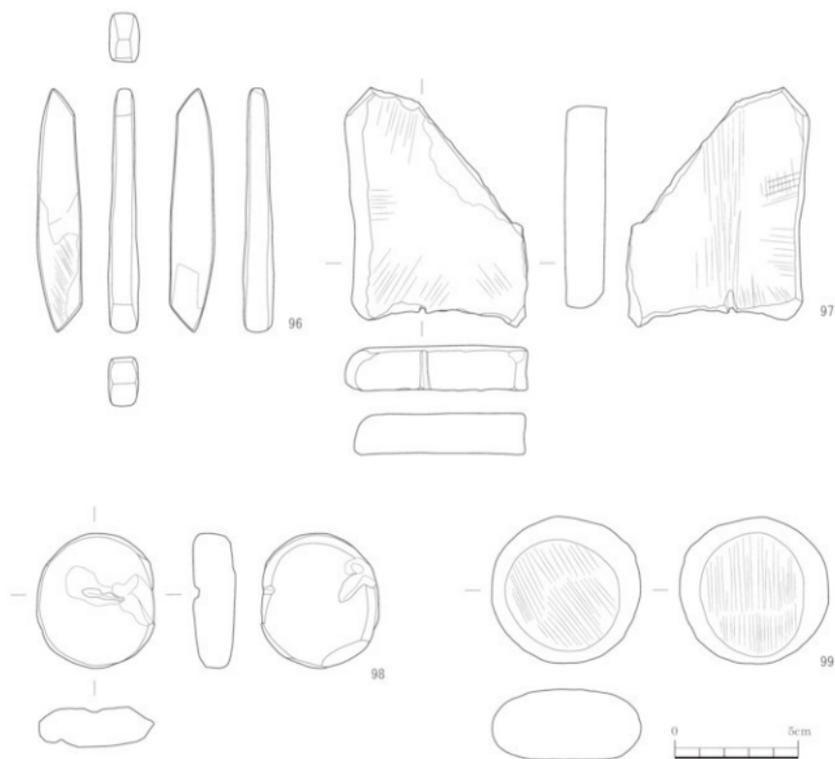


图 184 SD1 土器 (RQ) 実測図

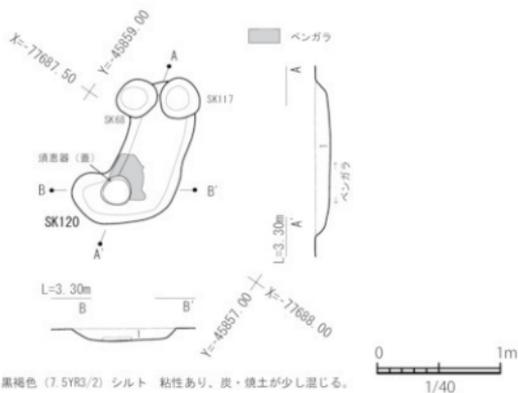
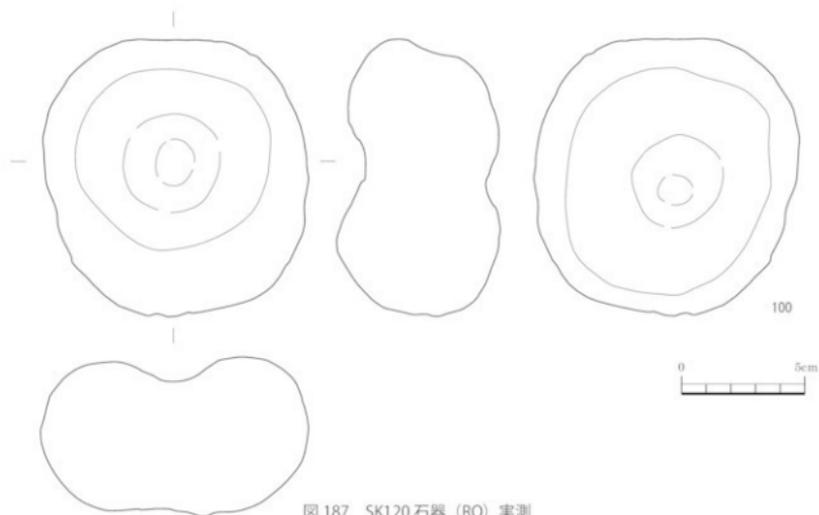
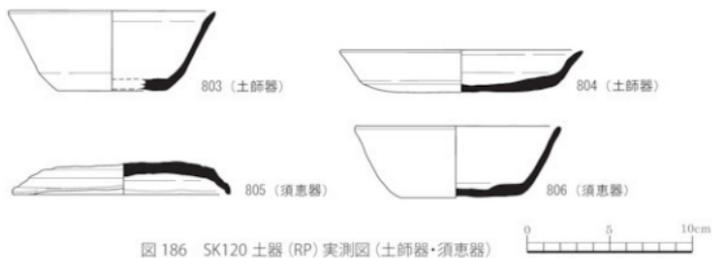
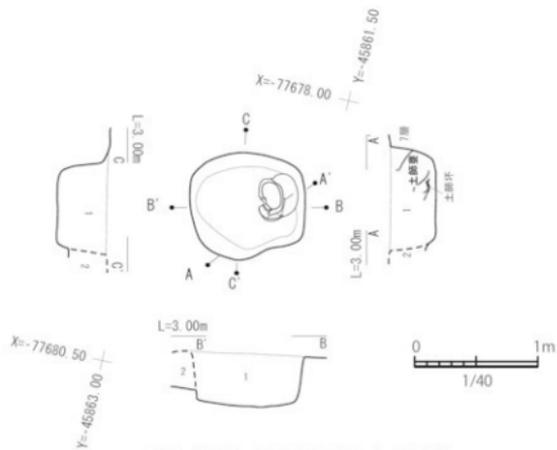


図 185 SK120 実測図 (1/40)





- 1 埋土 褐色粘土 (7.5YR4/3) 粘土極小、炭・焼土を含む。  
 2 7層掘削により露出した箇所

図 188 SK197 (SK476) 実測図 (1/40)

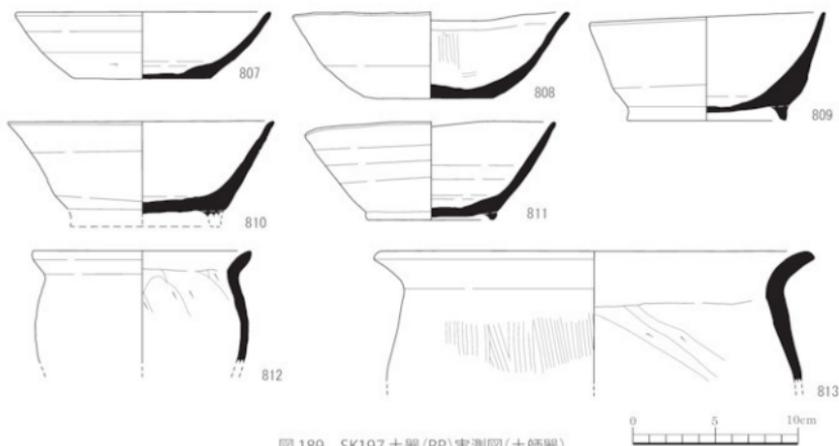


図 189 SK197 土器 (RP) 実測図 (土師器)

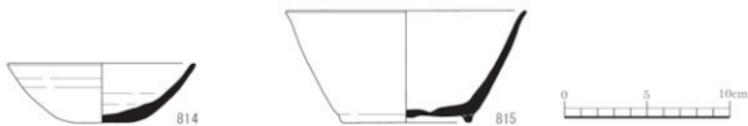
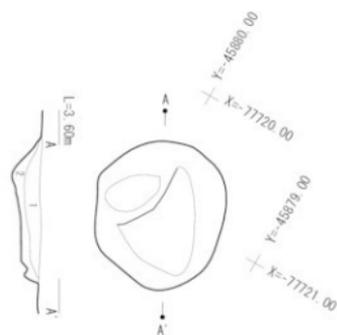


図 190 SK197 土器 (RP) 実測図 (須恵器)



- 1 埋1層 黒色 (7.5YR17/1) シルト、炭・焼土を含む。  
2 埋2層 黒褐色 (7.5YR3/2) シルト、炭・焼土を少し含む。

図 191 SK544 実測図 (1/40)



図 192 SK544 滑石製品実測図

## 2-5-4 土壌 (SK)

土壌は、ピットと称するものを含め約 600 基が検出されているが、特記すべき遺物を出土したものに ついて以下に記述する。

### SK120

L 字形を呈する土壌に 2 基のピットが複合した遺構である。J4 グリッドに位置する。

長径 1.3m、短径 0.5m を測る L 字形の土壌の北端に、直径 33cm 程のピットが 2 基、並置して複合している。

L 字形の屈曲部に赤色の土壌が分布し、その上位に須恵器環蓋が位置していた。赤色の土壌は、肉眼観察によりベンガラと判断している。その他、土師器環、皿、須恵器環が各 1 点出土している。

### SK197

方形を呈する土壌に土器が埋納された遺構である。I3 グリッドに位置する。

土壌の主軸は南北方向をとり、0.9m × 0.9m、遺構確認面からの深さ 40cm を測る。土壌の北東隅に土師器椀 3 点を重ね置き、その上位に底を抜いた土師器甕を斜めに据えている。他の土器 (片) も出土しているが、以上のような土器埋置状況を確認した。なお、土壌の埋土には炭化物が混じる。

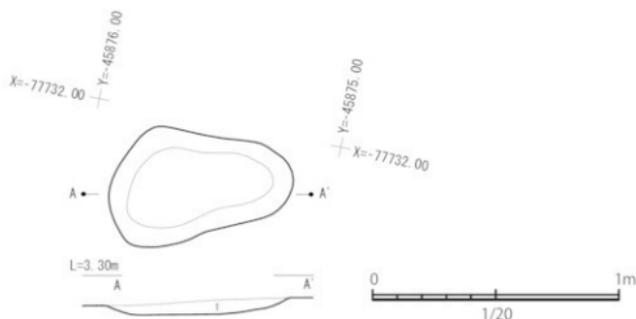
掘立柱建物等に伴う地鎮関連の遺構の可能性が高いため、建物、柵列等、関連施設の検出に努めたが、検出することができなかった。

### SK544

円形を呈する浅い土壌である。N2 グリッドに位置する。

土壌の主軸は南北方向をとり、長軸 1.2m、短軸 1.0m、遺構確認面からの深さ 23cm を測る。土壌の北西に 2 段掘り部分があるが、浅い段掘りである。

土壌から滑石製石鍋の底部破片が出土した。



1 褐色 (7.5YR4/3) シルト。炭・焼土が混じる。

図 193 SK602 実測図 (1/20)

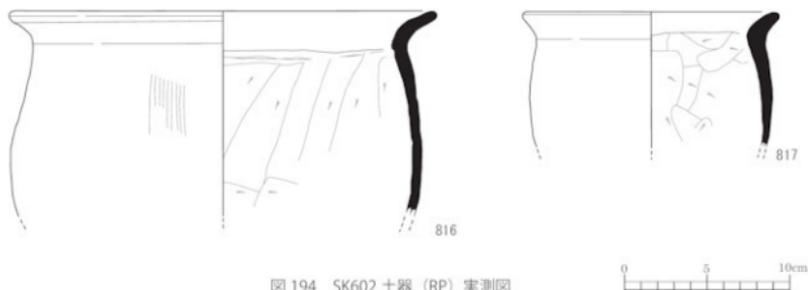


図 194 SK602 土器 (RP) 実測図

### SK602

不整形な土壌に土器が埋置された遺構である。O2 グリッドに位置する。

土壌の主軸は東西方向をとり、 $0.75\text{m} \times 0.47\text{m}$ 、遺構確認面からの深さ 6cm を測る。土壌は、大小 2 つの円形土壌が接続して弧形に近似した形を呈している。東側の大きい円形土壌には、土師器甕 (816) が倒立して据え置かれていた。甕の内部には、焼土、炭化物、土器片が含まれていた。西側の小さい円形土壌には、土師器甕 (817) が口縁部を大きい円形土壌に向け、横位で検出された。この甕は下半部が欠失しており、半截された甕が伏せ置かれていたものと考えられる状況である。なお、甕が覆っている部分から焼土

等は検出されていない。

SK602では、以上のように甕2個体がそれぞれ倒置、伏置され、大きな甕の埋土には焼土、炭化物が含まれる、土器埋置状況を確認した。これは掘立柱建物等に伴う地鎖関連の遺構の可能性が高いため、建物、柵列等、関連施設の検出に努めたが、検出することができなかった。

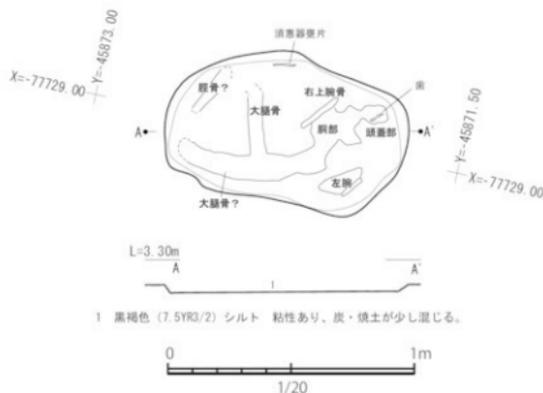


図 195 SX597 実測図(1/20)

## 2-5-5 その他 (SX)

その他の遺構として、土壌墓 2 基がある。

### SX597

楕円形を呈する土壌に、副葬品を添えた単体の仰臥伸屈葬をおこなった墓葬である。N2 グリッドに位置する。

土壌は、長軸を東西方向にとり、長辺 1.0m、短辺 0.6 m、遺構確認面からの深さ 4cm を測る。土壌底面は平坦化され、埋土には炭化物、焼土が混じっている。

棺は、その痕跡を含め確認できていない。また、釘、鏝等は出土していない。以上から、土壌墓であると判断した。

被葬者は、頭位を東にとり、仰向けの状態で、膝を曲げて土壌内に収められている。上顎歯列が遺存していたが、その検出状況から、仰臥であると判断した。また、被葬者の顔は胸元に向け、俯いた状態であったと推定している。下肢は、膝で折り曲げられていたものが、右方向に倒れた状況であった。

被葬者の頭部には、その上位に同安窯青磁椀が正置されていた。また、被葬者の右側の土壌側壁際から須恵器 (片)、左側の土壌側壁際から土師器 (細片) が検出されている。

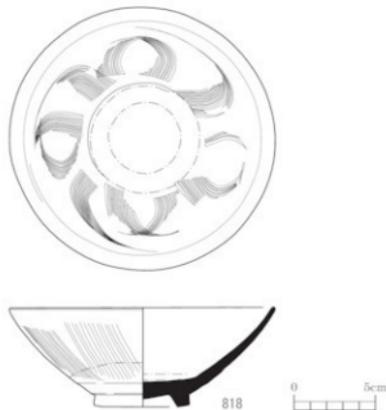


図 196 SX597 土器 (RP) 実測図

骨の遺存状態は悪く、骨粉化した状態であった。

### SX504

長方形を呈する土壌に、副葬品を添えた単体の仰臥伸屈葬をおこなった墓葬である。L3 グリッドに位置する。

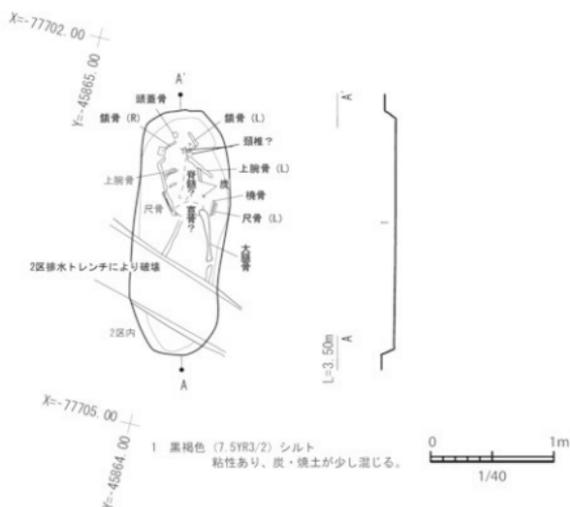


図 197 SX504 実測図 (1/40)

土壌は、長軸を南北にとり、長辺 2.0m、短辺 0.8 m、遺構確認面からの深さ 10cm を測る。土壌底面は平坦化され、埋土には炭化物、焼土が混じっている。

棺は、その痕跡を含め確認できていない。また、釘、鏝等は出土していない。以上から、土壌墓であると判断した。

被葬者は、頭位を北にとり、仰向けの状態で、四肢を伸ばした状態で土壌内に取られている。頭蓋骨、鎖骨の検出状況から、仰臥であると判断した。上肢は体幹脇に添えられ、下肢も伸ばされた状況であった。

被葬者の頭部には、その上位に同安窯青磁碗が正置されていた。また、被葬者の左肩の上位から土師皿が出土している。

なお、この墓葬は、合計 3 回の調査を受けた遺構である。まず、予備調査の際に SX504 は検出され、頭上位の青磁碗が出土資料として持ち帰られた。本調査の際には、2 区調査で南半部が、5 区調査で北半部を含む全体が調査されている。予備調査の際には「試掘 № 28 トレンチ」、2 区調査の際には「S127」として取り扱われている。

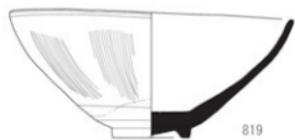


図 198 SX504 土器 (RP) 実測図

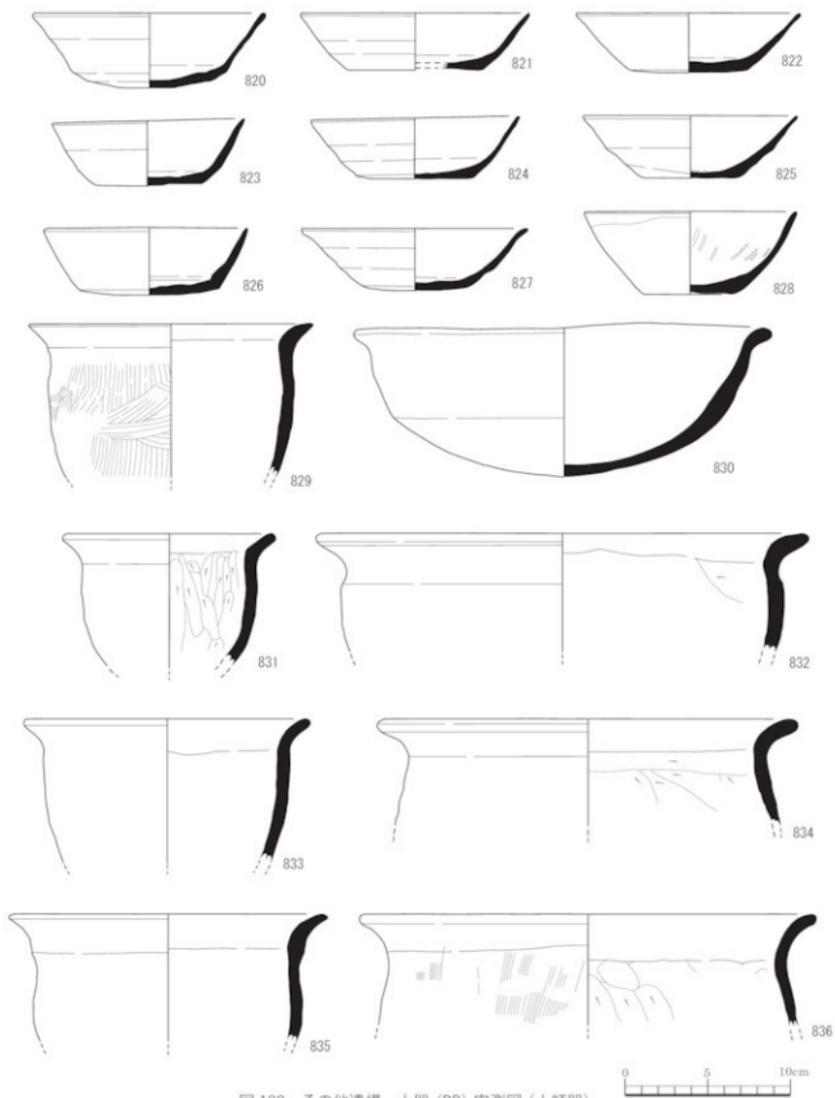


図 199 その他遺構 土器 (RP) 実測図 (土師器)

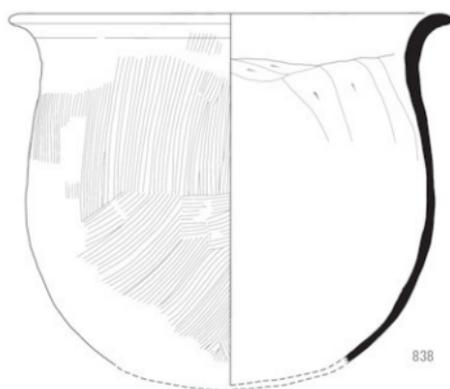
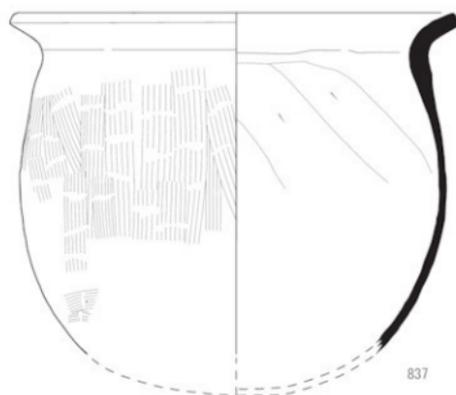


図 200 その他遺構 土器 (RP) 実測図 (土師器)

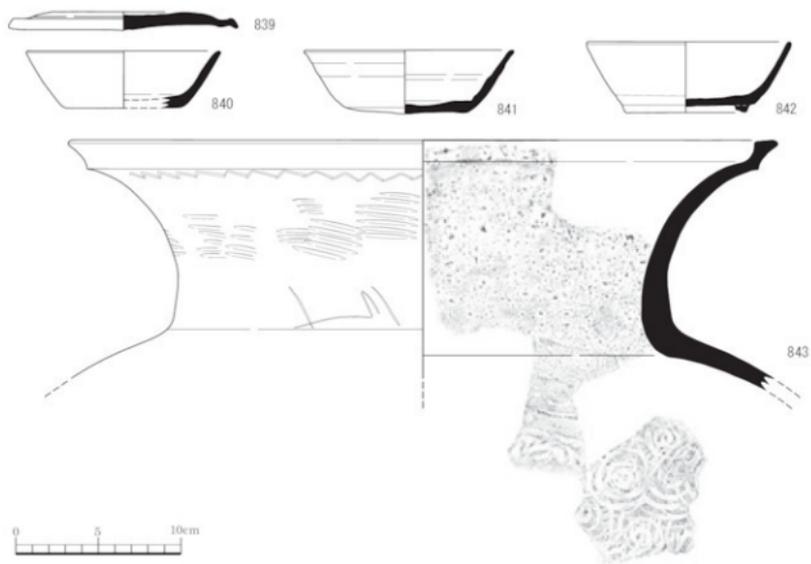


図 201 その他遺構 土器 (RP) 実測図 (須恵器)

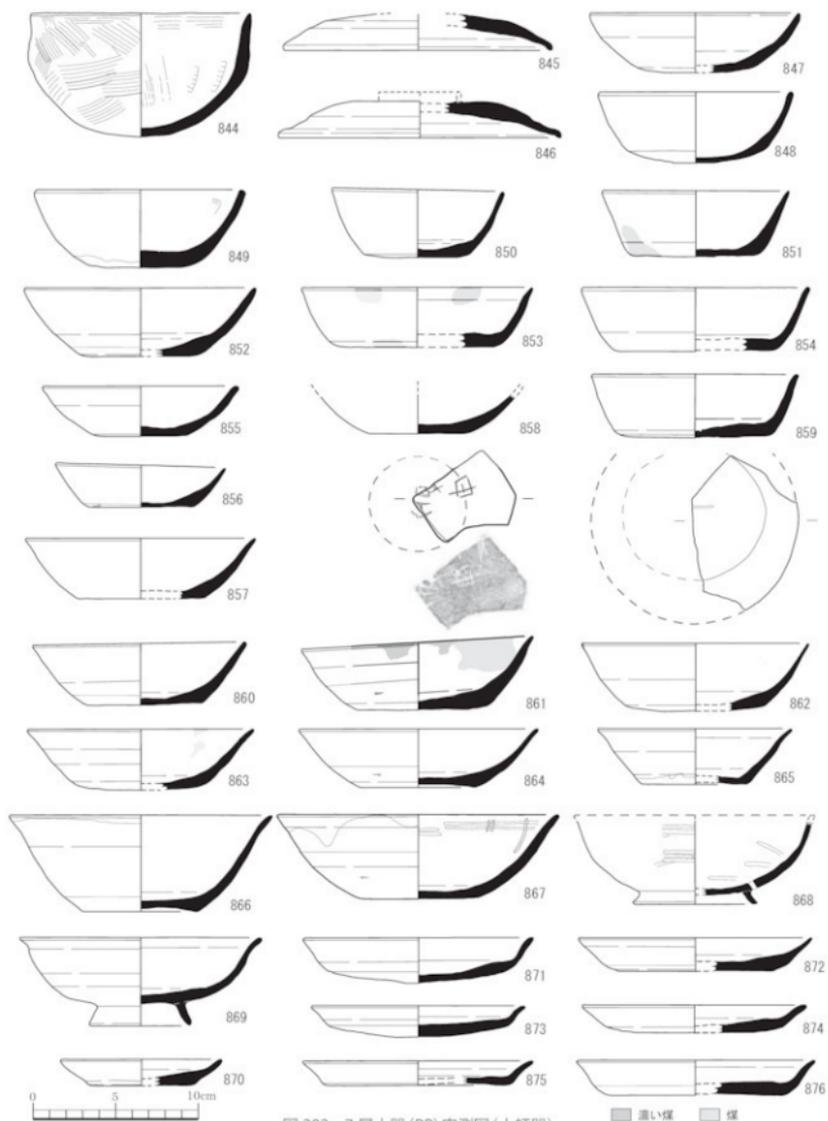


図 202 7層土器 (RP) 実測図 (土師器)

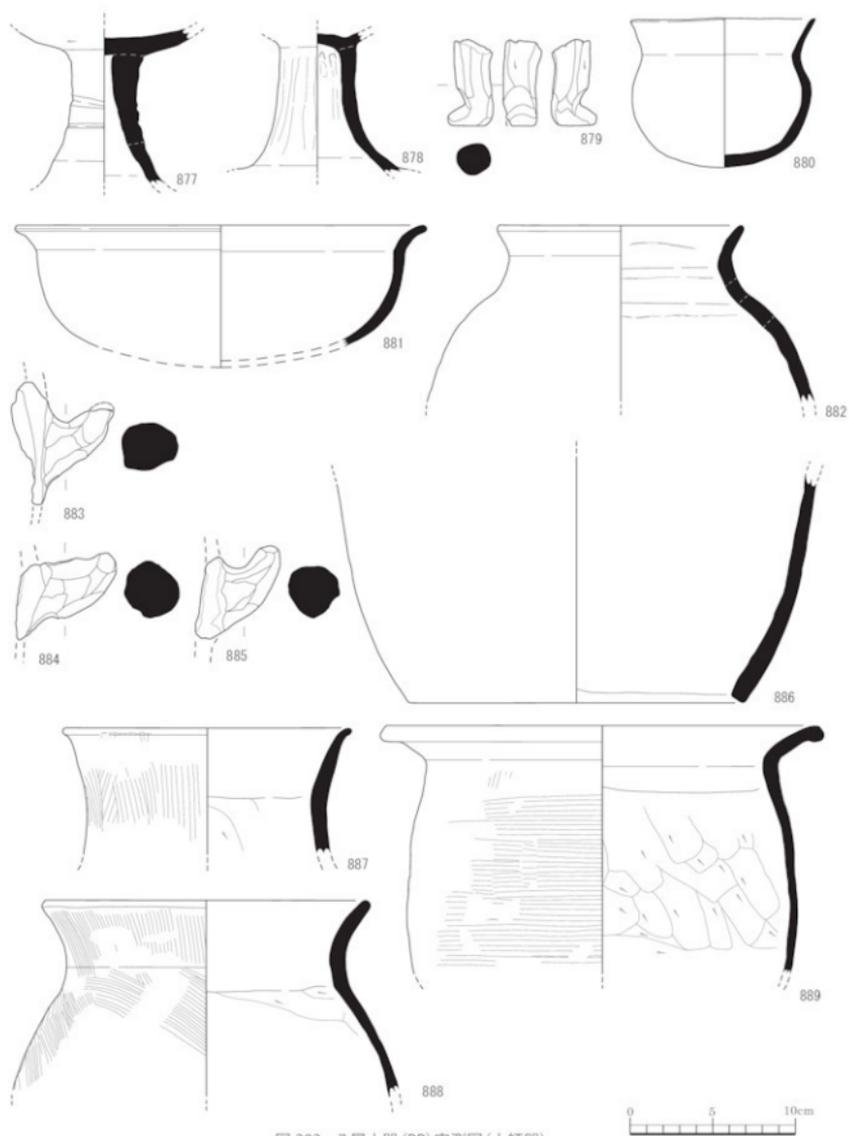


图 203 7 層土器 (RP) 実測図 (土師器)

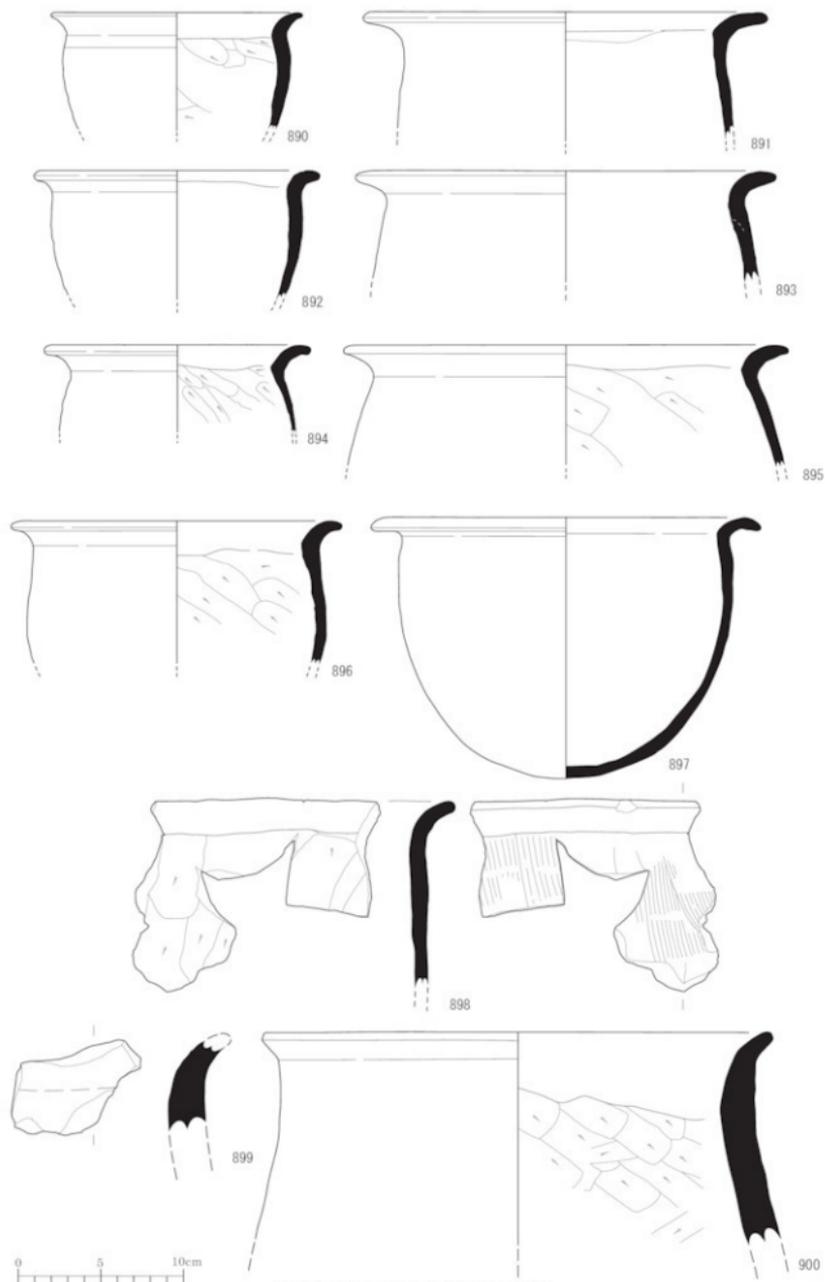


図 204 7層土器 (RP) 実測図 (土師器)

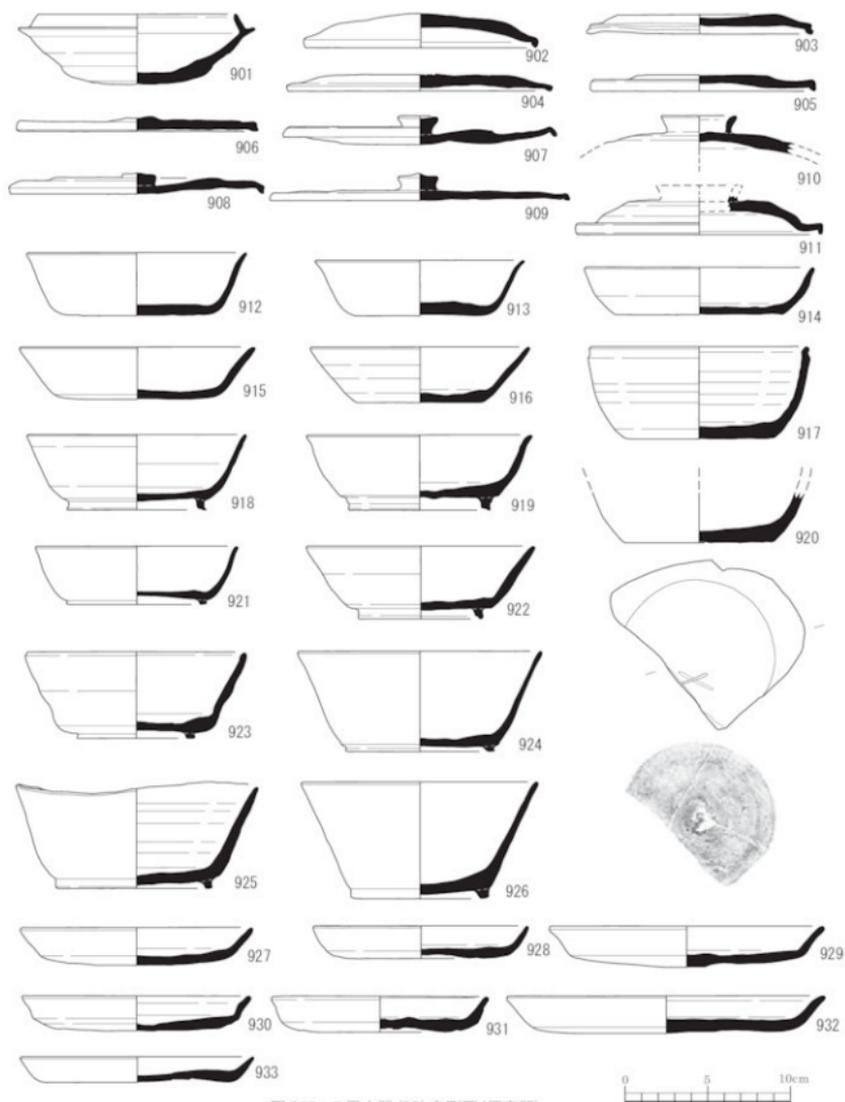


图 205 7 層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

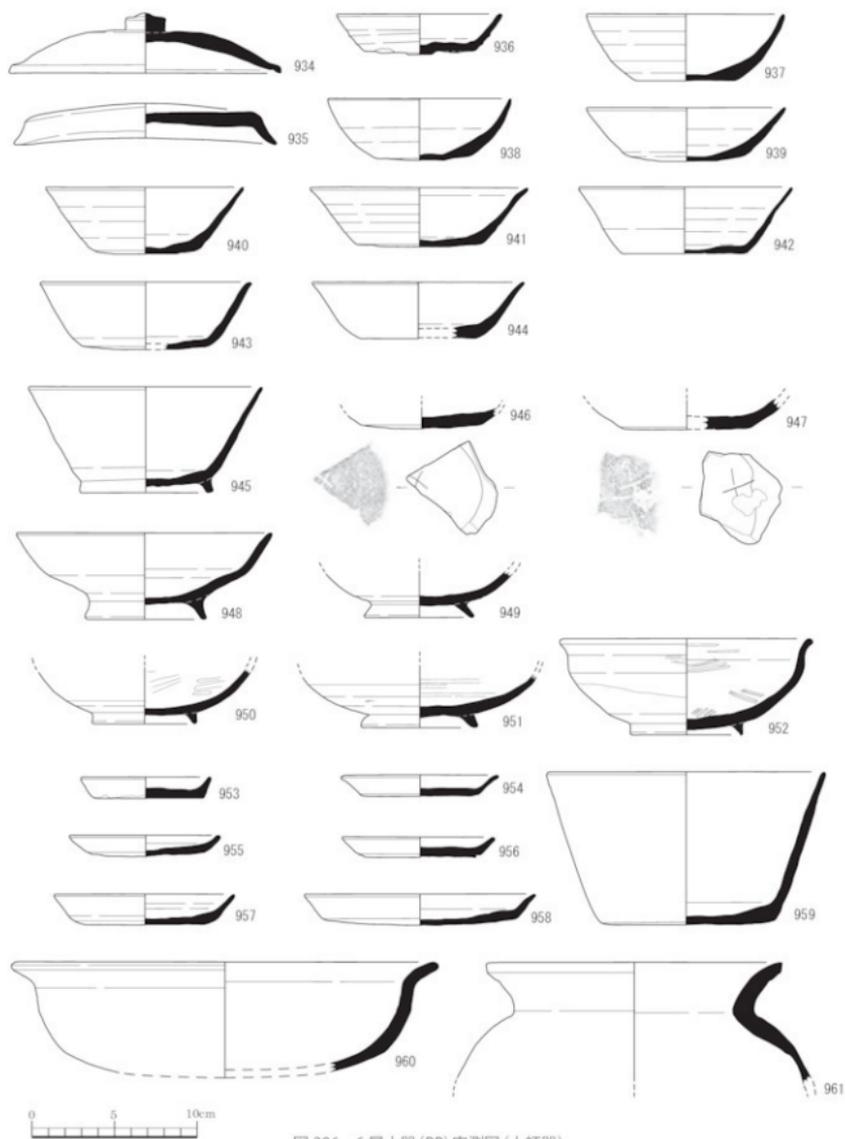


図 206 6層土器 (RP) 実測図 (土師器)

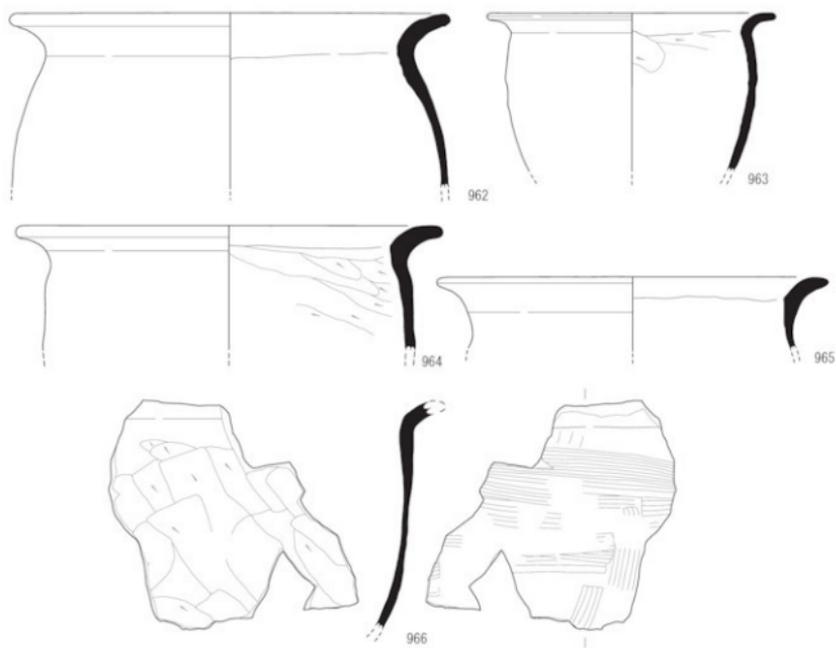


図 207 6層土器 (RP) 実測図 (土師器)



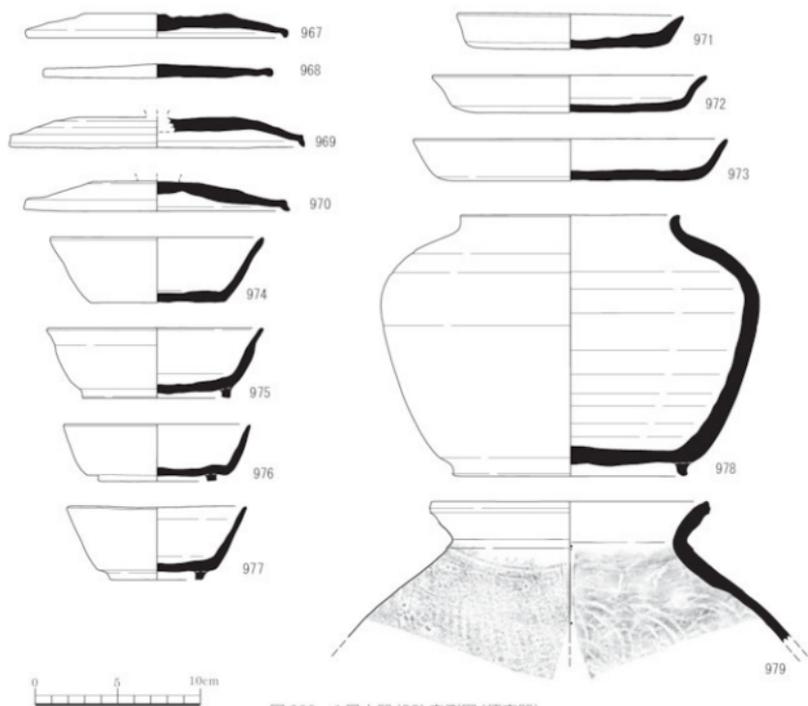


図 208 6 層土器 (RP) 実測図 (須恵器)

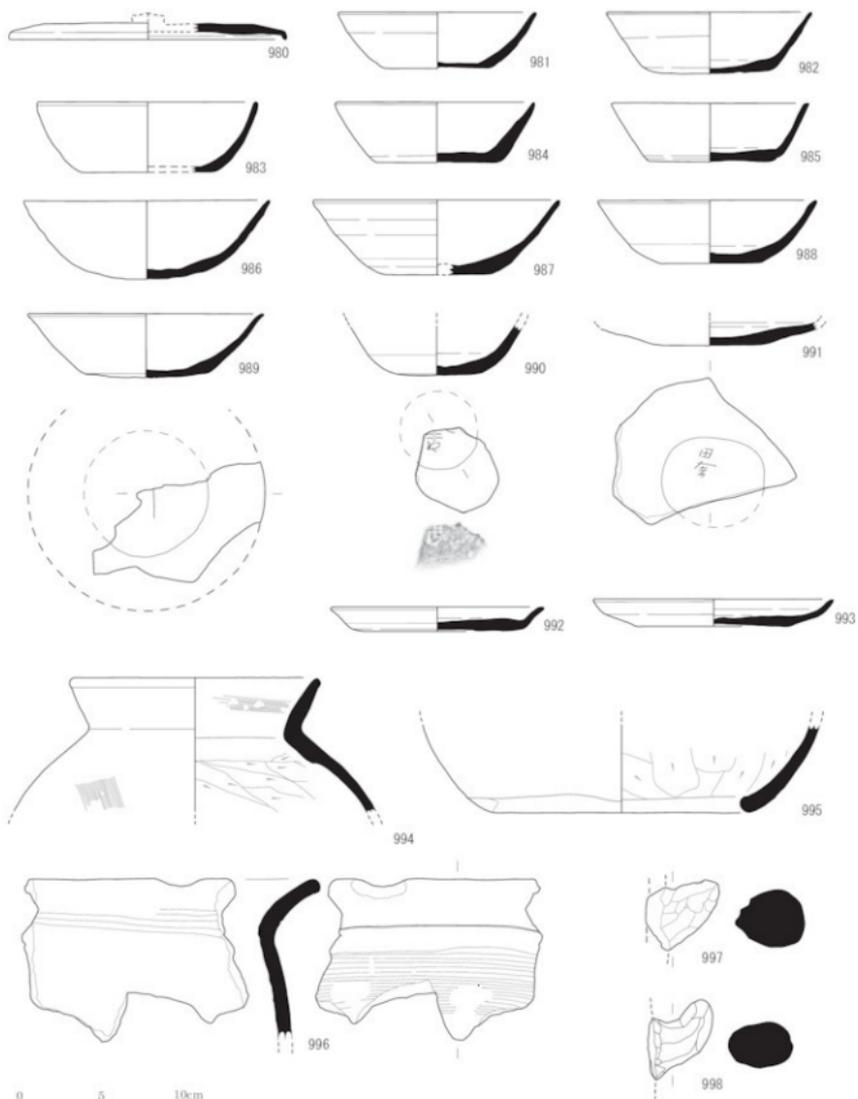


图 209 5層土器 (RP) 実測図 (土師器)

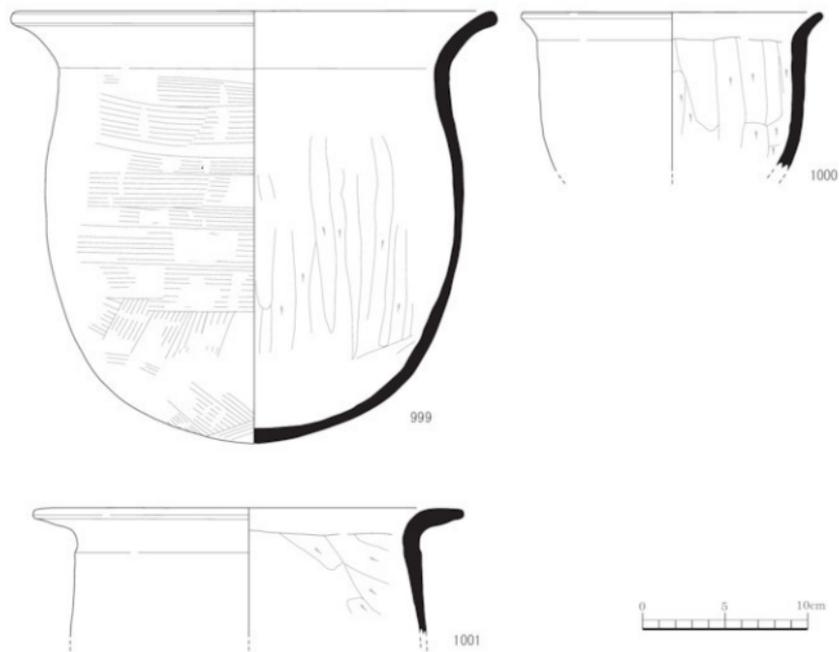


図 210 5層土器(RP)実測図(土師器)

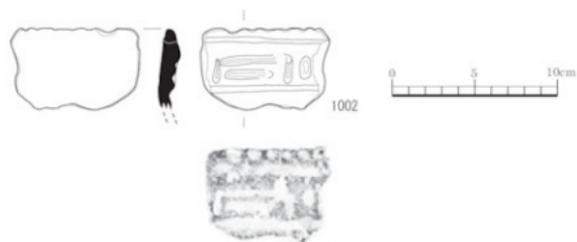


図 211 5層土器(RP)実測図(縄紋土器)

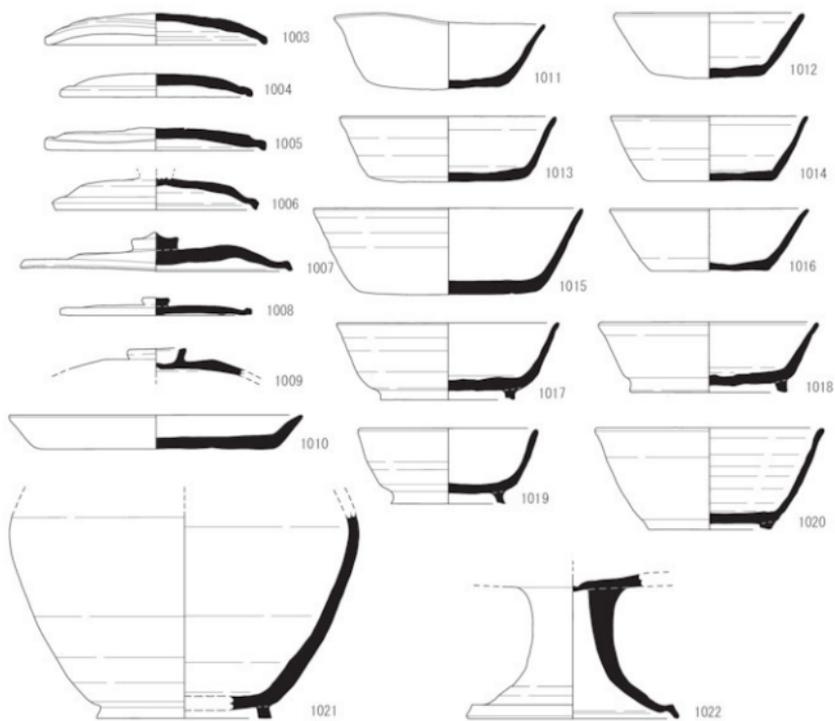


圖 212 5層土器(RP)実測図(須恵器)

0 5 10cm

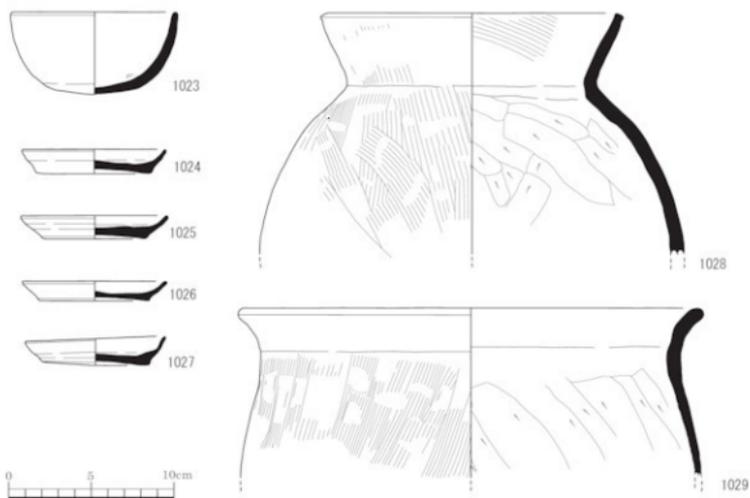


図 213 5区土器(RP)実測図(土師器)



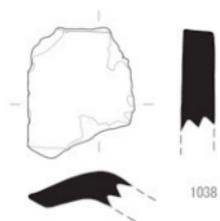
図 214 5区土器(RP)実測図(須恵器)

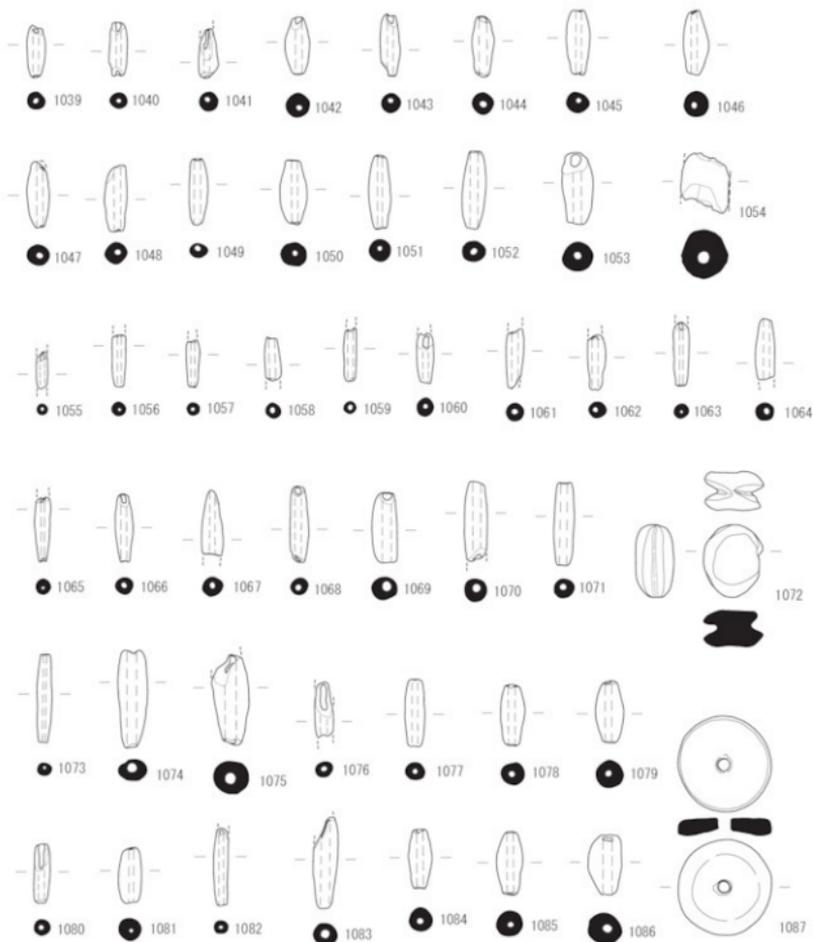


图 215 土器 (RP) 实测图 (瓦质土器)



图 216 土器 (RP) 实测图 (瓦)





1039～1054、7層出土。1055～1075、6層出土。1076～1079、5層出土。  
1080～1083、1層出土。1084～1087、その他遺構出土。

図 217 5区土製品実測図



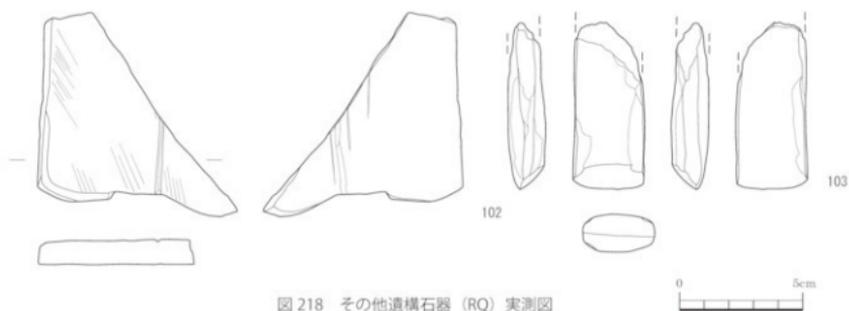


図 218 その他遺構石器 (RQ) 実測図

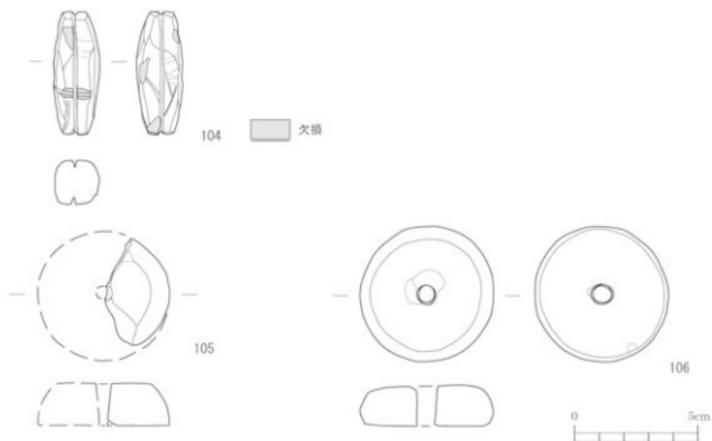


図 219 7層石器 (RQ) 実測図



図 220 6層石器 (RQ) 実測図



图 221 6 層石器 (RQ) 実測図

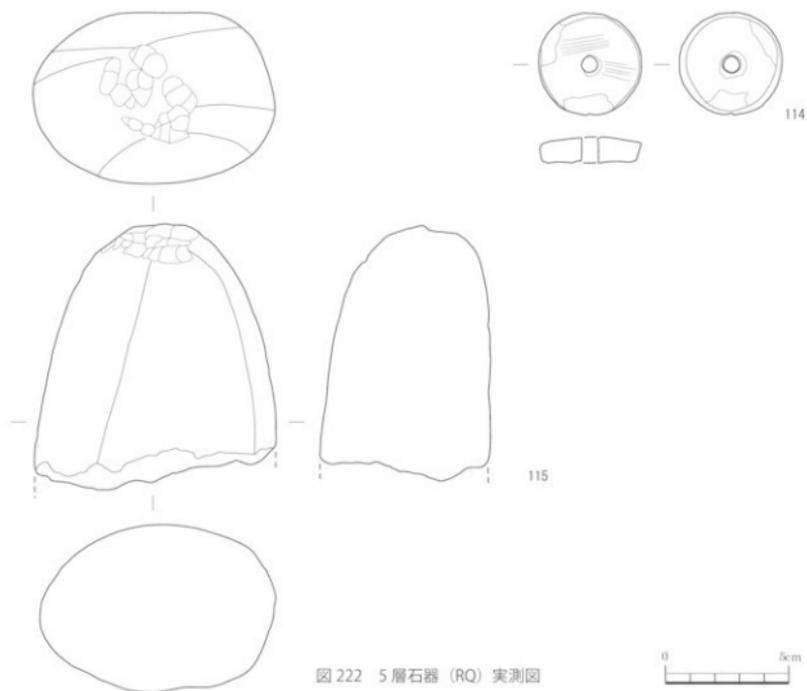


图 222 5层石器 (RQ) 实测图

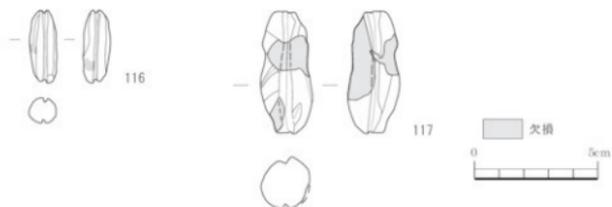


图 223 5区石器 (RQ) 实测图

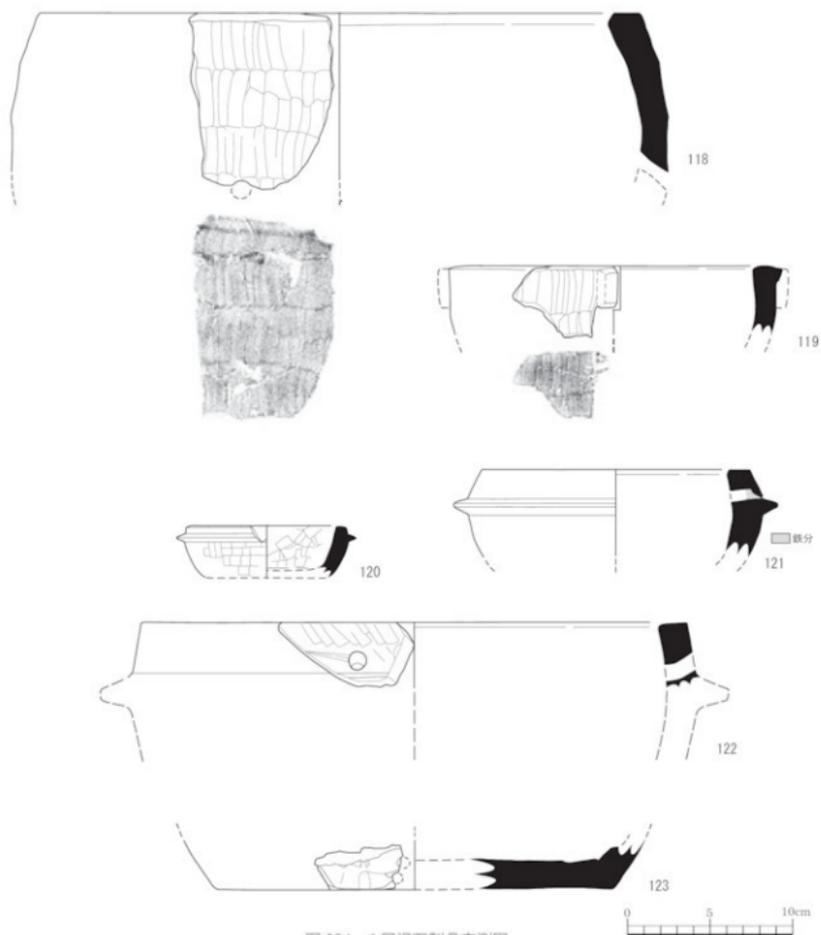


図 224 6層滑石製品実測図



图 225 6 层滑石製品实测图

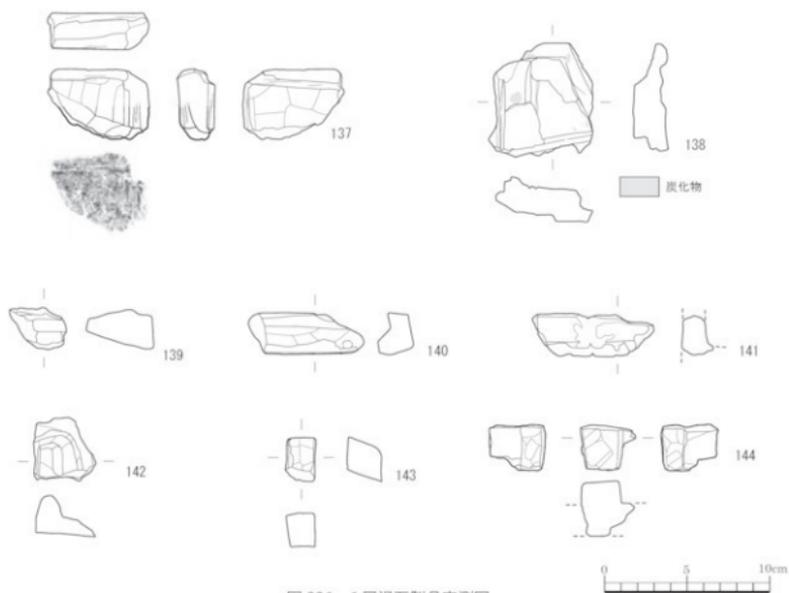


図 226 6層滑石製品実測図



図 227 5区滑石製品実測図

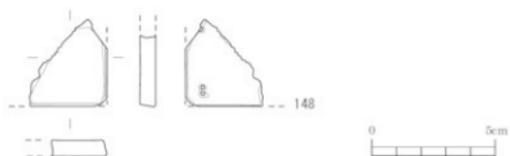


図 228 5区試掘出土 石製巡方実測図



### 3 附表

出土土器一覽

出土土製品一覽

出土石器一覽

出土滑石製品一覽

*Observation*

表2 出土土器一覧

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
1	1	SK97	埋1	埴	(16.4)	(11.2)	5.0	灰白 5Y 7/1		灰白 5Y 7/1		1/6 残存 反転復元
2	1	SK97	埋1	甗	-	-	(9.5)	橙 7.5YR 7/6		橙 2.5YR 6/8		胎土が粗い 内面に一部、赤褐色になっている所が見られる
3	1	D4	8	小型短頸壺	9.4	2.6	10.0	明褐色 2.5YR 5/6 にぶい橙 7.5YR 5/3		明褐色 2.5YR 5/8		2/3 残存 外面に煤付着あり
4	1	L1	7	坏	(13.0)	9.0	3.6	浅黄橙 10YR 8/3		浅黄橙 10YR 8/3		口縁～胴部 1/3 残存 底部完形 一部反転復元
5	1	J2	7	坏	12.9	6.6	4.0	にぶい橙 7.5YR 7/3		橙 5YR 7/6		ほぼ完形 成形が重である
6	1	J2	7	坏	(14.8)	3.4	7.4	灰白 10YR 8/2 橙 5YR 7/6		灰白 10YR 8/2 橙 5YR 7/6		1/2 残存 焼きむらが見られる 反転復元
7	1	J2	7	坏	(12.8)	(6.0)	3.7	にぶい橙 7.5YR 7/3		にぶい橙 7.5YR 7/3		1/2 残存 反転復元
8	1	K2	7	坏	12.9	7.0	3.9	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		ほぼ完形 外面胴部にへう記号あり
9	1	M3	7	坏	(12.6)	(7.0)	3.5	にぶい黄橙 10YR 7/4		にぶい黄橙 10YR 7/4		1/4 残存 内面底部にへう記号あり 内面口縁部に煤付着 反転復元
10	1	12	7	坏	(14.2)	(3.4)	5.5	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		1/3 残存 反転復元
11	1	J2	7	埴	(16.2)	-	(6.3)	にぶい黄橙 10YR 7/3		にぶい黄橙 10YR 7/4		1/5 残存 外面胴部に煤付着あり 反転復元
12	1	K	7	甗	(19.8)	-	(4.7)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		口縁～頸部 1/5 残存 反転復元
13	1	K2	7	甗	(20.8)	-	(11.8)	にぶい橙 5YR 7/4		橙 5YR 7/6		口縁～胴部中位 1/3 残存 外面に煤付着あり 反転復元
14	1	L2	7	甗	(26.6)	-	(8.9)	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁～胴部中位 1/5 残存 反転復元
15	1	K	7	甗	(33.4)	-	(8.5)	にぶい黄橙 10YR 7/3		にぶい橙 7.5YR 7/3		口縁～胴部中位 1/6 残存 外面に煤付着あり 反転復元
16	1	B4	7	蓋	14.5	-	1.5	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/3 残存 天井部にゆがみあり
17	1	OS	7	蓋	(12.8)	-	3.4	灰 N 6/		灰 N 6/		貼り付けつまみ
18	1	J2	7	蓋	(17.4)	-	2.2	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/3 残存 貼り付けつまみ 反転復元
19	1 2	M3 M2	7 7	蓋	16.2	-	3.7	褐灰 10YR 6/1		灰白 10YR 7/1		ほぼ完形 外面に自然釉あり
20	1	K2	7	蓋	16.0	-	1.55	灰白 5Y 7/1		灰白 5Y 7/1		2/3 残存 貼り付けつまみ
21	1	J2	7	坏	(14.4)	9.6	4.2	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 残存 底裏のへら切り難し傷が粗い 一部反転復元
22	1	J2	7	甗	(14.8)	(11.8)	2.2	灰 N 6/		灰 N 6/		1/4 残存 反転復元
23	1	J2	7	小型壺	(6.0)	(7.4)	5.3	明青灰 5PB 7/1		明青灰 5PB 7/1		1/2 残存 外面の胴部～底部の一部と、内面の口縁部の一部に自然釉が見られる
24	1		7	壺	(10.6)	(15.8)	14.5	明青灰 5PB 7/1		明青灰 5PB 7/1		1/4 残存 口縁に自然釉あり 反転復元
25	1	K1	7	壺	(10.3)	-	(9.0)	灰白 N 8/		灰白 N 8/		頸部のみ残存 絞り痕あり 内外面丁寧な様ナデ
26	1	K2	7	長頸壺	(10.0)	10.8	(14.2)	灰白 10YR 7/1		浅黄橙 10YR 8/3		2/3 残存 外面胴部に板状の工具痕あり 胴部の一部反転復元
27	1	L2	6b	蓋	(15.4)	-	2.8	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4		1/4 残存 一部反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
28	1	J2	6	蓋	(16.6)	-	3.3	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/2 残存	一部反転復元
29	1	J2	6	坏	10.5	6.2	4.3	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4	ほぼ完成	口縁部一部欠損
30	1	J2	6	坏	13.1	9.2	3.7	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/3		ほぼ完成
31	1	J2	6	坏	(15.0)	(7.0)	4.1	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/4 残存	反転復元
32	1	D4	6	坏	(12.1)	(6.0)	4.2	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6	1/3 残存	焼きが硬い
33	1	J2	6	坏	(14.0)	(5.5)	4.7	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6	1/4 残存	反転復元
34	1	D4	6	坏	(15.4)	-	(3.8)	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	口縁～胴部 1/4 残存	反転復元
35	1	J2	6	坏	12.4	6.0	3.6	灰白 10YR 8/2 橙 5YR 7/6		灰白 10YR 8/2 橙 2.5YR 7/8	3/4 残存	内外面に焼きむらあり
36	1	12	6	坏	-	(7.2)	(3.8)	橙 5YR 7/8		橙 7.5YR 7/6	胴部～底部 1/3 残存	反転復元
37	1	J2	6	坏	(14.8)	(6.0)	4.6	にぶい橙 7.5YR 7/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/4 残存	外面に鉄分付着あり 反転復元
38	1	J2	6	坏	(12.8)	(7.0)	3.2	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/4 残存	反転復元
39	1	J2	6	坏	(12.0)	-	(4.6)	橙 7.5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/4 残存	反転復元
40	1	J2	6	坏	(12.2)	-	(4.5)	橙 2.5YR 6/8		浅黄橙 10YR 8/3 橙 2.5YR 6/8	1/2 残存	反転復元
41	1	J2	6	坏	(12.4)	-	(4.1)	白灰 10YR 8/2		白灰 10YR 8/2	口縁～胴部 1/6 残存	反転復元
42	1	J2	6	蓋	(12.4)	5.5	4.9	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/2 残存	一部反転復元
43	1	J2	6	坏	(11.6)	(7.0)	4.0	浅黄橙 10YR 8/3		浅黄橙 10YR 8/3	1/3 残存	反転復元
44	1	J2	6	蓋	12.6	6.0	4.7	にぶい橙 7.5YR 7/4		橙 7.5YR 7/6	3/4 残存	
45	1	J2	6	埴	(15.4)	8.7	6.8	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/4	口縁～胴部 1/4 残存	底部完成 一部反転復元
46	1	K2	6	埴	14.2	7.8	6.8	淡橙 5YR 8/4		橙 5YR 7/6	2/3 残存	
47	1	J2	6	埴	(14.0)	(6.6)	5.5	黒褐 2.5Y 3/1		黒 2.5Y 2/1	1/4 残存	黒色土器 内外面ともにミガキが著しい 反転復元
48	1	J2	6	埴	-	6.7	(1.2)	橙 2.5YR 6/6		にぶい橙 5YR 7/4	底部のみ残存	外面底部に「大倉」と書あり
49	1	J2	6	埴	-	(10.8)	(2.6)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/8	底部 1/5 残存	へう記号 反転復元
50	1	J2	6	皿	(20.2)	(14.4)	1.8	にぶい黄橙 10YR 7/3		にぶい黄橙 10YR 7/3	1/2 残存	外面底部に罫目痕らしき痕あり 反転復元
51	1	K2	6	皿	10.0	8.0	1.6	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/3	ほぼ完成	口縁部一部欠損
52	1	J2	6	皿	-	11.8	1.9	にぶい橙 10YR 7/3		にぶい橙 10YR 7/3	底部完成	一部反転復元
53	1	J2	6	皿	13.9	11.4	1.2	橙 7.5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6		ほぼ完成

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
54	1	J2	6	皿	(12.5)	(10.1)	1.6	にぶい橙	7.5YR 7/4	にぶい橙	7.5YR 7/4	1/4 残存 反転復元
55	1	J2	6	皿	(14.4)	10.8	1.7	浅黄橙	7.5YR 8/3 橙 2.5YR 7/8	にぶい橙	7.5YR 7/4 橙 2.5YR 7/8	口縁部 1/3、底部 1/2 残存 反転復元
56	1	J2	6	鉢	(22.6)	-	(8.4)	灰白	10YR 8/2	灰白	10YR 8/2	口縁～胴部 1/6 残存 反転復元
57	1	J2	6	鉢	-	11.6	(6.8)	橙	5YR 6/8	橙	5YR 6/8	胴部～底部 1/2 残存 底部完形 内面に輪積痕が見られる 一部反転復元
58	1	J2	6	瓶	-	-	(3.9)	にぶい橙	7.5YR 7/4	-	-	把手
59	1	J2	6	瓶	-	-	(4.6)	橙	5YR 7/8	橙	5YR 7/6	把手
60	1	K2	6	瓶	-	-	(6.8)	にぶい橙	5YR 7/4	にぶい黄橙	10YR 7/2	把手
61	1	J2	6a	瓶	-	-	(4.0)	浅黄橙	7.5YR 8/4	橙	5YR 7/6	把手
62	1	D4	6	甕	-	-	(8.5)	にぶい橙	7.5YR 7/4	橙	5YR 6/6	カマドのツバの一部
63	1	D4	6	甕	-	-	(3.4)	橙	7.5YR 7/6	橙	5YR 6/6	小片
64	1	G3	6	瓶	-	(16.4)	(5.0)	灰白	10YR 8/2 橙 5YR 7/6	灰白	10YR 8/2	底部破片 反転復元
65	1	J2	6	瓶	-	(17.6)	(10.5)	橙	5YR 6/6	橙	7.5YR 6/6	底部 1/8 残存 反転復元
66	1	C5	6	壺	(25.0)	-	(15.6)	橙	5YR 7/8	橙	7.5YR 7/6	口縁～胴部下位 1/3 残存 外面に煤付着あり 反転復元
67	1	J2	6	壺	(34.0)	-	(8.7)	橙	7.5YR 7/6	浅黄橙	10YR 8/3	口縁～胴部上位 1/6 残存 反転復元
68	1	J2	6	壺	15.8	-	(11.3)	橙	5YR 7/6	にぶい黄橙	10YR 7/3	口縁部ほぼ完形 胴部～胴部 1/5 残存 外面に煤付着あり 一部反転復元
69	1	J2	6	壺	-	(9.2)	(5.7)	橙	5YR 6/6	にぶい橙	7.5YR 6/3	底部 1/2 残存 反転復元
70	1	K2	6	壺	(22.0)	-	(5.3)	浅黄橙 7.5YR 8/4 にぶい赤褐 5YR 5/4	浅黄橙 7.5YR 8/4 にぶい赤褐 5YR 5/4	浅黄橙 7.5YR 8/4 にぶい赤褐 5YR 5/4	口縁部 1/4 残存 反転復元	
71	1	D4	6	壺	(20.0)	-	(8.0)	橙	7.5YR 7/6	にぶい橙	7.5YR 7/4	口縁～胴部 1/6 残存 反転復元
72	1	J2	6	壺	(23.0)	-	(4.7)	橙	5YR 6/6	橙	5YR 6/6	口縁～胴部 1/6 残存 反転復元
73	1	J2	6	壺	(23.0)	-	(3.7)	橙	7.5YR 7/6	橙	7.5YR 7/6	口縁～胴部 1/4 残存 外面に煤付着あり 反転復元
74	1	J2	6	壺	(28.2)	-	(14.3)	浅黄橙	7.5YR 8/4	浅黄橙	7.5YR 8/4	口縁～胴部中位 1/2 残存 反転復元
75	1	J2	6b	壺	(26.8)	-	(11.9)	浅黄橙	7.5YR 8/4	浅黄橙	7.5YR 8/4	口縁～胴部中位 1/3 残存 反転復元
76	1	G3	6	壺	(27.0)	-	(15.8)	にぶい橙	7.5YR 7/3	にぶい黄橙	10YR 7/3	口縁～胴部中位 1/6 残存 外面に煤付着あり 反転復元
77	1	D4	6	壺	(26.4)	-	(8.6)	橙	2.5YR 6/8	橙	2.5YR 6/8	口縁～胴部上位 1/4 残存 反転復元
78	1	J2	6	壺	(27.4)	-	(5.2)	橙	5YR 7/6	橙	5YR 7/6	口縁～胴部 1/8 残存 反転復元
79	1	D4	6	壺	-	-	(16.3)	浅黄橙	10YR 8/3	浅黄橙	10YR 8/3	胴部～胴部中位 1/4 残存 外面に煤付着あり 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
80	1	J2	6	壺	(27.0)	-	(20.0)	浅黄橙 7.5YR 8/4 橙 2.5YR 7/6		にぶい黄橙 10YR 7/2		口縁1/2、胴部1/3残存 反転復元
81	1	H2	6	壺	(28.2)	-	(10.6)	にぶい橙 7.5YR 7/3		にぶい橙 7.5YR 7/3		口縁～胴部上位1/4残存 反転復元
82	1	D4	6	蓋	14.7	-	2.4	灰白 N7/		灰白 5Y 7/1		ほぼ完全
83	1	K2	6	蓋	(18.0)	-	2.0	灰 N6/		灰 N5/		1/3残存
84	1 5	J2 J3	6 7	蓋	(15.4)	-	1.7	灰 N4/		灰 N4/		1/3残存 反転復元
85	1	J2	6	蓋	15.1	8.3	1.65	灰白 2.5YR 7/1 灰黄 2.5YR 7/2		にぶい黄橙 10YR 7/3		内面に粘土の積み上げ痕が残る
86	1	J2	6	蓋	(16.2)	-	1.3	灰 N6/		灰 N6/		1/3残存 反転復元
87	1	L2	6	蓋	(14.0)	-	1.2	灰 N6/1		灰 N6/1		1/2残存 つまみの有無はわからない
88	1	D4	6	蓋	14.6	-	2.4	灰白 N7/		灰白 N7/		焼き彫れあり
89	1	E4	1	蓋	(16.0)	-	2.3	灰白 N7/		灰白 N7/		貼り付けつまみ 表土剥ぎ
90	1	G3	6	蓋	(16.4)		1.5	褐灰 10YR 6/1		褐灰 10YR 6/1		1/2残存 反転復元 貼り付けつまみ痕あり
91	1	K2	6	蓋	(16.8)	-	2.0	浅黄橙 10YR 8/3		浅黄橙 10YR 8/3		1/6残存 貼り付けつまみ痕あり
92	1	D4	6	蓋	(16.8)	-	2.0	灰白 N8/		灰白 N8/		貼り付けつまみ 1/3残存
93	1	D4	6	蓋	10.9	-	1.4	灰白 N7/ 灰 N4/		灰白 N7 灰 N5/		完全 貼り付けつまみ
94	1	J2	6	壺	(15.4)	(9.1)	6.1	灰白 2.5Y 7/1		灰黄 2.5Y 7/2		1/3残存 反転復元
95	1	L2	6	壺	-	8.8	3.5	灰白 N7/ 灰 N5/		灰白 N7/		2/3残存
96	1	J2	6	壺	(12.0)	6.5	5.5	灰 N5/		灰 N6/		底部は完全 口縁部は1/3残存
97	1	J2	6	坏	14.2	11.2	4.5	灰 5Y 6/1 灰白 2.5Y 8/2		灰白 2.5Y 8/2		焼成があまりい 焼きむらが見られる
98	1	G4	6	坏	(12.0)	7.8	4.4	灰白 2.5Y 7/1		灰黄 2.5Y 7/2		色むら、歪みあり
99	1	J2	6	坏	(10.8)	7.2	3.4	青灰 5P6 5/1		青灰 5P6/1		高台丁寧に貼り付け 一部反転復元
100	1	D4	6	坏	(12.6)	8.4	4.4	灰 N5/ 灰白 N8/		灰 N5/ 灰白 N8/		1/2残存
101	1	J2	6	坏	11.5	7.8	3.8	灰白 N8/		灰 N8/		ほぼ完全
102	1	J2	6	壺	16.6	11.0	5.9	灰 N5/		灰白 N7/		気泡が見られる 歪みあり
103	1	G5	6	坏	(12.0)	(7.0)	3.4	灰白 N7/		灰白 N7/		1/3残存 反転復元
104	1	K2	6	坏	(13.4)	(8.2)	4.2	灰白 N8/1		灰白 N8/1		1/2残存 反転復元
105	1	H2	6	壺	(13.0)	(9.4)	(4.8)	褐灰 10YR 5/1		褐灰 10YR 5/1		口縁と底部が1/4ずつ残存 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
106	1 4	J2 D4	6 7	坏	(10.0)	(7.0)	3.25	灰白 5Y 7/		灰 5Y 6/1		1/4 残存 外面に自然釉あり 反転復元
107	1	H2	6	坏	13.2	8.6	4.2	灰 5Y 6/1		灰 10YR 6/		ほぼ完形 底裏に工具痕
108	1	J2	6	坏	-	(7.0)	(4.3)	灰白 N 8/		灰白 N 8/		底部から胴部にかけて 1/4 残存 反転復元
109	1	H2	6	坏	(11.7)	5.8	4.2	灰白 10YR 8/2		浅黄橙 10YR 8/3		1/2 残存 一部反転復元
110	1	D4	6	坏	12.8	6.9	4.3	灰白 5Y 7/1 明褐灰 5YR 7/1		灰白 5Y 7/1 明褐灰 5YR 7/1		完形
111	1	J2	6	坏	(12.0)	7.6	4.3	灰 N 6/		灰 N 6/		外面一部に自然釉あり 一部反転復元
112	1	J2	6	坏	(13.0)	8.3	4.0	灰 N 6/		灰 N 6/		一部反転復元
113	1	J2	6	坏	(14.9)	7.7	4.9	青灰 5Pb 5/1		灰 5Y 6/1		外面に焼きむらあり 反転復元
114	1	D4	6	坏	14.2	8.0	5.9	灰白 N 7/ 灰白 N 6/		灰白 N 7/		底部は完形 胴部は 1/4 残存
115	1 5	J 2 J 3	6	蓋	(7.0)	(6.0)	3.9	明赤灰 2.5YR 7/1 赤灰 2.5YR 4/1		赤灰 10R 5/1 補灰 7.5YR 5/1		1/2 残存 一部反転復元
116	1	C4	6	埴	(15.9)	9.6	6.4	灰白 7.5YR 7/1		灰白 7.5YR 7/1		底部は完形 胴部は 1/3 残存 口縁付近に自然釉あり
117	1	J2	6	埴	(14.8)	(9.6)	5.45	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/4 残存 反転復元
118	1	J2	6	皿	(17.8)	(15.4)	1.8	灰白 2.5Y 7/1		灰白 N 7/		外面底部に工具痕あり (回転)
119	1	J2	6	皿	(19.4)	15.2	2.2	灰白 N 7/		灰白 N 7/		底裏にへう痕あり 一部反転復元
120	1	J2	6	皿	17.1	12.7	1.75	灰白 N 7/		灰白 N 7/		3/4 残存
121	1	E4	6	皿	14.6	-	2.2	灰白 N 7/		灰白 N 7/		完形 歪みあり
122	1	J2	6	皿	(15.2)	(12.0)	1.9	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/2 残存
123	1	K2	6	壺	-	-	(6.0)	灰白 2.5Y 8/2		灰白 2.5Y 8/2		1/6 残存 反転復元
124	1 5	J2 J3	6	平盤	-	8.7	(9.5)	青灰 5B 5/1		暗赤灰 5R 4/1		胴部から底部まで 1/3 残存
125	1 5	K2 D4	6 7	壺	-	-	(7.7)	灰 N 6/		灰 N 6/		胴部に二条の凸帯貼付あり 反転復元
126	1	J2	6	四耳壺	-	-	(7.4)	灰 N 5/		灰 5Y 6/1		1/5 残存 胴部に四ヶ所の耳がある 穿孔は左回りにあけている
127	1	J2	6	壺	(17.8)	(10.0)	26.7	灰 N 6/		灰 N 6/		頸部は完形 口縁～胴部は 1/3 底部は 1/4 残存
128	1	J2	6	小壺	-	-	(7.7)	灰 N 6/		紫灰 5PR 5/		3/5 残存
129	1	C4	6	壺	(11.0)	-	(16.6)	灰褐 7.5YR 6/2 灰白 N 7/		浅黄橙 10YR 8/4		破片 内面赤く硬く焼き締まる 内外面きれいな横ナズ残る
130	1	L2	6	壺	-	-	(15.5)	灰褐 7.5YR 5/1		明褐灰 7.5YR 7/2		1/3 残存
131	1	K2	6	壺	-	(13.8)	(5.0)	灰白 5Y 7/1		灰白 5Y 7/1		反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
132	1	B5	6	壺	-	8.2	(22.4)	橙 5YR 7/6 灰 5Y 5/1		にぶい黄橙 5YR 7/4		底部～胴部にかけて 1/8 残存 反転復元
133	1	C5	6	壺	-	7.6	(1.6)	灰 5Y 6/1		にぶい黄橙 10YR 7/4		底部のみ 1/2 残存 反転復元
134	1	D4	6	壺	(23.0)	-	(7.1)	灰 N 6/1		灰 N 6/		反転復元
135	1	J2	6	壺	19.4	-	(36.6)	灰 N 6/		灰 N 6/		一部反転復元
136	1	H2	6	壺	(13.2)	-	(3.7)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		1/10 残存 反転復元
137	1	C4	6	壺	(19.3)	-	(9.4)	灰 N 5/		灰 N 5/		反転復元
138	1 5	H2 J2	6 7	壺	(21.4)	-	(7.6)	灰 N 5/		灰 N 5/		1/3 残存 反転復元
139	1	E4	6	壺	-	-	(19.6)	赤灰 2.5YR 6/1		浅黄橙 7.5YR 8/4		頸部から肩部残存 赤く硬く焼ける反転復元
140	1	D4	5	坏	(12.0)	5.9	3.7	橙 2.5Y 7/8		橙 2.5Y 6/8		1/2 残存 一部反転復元
141	1	C5	5	坏	-	(9.8)	(1.8)	橙 5YR 7/8		暗黄灰 2.5Y 5/2		底部 1/4 残存 外面底部に施書あり 反転復元
142	1	D4	5	埴	(15.0)	(8.0)	6.8	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		1/2 残存 反転復元
143	1	L2	5	皿	(9.6)	(7.0)	0.9	橙 2.5YR 6/8 灰白 10YR 8/2		橙 2.5YR 6/8 灰白 10YR 8/2		1/8 残存 内外面に赤色顔料あり 反転復元
144	1	L2	5	瓶	-	-	(4.6)	にぶい橙 7.5YR 7/4		橙 7.5YR 7/6		把手
145	1	L2	5	瓶	-	-	(4.0)	橙 7.5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6		把手
146	1	L1	5	壺	(24.2)	-	(6.5)	明赤褐 2.5YR 5/6		にぶい橙 7.5YR 6/4		口縁部 1/6 残存 反転復元
147	1	G3	5	壺	(30.0)	-	(17.2)	浅黄橙 7.5YR 8/4		灰黄褐 10YR 6/2		口縁～胴部下部 1/6 残存 内面に輪積痕が見られる 反転復元
148	1	D4	5	蓋	(14.0)	-	1.4	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 残存 口縁に塗みあり 反転復元
149	1	D4	5	蓋	14.5	-	1.1	灰白 2.5Y 7/1 にぶい黄橙 10YR 7/2		にぶい黄橙 10YR 7/2		1/4 残存 つまみが割かれた痕跡あり
150	1	E4	5	坏	(13.0)	(8.2)	3.9	灰 N 6/		灰 N 6/		1/4 程度残存 反転復元
151	1	H3	5	坏	(15.0)	(10.4)	4.0	灰 N 6/ 褐色 10YR 5/1		灰 N 6/ 褐色 10YR 5/1		1/4 残存 反転復元
152	1	E3	5	埴	(15.7)	(10.6)	5.5	灰 5Y 6/1		灰白 5Y 6/		外面の口縁部に自然釉があり 自然釉状砂粒付着
153	1	E4	5	皿	(19.0)	(15.6)	1.6	灰白 2.5YR 8/1		灰白 2.5YR 8/1		1/6 残存
154	1	C4	5	壺	(21.4)	-	(3.4)	褐灰 7.5YR 4/1		褐灰 7.5YR 5/1		反転復元
155	1	C4	5	壺	-	-	(9.5)	青灰 10B6 5/1		青灰 10B6 5/1		四耳壺 反転復元
156	1	H3		坏	-	5.6	3.2	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		2/3 残存 反転復元
157	1	H3		坏	(12.6)	(6.1)	3.6	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		1/3 残存 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
158	1	H2		坏	(12.6)	(6.2)	4.0	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/6 残存	反転復元
159	1	H2		坏	(12.4)	(5.2)	3.8	橙 2.5YR 6/8		橙 2.5YR 6/8	1/2 残存	内面が黒く変色している 反転復元
160	1	H2		坏	(12.7)	7.0	3.5	にぶい橙 10YR 7/3		にぶい橙 10YR 7/3	1/2 残存	内面が黒く変色している 一部反転復元
161	1	H2		坏	(12.1)	5.4	4.0	橙 5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6	口縁～胴部 1/4、底部 3/4 残存	一部反転復元
162	1	H3		坏	11.7	6.8	3.8	橙 7.5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6	ほぼ完形	口縁部一部欠損 口縁部が大きく歪んでいる
163	1	H2		坏	(13.0)	(7.4)	3.0	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8	1/4 残存	反転復元
164	1	G2		坏	(11.9)	6.0	3.8	にぶい橙 7.5YR 7/4		浅黄橙 10YR 8/3	ほぼ完形	
165	1	H3		坏	12.4	6.5	4.1	灰白 10YR 8/2		白灰 10YR 8/2	口縁～胴部 1/4 残存	底部完形
166	1	H2		坏	(15.4)	(7.2)	4.0	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/4 残存	反転復元
167	1			坏	12.0	5.8	4.1	橙 5YR 6/8		橙 5YR 6/8	2/3 残存	
168	1	H2		坏	(12.4)	(5.2)	4.7	橙 7.5YR 7/6		橙 2.5YR 6/6	1/2 残存	反転復元
169	1	H2		坏	(16.0)	6.5	4.1	灰白 10YR 8/2		オリーブ黒 5Y 3/1	1/4 残存	内面黒化処理 反転復元
170	1	H2		坏	(15.6)	(8.0)	4.1	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/4 残存	反転復元
171	1	H2		坏	11.7	5.5	4.2	浅黄橙 7.5YR 8/6		橙 5YR 7/6	ほぼ完形	
172	1	D4		坏	(13.5)	(7.5)	4.4	にぶい橙 7.5YR 7/4		橙 7.5YR 7/6	1/3 残存	反転復元
173	1	H3		坏	(12.1)	7.2	4.6	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4	1/2 残存	一部反転復元
174	1			坏	(14.9)	6.0	5.4	浅黄橙 10YR 8/3		オリーブ黒 5Y 3/1	1/2 残存	内面黒化処理 一部反転復元
175	1	H3		坏	(17.4)	(8.0)	5.4	灰白 2.5Y 8/2		黒褐 2.5Y 3/1	1/5 残存	内面黒化処理 反転復元
176	1	H3		埴	(13.3)	7.7	5.7	浅黄橙 7.5YR 8/6		橙 7.5YR 7/6	1/2 残存	外面に焼きむらあり 一部反転復元
177	1	H2		埴	(16.4)	7.3	5.7	灰白 10YR 8/1		黒褐 2.5Y 3/1	口縁～高台 1/3 残存	内面黒化処理 一部反転復元
178	1		1	高台付皿	(12.5)	(6.4)	3.5	にぶい橙 7.5YR 7/6		にぶい橙 7.5YR 7/6	1/4 残存	反転復元 北表土剥ぎ
179	1	H2		高台付皿	13.2	7.2	4.0	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8	ほぼ完形	口縁部一部欠損
180	1	H3		皿	(14.4)	(9.6)	1.8	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/3 残存	反転復元
181	1	H3		鉢	(21.4)	(7.0)	9.6	灰白 10YR 8/2 橙 2.5YR 7/6		灰白 10YR 8/2	1/6 残存	内面が黒く変色している 反転復元
182	1	H3		鉢	(25.2)	(15.2)	7.0	にぶい黄橙 10YR 6/3 橙 2.5YR 6/6		にぶい橙 7.5YR 7/4	1/4 残存	反転復元
183	1	H2		高坏	-	(15.0)	(5.6)	橙 7.5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6	脚部 1/3 残存	内面に黒灰色のシミあり 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
184	1		1	甔	-	-	(4.3)	橙 7.5R 7/6		橙 7.5YR 7/6		把手 表土剥ぎ
185	1	H2		把手	-	-	(6.6)	橙 5YR 7/8	-	-	-	把手
186	1	H3		甔 (16.2)	-	-	(6.9)	にぶい橙 10R 7/3		橙 7.5YR 7/6		口縁～胴部中位 1/2 残存 反転復元
187	1	H2		甔 (24.0)	-	-	(13.5)	灰白 10YR 8/2		灰白 10YR 8/2		口縁～胴部中位 1/4 残存 外面に煤付着あり 反転復元
188	1	H3		甔 (18.8)	-	-	(11.9)	橙 2.5YR 6/6	浅黄橙 7.5YR 8/4			口縁～胴部下部 1/8 残存 外面に煤付着あり 反転復元
189	1	H2		甔 (33.0)	-	-	(13.5)	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8		口縁～胴部中位 1/5 残存 外面に格子目タタキ痕あり 反転復元
190	1	H2		甔	-	-	(14.0)	橙 5YR 6/8		橙 5YR 6/6		口縁～胴部破片
191	1	H2		蓋	(13.0)	-	2.9	灰白 N 7/		灰白 N 6/1		1/6 残存 反転復元
192	1	H2		蓋	17.2	-	3.5	灰 N 6/		灰 N 6/		3/4 残存 貼り付けつまみ
193	1	H3		蓋	(17.0)	-	1.5	灰白 N 8/ 灰 N 4/		灰白 N 8/		1/3 残存
194	1	H2		坏	12.8	6.8	3.9	灰白 N 8/		灰白 N 8/		完形
195	1	H3		坏	11.3	7.0	4.2	灰白 7.5YR 8/2		灰白 7.5YR 8/2		3/4 残存 外面胴部に工具が当たった痕が数ヶ所見られる
196	1	H2		坏	(12.0)	(7.0)	3.7	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/4 残存 1.9mm 幅の工具で切られている
197	1	H2		坏	(11.8)	(7.0)	4.1	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/3 残存 反転復元
198	1	H2		坏	(11.4)	(8.9)	2.45	灰白 N 8/		灰白 N 8/		3/4 残存
199	1	H2		坏	12.2	8.2	4.0	灰白 N 7/		灰白 N 7/		ほぼ完形 へら切り難し痕残る
200	1	pit26	埋1	坏	(13.8)	(9.4)	4.5	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/2 残存 反転復元
201	1	H2		埴	-	(9.3)	(2.3)	灰白 N 7/		灰白 N 7/		底部 1/2 残存
202	1	H2		皿	(13.2)	(8.2)	2.2	灰 N 6/		灰 N 6/		1/3 残存 反転復元
203	1	K2 L6 NS	4 7	壺	-	9.6	(5.3)	灰白 7.5Y 7/1		灰白 7.5Y 7/1		底部のみ残存 ケズリ出し高台
204	1	H2		壺	(15.0)	-	(13.5)	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/8 残存 反転復元
205	1	19Tr	1	火鉢	-	-	(9.1)	灰白 10YR 8/2		灰白 10YR 8/2		口縁部と突帯の間に菊花文スタンプ
206	1	J2	4	火鉢	-	-	(6.2)	灰 N 5/		灰黄褐 10YR 6/2		外面に菊花文スタンプ
207	1	K2	4	火鉢	-	-	(3.5)	灰 N 4/		灰 N 4/		外面に格子状文スタンプ
208	1	J2	4	火鉢	-	-	(2.8)	灰 N 6/		灰 N 6/		外面に斜格子文スタンプ
209	1	19Tr	1	盥鉢	-	-	(5.1)	灰 N 4/		灰 N 5/		内面に彫推文あり

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
210	1	L2	5	襷鉢	-	(11.6)	(3.1)	浅黄橙	10R 8/4	浅黄橙	10YR 8/4	
211	1	19Fr	1	襷鉢	-	-	(9.0)	灰 5Y 6/1 灰白 5Y 8/1		灰白 5Y 7/1 灰白 5Y 8/1		内面は5本の帯状文
262	2	SA31	埋1	坏	(14.0)	(7.2)	3.7	浅黄橙	7.5YR 8/3	浅黄橙	7.5YR 8/3	1/3 残存 反転復元
265	2	SK112	埋1	坏	(13.3)	(7.4)	3.5	浅黄橙 10YR 8/3 にぶい黄橙 10YR 7/2		にぶい黄橙 10YR 7/2		1/2 残存 反転復元
266	2	SK112	埋1	坏	12.7	7.0	3.4	橙	5YR 7/6	橙	5YR 7/6	完形 外面側面に荒書あり 外面胴部に一部煤の付着あり
267	2	SK112	7	皿	14.6	11.1	2.1	にぶい橙	7.5YR 7/4	にぶい橙	7.5YR 7/4	ほぼ完形
268	2	SK112	7b	鉢	(22.6)	-	(10.8)	橙	5YR 7/6	橙	2.5YR 6/8	1/3 残存 外面に煤付着あり 反転復元
269	2	SK112	埋1	壺	(27.4)	-	(17.2)	灰褐	7.5YR 6/2	にぶい橙	7.5YR 7/3	口縁～胴部下位 1/4 残存 外面に黒垢あり 反転復元
270	2	SK112	埋1	蓋	(15.8)	-	1.7	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/8 残存 反転復元
271	2	SK112	埋1	坏	12.0	6.4	3.5	灰白 5Y 7/1		灰白 5Y 7/1		ほぼ完形
272	2	SK112	埋1	坏	(11.2)	(7.0)	4.1	灰 N 5/		灰 N 5/		1/6 残存 反転復元
273	2	SK112 J2	埋1 6	壺	-	(5.0)	17.1	灰白 N 7/		暗赤灰 7.5YR 3/1		1/3 残存 外面に自然釉あり 自然釉砂粒付着
274	2	pit128	6	蓋	17.0		3.2	灰白 N 7/		灰 N 6/		2/3 残存 つまみは欠損 外面の口縁部と内面に自然釉あり 1区J 2 6層、3区M 6、5区6層
275	2	N5	7	坏	(11.5)	-	3.9	黒	10YR 2/1	褐灰 10YR 6/1		口縁～胴部 1/6 残存 外面黒化処理
276	2	L2	7	坏	(13.8)	(5.6)	3.6	橙	7.5YR 7/6	橙	5YR 7/6	1/4 残存 反転復元
277	2	L2	7	坏	(14.0)	(9.2)	3.9	浅黄橙	10R 8/3	浅黄橙	10YR 8/3	口縁部 1/8、底部 1/2 残存 反転復元
278	2	M3	7	坏	(16.6)	(6.7)	5.2	浅黄橙	10R 8/3	褐灰 10YR 4/1		1/3 残存 内面黒化処理 反転復元
279	2	L2	7	坏	-	8.7	1.5	褐灰 7.5YR 4/1		浅黄橙 7.5YR 8/3 褐灰 7.5YR 4/1		底部のみ残存 内外面が黒く変色している
280	2	L2	7	皿	(13.2)	9.4	2.2	浅黄橙	10YR 8/3	浅黄橙	10YR 8/3	2/3 残存 反転復元
281	2	M3	7b	瓶	-	-	(6.1)	浅黄橙	7.5YR 8/4	浅黄橙	7.5YR 8/4	把手
282	2	L3	7	壺	(19.6)	-	(7.3)	橙	7.5YR 7/6	橙	7.5YR 7/6	口縁～胴部上位 1/3 残存 反転復元
283	2	M3 L5	7 7b	壺	(26.0)	-	(4.8)	橙 5YR 6/6 浅黄橙 10YR 8/3		橙	5YR 6/6	口縁部 1/2 残存 反転復元
284	2	M3	7	深鉢	-	-	(3.3)	にぶい赤褐	5YR 5/4	にぶい橙	7.5YR 6/4	網紋土器 小片
285	2	M4	7	深鉢	-	-	(4.0)	橙	5YR 6/6	橙	5YR 6/6	網紋土器 口縁部小片
286	2	L2 M5	7 7上	蓋	14.0	-	2.1	灰 N 6/		灰 N 6/		1/3 残存 蓋みあり
287	2	M5	6	坏	(16.0)	(6.8)	3.8	にぶい橙	7.5YR 7/4	にぶい橙	7.5YR 7/4	2/5 残存 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
288	2	L3	6	坏	(13.0)	(7.3)	4.2	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/4	2/5 残存	反転復元
289	2	M5	6	坏	14.0	8.2	4.3	橙 5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6 明赤褐 2.5YR 5/6	完形	内外面に赤色顔料あり
290	2	M5	6	坏	(12.7)	7.2	3.6	橙 7.5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6	3/4 残存	摩耗が著しい 反転復元
291	2	M5	6	坏	(14.0)	6.1	3.9	橙 2.5YR 6/8 にぶい黄橙 10YR 7/3		橙 2.5YR 6/8 にぶい黄橙 10YR 7/3	3/4 残存	一部反転復元
292	2	L4	6	坏	-	(7.8)	(4.6)	浅黄橙 7.5YR 8/3 橙 2.5YR 6/8		橙 5YR 6/6		胴部～底部 1/3 残存 反転復元
293	2	M2	6	埴	-	5.8	(1.4)	灰 N 5/		暗灰 N 3/		底部のみ残存 高台を接合後に坏部との間を刀子できりこみを入れている 黒色土器
294	2	L2	6c	皿	(14.0)	(11.2)	1.8	浅黄橙 10YR 8/3		灰白 2.5YR 8/2	1/4 残存	反転復元
295	2	L3	6	坏	-	(7.5)	(2.8)	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	胴部～底部 1/2 残存	反転復元
296	2	M5	6	鉢	-	-	(3.7)	橙 2.5YR 6/6		灰白 2.5Y 7/1		注ぎ口
297	2		6	鍋	-	-	(4.8)	浅黄橙 7.5YR 8/4		-	-	把手
298	2	L4	6	瓶	-	-	(14.3)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 7/6		胴部～把手 破片
299	2	M5	6	壺	-	-	(7.4)	にぶい橙 7.5YR 7/4		橙 5YR 6/6		口縁部小片
300	2	M5	6	壺	(18.2)	-	(10.8)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 6/8		口縁～胴部中位 1/4 残存 摩耗が著しい 反転復元
301	2	M4	6	壺	(18.6)	-	(8.5)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6 にぶい橙 7.5YR 6/3		口縁～胴部中位 1/4 残存 反転復元
302	2	M5	6	壺	(26.0)	-	(8.7)	にぶい黄橙 10YR 7/4		にぶい黄橙 10YR 7/3		口縁～胴部 1/4 残存 反転復元
303	2	M5	6	壺	(20.6)	-	(9.7)	灰白 10YR 8/2		灰白 10YR 8/2		口縁～胴部中位 1/4 残存 反転復元
304	2	M5	6	壺	(27.2)	-	(10.0)	橙 7.5YR 7/6		浅黄橙 10YR 8/3		口縁～胴部中位 1/5 残存 反転復元
305	2	L4	6	壺	(17.4)	-	(13.0)	灰白 2Y 8/2 浅黄橙 7.5YR 8/4		灰白 2Y 8/2		口縁～胴部中位 1/4 残存 胎土が粗い 反転復元
306	2	M5	6	壺	(27.4)	-	(6.7)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		口縁～胴部上位 1/6 残存 反転復元
307	2	L3	6b	壺	(25.8)	-	(6.6)	にぶい黄橙 10YR 6/3		にぶい黄橙 10YR 7/3		口縁～胴部 1/4 残存 反転復元
308	2	M4	6	壺	(19.6)	-	(7.4)	にぶい橙 5YR 6/4		灰褐 7.5YR 5/2		口縁～胴部中位 1/4 残存 内面が黒く変色している 反転復元
309	2	M4	6	壺	(22.4)	-	(7.5)	橙 5YR 6/6		にぶい橙 7.5YR 6/4		口縁～胴部上位 1/4 残存 反転復元
310	2	L4	6	壺	(25.4)	-	(16.5)	浅黄橙 10YR 8/3		灰白 7.5YR 8/2		口縁～胴部下位 1/2 残存 内面ケズリ後にハケメを横に並らせ、ケズリカスを処理している 外面胴部一部に煤付着あり 反転復元
311	2	L4	6	甗	-	-	(2.8)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		カマドのツバの一部 残りが少ない 胎土が粗い
312	2 4	SK7 NS		甗	-	-	(2.3)	橙 5YR 6/6		にぶい橙 7.5YR 7/4		カマドのツバの一部
313	2	M4	6	鉢	-	-	(3.3)	橙 5YR 6/6		黒褐 10YR 3/1		縄紋土器 口縁部小片

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
314	2	L3	6	壺	(26.2)	-	(6.0)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		口縁～肩部 1/4 残存 反転復元
315	2	M5	6	壺	(28.7)	-	(11.9)	にぶい黄褐 7.5YR 7/3		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁～肩部上位 1/5 残存 反転復元
316	2	L1	6	甗	-	(23.8)	(8.7)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		胎土が粗い 反転復元
317	2	M5	6	壺	(27.2)	-	(6.6)	橙 5YR 6/8		橙 2.5YR 6/8		口縁部 1/6 残存 反転復元
318	2	M4	6	蓋	17.8	-	3.2	にぶい赤褐 5YR 4/3 灰白 2.5Y 7/1		灰白 2.5Y 7/1		完形 焼き歪みあり 上面に重ね焼きの痕が見られる 端部は平坦に取られている つまみ欠損
319	2	M5	6	蓋	(16.2)	-	2.7	褐灰 10YR 6/1		褐灰 10YR 6/1		1/3 残存 成形は丁寧ではない つまみは欠損している
320	2	M4	6	蓋	14.2	-	2.1	灰 N 6/		灰 N 6/		2/3 残存 口縁部に歪みあり
321	2	M2	6	蓋	(14.0)	-	0.8	灰 N 6/		灰 N 6/		1/4 残存 反転復元
322	2	L3	6b下	皿	(14.0)	(12.6)	1.6	灰白 5Y 7/1		灰白 5Y 7/1		1/3 残存 成形は丁寧ではない 反転復元
323	2	M3	6	坏	(11.4)	(7.6)	3.9	灰 N 8/		灰 N 8/		1/3 残存 反転復元
324	2	M3	6	坏	(12.2)	(9.4)	3.8	灰白 N 7/		灰白 N 8/		1/2 残存 反転復元
325	2	L3	6b下	高台付 坏	(13.0)	(10.0)	3.9	灰 N 6/		灰 N 6/		1/5 残存 外面肩部に自然釉あり 反転復元
326	2	L3	6	高台付 坏	(11.2)	(7.0)	3.8	灰 N 6/		灰 N 6/		1/3 残存 反転復元
327	2	M3	6	埴	(14.0)	(8.2)	5.4	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 残存 反転復元
328	2	L4	6	埴	(16.4)	(8.6)	6.4	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/3 残存 成形は丁寧ではない 反転復元
329	2	L4	6	壺	-	(13.0)	(1.5)	灰白 N 7/		明赤灰 2.5YR 7/2		1/6 残存 外面底部に同心円文のタキキ痕あり
330	2	M4	6	鉢	(21.0)	-	(12.7)	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/8 残存 反転復元
331	2	M5	6	壺	-	-	(10.0)	灰 N 6/		灰 N 6/		1/2 残存
332	2	M5	6	壺	(8.8)	-	5.4	にぶい黄橙 10YR 7/3 灰白 10YR 7/1		にぶい黄橙 10YR 7/3 灰白 10YR 7/1		口縁部の一部欠損
333	2	M4	6	壺	-	(10.6)	(7.3)	青灰 5PB 6/1		青灰 5PB 6/1		外面肩部にロクロ回転による ヨコ方向のハケメ調整あり
334	2	L4	6	壺	(19.8)	-	(5.0)	灰白 N 7/		灰白 N 8/		1/3 残存 反転復元
335	2	N3	5	坏	(14.2)	(7.3)	4.7	浅黄橙 7.5YR 8/6		橙 5YR 7/6		1/3 残存 反転復元
336	2	L4	4	坏	(10.4)	5.8	3.9	橙 5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6		口縁部一部残存 肩部下部～底部完形 底部はヘラ切りが未熟で粗い造り 一部反転復元
337	2	L2		坏	-	(5.6)	(1.7)	にぶい橙 5YR 7/4		にぶい橙 5YR 7/4		底部 1/4 残存 外面底部にヘラ記号あり 反転復元
338	2	L2	3	甗	-	-	(4.6)	にぶい黄橙 7.5YR 7/4		黒褐 2.5YR 3/1		把手
339	2	L2	3	甗	-	-	(5.6)	にぶい黄橙 10YR 6/3		褐灰 10YR 4/1		把手

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
340	2		1	鍋	-	-	(4.4)	橙 5YR 7/6		灰白 10YR 7/1		把手 表土剥ぎ
341	2	L2		甕	(26.0)	-	(14.8)	にぶい黄橙 10YR 7/3		にぶい黄橙 10YR 7/3		口縁～胴部上位 1/4 残存 外面に煤付着あり 反転復元
342	2	5	1	瓶	-	-	(17.0)	橙 5YR 6/6		にぶい橙 7.5YR 7/4		口縁～胴部破片 表土剥ぎ
343	2	L2		甕	(26.0)	-	(11.9)	灰白 10YR 8/1 橙 5YR 7/6		灰白 10YR 8/2		口縁～胴部上位 1/4 残存 外面に煤付着あり 反転復元
344	2	M5	1	甕	-	-	(8.8)	にぶい橙 7.5YR 7/4		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁～胴部上位 1/8 残存 表土剥ぎ
345	2	L3		蓋	(15.0)	-	2.4	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 残存 反転復元
346	2	L2	3	蓋	(14.3)	-	3.15	灰褐 5YR5/2		灰 N6/		転用破
347	2	L2		蓋	-	-	1.2	灰 N 5/		灰 N 5/		外面に墨書 反転復元
348	2	L2		小型壺	(2.7)	6.2	(8.1)	暗灰 N 3/ 灰 N 6/		灰 N 4/		頸部～底部にかけて 1/2 残存 頸部に絞り痕が残る 反転復元
349	2	L2	4	壇	(15.8)	(11.0)	5.0	灰 N 6/		灰 N 6/		1/3 残存 反転復元
350	2	L2		高台付 坏	(15.2)	(9.8)	3.7	灰 N 7/		灰 N 5/		1/4 残存 口縁部に歪みあり 外面に自然 釉あり 反転復元
351	2	L2		高台付 坏	(16.2)	(11.4)	3.6	灰 N 4/		灰 N 4/		1/4 残存 口縁部に歪みあり 外面に自然 釉あり 反転復元
383	3	SD42	埋1	鉢	(32.6)	-	(11.1)	褐灰 10YR 4/1		にぶい黄橙 10YR 7/4		口縁～胴部 1/8 残存 外面に煤付着あり
384	3	SK36	埋1	鍋	21.0	15.8	9.1	浅黄橙 7.5YR 8/4 褐灰 7.5YR 4/1		にぶい橙 10YR 7/4		1/2 残存 廃棄後に変色し、土器片の色調 がバラバラである 反転復元
385	3	K6	7	坏	(10.0)	6.6	3.2	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		3/4 残存 外面底部に工具痕あり 一部反 転復元
386	3	K6	7c	坏	(11.2)	(6.2)	4.7	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		1/5 残存 反転復元
387	3	L6	7	坏	11.6	6.4	3.7	橙 7.5YR 7/6		橙 5YR 7/6		2/3 残存
388	3	L6	7	坏	(11.8)	6.0	3.9	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6		2/3 残存 一部反転復元
389	3	J6	7	坏	(12.0)	(6.0)	3.4	橙 7.5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6		2/3 残存 一部反転復元
390	3	J6	7	坏	13.1	6.0	4.8	橙 5YR 7/6		橙 2.5YR 6/8		3/4 残存
391	3	K6	7	坏	(11.5)	6.4	4.0	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6		2/3 残存 成形が歪みである 反転復元
392	3	16	7b	坏	(12.2)	(7.2)	4.4	橙 5YR 7/6		浅黄橙 7.5YR 8/4		1/3 残存 反転復元
393	3	J6	7b	坏	(15.2)	(8.0)	4.6	にぶい橙 7.5YR 7/4		橙 7.5YR 7/6		1/4 残存 反転復元
394	3	17	7	坏	13.1	8.1	3.9	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8		ほぼ完形 一部反転復元
395	3	J6	7b	坏	(12.2)	(7.0)	4.2	灰白 7.5YR 8/2		灰白 7.5YR 8/2		1/3 残存 反転復元
396	3	J6	7	壇	12.9	9.4	4.8	浅黄橙 10YR 8/4		浅黄橙 10YR 8/3		ほぼ完形

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
397	3	K6	7b	坏	(13.2)	7.4	3.3		橙 7.5YR 7/6	橙 7.5YR 7/6	1/3 残存	反転復元
398	3	16	7	坏	12.5	6.0	3.3		橙 2.5YR 6/8	橙 2.5YR 6/8	1/2 残存	成形が歪である 一部反転復元
399	3	K6	7b	坏	(12.3)	(6.7)	3.7		橙 7.5YR 7/6	橙 7.5YR 7/6	1/3 残存	反転復元
400	3	K6	7	坏	(11.7)	5.7	3.9		橙 5YR 6/8 黄灰 2.5Y 5/1	橙 5YR 6/8	1/2 残存	一部反転復元
401	3	K6	7b	坏	12.2	5.7	4.2		橙 2.5YR 6/8	橙 2.5YR 6/8		ほぼ完全
402	3	K6	7	坏	12.3	5.1	4.1		にぶい橙 7.5YR 7/4	にぶい橙 7.5YR 7/4	3/4 残存	
403	3	K5	7b	坏	12.2	6.1	4.2		橙 5YR 7/6	橙 5YR 7/6		ほぼ完全
404	3	K6	7	埴	14.7	(6.9)	4.9		浅黄橙 10YR 8/4	浅黄橙 10YR 8/4	3/4 残存	貼り付け高台が割がれている
405	3	K6	7b	埴	(13.5)	7.1	5.2		浅黄橙 7.5YR 8/4 にぶい橙 5YR 6/4	浅黄橙 7.5YR 8/4	1/2 残存	成形が粗い 外面の一部が黒く変色している 一部反転復元
406	3	K6	7b	埴	(12.6)	(7.4)	5.2		橙 5YR 7/8	橙 5YR 7/8	1/3 残存	高台貼り付け時の粘土層が残る 反転復元
407	3	K6	7b	埴	13.0	7.0	5.8		橙 5YR 7/6	橙 5YR 7/6	2/3 残存	
408	3	K6	7b	埴	12.2	7.0	5.1		橙 5YR 7/6	橙 2.5YR 6/6	底部完全	口縁～胴部 1/4 残存 反転復元
409	3	K6	7b	埴	(13.8)	(7.0)	5.6		橙 7.5YR 7/6	橙 7.5YR 7/6	1/4 残存	胎土の砂粒が大きい 反転復元
410	3	K6	7	埴	(13.0)	6.4	5.8		橙 5YR 7/6	橙 5YR 7/6	3/4 残存	一部反転復元
411	3	J6	7	埴	-	7.3	5.1		浅黄橙 10YR 8/4	浅黄橙 7.5YR 8/6	底部完全	胴部～底部 1/4 残存 高台貼り付け時の粘土層が残る 一部反転復元
412	3	K6	7	埴	(15.8)	(5.6)	8.0		にぶい橙 7.5YR 7/3	浅黄橙 7.5YR 8/3	1/5 残存	貼り付け高台が割がれおちた痕あり 外側面、内面口縁部に煤付着あり 反転復元
413	3	K6	7c	埴	(15.6)	(6.8)	7.7		橙 7.5YR 7/6	橙 7.5YR 7/6	1/3 残存	貼り付け高台の痕あり 反転復元
414	3	K6	7b	埴	(14.0)	7.6	6.6		浅黄橙 7.5YR 8/4	黒褐 10YR 3/1	底部完全	口縁～胴部 1/5 残存 内面黒化処理 外底部に黒斑あり 反転復元
415	3	K6	7b	高台付 坏	13.2	6.7	3.5		橙 7.5YR 7/6	橙 7.5YR 7/8	3/4 残存	一部反転復元
416	3	K6	7c	鉢	(23.4)	-	(10.8)		にぶい橙 7.5YR 6/3	にぶい橙 7.5YR 7/4	口縁～胴部 1/6 残存	反転復元
417	3	L6	7	瓶	-	(18.6)	(7.3)		橙 5YR 6/8	橙 5YR 6/6	胴部～底部 1/8 残存	
418	3	L6	7	小型壺	(15.7)	(8.1)	14.7		にぶい赤褐 2.5YR 5/4 黒褐 7.5YR 3/1	橙 5YR 6/8	1/2 残存	反転復元 外面の調整痕は摩耗のため、ほぼ確認できない
419	3	K6	7	壺	(29.2)	-	(18.7)		にぶい黄橙 10YR 7/3	にぶい黄橙 10YR 7/4	口縁～胴部 1/4 残存	外面に煤付着あり 一部反転復元
420	3	K6	7	壺	(28.6)	-	(15.9)		にぶい黄橙 10YR 7/3	にぶい黄橙 10YR 7/3	口縁～胴部 1/4 残存	外面に煤付着あり 反転復元
421	3	K6	7	壺	(21.5)	-	(18.9)		橙 7.5YR 7/6	にぶい橙 7.5YR 7/3	口縁～胴部 1/3 残存	外面は板状の工具で調整され少し成形が粗い 反転復元
422	3	K6	7b	壺	(25.9)	-	(11.7)		橙 7.5YR 6/6	にぶい橙 7.5YR 6/4	口縁～胴部 1/4 残存	反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
423	3	L5	7b	壺	(25.6)	-	10.6	にぶい黄橙	10R 7/3	にぶい黄橙	10YR 7/3	口縁～胴部1/3残存 外面と内面口縁部に 煤付着あり 反転復元
424	3	グリッド	7	壺	(29.4)	-	(11.1)	浅黄橙	7.5YR 8/6	浅黄橙	7.5YR 8/4	口縁～胴部1/3残存 反転復元
425	3	L6	7	壺	(26.5)	-	9.0	灰白	7.5YR 8/2	浅黄橙	7.5YR 8/3	口縁～胴部1/6残存 反転復元
426	3	L5	7b	壺	(27.0)	-	5.0	にぶい橙	7.5YR 7/4	橙	5YR 6/6	口縁部1/5残存 胎土が広い 摩耗のため 調整は不明 反転復元
427	3	L6	7	壺	(24.8)	-	15.0	橙	7.5YR 7/6	橙	2.5YR 6/8	口縁～胴部1/4残存 摩耗のため調整は不明 反転復元
428	3	L6	7	蓋	(14.8)	-	1.6	灰白 N 7/		灰 N 6/		1/8残存 重ね焼きの痕あり 反転復元
429	3	16	7	坏	(11.8)	(6.6)	3.8	黄灰	5PB 6/1	黄灰	5PB 6/1	1/3残存 反転復元
430	3	16	7b	坏	(14.0)	(9.6)	4.2	灰白 N 7/		灰 N 7/		反転復元
431	3	L6	7	皿	(14.7)	-	1.5	灰白 N 8/		灰 N 4/		内面が黒色
432	3	L7	7b	壺	-	(16.3)	(10.2)	灰 N 4/		灰 N 5/		反転復元
433	3	グリッド	6	坏	(10.9)	(5.4)	3.7	浅黄橙	7.5YR 8/4	橙	7.5YR 7/6	1/2残存 反転復元
434	3	M6	6	坏	12.2	6.0	4.1	にぶい黄橙	10R 7/4	黒 N 2/		2/3残存 内面黒化処理 外面胴部と底部 の一部に黒斑あり 一部反転復元
435	3	16	6	皿	16.6	11.9	2.8	灰白 N 7/		灰白 N 7/		3/4残存 成形は丁寧ではない 内面に自然 軸あり
436	3	L6	6	埴	-	(6.6)	(2.9)	灰白 N 7/		灰白 N 8/		反転復元
437	3	L6	6	壺	-	10.0	(8.6)	灰白 N 7/		灰白 N 7/		底部から胴部にかけて3/4残存 反転復元
438	3	グリッド	5	坏	(12.4)	6.4	4.3	橙	7.5YR 7/6	にぶい橙	7.5YR 7/3	1/3残存 外面に鉄分付着 反転復元
439	3	グリッド	5	坏	12.3	5.8	4.6	浅黄橙 10YR 8/3 橙 5YR 6/6		浅黄橙 10YR 8/3 橙 5YR 6/6		ほぼ完成 内外面の胴部に一部分黒く変色 している
440	3	J6	5	坏	(13.0)	7.1	6.3	橙	5YR 6/6	橙	5YR 6/6	1/4残存 反転復元
441	3		5	埴	(12.4)	(7.8)	5.8	橙	5YR 6/8	橙	5YR 6/8	1/2残存 貼り付け高台の痕あり 反転復 元
442	3		5	埴	-	6.9	4.7	浅黄橙	7.5YR 8/4	灰 N 4/		胴部～底部1/2残存 内面が黒く変色して いる
443	3	グリッド	5	埴	(13.4)	(7.2)	5.5	浅黄橙	7.5YR 8/3	浅黄橙	7.5YR 8/3	1/3残存 内面底部に工具痕あり 一部反 転復元
444	3	K6	5	埴	(16.4)	8.4	7.6	浅黄橙	7.5YR 8/4	黒褐	10YR 3/1	2/3残存 内面黒化処理 一部反転復元
445	3		5	壺	(25.0)	-	(5.6)	にぶい黄橙	10R 7/4	にぶい黄橙	10YR 7/4	口縁部1/6残存 摩耗のため調整は不明 反転復元
446	3		5	壺	(22.8)	-	(9.8)	灰白	2.5YR 8/2	灰白	2.5YR 8/2	口縁～胴部1/4残存 摩耗のため調整は不明 反転復元
447	3	L5	5	壺	(22.9)	-	(6.7)	橙	5YR 7/6	浅黄橙	7.5YR 8/4	口縁～胴部1/2残存 反転復元
448	3		5	高台付 坏	-	(10.1)	(3.1)	灰白 N 8/		灰白 N 8/		反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
449	3		5	皿	(16.6)	(13.4)	2.6	灰 N 6/		灰 N 6/		1/3 独残存 反転復元
450	3		1	坏	-	5.6	2.3	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4		底部1/4 残存 外面底部に蒔書あり 欠縁部の一部を内器面から外面に附っている一部反転復元 表土剥ぎ
451	3		1	高台付坏	-	7.6	2.9	橙 7.5YR 6/8		橙 7.5YR 7/6		底部完形 胴部1/3 残存 表土剥ぎ
452	3		1	高台坏	12.3	5.9	5.0	黒褐 10YR 3/1 にぶい橙 7.5YR 6/4		黒褐 7.5YR 3/1		3/4 残存 黒色土器 表土剥ぎ
453	3		1	鍋 (把手)	-	-	4.7	灰白 N 8/		灰白 N 8/		破片 表土剥ぎ
454	3		1	埴	-	(7.0)	2.8	浅黄橙 10YR 8/4		灰 N 4/		胴部～底部1/3 残存 内面にミガキあり 内面黒化処理 反転復元 表土剥ぎ
455	3			壺	(21.6)	-	9.0	橙 5YR 6/8		橙 5YR 6/8		口縁～胴部1/4 残存 摩耗のため調整は不明 反転復元
456	3		1	壺	(24.9)	-	(8.5)	淡橙 5YR 8/4		淡橙 5YR 8/4 橙 5YR 7/6		口縁～胴部1/6 残存 外面に煤付着あり 反転復元 表土剥ぎ
457	3 2	M5	1 6	蓋	(14.2)	-	1.9	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 弱残存 口縁部に歪みあり 反転復元 表土剥ぎ
458	3		1	坏	(12.2)	(8.5)	3.2	緑灰 5G 6/1 にぶい赤褐 2.5YR 5/4		緑灰 5G 6/1 にぶい赤褐 2.5YR 5/4		1/3 残存 内面底部に粘土付着 内、外面に重ね焼きの痕あり 表土剥ぎ
459	3		1	坏	(12.6)	(6.8)	4.4	灰白 7.5Y 7/1		灰白 N 8/		1/3 残存 反転復元 表土剥ぎ
460	3	K6		埴	-	(8.0)	(2.4)	灰 N 6/		灰 N 6/		反転復元
461	3		1	埴	-	7.5	(3.4)	灰黄 2.5Y 6/2		灰黄 2.5Y 6/2		底部3/4、胴部1/4 残存 口縁部は欠損している 表土剥ぎ
462	3	M6		壺	(12.6)	-	(3.5)	灰 N 6/		灰 N 6/		貼り付け凸帯 反転復元
463	3		1	壺	(17.2)	-	(10.0)	灰白 N 7/		灰黄褐 10YR 6/2		口縁～胴部にかけて1/4 残存 反転復元 表土剥ぎ
464	3		1	片口鉢	-	-	(5.9)	灰 N 6/ 灰 N 4/		灰 N 6/		粘土結痕あり 表土剥ぎ
471	4	SK73	埋1	埴	-	7.0	(1.7)	灰白 2.5Y 8/2		灰白 2.5Y 8/1		底部のみ残存 一部残存
472	4	SB75	埋1	埴	-	(7.0)	(2.6)	灰白 5Y 8/1		灰白 5Y 7/1		胴部～底部にかけて1/3 残存
474	4 5	SB77 N3	6 7	埴	(16.0)	(10.6)	(6.0)	褐灰 10YR 5/1		灰白 10YR 7/1		1/4 程度残存 反転復元
475	4	S09	埋1	埴	-	5.6	(4.5)	灰白 N 8/ 灰 N 5/		灰 N 5/		1/5 残存 一部反転復元
476	4	S09	2	皿	(8.6)	(6.6)	1.4	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/4		1/4 残存 反転復元
477	4	S09	7	壺	(25.0)	-	(4.7)	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁部1/6 残存 内面煤付着あり
480	4	SK27	埋1	皿	9.1	6.9	2.0	浅黄橙 7.5YR 8/4		灰白 7.5YR 8/1		ほぼ完形 底部に工具痕あり
481	4	SK27	埋1	皿	(9.2)	(6.4)	1.6	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4		2/5 残存 反転復元
482	4	SK42	埋1	壺	-	6.4	(3.1)	褐灰 10YR 6/1		褐灰 10YR 6/1		底部ほぼ完形 一部反転復元
483	4	SK43	埋1	坏	-	11.2	(2.3)	明褐灰 7.5YR 7/2		浅黄橙 7.5YR 8/3		底部のみ残存

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
484	4	SK43	埋1	鉢	(28.4)	-	(6.2)	灰白 N 7/		灰白 N 7/		口縁～肩部にかけて 1/8 残存 反転復元
485	4	SK160	埋1	蓋	(15.0)	-	3.9	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/2 残存	一部反転復元
486	4	SK160	埋1	蓋	(15.5)	-	3.0	橙 5YR 7/8 黄橙 7.5YR 8/8		橙 5YR 7/8 黄橙 7.5YR 8/8	1/2 残存	反転復元
487	4	SK160	埋1	蓋	(15.8)	-	(1.8)	浅黄橙 7.5YR 8/4		橙 5YR 7/6	1/3 残存	反転復元
488	4	SK160	埋1	蓋	(17.2)	-	(1.9)	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/6	1/8 残存	反転復元
489	4	SK160	埋1	坏	-	8.3	(2.5)	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/3	底部 1/2 残存	反転復元
490	4	SK160	埋1	埴	14.7	7.6	7.8	橙 5YR 7/8 黄橙 7.5YR 8/8		橙 5YR 7/8 黄橙 7.5YR 8/8		ほぼ完形
491	4	SK160	埋1	皿	(15.2)	(11.8)	1.6	橙 7.5YR 7/6		橙 5YR 7/6	2/3 残存	反転復元
492	4	SK160	埋1	坏	(13.4)	(6.9)	4.3	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4	1/4 残存	反転復元
493	4	SK160	埋1	坏	(12.6)	5.6	3.8	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/4 残存	一部反転復元
494	4	SK160	埋1	坏	(12.2)	6.2	3.1	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8	2/3 残存	一部反転復元
495	4	SK160	埋1	坏	(14.5)	(7.2)	4.5	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/4 残存	反転復元
496	4	SK160	埋1	坏	(12.7)	5.2	3.8	浅黄橙 10YR 8/4 黄灰 2.5Y 5/1		黄灰 2.5YR 6/1	3/4 残存	一部反転復元
497	4	SK160	埋1	坏	(13.2)	(9.0)	4.2	橙 7.5YR 7/6		淡橙 5YR 8/4	1/4 残存	反転復元
498	4	SK160	埋1	壺	(18.1)	-	(7.4)	にぶい橙 7.5YR 6/3 褐灰 7.5YR 4/1		灰白 7.5YR 8/1		口縁～肩部上位 2/3 残存 外面に煤付着あり
499	4	SK160	埋1	瓶	(28.2)	-	(8.2)	浅黄橙 7.5YR 8/6		橙 7.5YR 7/6		口縁～肩部上位 1/4 残存 反転復元
500	4	SK160	埋1	瓶	(27.0)	-	(11.2)	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6		口縁～肩部中位 1/6 残存 反転復元
501	4	SK160	埋1	瓶	-	-	(6.0)	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6		把手
502	4	SK160	埋1	瓶	-	-	(9.0)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/8		把手
503	4	SK160	埋1	瓶	(28.6)	(18.5)	19.4	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/6 残存	反転復元
504	4	SK160	埋1	甕	(24.6)	-	(17.9)	にぶい黄橙 10YR 7/2		にぶい橙 7.5YR 7/3		口縁～肩部下位 1/3 残存 反転復元
505	4	SK160	埋1	甕	(20.6)	-	(6.6)	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6		口縁～肩部上位 1/6 残存 反転復元
506	4	SK160	埋1	甕	(18.5)	-	(7.5)	橙 2.5YR 6/6		にぶい橙 7.5YR 7/3 褐灰 7.5YR 4/1		口縁～肩部中位 1/4 残存 内面が黒く変色している 反転復元
507	4	SK160 509	埋1	甕	(26.2)	-	(10.0)	橙 2.5YR 6/8 橙 5YR 7/6		橙 2.5YR 6/8		口縁～肩部中位 1/4 残存 反転復元
508	4	SK160	埋1	甕	(26.0)	-	(4.3)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		口縁部 1/6 残存 反転復元
509	4	SK160	埋1	甕	-	-	(20.7)	にぶい黄橙 10YR 7/3 にぶい橙 5YR 7/4		にぶい黄橙 10YR 7/3		口縁～肩部下部破片

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
510	4	SK160	埋1	坏	(12.2)	(6.0)	4.2	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/3 残存 反転復元
511	4	SK160	埋1	坏	(12.8)	(8.3)	4.2	灰 N 5/		灰 N 6/		1/4 残存 反転復元
512	4	SK160	埋1	埴	-	(10.0)	(7.6)	灰 N 6/		灰白 N 7/		胴部～底部にかけて1/3 残存 反転復元
513	4	SK160	埋1	鉢	(21.3)	(9.4)	15.2	灰白 N 7/ 灰 N 4/		灰白 N 7/ 灰 N 4/		1/5 残存 外面底部脇に工具でなでた痕あり 反転復元
514	4 5	SK160 M3	埋1 7	鉢	22.1	12.5	14.2	灰白 N 7/ 灰 N 5/		黄灰 5PB 5/1		1/2 残存 口縁部に工具による沈線あり 外面胴部に穀物類の圧痕が見られる
515	4	SK160	埋1	壺	-	9.7	(24.0)	灰 N 5/		灰 N 6/		胴部～底部にかけて1/2 残存 一部反転復元
516	4	SK160	埋1	壺	10.7	-	(9.8)	灰 N 6/		灰白 N 7/		口頸部のみ残存
517	4 1	SK160 J2	埋1 6	壺	(21.2)	-	(26.7)	灰白 N 7/		灰白 N 7/		口縁部1/2、頸部～胴部は残りが少ない内、外面の口縁部に自然釉あり
518	4	SK160	埋1	撞鉢	-	-	(1.8)	灰白 N 8/		灰白 N 7/		内面は9本の柳文
520	4	SK225	埋1	壺	(14.2)	-	(17.4)	灰白 N 7/		灰 N 6/		口縁～胴部にかけて1/4 弱残存 反転復元
521	4	SK228	埋1	蓋	-	-	1.7	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/4 残存 つまみは欠損して残りが悪い
522	4	SK228	埋1	坏	(12.3)	7.7	4.8	にぶい黄橙 10YR 7/3		浅黄橙 10YR 8/3 にぶい黄橙 10YR 7/3		2/3 残存 一部反転復元
523	4	SK228	埋1	壺	(18.0)	-	(9.6)	橙 5YR 7/6 灰黄橙 10YR 6/2		にぶい橙 7.5YR 7/3 褐灰 10YR 4/1		口縁～胴部中位1/4 残存 反転復元
524	4	SK228	埋1	壺	(29.0)	-	(10.2)	にぶい橙 7.5YR 7/4		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁～胴部中位1/4 残存 反転復元
525	4	pit145	埋1	埴	-	(7.5)	(2.7)	にぶい橙 7.5YR 7/3		灰褐 7.5YR 6/2		底部～高台2/3 残存 反転復元
526	4	SK15	埋1	坏	-	(6.2)	(0.6)	褐灰 7.5YR 4/1		褐灰 7.5YR 4/1		底部1/2 残存 黒色土器 反転復元
527	4	pit26	埋1	皿	8.7	7.3	16.0	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/4		ほぼ完整 灯明皿
528	4	pit26	埋1	皿	(15.8)	(11.3)	2.9	にぶい橙 7.5YR 7/4		橙 7.5YR 7/6		1/3 残存 反転復元
529	4	SK90	埋1	蓋	(18.0)	-	2.0	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/2 残存 上身体につまみがつくと考えられる
530	4	R4	8	壺	-	-	(2.9)	橙 7.5YR 7/6 灰黄橙 10YR 5/2		にぶい橙 7.5YR 7/3		弥生土器 底部のみ残存 内面はほぼ剥離している 外面に赤色顔料あり 一部反転復元
531	4	R4	8	壺	(8.4)	-	(7.6)	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁～胴部1/2 残存 外面に赤色顔料が少しあり 反転復元
532	4	R4	8	長頸壺	8.1	-	21.1	浅黄橙 7.5YR 8/6 明赤褐 5YR 5/6		浅黄橙 7.5YR 7/6		1/2 残存 外面全体に赤色顔料を塗布した弥生土器
533	4	Q4	8	壺	(20.8)	-	(12.8)	にぶい黄橙 10YR 7/2 黒褐 10YR 3/1		にぶい黄橙 10YR 7/2 黒褐 10YR 3/1		口縁～胴部中位1/4 残存 外面に煤付着あり 反転復元
534	4	R4	8	鉢	-	-	(6.2)	明赤褐 2.5YR 5/6		明赤褐 2.5YR 5/6		縄紋土器 口縁部破片
535	4	R4	8	鉢	-	-	(4.9)	にぶい橙 7.5YR 5/3		にぶい赤褐 5YR 5/4		縄紋土器 口縁部破片
536	4	R4	8	鉢	-	-	(3.8)	橙 5YR 6/6		にぶい黄橙 10YR 7/2		縄紋土器 胴部破片

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
537	4	04	8	高坏	11.4	10.2	10.1	灰 N 4/		灰 N 4/		脚部の一部のみ欠損 環部の接合が下手で 差んでいる
538	4	P4	7	蓋	2.5	15.0	2.9	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/8	3/4 残存	
539	4	P4	7	坏	(14.2)	7.2	3.2	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/6		口縁部 2/3 欠損
540	4	P5	7	坏	(11.8)	(6.4)	3.6	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/3 残存	反転復元
541	4	P5	7	坏	(13.0)	(6.0)	4.3	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/5 残存	反転復元
542	4	P4	7	坏	(12.6)	(7.4)	3.3	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8	1/5 残存	反転復元
543	4	04	7	坏	(12.6)	(6.4)	3.7	橙 5YR 7/6 橙 2.5YR 7/8		橙 2.5YR 7/8	1/4 残存	反転復元
544	4	R4	7	坏	(12.6)	(3.5)	7.0	橙 5YR 7/8		橙 2.5YR 7/8	1/4 残存	反転復元
545	4	P4	7	坏	(13.8)	(5.9)	3.9	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6	1/2 残存	反転復元
546	4	P4	7	坏	12.7	6.3	3.7	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8	1/2 残存	反転復元
547	4	04	7	坏	(12.2)	6.6	3.7	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4		口縁～胴部 1/5、 底部 1/2 残存 一部反転復元
548	4	P4	7	坏	13.1	4.2	6.1	浅黄橙 7.5YR 8/6		橙 5YR 7/8		ほぼ完成形
549	4	P4	7	坏	(11.5)	5.2	4.2	浅黄橙 10YR 8/4		浅黄橙 10YR 8/4	1/4 残存	一部反転復元
550	4	04	7	坏	(13.0)	(8.0)	4.3	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/4 残存	反転復元
551	4	N5	7	坏	(10.8)	(7.0)	4.2	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		口縁～底部 1/6、 底部 1/2 残存 反転復元
552	4	R4	7	坏	-	(7.2)	(1.8)	にぶい橙 7.5YR 7/3		にぶい黄橙 10YR 7/2		底部のみ残存
553	4	P4	7	坏	-	-	(2.3)	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6		小片 ヘラ記号あり
554	4	03	7	変	-	-	(3.2)	にぶい黄橙 10YR 7/2 黒褐 10YR 3/1		橙 7.5YR 7/6		土器小片 外面にヘラ記号あり
555	4	P4	7	皿	(14.5)	(11.8)	2.2	橙 2.5YR 6/6		橙 2.5YR 6/6	1/2 残存	反転復元
556	4	P5	7	皿	(15.6)	(10.0)	2.1	橙 2.5YR 6/8 橙 5YR 7/6		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/4 残存	反転復元
557	4	P4	7	壺	-	(7.8)	(3.4)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		底部のみ残存 一部反転復元
558	4	N5	7	埴	(14.2)	-	(3.7)	黒褐 2.5Y 3/1		黒褐 2.5Y 3/1		口縁～胴部 1/4 残存 黒色土器 反転復元
559	4	04	7	埴	(14.6)	(7.5)	5.6	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6		口縁～底部 1/3 残存 一部反転復元 底部～高台ほぼ完成形
560	4	N5	7	埴	(13.1)	8.6	6.7	浅黄橙 7.5YR 8/4		黒褐 2.5YR 3/1		口縁～胴部 3/4、 底部～高台完成形 内面黒 化処理 一部反転復元
561	4	04	7	皿	(9.8)	(7.8)	1.2	浅黄橙 7.5YR 8/4		にぶい橙 7.5YR 7/3	1/4 残存	反転復元
562	4	04	7	皿	(9.2)	(7.4)	0.9	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/4 残存	反転復元

RP 番号	区	造構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
563	4	R4	7	皿	10.7	8.1	1.6	灰白 7.5R 8/2		灰白 7.5YR 8/2		ほぼ完形 外面底部に板目状圧痕あり
564	4	R4	7	皿	(9.4)	(7.8)	1.5	にぶい黄橙 10YR 7/3 灰黄褐 10YR 6/2		橙 2.5YR 6/6 灰黄褐 10YR 6/2	1/2 残存	内面に煤付着あり 反転復元
565	4	P4	7	皿	(9.2)	(6.6)	1.5	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/2 残存	反転復元
566	4	N5	7	鉢	(24.2)	-	(7.5)	橙 5YR 6/6	にぶい黄橙 10YR 7/3		口縁～胴部下部 1/6 残存 反転復元	外面に煤付着あり 反転復元
567	4	P5	7	瓶	(26.0)	-	(13.2)	橙 5YR 7/6		橙 2.5YR 6/8 暗灰黄 2.5Y 5/2	口縁～把手まで 1/3 残存	反転復元
568	4	O4	7	壺	(14.4)	-	(12.0)	にぶい橙 7.5YR 6/4 褐灰 7.5YR 4/1		黒褐 7.5YR 3/1	口縁～胴部下部 1/4 残存	反転復元
569	4	M5	7	壺	(23.4)	-	(10.2)	浅黄橙 10YR 8/4		明赤褐 5YR 5/6	口縁～胴部上位 1/3 残存	反転復元
570	4	N5	7	壺	(22.0)	-	(12.2)	橙 7.5YR 7/6		橙 5YR 6/6	口縁～胴部中位 1/2 残存	摩耗が著しい 反転復元
571	4	M5	7	壺	(26.0)	-	(3.7)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	口縁部 1/2 残存	反転復元
572	4	M5	7	壺	(27.0)	-	(6.2)	橙 5YR 7/6 浅黄橙 10YR 8/3		橙 7.5YR 7/6	口縁～胴部上位 1/6 残存	反転復元
573	4	N5	7	壺	(20.2)	-	(10.5)	にぶい橙 7.5YR 7/3		灰黄褐 10YR 6/2	口縁～胴部中位 1/8 残存	反転復元
574	4	P5	7	壺	(26.6)	-	(8.4)	橙 5YR 6/6 にぶい橙 7.5YR 6/6		橙 5YR 6/6 にぶい橙 7.5YR 6/6	口縁～胴部中位 1/8 残存	反転復元
575	4	O4	7	壺	(17.2)	-	(9.0)	橙 2.5YR 6/6	にぶい橙 7.5YR 7/4		口縁～胴部中位 2/3 残存	内面口縁部、被 熱により黒色化している 反転復元
576	4	R4	7	壺	(28.5)	-	(6.8)	橙 7.5YR 7/6	にぶい橙 7.5YR 7/4		口縁～胴部上位 1/6 残存	反転復元
577	4	O4	7	壺	(15.0)	-	(8.7)	橙 5YR 7/6 黒褐 5YR 2/1		橙 5YR 7/ 黒褐 5YR 3/1	口縁～胴部中位 1/4 残存	反転復元
578	4	N5	7	壺	(26.0)	(6.0)	(21.6)	浅黄橙 10YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/3	1/2 残存	外面胴部下位～底部に煤付着あり 一部反転復元
579	4	O4	7	壺	(15.2)	-	(3.9)	橙 2.5YR 6/8 灰白 7.5YR 8/2		褐灰 7.5YR 4/1 にぶい褐 7.5YR 5/3	口縁部 1/8、頸部 1/3 残存	反転復元
580	4	M5	7	カマド	-	-	(9.7)	橙 5YR 6/6		橙 7.5YR 7/6	小片	
581	4	O4	7	壺	(26.0)	-	(8.3)	にぶい褐 7.5YR 5/3		にぶい褐 7.5YR 6/3	口縁～胴部上位 1/5 残存	反転復元
582	4	O5	7	壺	(30.8)	-	(14.7)	灰白 7.5YR 8/2 にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4	口縁～胴部中位 1/6 残存	反転復元
583	4	P4	7	蓋	(15.2)	-	1.0	灰 N 6/		灰白 N 7/	1/3 残存	外面上面に工具痕あり
584	4	O4	7	蓋	13.9	-	2.05	灰 N 6/		灰 N 6/	ほぼ完形	内面に墨書(酒主)
585	4	P4	7	坏	(12.5)	7.6	4.5	灰白 2.5Y 7/1		灰白 2.5Y 7/1	胴部はほぼ完形 は丁寧ではない	口縁部は 1/4 残存 成形
586	4	O4	7	坏	(12.5)	(7.0)	4.9	褐灰 7.5YR 6/1		灰褐 7.5YR 6/2	1/4 残存	反転復元
587	4	O3	7	坏	(15.0)	(10.6)	4.2	灰白 2.5Y 8/1		灰白 2.5Y 8/1	1/6 残存	反転復元
588	4	O4	7	坏	(11.3)	8.9	3.2	灰白 N 8/		灰白 N 8/	底部は完形	口縁部は一部のみ残存 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
589	4	04	7	地	13.7	9.1	4.7	灰白 N 7/		灰 N 6/		ほぼ完形
590	4	R4	7	地	(12.8)	8.7	4.4	灰白 N 7/		灰白 N 7/	1/2 残存	一部反転復元
591	4	M5	7	地	(12.6)	(8.3)	4.6	灰白 N 8/		灰白 N 8/	1/3 残存	反転復元
592	4	N5	7	地	(12.2)	(6.8)	4.6	黄灰 5B 6/1		灰 N 6/	1/4 残存	反転復元
593	4	04	7	皿	(13.4)	(10.0)	2.4	暗灰 N 3/ 灰白 N 7/		暗赤褐 5YR 3/2 灰白 N 7/	1/4 残存	内外面に自然釉あり 反転復元
594	4	P4	7	壺	8.0	-	(5.2)	灰 N 6/		灰 N 6/		口頸部のみ残存 丁寧な作りである
595	4	N5	7	壺	-	-	(7.5)	灰白 2.5 Y 7/1		灰白 2.5 Y 8/2		頸部～胴部にかけて 1/4 残存 反転復元
596	4	N5	7	壺	-	-	(10.4)	灰白 2.5 Y 7/1 黄灰 2.5 Y 4/1		灰白 N 7/		頸部～胴部にかけて 1/3 残存 外面に自然釉あり 反転復元
597	4	04	7	甕	-	(7.7)	(9.0)	灰白 2.5 Y 8/2		灰白 2.5 Y 8/1		胴部～底部にかけて 1/3 残存 内面に粘土結核あり 反転復元
598	4	04	7	鉢	-	(11.2)	(10.3)	灰 N 6/		灰 N 6/		胴部～底部にかけて 1/4 弱残存 反転復元
599	4	05	6	坏	11.9	7.0	4.4	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		ほぼ完形 成形が歪である
600	4	04	6	坏	(13.1)	7.5	3.6	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8	1/2 残存	口縁部の一部に煤付着あり 一部反転復元
601	4	N5	6	坏	(12.7)	6.5	4.0	浅黄橙 7.5YR 8/6		橙 5YR 7/6	3/4 残存	一部反転復元
602	4	P4	6b	坏	(12.8)	(6.2)	4.2	灰白 10YR 8/2 橙 2.5YR 7/8		灰白 10YR 8/2 橙 2.5YR 7/8	1/5 残存	反転復元
603	4	P4	6	坏	-	-	(0.9)	灰白 10YR 8/1 淡赤橙 2.5YR 7/3		褐灰 10YR 5/1 黒 10YR 2/1		小片 内面黒化処理
604	4	P4	6	坏	-	(6.9)	(1.1)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 7/6		底部 1/5 残存 ヘラ記号 反転復元
605	4	P4	6	地	-	(7.5)	(3.7)	にぶい橙 7.5YR 7/3		にぶい橙 7.5YR 7/3		底部～高台 1/2 残存 外面に煤付着あり 反転復元
606	4	05	6	地	17.8	-	(5.7)	橙 5YR 7/6		灰 5Y 4/1		口縁～底部 3/4 残存 高台欠損 内面黒化処理 東側壁
607	4	04	6	地	-	9.1	(5.7)	浅黄橙 10YR 8/2		褐灰 10YR 4/1		胴部～底部 1/3 残存 高台完形 内面黒化処理 一部反転復元
608	4	04	6	地	(16.6)	-	(5.4)	浅黄橙 10YR 8/3		黒 N 1.5/	1/4 残存	内面黒化処理 反転復元
609	4	P5	6	皿	(14.6)	(12.6)	2.3	橙 2.5YR 6/6 浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6	1/4 残存	反転復元
610	4	N6	6	皿	(13.2)	(10.1)	2.5	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	3/4 残存	反転復元 東壁溝
611	4	M5	6	皿	-	(8.0)	(0.9)	灰白 10YR 8/2		灰白 10YR 8/2	1/8 残存	反転復元 外面底部に「口文」と彫書あり
612	4	R4	6	皿	8.5	6.5	1.5	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4	3/4 残存	一部反転復元
613	4	R4	6	皿	(9.0)	(7.2)	1.1	橙 2.5YR 6/6 橙 5YR 7/6		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/2 残存	反転復元
614	4	R4	6	皿	8.6	7.4	1.4	にぶい黄橙 10YR 7/3		にぶい黄橙 10YR 7/3		完形 底部には板目状圧痕

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
615	4	04	6	壺	(20.2)	-	(3.9)	橙 2.5YR 6/6 にぶい橙 7.5YR 7/4		橙 5YR 7/8 にぶい橙 7.5YR 6/6		口縁部 1/5 残存 反転復元
616	4	M6	6	瓶	-	-	(10.0)	にぶい橙 7.5YR 7/3		橙 5YR 6/6		口縁～胴部破片 把手欠損
617	4	P4	6b	瓶	-	-	(4.2)	にぶい橙 7.5YR 7/4		褐灰 10YR 4/1		把手
618	4	P4	6	埴	(13.1)	8.2	4.6	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 残存 高台の貼り付けが丁寧ではない 反転復元
619	4	N5	6	壺	(19.4)	-	(5.4)	灰白 N 7/ 灰 N 4/		灰白 N 7/ 灰 N 4/		口縁部のみ 1/3 残存 内面に自然釉あり 反転復元
620	4	M5	4	蓋	(18.0)	-	2.7	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4		1/4 残存 内面一部黒く変色している 反転復元
621	4	1トレ		埴	-	(7.0)	(2.5)	灰白 7.5YR 8/2		灰 N 4/		底部 1/3 残存 内面黒化処理 反転復元
622	4	M6	1	坏	(11.3)	(7.5)	4.3	浅黄橙 10YR 8/4		浅黄橙 10YR 8/4		1/2 残存 反転復元
623	4	R4		皿	9.0	7.2	2.0	灰白 10YR 8/2		灰白 10YR 8/2 橙 5YR 7/6 褐灰 7.5YR 4/1		4/5 残存 内面に煤付着あり 灯明皿
624	4	R4		皿	(9.0)	(6.9)	1.5	浅黄橙 7.5YR 8/3		灰白 10YR 8/1 褐灰 10YR 6/1		1/2 残存 反転復元
625	4			壺	(24.0)	-	(5.1)	にぶい橙 7.5YR 7/3		浅黄橙 7.5YR 8/4 にぶい橙 7.5YR 7/4		口縁～頸部 1/4 残存 反転復元
626	4	M6		壺	(25.6)	-	(4.2)	浅黄橙 10YR 8/3		にぶい黄 橙 10YR 6/3		口縁部 1/8、底部 1/2 残存 反転復元 東 壁溝
627	4	M6	1	壺	(26.4)	-	(6.9)	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4 にぶい橙 5YR 7/4		口縁～胴上位 1/6 残存 反転復元
628	4	M6		壺	(26.2)	-	(5.0)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		口縁～胴上位 1/5 残存 反転復元
629	4		1	蓋	14.3	-	0.8	灰白 N 7/		灰白 N 7/		完形 表土剥ぎ
630	4	04		坏	(11.0)	(6.0)	3.9	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/3 残存 反転復元
631	4	04		坏	(12.5)	(6.6)	3.2	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/3 残存 反転復元
632	4	04		埴	(12.8)	7.9	4.2	灰白 N 7/		灰白 N 8/		底部はほぼ完形 胴部は 1/4 残存 反転復 元
633	4	M5		壺	(11.0)	-	(4.0)	にぶい橙 7.5YR 5/3 灰白 N 8/		にぶい橙 7.5YR 5/3 灰白 N 8/		口縁部のみ 1/3 残存 反転復元
634	4	04	4	小型壺	-	-	(6.6)	灰白 N 7/		灰白 N 7/		頸部～胴部にかけて 1/5 残存 反転復元
635	4	04		壺	-	(9.5)	(2.1)	灰 N 6/		灰白 N 7/		底部のみ残存 焼きぶくれあり
661	5	SD496	埋1	坏	(16.0)	(5.9)	(4.7)	浅黄橙 7.5YR 8/3 灰白 10YR 8/2		褐灰 10YR 4/1		1/4 残存 内面黒化処理 反転復元
663	5	SD312	7	坏	11.8	6.7	4.4	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/3		ほぼ完形 一部反転復元
664	5	SD312	埋1	坏	14.2	6.5	4.3	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁部 1/3 のみ欠損 口縁部は歪んでいる 外面に煤付着あり
665	5	SD312 SK334	埋1	坏	(15.3)	7.0	4.4	橙 5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6		橙 5YR 7/6		3/4 残存 反転復元
666	5	SD312 SK334	埋1	坏	15.0	7.7	3.7	橙 7.5YR 7/6		にぶい黄橙 10YR 7/3		2/3 残存

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
667	5	SD312	7	鉢	(28.8)	-	(6.8)	浅黄橙	10R 8/4	浅黄橙	7.5YR 8/4	口縁～胴部 1/6 残存 反転復元
668	5	SD312	埋1	坏	(11.6)	(7.6)	4.5	灰白 N 7/		灰白 N 7/	1/3 残存	反転復元
669	5	SD312	埋1	坏	12.9	6.4	4.3	灰白 5Y 8/1		灰白 5Y 8/1	1/2 残存	
673	5	SD1	6	蓋	(16.7)	(7.2)	(2.8)	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8 浅黄橙 7.5YR 8/6	1/3 残存	つまみ欠損 反転復元
674	5	SD1	埋1	蓋	14.9	7.3	2.2	橙 5YR 6/8		橙 5YR 7/8	3/4 残存	
675	5	SD1	埋2	坏	13.4	9.4	3.9	灰白 2.5YR 8/2		灰白 2.5YR 8/2	2/3 残存	胴部 3/4 残存、底部完形 底部はへら切りの後工具でナデ調整されている
676	2	SD1	埋1	坏	(13.6)	(9.3)	4.1	灰白 10YR 8/2		灰白 10YR 8/2	1/4 残存	反転復元
677	5	SD1	埋2	坏	(13.4)	(5.9)	(3.6)	橙 5YR 6/6 浅黄橙 7.5YR 8/3		橙 5YR 7/6	1/3 残存	反転復元
678	5	SD1	埋2	坏	(14.2)	5.8	4.3	灰白 10YR 8/2		灰白 10YR 8/2 にぶい橙 7.5YR 7/3	2/3 残存	一部反転復元
679	5	SD1		坏	(13.0)	7.2	3.9	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	ほぼ完形	一部反転復元
680	5	SD1	埋1	坏	14.6	5.6	3.9	橙 5YR 7/6		浅黄橙 7.5YR 8/4	3/4 残存	反転復元
681	5	SD1	埋2	坏	12.8	6.7	3.4	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/3	ほぼ完形	
682	5	SD1	埋1	坏	(14.1)	(5.4)	(4.2)	浅黄橙 7.5YR 8/4 橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/6	1/4 残存	反転復元
683	5	SD1	埋2	坏	(12.8)	(6.4)	4.5	灰白 2.5Y 8/1		暗灰 N 3/	1/2 残存	内面黒化処理 反転復元
684	2	SD1	埋1	坏	(14.6)	6.3	4.1	にぶい橙 7.5YR 7/3		にぶい橙 7.5YR 7/4	3/4 残存	外面底部にへら記号あり 煤付 一部反転復元
685	5	SD1	埋1	坏	(14.8)	7.3	4.0	橙 7.5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6	口縁一部、残存 胴部～底部ほぼ完形 外面底部に蒔書あり 判読はできない 一部反転復元	
686	5	SD1	6	坏	(13.5)	7.0	(4.2)	浅黄橙 7.5YR 8/4 橙 5YR 7/6		浅黄橙 7.5YR 8/4	口縁～胴部 1/3 残存 底部完形 外面底部にへら記号あり 二次焼成による赤変黒班がある	反転復元
687	5	SD1	埋1	笠	(13.8)	(9.6)	(5.2)	橙 7.5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6	1/4 残存	胎土が粗い 反転復元
688	5	SD1	埋1	笠	(11.6)	8.0	5.0	浅黄橙 10YR 8/3		浅黄橙 10YR 8/3	3/4 残存	一部反転復元
689	5	SD1	6	皿	9.3	7.4	1.4	にぶい橙 7.5YR 7/3		にぶい橙 7.5YR 7/3	1/2 残存	
690	5	SD1	埋1	皿	(12.8)	(10.6)	(1.4)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/2 残存	反転復元
691	5	SD1	埋1	皿	(14.5)	11.5	2.3	橙 2.5YR 7/6		橙 2.5YR 7/6	口縁部 1/3、底部 2/3 残存	一部反転復元
692	5	SD1	埋1	皿	18.1	7.2	2.9	にぶい黄橙 10YR 7/4		にぶい黄橙 10YR 7/4	3/4 残存	
693	5	SD1	埋2	皿	12.2	(7.2)	1.6	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/3	1/5 残存	反転復元 外面底部にへら記号あり
694	5	SD1	埋1	高坏	-	(9.9)	(6.8)	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4	脚部のみ残存	端部欠損
695	5	SD1	埋1	鉢	(22.4)	-	(9.7)	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい黄橙 10YR 7/3	口縁～胴部 1/4 残存 外面胴部下部に煤付 一部反転復元	

RP 番号	区	造構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
696	5	SD1	埋1b	鉢	(25.0)	-	(9.5)	浅黄橙 7.5R 8/4		橙 5YR 7/6		口縁～肩部 1/4 残存 片口 反転復元
697	5	SD1	埋1	鍋	-	-	(4.2)	にぶい橙 7.5R 7/4	-	-	-	把手 下部に被熱による割傷と煤の付着が見られる
698	5	SD1	埋2a	壺	(16.2)	-	(5.9)			橙 5YR 7/6	橙 2.5YR 6/6 橙 2.5YR 6/8	口縁部～肩部 1/5 残存 反転復元
699	5	SD1	埋2	瓶	(37.4)	(10.6)	(27.7)	にぶい橙 2.5YR 6/4 にぶい橙 7.5R 7/4		灰白 10YR 8/1 黒 N 2/		口縁部 3/4、肩部～底部 1/4 残存 内面は割傷が著しい
700	5	SD1	埋2	瓶	(36.6)	-	(10.5)	黄橙 10YR 8/6 橙 2.5R 6/8		浅黄橙 2.5YR 7/4 橙 7.5YR 7/6		口縁～肩部上位 1/3 残存 反転復元
701	5	SD1	埋2	瓶	(37.1)	-	(14.3)	明褐灰 7.5YR 7/2 橙 5YR 7/6		にぶい黄橙 10YR 6/ 浅黄橙 7.5YR 8/6		口縁～把手 1/2 残存
702	5	SD1	埋2	瓶	-	-	(5.0)	にぶい黄橙 5YR 7/4	-	-	-	把手
703	5	SD1	埋1	瓶	-	-	(4.9)	にぶい黄橙 10YR 7/4		褐灰 10YR 4/1		把手
704	5	SD1	7	瓶	(31.2)	-	(30.2)	赤橙 10 R 6/ 橙 7.5YR 7/6		淡赤橙 2.5YR 7/4 灰白 10YR 8/2		口縁～肩部下部 1/6 残存 把手欠損 内面は摩耗、割傷が著しい 一部反転復元
705	5	SD1	埋2	カマド	-	-	(5.7)	橙 5YR 7/6		にぶい橙 5YR 7/4		小片
706	2	SD1	埋2	壺	-	-	(9.3)	にぶい黄橙 10YR 7/3		にぶい黄橙 10YR 7/3		口縁～頸部 1/8 残存 反転復元
707	5	SD1	埋1b	壺	(24.8)	-	(12.2)	にぶい橙 7.5R 6/3		浅黄橙 7.5YR 8/3		口縁～胴部上位 1/6 残存 反転復元
708	5	SD1	埋2	壺	19.1	-	(16.8)	にぶい橙 7.5YR 7/3 浅黄橙 7.5YR 8/4 黒 N 2/		暗灰 N 3/		口縁～胴部上位 1/2 残存 外面の一部には口縁端部にまで煤の付着が見られる 内面も黒色化している 反転復元
709	5	SD1	6	壺	16.8	-	(8.4)	橙 2.5R 6/8		橙 2.5YR 6/8		口縁～胴部上位 3/4 残存 外面一部に煤付着あり 一部反転復元
710	5	SD1	埋1b	壺	17.3	-	(6.6)	にぶい橙 7.5R 6/3		黒褐 7.5YR 3/1 明褐灰 7.5YR 7/2		口縁部 2/3、頸部～胴部上位 1/3 残存 外面および内面口縁部、煤付着あり 一部反転復元
711	5	SD1	埋2	壺	(20.2)	-	(15.4)	にぶい黄橙 10YR 7/4		浅黄橙 10YR 8/4		口縁～胴部上位 1/3 残存 反転復元
712	5	SD1	6	壺	(18.2)	-	(16.7)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		口縁～胴部下部 1/2 残存 外面下部に煤付着あり 反転復元
713	5	SD1	埋1	壺	(24.8)	-	(8.4)	浅黄橙 7.5R 8/6		浅黄橙 10YR 8/4		口縁～胴部上位 1/5 残存 反転復元
714	5	SD1	埋1a	壺	(19.6)	-	(8.1)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		口縁～胴部上位 1/3 残存 反転復元
715	5	SD1	埋1	壺	(27.2)	-	(12.1)	灰白 10R 8/2		浅黄橙 10YR 8/3		口縁～胴部上位 1/2 残存 反転復元
716	5	SD1	埋1	壺	(16.6)	-	(10.1)	浅黄橙 10R 8/3		にぶい黄橙 10YR 7/3		口縁～胴部 1/8 残存 内外面に煤付着あり 反転復元
717	5	SD1	埋1	壺	(24.0)	-	(7.6)	橙 5YR 7/6 灰白 7.5YR 8/2		灰白 7.5YR 8/2		口縁～胴部上位 1/4 残存 反転復元
718	5	SD1	埋2b	壺	(25.0)	-	(6.0)	灰白 2.5Y 8/2		淡黄 2.5Y 8/3		口縁～胴部上位 1/6 残存 反転復元
719	5	SD1	埋1	壺	(25.0)	-	(10.7)	灰白 7.5YR 8/2		灰白 7.5YR 8/1		口縁～胴部上位 1/6 残存 反転復元
720	5	SD1	埋1	壺	23.7	-	(10.6)	浅黄橙 2.5Y 8/3 浅黄橙 10YR 8/3		浅黄橙 2.5Y 8/3 浅黄橙 10YR 8/3		1/2 残存 外面と内面口縁部に煤付着あり 外面胴部に 5mm 前後を一単位とする不整な多角形の調整単位がある
721	5	SD1	壺	-	-	-	(7.1)	にぶい黄橙 10YR 7/3		浅黄橙 10YR 8/3		口縁部破片 内面に煤付着あり

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
722	5	SD1	埋2c	壺	-	-	(10.3)	黒褐色 10YR 3/1		褐色 10YR 4/1		頸部～胴部破片 外面は黒化処理が施されている
723	5	SD1 M3	埋2	壺	(27.5)	-	(9.6)	にぶい黄褐色 7.5YR 7/3		浅黄褐色 7.5YR 8/4		口縁～胴部上位1/4 残存 内外面口縁部に煤付着 反転復元
724	5	SD1	埋1b	壺	(25.0)	-	(8.2)	浅黄褐色 7.5YR 8/3		浅黄褐色 7.5YR 8/3		口縁～胴部上位1/3 残存 内外面に煤の付着が見られる 反転復元
725	5	SD1	埋2	壺	(25.4)	-	(12.9)	浅黄褐色 10YR 8/3 浅黄褐色 7.5YR 8/3		浅黄褐色 7.5YR 8/4		口縁部1/2、胴部1/3 残存 反転復元
726	5	SD1	埋2	蓋	(16.6)	-	4.3	にぶい黄褐色 10YR 7/3		にぶい黄褐色 10YR 7/3		1/2 残存 外面上部に回転カキメあり 一部反転復元
727	5	SD1	埋2	蓋	(15.6)	-	2.5	灰白 2.5Y 8/1		灰白 2.5Y 8/1		1/2 残存 反転復元
728	5	SD1	埋2	蓋	14.0	-	2.2	灰 N 6/		灰 N 6/		完形 歪みあり
729	5	SD1	埋2	蓋	(14.2)	-	1.6	灰 N 4/		灰 N 5/		1/3 残存 反転復元
730	5 2	SD1 L2	埋2 6	蓋	15.2	-	2.3	灰白 N 8/ 灰 N 5/		灰 N 6/ 褐色 N 3/		ほぼ完形 外面と内面口縁部に自然釉あり 口縁部に歪みあり
731	5	SD1	埋2	蓋	(15.0)	-	2.0	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 弱残存 反転復元
732	5	SD1	埋1 b	蓋	(16.0)	-	1.4	灰 N 5/		灰 N 6/		1/4 残存 反転復元
733	5 1	SD1 K2	埋1 6	蓋	15.4	-	1.4	灰 N 6/ 褐色 N 3/		灰 N 6/		1/2 残存 形が歪んでいる
734	5	SD1	2	蓋	(14.4)	-	1.1	灰 N 6/		灰白 N 7/		3/4 残存 一部反転復元
735	5	SD1	埋2	蓋	14.5	-	0.95	灰 N 6/		灰 N 6/		3/4 残存 外面の口縁端部に自然釉あり
736	5	SD1	埋2	蓋	14.4	-	0.8	灰 N 6/		灰 N 6/		ほぼ完形
737	5 2	SD1 L2	埋2 a 6	蓋	14.1	-	0.8	灰白 N 7/		灰白 N 7/		3/4 残存 内外面ともに粘土の付着が見られる
738	5	SD1	埋2	蓋	14.8	-	1.3	灰 N 6/		灰 N 6/		ほぼ完形
739	5 1	SD1 K2	埋1 6	蓋	(16.3)	-	3.2	赤灰 2.5YR 5/1		赤灰 2.5YR 5/1		1/2 残存 つまみは欠損している 反転復元
740	5 2	SD1 L2	埋2	蓋	15.1	-	2.9	灰 N 6/		灰 N 5/		内面を視として転用しているため、滑らかに磨滅している 外面口縁部に自然釉あり
741	5	SD1	埋2	蓋	(17.6)	-	3.1	灰白 N 8/		灰白 N 8/ 灰 N 6/		1/4 残存 貼り付けつまみ 反転復元
742	5	SD1	埋2	蓋	18.9	-	3.3	灰 N 5/		明褐色 5YR 7/2		ほぼ完形 貼り付けつまみ
743	2	SD1	埋2	蓋	18.7	-	3.4	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 強の残存
744	5	SD1	埋1 b	蓋	17.3	-	2.7	灰 N 6/ 灰 N 5/		灰 N 6/		ほぼ完形 つまみは丁寧にナデである 内面口縁部に自然釉あり
745	5	SD1	埋1 a	蓋	16.7	-	3.0	灰白 2.5Y 8/2		灰白 2.5Y 8/2		ほぼ完形 口縁部に歪みあり 貼り付けつまみ
746	5	SD1	埋2 c	蓋	(13.8)	-	1.5	灰 N 5/		灰 N 5/		1/4 残存 反転復元
747	2	SD1	埋1	蓋	(14.6)	-	1.0	灰 N 6/		灰 N 6/		内面見込み部に墨書(大倉) 墨書周辺のみ磨かれたような痕がある

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
748	2	SD1	埋2	蓋	15.6	-	2.5	灰白 N 8/		灰白 N 8/	3/4 残存	内面に墨書 (石本)
749	5	SD1	埋2	蓋	(14.0)	-	2.3	灰 N 5/		灰 N 6/	1/4 残存	外面に墨書 (石本) 反転復元
750	5	SD1	埋1	坏	(12.3)	8.0	3.4	灰白 2.5Y 7/1 灰白 2.5Y 8/2		灰白 2.5Y 7/1 灰白 2.5Y 8/2	2/3 残存	一部反転復元
751	5	SD1	埋1	坏	(14.0)	8.6	7.1	褐灰 10YR 6/2		灰黄褐 10YR 6/2	底部3/4・口縁部1/8 残存	形が歪である 反転復元
752	2	SD1		蓋	-	-		灰 N 5/		灰 N 5/		外面に墨書 (石本)
753	5	SD1	埋2	蓋	14.4	-	1.1	灰 N 6/		灰 N 6/	1/3 残存	外面に墨書 (石本) 反転復元
754	2	SD1	7	坏	(12.4)	(8.6)	4.5	灰白 N 7/		灰白 N 7/	1/2 残存	内、外面に焼成時についた付着物の痕あり
755	5	SD1	埋2	坏	12.8	9.1	4.2	灰 N 6/		灰 N 6/		ほぼ完形
756	5	SD1	埋2	坏	12.4	9.1	3.5	灰 N 6/		灰 N 6/		底部は完形 口縁～胴部は1/2 残存 外面に自然釉あり
757	5 2	SD1 M2	埋2c 7	埴	(15.8)	(9.7)	5.2	灰白 N 7/ 赤灰 5R 6/1		灰 N 6/	1/2 残存	外面に多量の砂粒付着 一部反転復元
758	2	SD1	埋2	埴	(15.6)	(10.6)	5.2	紫灰 5P 5/1		灰 N 5/	1/4 残存	外面に自然釉あり 反転復元
759	2	SD1	埋2	坏	(16.1)	(10.1)	(4.75)	暗褐色 2.5YR 3/4		にぶい橙 7.5YR 7/4		反転復元
760	5	SD1	埋2	埴	14.2	9.2	4.2	灰白 N 7/ 灰褐 7.5YR 4/2		灰 N 7/		ほぼ完形 外面に自然釉あり
761	5	SD1	埋2	埴	14.2	9.9	4.6	灰 N 4/ 灰白 N 8/		灰白 N 8/	3/4 残存	
762	5	SD1	埋1	埴	(15.0)	(9.5)	4.7	灰白 N 8/ 灰 N 6/		灰白 5Y 8/1	1/3 残存	反転復元
763	2	SD1	埋1	埴	(14.2)	(7.8)	4.7	灰 N 6/		灰 N 6/	1/3 残存	外面胴部に自然釉あり 反転復元
764	2	SD1	埋1	高台付 坏	13.6	8.8	4.7	灰 N 4/		灰 N 4/		ほぼ完形 口縁部に垂みあり
765	2	SD1	埋2	高台付 坏	(12.2)	(8.2)	3.9	灰 N 7/		灰 N 7/	1/3 残存	外面胴部に自然釉あり 反転復元
766	5	SD1	埋2	埴	(15.9)	11.2	5.1	灰 N 6/		灰 N 6/	1/2 残存	内、外面に丁寧にナデを施している
767	5	SD1	埋1	埴	17.2	11.3	6.1	褐灰 N 3/		褐灰 7.5YR 4/1	口縁部3/4 残存	底部はほぼ完形 外面に自然釉あり
768	5	SD1	埋1	埴	(13.8)	(8.2)	4.2	灰白 N 7/		灰白 N 7/	1/4 残存	反転復元
769	5	SD1	埋2	高台付 坏	13.9	(9.5)	4.2	灰 N 8/ 灰 N 4/		黒褐 7.5YR 3/1	1/2 残存	
770	5	SD1	埋1	高台付 坏	(14.0)	(8.5)	4.3	灰 N 6/		灰 N 6/	1/2 残存	反転復元
771	5	SD1	埋2 c	高台付 坏	(12.0)	8.1	3.7	灰 7.5Y 5/1		灰 7.5Y 5/1 灰 N 6/	口縁部1/2 残存	底部は完形
772	2	SD1	埋1	高台付 坏	(12.6)	(8.4)	3.2	灰 N 4/		灰 N 4/	1/4 残存	反転復元
773	5	SD1	埋2	高台付 坏	13.7	9.7	4.2	灰 N 4/		灰 N 6/		ほぼ完形 底部に焼きぶくれあり 外面に自然釉あり

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
774	2	SD1	埋1	坏	11.7	7.4	3.6	灰 N 4/		灰 N 4/		ほぼ完形 焼き歪みあり
775	2	SD1	埋3	埴	15.5	10.1	5.1	灰白 5Y 7/1		灰白 5Y 7/1	3/4 残存	
776	5	SD1	埋2	埴	15.6	10.0	4.8	灰 N 4/		灰 N 6/	3/4 残存	外面に自然釉あり
777	5	SD1	埋2	埴	13.0	8.1	4.2	紫灰 5P 6/1		灰白 N 7/		ほぼ完形 外面底部に墨書 外面胴部に自然釉あり
778	5	SD1	埋2	高台付 坏	(10.8)	(6.6)	4.3	灰 N 6/		灰白 N 7/	1/4 残存	外面に自然釉あり 反転復元
779	5	SD1	埋1 a	埴	(15.0)	(9.8)	5.3	灰 N 6/		灰白 N 7/	1/2 残存	反転復元
780	5	SD1	埋1	埴	(14.5)	(8.3)	5.6	灰 N 6/		灰 N 6/	1/2 残存	一部反転復元
781	5 1	SD1 J2	埋1 6	埴	14.6	8.0	7.2	灰 N 6/1 黄橙 7.5YR 8/8		灰 N 6/1 橙 5YR 7/6	3/4 残存	赤く変色した箇所あり
782	5	SD1	埋2 b	皿	16.7	12.9	2.8	灰白 N 8/ 黄灰 2.5Y 5/1		灰白 N 8/ 黄灰 2.5Y 5/1		ほぼ完形
783	5	SD1	埋2 c	皿	(19.8)	(16.4)	2.5	灰 N 4/		灰 N 4/	1/4 弱残存	反転復元
784	5	SD1	埋2	皿	(18.0)	(15.8)	3.4	暗青灰 5PB 4/1		暗青灰 5B 4/1	1/4 残存	成形は丁寧ではない 反転復元
785	5 2	SD1 L2	埋2 a 埋1	高坏	19.4	-	(4.0)	灰褐 5YR 5/2 褐灰 10YR 7/1		褐灰 10YR 7/1		坏部のみ残存
786	2	SD1	埋1	壺	-	-	(8.8)	浅黄 2.5Y 7/3		浅黄 2.5Y 7/3	1/4 残存	一部反転復元
787	5	SD1	埋2	長頸壺	12.5	-	(9.5)	灰白 2.5Y 8/2 灰褐 7.5YR 5/2		灰白 2.5Y 8/2 灰褐 7.5YR 5/2		口縁～頸部にかけて残存 頸部に貼り付け粘土あり
788	5	SD1	埋2	長頸壺	10.8	-	(10.5)	黄灰 2.5Y 6/1 にぶい褐 7.5YR 6/3		にぶい褐 7.5YR 6/3		頸部のみ残存
789	5	SD1	埋2 a	壺	(22.6)	-	(4.9)	灰 褐灰 10YR 4/1		灰 N 6/		口縁部のみ 1/4 残存 外面一部に自然釉あり 反転復元
790	2 5	SD1 L2	埋2 5	壺	(19.2)	-	(3.4)	黄灰 2.5Y 5/1		黄灰 2.5Y 6/1	1/5 残存	反転復元
791	5 1	SD1 M2	埋1 2	壺	(13.6)	-	(24.3)	灰白 N 7/		灰白 N 7/	1/2 弱残存	一部反転復元
792	5 2	SD1 M2	埋2 6	横瓮	(12.6)	-	(30.4)	灰 N 5/		灰 N 5/		口縁部は 1/8 胴部は 2/3 残存 一部反転復元
793	5	SD1	8	壺	(18.3)	-	(6.2)	灰 N 6/		灰白 N 7/		口縁～肩部にかけて 1/10 以下の残存 外面に自然釉あり 外面に別の部品が付着した痕跡が残る
794	5	SD1	埋2	壺	(20.4)	-	(7.0)	黄灰 2.5Y 6/1		灰白 2.5Y 7/1		口縁～頸部にかけて 1/4 残存 反転復元
795	5	SD1	埋2	壺	(25.1)	-	(9.0)	にぶい赤褐 5YR 4/3		にぶい赤褐 5YR 4/3		口縁部～肩部にかけて 1/10 残存 反転復元
796	5	SD1	6	鉢	(35.0)	13.4	11.0	赤褐 10R5/4		赤褐 10R5/3	1/3 残存	反転復元 陶器 1区 L1 5層、2区 SD1、4区 O4 6層
803	5	SK120	埋1	坏	(12.7)	(6.5)	4.9	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/5 残存	反転復元
804	5	SK120	埋1	皿	14.8	10.8	3.1	灰白 10YR 8/2		灰白 10YR 8/3	1/2 残存	反転復元
805	5	SK120	埋1	蓋	13.3	-	1.9	灰白 N 7/ 灰褐 5YR 5/2		紫灰 5P 5/1 灰褐 5YR 5/1		完形 歪みあり

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
806	5	SK120	埋1	坏	(12.6)	7.6	4.4	灰白 N 7/		灰白 N 7/		2/3 残存
807	5	SK197	埋1	坏	15.5	8.4	4.2	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/4		ほぼ完形
808	5	SK197	埋1	坏	16.9	7.8	5.3	灰白 2.5YR 8/1		黒褐 10YR 3/1		ほぼ完形 内面黒化処理 内面に丁寧に磨きあり
809	5	SK197	埋1	埴	14.3	9.9	6.6	浅黄橙 7.5YR 8/4 にぶい橙 5YR 7/4		浅黄橙 7.5YR 8/4 橙 5YR 7/6		口縁部 1/3 欠損 胎土が細く、成形は歪である
810	5	SK197	埋1	埴	16.3	(9.4)	(5.9)	浅黄橙 7.5YR 8/4 橙 5YR 7/6		浅黄橙 7.5YR 8/4 橙 5YR 7/6		高台のみ欠損 胎土は粗く、成形は粗雑である
811	5	SK197	埋1	埴	15.3	8.0	6.1	にぶい黄橙 10YR 7/4		にぶい黄橙 10YR 7/4		ほぼ完形 口縁部一部欠損
812	5	SK197	埋1	罍	(13.4)	-	(6.9)	にぶい橙 7.5YR 7/3 反褐 7.5YR 5/2		橙 2.5YR 6/8		口縁～胴部上位 1/2 残存 反転復元
813	5	SK197	埋1	罍	(26.8)	-	(8.1)	黄橙 7.5YR 7/8		黄橙 10YR 8/6		口縁～胴部上位 1/6 残存 反転復元
814	5	SK197	埋1	坏	(11.4)	(4.8)	3.6	灰白 2.5Y 7/1		灰黄 2.5Y 7/2		1/4 残存 反転復元
815	5	SK197	埋1	埴	(14.7)	8.0	6.9	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/2 残存 反転復元
816	5	SK602	埋1	罍	26.0	-	(12.3)	灰黄褐 10YR 5/2 浅黄橙 10YR 8/4		灰黄褐 10YR 5/2 浅黄橙 10YR 8/4		口縁部ほぼ完形 頸部～胴部 3/4 残存 外面に煤付着あり 一部反転復元
817	5	SK602	埋1	罍	(15.6)	-	(8.3)	にぶい黄褐 10YR 7/3 橙 2.5YR 7/6		にぶい黄褐 10YR 6/3		口縁～胴部上位 1/2 残存 反転復元
818	5	SX597	埋1	碗(同 安楽系)	16.2	5.8	6.1	オリーブ黄 5Y6/3 灰白 2.5Y8/2		オリーブ黄 5Y6/3 灰白 2.5Y8/2		完形 見込みは蛇の目になる様に輪状に釉薬を削り取っている 内面は 11 本の筋書きによる面花文、外面は 14 本の筋による線文あり
819	5	SX504	埋1	碗(同 安楽系)	17.3	4.8	7.9	灰オリーブ 7.5Y6/2 浅黄 5Y7/3		灰オリーブ 7.5Y6/2 浅黄 5Y7/3		完形 内面は柳指文で草花文 外面は縦方向の 25cm 位の長さで 17 本の単位で柳指文を施している
820	5	SK355	埋1	坏	(14.2)	(9.2)	4.6	灰白 10YR 8/2 橙 2.5YR 6/8		灰白 10YR 8/2 淡赤橙 2.5YR 7/4		1/3 残存 反転復元
821	5	SK213	埋1	坏	(13.9)	(8.2)	3.5	灰白 10YR 8/2 橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/6		1/4 残存 反転復元
822	5	SK345	埋1	坏	(13.7)	(7.2)	4.6	橙 7.5YR 7/6 灰白 10YR 8/2		橙 7.5YR 7/6 灰白 10YR 8/2		1/3 残存 反転復元
823	5	SK52	埋1	坏	11.7	6.4	4.1	浅黄橙 10YR 8/3		にぶい黄橙 10YR 7/3		ほぼ完形
824	5	SK388	埋1	坏	(12.7)	(7.6)	3.8	橙 5YR 7/8 橙 2.5YR 6/8		橙 5YR 7/6 褐灰 5YR 5/1		1/2 残存 反転復元
825	5	SK48	埋1	坏	(13.0)	5.8	3.8	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		1/2 残存 反転復元
826	5	SK52	埋1	坏	12.4	8.6	4.3	にぶい橙 5YR 7/4		橙 5YR 7/6		完形 外面口縁部に若干自然釉が確認できる
827	5	SK404	埋1	坏	(13.8)	6.4	3.8	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6 橙 2.5YR 6/8		口縁一部 胴部 1/2 残存 底部完形 一部反転復元
828	5	SK334	埋1	坏	12.9	5.5	5.1	灰白 2.5Y 8/2		黒 2.5Y 2/1		口縁部 1/4 欠損 一部反転復元
829	5	SK130	埋1	罍	(17.3)	-	(9.4)	橙 2.5YR 6/8 橙 5YR 6/6		橙 2.5YR 6/8 橙 5YR 6/6		口縁～胴部上位 1/2 残存 反転復元
830	5	SK586	埋1	鉢	25.5	4.9	9.4	にぶい黄橙 10YR 7/4 橙 5YR 6/8		にぶい黄橙 10YR 7/4 橙 5YR 6/8		口縁～底部 3/4 残存 口縁部に歪みあり 外面胴部から底部に煤の付着あり
831	5	SK470	埋1	罍	(13.0)	-	(8.1)	橙 5YR 7/6		黒褐 10YR 3/1 にぶい黄橙 10YR 7/3		口縁～胴部下部 1/3 残存 小型の罍である 内面は煤の付着が著しい 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
832	5	SK328	埋1	壺	(30.0)	-	(7.2)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 6/6		口縁～胴部上位 1/5 残存 反転復元
833	5	SK307	埋1	壺	(17.4)	-	(8.8)	橙 2.5YR 6/6		橙 5YR 6/6		口縁部一部、胴部上位 1/3 残存 反転復元
834	5	SK54 SK12	埋1	壺	(25.6)	-	(6.5)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 6/6		口縁～胴部 1/4 残存 反転復元
835	5	SK309	埋1	壺	(19.4)	-	(7.8)	橙 2.5YR 6/8		明赤褐 2.5YR 5/6		口縁～胴部中位 1/5 残存 反転復元
836	5	SK586	埋1	壺	(23.8)	-	(6.7)	にぶい黄橙 10YR 7/3		灰褐 7.5YR 6/2		口縁～胴部上位 1/8 残存 反転復元
837	5	SK47	埋1	壺	27.5	-	(20.9)	黄橙 7.5YR 8/8 黄橙 10YR 8/6 橙 2.5YR 6/8		浅黄橙 7.5YR 8/6 橙 5YR 7/8		胴部下部～底部のみ欠損 外面に煤付着あり 一部反転復元
838	5	SK300	埋1	壺	(27.0)	-	(21.5)	にぶい橙 7.5YR 7/4 にぶい褐 7.5YR 5/3		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁～胴部下部 1/3 残存 外面に煤付着あり 反転復元
839	5	SK219	埋1	蓋	(14.0)	-	1.1	灰白 N 7/		灰白 N 7/	1/3 残存	反転復元
840	5	SK428	埋1	坏	(11.8)	(7.4)	3.5	灰白 N 8/		灰白 N 8/	1/5 残存	反転復元
841	5	SK52	埋1	坏	(12.8)	7.4	3.9	灰白 N 8/		灰白 N 8/	2/3 残存	一部反転復元
842	5	SK89 SK209	埋1	高台付 坏	(12.5)	7.3	4.3	青灰 10B6 5/1		青灰 10B6 5/1	1/3 残存	一部反転復元
843	5 1	SK48 J2	6	壺	(43.2)	-	(14.6)	暗赤褐 10YR 2/2		暗赤褐 10YR 3/2		口縁部 1/8 残存 反転復元
844	5	G5	7	坏	13.4	4.0	8.0	橙 5YR 6/6		明褐色 2.5YR 5/6	ほぼ完全	内外面に煤の付着あり
845	5	G5	7	蓋	(16.4)	(11.0)	(2.4)	橙 5YR 7/8 橙 2.5YR 6/8		橙 5YR 6/8	1/3 残存	外面に高温酸化塩漬成がみられ、伏せ焼きと考えられる 反転復元
846	5		7	蓋	(17.2)	(8.2)	(2.3)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6	1/3 残存	つまみ欠損 反転復元
847	5	J4	7	坏	(12.8)	(6.8)	(3.6)	浅黄橙 7.5YR 8/3 橙 2.5YR 7/6		灰白 7.5YR 8/2 橙 2.5YR 7/6	1/5 残存	反転復元
848	5	J3	7	坏	(11.8)	(8.3)	4.3	橙 5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6	2/5 残存	胎土が細い 反転復元
849	5	H4	7	坏	(12.8)	6.9	4.8	橙 2.5YR 6/8 にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4		口縁～胴部 1/6、底部完全 内面にへう状工具痕が若干残る 外面は被熱痕が著しい 一部反転復元
850	5	G5	7	坏	10.5	6.4	4.3	黄橙 10YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6	ほぼ完全	全体に摩耗するも、表面調整は丁寧である
851	5	G5	7	坏	11.4	7.8	4.1	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	ほぼ完全	外面胴部の一部に煤付着あり
852	5	N3	7	坏	(14.2)	(7.4)	(3.2)	橙 5YR 7/8		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/5 残存	反転復元
853	5	14	7	坏	(14.0)	(9.4)	3.6	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8	1/5 残存	器壁の内外面の同位置に煤の付着あり 灯明転用 反転復元
854	5	J3	7	坏	(13.9)	(9.5)	3.9	灰白 10YR 8/2		灰白 10YR 8/2	1/6 残存	反転復元
855	5	H3	7	坏	(12.0)	5.6	3.1	浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4	1/2 残存	反転復元
856	5	14	7	坏	(10.3)	(6.4)	(2.7)	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁一部、胴部～底部 3/4 残存 反転復元
857	5	M3	7	坏	(14.0)	(7.8)	(3.7)	橙 5YR 7/8 橙 2.5YR 6/8		橙 5YR 7/8 橙 2.5YR 6/8	1/4 残存	反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
858	5	M3	7	坏	-	(5.8)	(2.4)	浅黄橙	7.5YR 8/6	橙	5YR 7/6	胴部～底部 1/4 残存 外面底部に施画あり 反転復元
859	5		7	坏	(12.5)	(9.2)	3.9	橙	5YR 6/6	橙	5YR 6/6	1/4 残存 全体的に丁寧にナデが施されて いる 内面底部にヘラウツ工具の線刻痕があ る 反転復元
860	5	05	7	坏	13.0	7.5	3.9	橙	5YR 7/8	橙	5YR 7/8	1/2 残存 反転復元
861	5	05	7	坏	14.1	7.9	4.5	浅黄橙	7.5YR 8/6	浅黄橙	7.5YR 8/6	ほぼ完形 内外面口縁部に油脂を含む炭化 物の付着あり 灯明皿としての使用が考え られる
862	5	05	7	坏	(13.8)	(8.6)	(4.2)	橙	5YR 7/6	橙	5YR 7/6	1/4 残存 反転復元
863	5	05	7	坏	(13.8)	(8.4)	3.7	浅黄橙	7.5YR 8/6	橙	5YR 7/8	1/6 残存 内面口縁部に煤付痕あり 反転 復元
864	5	N3	7	坏	(14.6)	(7.0)	(3.6)	にぶい橙	7.5YR 7/4	橙	5YR 7/6	口縁一部、胴部～底部 1/4 残存 反転復元
865	5	05	7	坏	(11.8)	(6.5)	3.4	橙	5YR 7/8	橙	5YR 7/8	1/4 残存 底部の切り離し後の処理が雑で ある 反転復元
866	5	05	7	坏	(16.0)	(7.0)	5.9	浅黄橙 7.5YR 8/3 にぶい橙 7.5YR 7/3		黒	5YR 2/1	1/4 残存 内面黒化処理 反転復元
867	5	M3	7	坏	(17.2)	(7.4)	5.2	灰白	2.5Y 8/1	黒	5Y 2/1	1/3 残存 内面黒化処理 反転復元
868	5	F5	7	埴	-	7.6	(5.1)	黒	7.5YR 2/1	黒	10YR 2/1	胴部～底部 1/5、底部～高台 1/2 残存 黒 色土器 底部に焼成前に穿孔し、焼成後に 欠いたであろう痕跡が見られる 反転復元
869	5	N3	7	埴	14.7	6.0	5.4	灰白	7.5YR 8/2	灰白	7.5YR 8/2	胎土が荒いので表面がザラザラする ほぼ 完形
870	5	N3	7	皿	(9.8)	(6.4)	1.6	にぶい黄橙 10YR 7/2 橙 5YR 6/6		にぶい橙 7.5YR 7/3 橙 5YR 6/6		1/3 残存 反転復元
871	5	05	7	皿	(14.0)	11.3	(2.8)	浅黄橙	7.5YR 8/4	浅黄橙	7.5YR 8/6	1/2 残存 反転復元
872	5	05	7	皿	(14.2)	(9.5)	(2.1)	橙	2.5YR 7/8	橙	2.5YR 6/8	1/4 残存 反転復元
873	5	04	7	皿	(13.0)	(11.0)	(1.9)	浅黄橙	7.5YR 8/4	浅黄橙	7.5YR 8/6	2/5 残存 反転復元
874	5	05	7	皿	(13.6)	(10.8)	(1.3)	橙	7.5YR 7/6	浅黄橙	7.5YR 8/6	2/5 残存 反転復元
875	5	J2	7	皿	(14.0)	(11.4)	(1.5)	橙	5YR 7/6	橙	5YR 7/6	1/4 残存 反転復元
876	5	05	7	皿	(14.5)	(10.5)	(2.2)	にぶい黄橙 10YR 7/3		にぶい橙 7.5YR 7/4		2/5 残存 反転復元
877	5	02	7	高坏	-	-	(9.5)	橙	5YR 7/6	橙	5YR 7/6	底部から胴部残存 胴部中央に2本の沈線 が施される
878	5	M2	7	高坏	-	-	(8.6)	橙	2.5YR 7/6	橙	2.5YR 7/6	胴部のみ残存 外面に赤色顔料
879	5	M3	7	不明	-	-	(2.3)	にぶい橙	7.5YR 7/4	-	-	胴部
880	5	E5	7	壺	13.2	4.0	9.1	浅黄橙	10YR 8/3	にぶい赤橙 5YR 5/4 暗灰 N 3/		口縁～底部 3/4 残存 外面に煤の付着あり 外面底部はハケメ調整後指ナデを施して いる
881	5	G4	7	鉢	(25.1)	-	(7.4)	橙	5YR 6/8	橙	5YR 6/8	口縁～胴部 1/6 残存 内外面ともに厚料が 着しい 反転復元
882	5	02	7	壺	(15.0)	-	(10.8)	浅黄橙	10YR 8/4	灰白	10YR 8/2	口縁～胴部上位 1/5 残存 内面に粘土の輪 積痕がみられる 反転復元
883	5	M2	7	瓶	-	-	(7.6)	橙	5YR 7/6	橙	5YR 6/6	把手

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
884	5	J4	7	瓶	-	-	(5.4)	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4		把手
885	5	K2	7	瓶	-	-	(5.7)	橙 5YR 7/6 にぶい橙 7.5YR 5/3		浅黄橙 10YR 8/3		把手
886	5	J4	7	瓶	-	(20.1)	(14.1)	橙 7.5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6		胴部～底部 1/6 残存 反転復元
887	5	O2	7	壺	(17.6)	-	(8.1)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		口縁～胴部 1/6 残存 反転復元
888	5	O2	7	壺	(20.0)	-	(12.1)	にぶい黄橙 10YR 7/3 橙 2.5YR 6/8		にぶい黄橙 10YR 7/3		口縁部 1/6、肩部 1/4 残存 反転復元
889	5	G5	7	壺	(27.0)	-	(15.2)	浅黄橙 7.5YR 8/3 灰褐 7.5YR 4/2		にぶい橙 7.5YR 7/3 灰褐 7.5YR 4/2		口縁～胴部中位 1/5 残存 内外面ともに煤の付着が見られる 反転復元
890	5	G5	7	壺	(15.4)	-	(7.1)	橙 2.5YR 6/6		橙 5YR 6/6		口縁～胴部中位 1/4 残存 反転復元
891	5	N2	7	壺	(24.6)	-	(7.9)	橙 7.5YR 7/6		橙 5YR 7/6		口縁～胴部上位 1/5 残存 反転復元
892	5	G5	7	壺	(17.4)	-	(7.9)	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい黄橙 10YR 7/3 明赤褐 5YR 4/3		口縁～胴部上位 1/3 残存 反転復元
893	5	G5	7	壺	(25.6)	-	(6.5)	灰白 10YR 8/2 橙 2.5YR 6/6		にぶい黄橙 10YR 7/4 橙 2.5YR 7/8		口縁～胴部上位 1/3 残存 反転復元
894	5	G5	7	壺	(16.2)	-	(5.3)	にぶい橙 5YR 7/4		黒褐 7.5YR 3/1 にぶい橙 7.5YR 7/3		口縁～胴部上位 1/3 残存 反転復元
895	5	G5	7	壺	(27.0)	-	(7.5)	にぶい橙 5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/3		口縁～胴部上位 1/5 残存 反転復元
896	5	G5	7	壺	(20.2)	-	(8.7)	にぶい橙 5YR 7/4 橙 2.5YR 6/6		にぶい黄橙 10YR 7/2 褐灰 7.5YR 4/1		口縁～胴部上位 1/3 残存 反転復元
897	5	G5	7	壺	(23.6)	-	(15.9)	橙 2.5YR 6/6		黒 7.5Y 2/1		口縁～底部 1/5 残存 外面底部に煤付着あり 外面は摩耗のため調整は不明瞭である 反転復元
898	5	G5	7	壺	-	-	(11.8)	橙 5YR 6/8		橙 5YR 7/8		口縁～胴部、破片 大型の壺と考えられる
899	5	M2	7	カマド	-	-	(6.0)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		小片
900	5	M5	7上	カマド	(31.0)	-	(13.1)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		口縁～胴部 1/4 残存 反転復元
901	5	N1	7	坏	(12.0)	-	4.3	灰 N 5/		灰 N 6/		1/4 残存 かえりあり 反転復元
902	5	K2	7	蓋	14.3	-	2.1	灰白 N 7/ 灰褐 7.5YR 5/2		灰白 N 7/		1/2 残存 一部反転復元
903	5	G5	7	蓋	13.8	-	1.2	灰白 N 7/		灰白 N 7/		ほぼ完形
904	5	E5	7	蓋	(16.2)	-	1.1	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/5 残存 つまみの貼り付け痕あり 反転復元
905	5	J4	7	蓋	(13.7)	-	1.0	灰 N 6/		灰白 N 7/		1/3 残存 反転復元
906	5	M2	7	蓋	14.7	-	8	灰 N 6/		灰 N 6/		ほぼ完形
907	5	G4	7	蓋	(16.7)	-	1.8	灰白 N 8/ にぶい黄橙 10YR 4/3		灰白 N 8/		1/2 残存 外面の一部に自然釉あり 反転復元
908	5	N3	7	蓋	(15.6)	-	1.3	灰 N 5/		灰 N 6/		1/4 残存 反転復元 外面に自然釉あり
909	5	K2	7	蓋	(18.3)	-	1.7	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/3 残存 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
910	5	N3	7	蓋	-	-	2.4	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4		つまみ～天井部のみ残存 反転復元
911	5	13	7	蓋	(15.0)	-	2.2	灰 N 6/		灰 N 6/ 灰褐 7.5YR 4/2		1/4 残存 内面に自然軸あり
912	5	G5	7	坏	(13.4)	(9.9)	3.8	灰白 2.5Y 8/1		灰白 2.5Y 8/1		1/4 残存 反転復元
913	5	1.4	7	坏	(12.8)	(7.8)	3.4	灰白 N 8/		灰白 N 7/		1/4 残存 反転復元
914	5	J4	7	坏	(14.0)	(10.2)	2.9	灰白 2.5Y 8/2		灰白 2.5Y 8/2		1/5 残存 反転復元
915	5	H5	7	坏	(14.4)	(10.1)	3.2	灰白 2.5Y 8/1		灰白 2.5Y 8/1		1/2 残存 反転復元
916	5	中央ト レンチ	7	坏	(14.4)	(7.8)	3.4	灰白 N 7/		灰白 N 8/		1/3 残存 反転復元
917	5	G5	7	坏	(13.4)	(9.2)	5.65	灰黄褐 10YR 5/2		黄灰 2.5Y 6/1		1/3 残存 外面に自然軸あり 反転復元
918	5	G4	7	埴	(13.4)	(8.4)	4.6	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/3 残存 反転復元
919	5	K2	7	埴	(13.8)	(8.6)	4.6	灰 N 6/		灰白 N 7/		1/4 残存 反転復元
920	5	G4	7	壺	-	(9.0)	(3.2)	灰 N 6/		灰 N 6/		底部のみ 1/3 残存 底部外面にヘラ記号
921	5	G5	7	高台付 坏	(12.4)	(8.6)	3.6	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/4 残存 反転復元
922	5	N3	7	高台付 坏	(13.9)	(7.6)	4.5	褐灰 10YR 4/1		褐灰 7.5YR 5/1		反転復元
923	5	G5	7	埴	(13.6)	(7.2)	5.3	灰 5Y 6/1		灰 5Y 6/1		1/4 残存 反転復元
924	5	1.4	7	埴	(15.0)	(9.1)	6.1	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/3 残存 反転復元
925	5	F5	7	埴	14.8	9.5	4.2	灰白 N 8/		灰白 N 8/		ほぼ完形
926	5	E5	7	埴	(14.5)	(8.5)	7.1	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/3 残存 反転復元
927	5	N3	7	皿	(14.2)	(11.8)	2.3	灰 N 6/		灰 N 6/		1/4 残存 反転復元
928	5	G5	7	皿	(13.2)	(10.6)	2.0	灰 N 6/ にぶい橙 5YR 6/3		灰 N 6/ 灰褐 7.5YR 6/1		1/2 残存 反転復元
929	5	G4	7	皿	(16.8)	(14.2)	2.5	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 残存 反転復元
930	5	J3	7	皿	(13.9)	-	2.2	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 残存 反転復元
931	5	H4	7	皿	(13.2)	(9.6)	2.2	灰褐 7.5YR 6/2 にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4		1/2 残存 反転復元
932	5	N3	7	皿	(19.4)	(16.2)	2.3	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/3 残存 反転復元
933	5	J4	7	皿	(14.2)	-	1.6	灰 N 4/		灰 N 4/		1/3 残存 反転復元
934	5	G5	6	蓋	(16.6)	-	3.7	橙 5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6		1/4 残存 反転復元
935	5		6	蓋	16.0	-	2.5	橙 7.5YR 7/6		橙 7.5YR 7/6		ほぼ完形 成形は蓋である

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
936	5	G5	6	坏	(10.0)	(6.7)	2.5	浅黄橙 10R 8/4		浅黄橙 10YR 8/4		口縁一部、胴部～底部 1/2 残存 成形は粗雑である 反転復元
937	5	G5	6	坏	(12.0)	6.0	4.1	浅黄橙 7.5YR 8/3 橙 5YR 7/8 暗灰 N 3/		浅黄橙 7.5YR 8/3 橙 5YR 7/8 暗灰 N 3/		1/2 残存 胎土には橙色、黒色、灰白の練り合わせのマール状の斑が見られる 反転復元
938	5	G5	6	坏	(10.2)	5.6	3.8	橙 7.5YR 7/6		橙 5YR 7/6		3/4 残存 外面に焼きむらあり
939	5	N2	6	坏	(12.1)	(7.0)	(3.3)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		1/2 残存 反転復元
940	5	14	6	坏	(12.0)	(6.2)	(4.1)	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/4		1/4 残存 反転復元
941	5	G5	6	坏	(13.2)	(7.5)	(3.6)	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/6		1/4 残存 胎土の石英・赤色粒が大粒で内面は器壁から突出している 反転復元
942	5	G5	6	坏	13.0	7.5	4.1	橙 5YR 6/6 褐灰色 10YR 4/1		橙 5YR 6/6 褐灰色 10YR 4/1		口縁部 1/4 欠損 底部は内外面ともに還元のため褐灰色を呈する
943	5	M3	6	坏	(12.9)	(7.5)	4.1	にぶい橙 7.5YR 6/3 橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		1/3 残存 反転復元
944	5		6	坏	(12.9)	(7.0)	3.5	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/8		1/5 残存 反転復元
945	5	M3	6	埴	(14.2)	7.9	6.5	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		3/4 残存 一部反転復元
946	5	J3	6	坏	-	(7.2)	(1.2)	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6		底部 1/4 残存 外面底部にへう記号あり 反転復元
947	5		6	坏	-	(7.8)	(1.9)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/8		底部 1/4 残存 外面底部にへう記号あり 反転復元
948	5	M2	6	埴	(15.6)	7.4	5.3	灰白 10YR 8/1 橙 2.5YR 7/3		褐灰 10YR 6/1 橙 2.5YR 7/3		2/3 残存 反転復元
949	5	M3	6	埴	-	(6.7)	(2.8)	淡黄 2.5Y 8/3		オリーブ黒 5Y 3/1		底部～高台 1/2 残存 内面黒化処理 反転復元
950	5	M3	6	埴	-	(6.4)	(3.4)	オリーブ黒 5Y 3/1		オリーブ黒 5Y 3/1		黒色土器 胴部下部～高台 1/2 残存 反転復元
951	5	N2	6	埴	-	7.1	(3.3)	オリーブ黒 5Y 3/1		黒 5Y 2/1		胴部下部 1/2 残存 底部～高台ほぼ完形 黒色土器 反転復元
952	5	N2	6	埴	(15.4)	7.0	5.9	浅黄橙 10YR 8/3 黒 2.5Y 2/1		黒 5Y 2/1		1/3 残存 内面黒化処理 外面胴部上位まで炭素吸着している 反転復元
953	5	N2	6	皿	(7.9)	6.7	1.3	灰白 7.5YR 8/2 橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		1/2 残存 成形が粗い 一部反転復元
954	5	M2	6	皿	(9.6)	7.2	(1.3)	橙 5YR 7/6 にぶい黄橙 10YR 7/3		浅黄橙 7.5YR 8/3 にぶい黄橙 10YR 7/2		口縁一部のみ残存 底部ほぼ完形 一部反転復元
955	5	M2	6	皿	9.3	7.0	1.3	灰黄褐 10R 6/2		にぶい黄橙 10YR 7/3		3/4 残存
956	5	M2	6	皿	(9.3)	6.8	1.2	灰白 10YR 8/2		浅黄橙 10YR 8/3		口縁部 1/2 欠損 反転復元
957	5	M2	6	皿	(11.0)	(7.2)	(1.9)	灰白 5YR 8/1 にぶい橙 2.5YR 6/4		灰白 5YR 8/1 にぶい橙 2.5YR 6/ 橙 5YR 7/6		1/4 残存 反転復元
958	5	J3	6	皿	(14.1)	(11.8)	1.9	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 7.5YR 8/6		1/4 残存 反転復元
959	5	G5	6	鉢	(17.0)	10.6	(9.4)	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		口縁～胴部 1/3 残存 底部完形 一部反転復元
960	5	G5	6	鉢	(26.0)	-	(6.8)	浅黄橙 7.5YR 8/3 橙 5YR 7/6 黒褐 7.5YR 3/1		橙 5YR 7/6 橙 5YR 6/6		1/6 残存 外面底部は被熱による剥離と炭化物の付着が顕著である
961	5	M2	6	壺	(18.0)	-	(7.5)	橙 5YR 6/8 橙 7.5YR 7/6		橙 5YR 6/8 橙 7.5YR 7/6 にぶい赤褐 5YR 5/4		口縁～胴部上位 1/3 残存 内面に同心円文と思われる痕が残るが、ナ字により不明瞭である 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
962	5	M3	6	壺	(26.8)	-	(10.7)	にぶい黄橙 10YR 6/4 橙 2.5YR 6/8		にぶい黄橙 10YR 6/3 橙 2.5YR 6/8		口縁～胴部上位 1/4 残存 反転復元
963	5	N3	6	壺	(17.6)	-	(9.7)	にぶい褐 7.5YR 5/3		褐 7.5YR 4/3		口縁～胴部上位 1/3 残存 反転復元
964	5	M3	6	壺	(26.0)	-	(7.6)	橙 5YR 7/6		にぶい黄橙 10YR 7/3		口縁～胴部上位 1/3 残存 反転復元
965	5		6	壺	(23.8)	-	(4.5)	橙 5YR 6/6		橙 5YR 6/6		口縁部 1/4 残存 反転復元
966	5	G5	6	壺	-	-	(14.0)	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい黄橙 10YR 7/3		頸部～胴部中位、破片
967	5		6	蓋	(16.0)	-	1.5	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/3 残存 上面のつくりが雑である 反転復元
968	5	J3	6	蓋	14.0	-	0.9	灰 N 6/		灰 N 6/		1/2 残存
969	5	J3	6	蓋	(18.0)	-	1.9	灰 N 6/		灰 N 6/		2/3 残存 つまみが付いていたと考えられる
970	5	J3	6	蓋	18.2	-	1.8	灰白 N 8/		灰白 N 8/		2/3 残存 つまみ貼り付け痕が残る
971	5	G5	6	皿	13.8	12.4	2.2	灰白 N 7/		灰白 10YR 8/1 灰 5Y 5/1		完形 歪みあり
972	5	J2	6	皿	(16.8)	(14.2)	2.3	灰 N 6/		灰 N 6/		1/3 弱残存 反転復元
973	5	14	6	皿	(19.2)	(16.3)	2.6	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/4 残存 反転復元
974	5		6	坏	(13.0)	8.2	4.0	灰白 2.5Y 8/1		灰白 2.5Y 8/1		口縁部 1/3 残存 底部は完形 反転復元
975	5	J3	6	高台付 坏	(13.0)	7.9	4.7	灰白 N 7/		青灰 5PB 6/1		2/3 残存 反転復元
976	5	J3	6	高台付 坏	(11.4)	(7.2)	3.5	灰 N 6/		灰 N 6/		1/8 残存 外面に自然釉あり 反転復元
977	5	H3	6	壺	(11.0)	(5.6)	4.5	灰 N 4/ 灰 N 6/		灰 N 6/		1/2 残存 口縁に歪みあり 外面に自然釉あり 反転復元
978	5 1	K2	6 7	壺	(13.4)	(14.3)	16.0	灰 N 6/		灰 N 5/		1/4 残存 外面に自然釉あり 反転復元
979	5	F5	6	壺	(17.0)	-	(8.6)	灰白 N 7/		灰白 N 7/		口縁部～胴部にかけて 1/10 残存 内面口縁部に別の破片が付着している 口縁内外面に自然釉あり 反転復元
980	5		5	蓋	(17.9)	(17.7)		橙 7.5YR 8/6		橙 7.5YR 8/6		1/3 残存 天井部の残存が僅かなためつまみの有無形状は不明 反転復元
981	5	M2	5	坏	(12.1)	(6.2)	3.4	橙 5YR 7/6		橙 5YR 7/6		1/4 残存 反転復元
982	5		5	坏	(12.4)	7.5	3.7	浅黄橙 10YR 7/3		浅黄橙 10YR 7/3		2/3 残存 反転復元
983	5		5	坏	(13.4)	(8.0)	4.3	橙 2.5YR 7/8		橙 2.5YR 7/8		1/4 残存 胎土が粗い 反転復元
984	5		5	坏	(12.2)	7.2	3.7	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁部 1/4、胴部～底部 3/4 残存 一部反転復元
985	5		5	坏	(12.0)	7.6	(3.6)	灰白 10YR 8/1 浅黄橙 7.5YR 8/3		灰白 10YR 8/1 褐灰 10YR 4/1		口縁一部、胴部 1/8、底部 3/4 残存 内面の平分が黒色に変化している 一部反転復元
986	5		5	坏	(14.9)	(7.0)	4.8	にぶい黄橙 10YR 7/4		橙 5YR 7/6		1/4 残存 内面底部に突物の痕跡がある 反転復元
987	5		5	坏	(15.0)	6.5	(4.6)	橙 5YR 7/8		橙 5YR 7/8		1/3 残存 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
988	5		5	坏	(13.4)	6.1	3.7	にぶい橙 7.5YR 6/3		にぶい橙 7.5YR 6/4		1/2 残存 一部反転復元
989	5		5	坏	(14.3)	(7.5)	3.9	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/3		1/5 残存 外面底部にへう記号の痕跡あり 反転復元
990	5		5	坏	-	(4.9)	(3.1)	にぶい橙 7.5YR 7/4		にぶい橙 7.5YR 7/4		胴部下部～底部 1/3 残存 外面底部に蓋書 「舎」あり 反転復元
991	5		5	皿	-	(6.0)	(1.4)	浅黄橙 10YR 8/4		浅黄橙 10YR 8/4		底部 2/3 残存 外面底部に蓋書「田舎」あり 反転復元
992	5		5	皿	(13.0)	(10.3)	1.5	橙 5YR 7/6 浅黄橙 7.5YR 8/4		浅黄橙 7.5YR 8/4		口縁部 1/8、底部 1/2 残存 反転復元
993	5		5	皿	(14.6)	(9.4)	1.7	浅黄橙 10YR 8/3		浅黄橙 10YR 8/3		2/5 残存 反転復元
994	5	E4	5	壺	(15.3)	-	(8.3)	橙 5YR 7/6		にぶい赤褐 5YR 5/3 にぶい黄橙 10YR 7/2		口縁～胴部上位 1/5 残存 反転復元
995	5	H3	5	甔	-	(15.4)	(5.4)	浅黄橙 7.5YR 8/6		浅黄橙 10YR 8/4		底部 1/3 残存 反転復元
996	5		5	壺	-	-	(9.8)	にぶい黄橙 10YR 7/2		にぶい黄橙 10YR 7/2		口縁～胴部上位 1/8 残存 反転復元
997	5		5	甔	-	-	(3.7)	橙 5YR 6/6		明赤褐 2.5YR 5/6		把手
998	5		5	甔	-	-	(4.9)	橙 5YR 7/6		浅黄橙 7.5YR 8/3		把手
999	5		5	壺	(29.6)	(11.0)	(24.9)	橙 7.5YR 7/ 橙 5YR 7/8		浅黄橙 7.5YR 8/4 黒褐 10YR 3/1		口縁部は一部、胴部 1/4、底部 1/6 残存 外面に煤付着あり 底部は被熱により赤変 している 反転復元
1000	5		5	壺	(18.4)	-	(9.7)	にぶい黄橙 10YR 7/2		灰白 10YR 8/2		口縁～胴部中位 1/4 残存 内外面ともに煤 付着あり 反転復元
1001	5		5	壺	(26.2)	-	(7.9)	にぶい橙 7.5YR 7/4		橙 7.5YR 7/6		口縁～胴部上位 1/5 残存 反転復元
1002	5		5	深鉢	-	-	(4.9)	橙 2.5YR 6/6		明赤褐 2.5YR 5/6		縄紋土器 口縁部小片
1003	5		5	蓋	(13.6)	-	1.9	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/2 残存 蓋みあり 反転復元 内外面に 自然釉あり
1004	5		5	蓋	(11.8)	-	1.4	灰白 N 8/ 褐灰 10YR 6/1		灰白 N 7/ にぶい赤褐 5YR 5/4		1/2 残存
1005	5	F5	5	蓋	13.5	-	1.9	灰褐 7.5YR 6/2		にぶい黄橙 10YR 7/2		ほぼ完形
1006	5		5	蓋	(12.6)	-	2.0	灰 N 6/		灰 N 6/		1/2 残存 つまみの底らしきものあり
1007	5		5	蓋	16.6	-	2.4	灰白 N 8/		灰白 N 8/		ほぼ完形 蓋みあり
1008	5		5	蓋	(11.7)	-	1.1	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/4 残存 貼り付けつまみ
1009	5 3	17	5 7c	蓋	-	-	(1.8)	褐灰 7.5YR 6/1		明褐灰 7.5YR 7/2		1/2 残存 口縁はすべて欠損している
1010	5		5	皿	(17.8)	(14.8)	2.1	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/3 残存 反転復元
1011	5		5	坏	12.8	8.6	4.7	赤灰 SR 6/1		暗赤灰 SR 4/1		1/2 物の残存 蓋みあり
1012	5		5	坏	(11.6)	6.7	4.0	灰 N 6/		灰 N 6/		底部は完形 口縁部は 1/3 残存 反転復元
1013	5		5	坏	(13.2)	(9.6)	4.0	灰白 N 8/		灰白 N 8/		1/2 残存 反転復元

RP 番号	区	遺構	層	形式	口径	底径	器高	土色名 (外)	色調	土色名 (内)	色調	備考
1014	5		5	坏	(12.0)	(8.2)	4.0	灰 N 6/		灰 N 6/		1/3 残存 反転復元
1015	5		5	坏	(16.4)	(11.0)	5.3	灰 N 6/		灰 N 6/		1/5 残存
1016	5		5	坏	(12.2)	(7.0)	3.8	灰白 N 7/		灰白 N 7/		1/3 残存 反転復元
1017	5	G5	5	埴	(13.6)	(8.2)	4.7	灰 N 6/		灰 N 6/		1/8 残存 外面に自然軸あり 反転復元
1018	5		5	高台付 坏	(13.4)	(8.4)	4.3	暗青灰 5B 4/1		灰 N 5/		1/4 残存 反転復元
1019	5	G5	5	埴	(11.0)	(7.0)	4.6	黄灰 2.5Y 6/1		灰白 2.5Y 7/1		2/3 残存 外面の口縁付近に自然軸あり
1020	5		5	埴	(14.0)	(7.4)	6.2	灰白 2.5Y 7/1		灰白 2.5Y 7/1		1/4 弱残存 反転復元
1021	5		5	壺	-	(10.6)	(12.6)	灰 N 6/		灰白 N 7/		胴部～底部にかけて 1/5 残存 反転復元
1022	5		5	高坏	-	13.0	(8.9)	赤黒 2.5YR 2/1		灰褐 7.5YR 4/1 灰 N 7/		胴部のみ 1/3 残存 反転復元 外面に自然軸あり
1023	5	M3	2	罎	(10.2)	(6.2)	5.1	灰白 7.5YR 8/2		浅黄橙 10YR 8/3		1/4 残存 反転復元
1024	5 2			皿	(8.8)	6.9	1.5	橙 7.5YR 7/6		橙 5YR 7/8		3/4 残存 一部反転復元
1025	5 2			皿	(9.0)	(6.5)	1.4	橙 2.5YR 7/6 浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/3		1/3 残存 反転復元
1026	5 2			皿	(8.8)	6.8	1.2	浅黄橙 7.5YR 8/3		浅黄橙 7.5YR 8/3		3/4 残存 一部反転復元
1027	5 2			皿	8.6	6.5	1.8	橙 7.5YR 8/4 橙 2.5YR 7/6		橙 7.5YR 8/4 橙 2.5YR 7/6		口縁 1/4 残存 底部完形
1028	5	E4		壺	(18.5)	-	(14.8)	にぶい赤橙 5YR 5/4		にぶい赤橙 5YR 5/4		口縁～胴部上位 2/5 残存 反転復元
1029	5	M3	2	罎	(28.8)	-	(10.4)	にぶい黄橙 10YR 7/2 浅黄橙 7.5YR 8/3		灰白 10YR 8/2 褐灰 10YR 4/1		口縁～胴部上位 1/3 残存 反転復元
1030	5	H2	2	蓋	(14.8)	-	1.9	灰 N 6/		灰 N 6/		1/3 残存 外面に自然軸あり 反転復元
1031	5		1	坏	12.0	7.5	4.8	灰 N 6/		灰 N 6/		3/4 残存 試掘 20 トレンチ出土
1032	5		1	埴	(13.3)	(8.2)	4.2	灰 N 6/		灰 N 6/		1/2 残存 反転復元
1033	5	M2	2	高坏	-	-	(5.1)	灰 N 6/		灰 N 6/		坏部 1/4 残存 反転復元 外面に波状文を施している
1034	5		6	擂鉢	(28.8)	-	(4.4)	灰 N 4/		灰 N 4/		口縁部 1/10 残存 反転復元 内面に磨痕あり
1035	5		5	火鉢	-	-	(3.6)	灰 N 5/		灰 N 4/		火鉢の脚部

表3 出土土製品一覧

RP番号	形式	区	遺構	層	全長	幅	孔径	重さ (g)	土色名	色調	備考
212	土鉢	1	C5	7	(2.10)	1.00	0.40	1.8	灰白	N7/	1/2 残存 欠損あり
213	土鉢	1	J2	7	6.10	1.65	0.65	5.6	黄灰	2.5Y4/1	ほぼ完形 欠損あり 全体が黒色に変化している 外面に鉄分付着
214	土鉢	1	J2	7	5.60	1.45	0.60	8.9	黒	N2/	完形 外面に指頭圧痕がみられる 全体が黒色に変化している 鉄分付着
215	土鉢	1	J2	7	5.80	1.50	0.5~ 0.6	11.1	オリーブ黒	5Y3/1	完形 全体が黒色に変化している
216	土鉢	1		7下	4.60	2.50	0.8~ 0.85	21.1	橙 浅黄橙	2.5YR7/6 10YR8/3	完形 他に出土した土鉢より大振りな土鉢
217	土鉢	1	J2	6	3.40	0.95	0.30	2.6	にぶい黄橙	10YR7/3	3/4 残存 欠損あり
218	土鉢	1	J2	6	(3.10)	0.90	0.35	2.4	灰白	2.5Y8/2	3/4 残存 欠損あり 一部朱泥がみられる
219	土鉢	1	J2	6	(3.90)	1.00	0.35	3.2	橙	7.5YR7/6	ほぼ完形
220	土鉢	1	J2	6	3.90	1.25	0.50	6.2	明黄橙	10YR7/6	完形
221	土鉢	1	H3	6	4.05	1.40	0.50	5.8	にぶい黄橙	10YR7/3	ほぼ完形 欠損あり
222	土鉢	1	K2	6	(3.50)	1.40	0.5~ 0.6	4.5	橙	7.5YR7/6	2/3 残存 欠損あり
223	土鉢	1	K2	6	(3.50)	1.45	0.50	6.4	橙	7.5YR7/6	1/2 残存 欠損あり 胎土に粒子を多く含む
224	土鉢	1	J2	6	(4.15)	1.30	0.50	6.9	灰黄 黒	2.5Y7/2 2.5Y2/1	2/3 残存 欠損あり 一部黒色に変化している
225	土鉢	1	H2	6	4.30	1.70	0.50	8.7	灰白 黒褐	2.5YR8/1 2.5YR3/1	ほぼ完形 欠損あり 半分ほど黒色に変化している
226	土鉢	1	K2	6	4.40	1.05	0.35	4.0	にぶい黄橙	10YR7/2	完形 一部黒色に変化している
227	土鉢	1	H3	6	6.00	1.10	0.45	5.5	浅黄橙	7.5YR8/4	完形
228	土鉢	1	K2	6	5.30	0.90	0.20	4.9	にぶい黄橙	10YR7/3	完形
229	土鉢	1	J2	6	5.50	1.00	0.30	5.6	明赤褐 にぶい黄橙	2.5YR5/6	完形 外面に朱泥が施される 穴と胎土の中が黒色に変化している
230	土鉢	1	J2	6	5.10	1.40	0.6~ 0.8	8.8	灰黄	2.5Y7/2	完形 一部黒色に変化している
231	土鉢	1	J2	6	5.20	1.40	0.60	9.4	灰黄	2.5Y6/2	完形 外面に指頭圧痕がみられる 半分ほど黒色に変化している
232	土鉢	1	J2	6	5.10	1.30	0.60	8.5	黒	2.5Y2/1	ほぼ完形 欠損あり 全体が黒色に変化している
233	土鉢	1	J2	6	6.00	1.70	0.60	15.1	灰黄	2.5Y7/2	完形 一部黒色に変化する
234	土鉢	1	J2	6	6.80	1.50	0.60	13.3	灰黄	2.5Y7/2	完形 外面に指頭圧痕がみられる 一部黒色に変化している
235	土鉢	1	J2	5	5.30	1.15	0.40	4.6	橙	5YR6/6	ほぼ完形
236	土鉢	1	J2	5	4.65	1.50	0.45	7.0	オリーブ黒	5Y3/1	4/5 残存 欠損あり 全体が黒色に変化している 鉄分付着
237	土鉢	1	K2	5	4.90	1.30	0.35	7.1	灰褐	7.5YR5/2	ほぼ完形 欠損あり 鉄分付着
238	土鉢	1	K2	5	4.90	1.20	0.40	5.9	にぶい黄橙 にぶい黄橙	10YR7/2 10YR4/3	完形
239	土鉢	1	K2	5	4.80	1.55	0.40	11.6	灰白	10YR8/2	ほぼ完形 欠損あり
240	土鉢	1	G3	5	(4.30)	1.10	0.40	4.5	にぶい橙	7.5YR6/4	ほぼ完形 欠損あり
241	土鉢	1	D4	5	4.40	1.20	0.40	5.4	にぶい黄橙	10YR7/4	ほぼ完形 欠損あり 外面に鉄分付着
242	土鉢	1	J2	5	(4.10)	1.60	0.45~ 0.65	7.3	オリーブ黒	5Y3/1	3/5 残存 欠損あり 全体が黒色に変化している
243	土鉢	1	H4	5	4.90	1.20	0.40~ 0.45	5.8	灰白	10YR8/2	完形
244	土鉢	1	I2	5	5.50	1.50	0.60	9.8	灰	5Y4/1	完形 全体が黒色に変化している
245	土鉢	1	I2	5	4.90	1.30	0.40	6.5	浅黄橙	10YR8/3	ほぼ完形
246	紡錘車	1 5	H4 I3	5 <sup>5</sup> 7	6.50	1.10	0.90	35.1	浅黄橙	7.5YR8/4	2/3 残存
247	土鉢	1	K2	5	4.40	1.30	0.40	6.3	灰白	10YR8/1	ほぼ完形 欠損あり

RP番号	形式	区	造構	層	全長	幅	孔径	重さ (g)	土色名	色調	備考
248	土鍾	1	I2	5	4.55	1.45	0.60	8.6	黒褐	2.5Y3/1	4/5 残存 欠損あり 全体が黒色に変化している
249	土鍾	1	J2	5	(3.70)	1.00	0.3~ 0.4	2.8	にぶい黄橙	10YR7/3	2/3 残存 欠損あり
250	土鍾	1	H3	5	(4.20)	1.10	0.45	3.5	浅黄橙	7.5YR8/4	4/5 残存 欠損あり
251	土鍾	1	J2	5	4.10	0.90	0.40	2.0	橙	5YR7/8	完形
252	土鍾	1	E4	5	(2.60)	0.80	0.30	1.1	にぶい赤褐	2.5YR4/3	1/2 残存 欠損あり
253	土鍾	1	C5	4	(2.60)	1.05	0.35	2.6	灰	N5/	2/3 残存 欠損あり
254	土鍾	1	I3		3.70	0.80	0.40	2.7	にぶい黄橙	10YR7/2	完形 円柱状の形状 N0.4
255	土鍾	1		1	(3.70)	1.05	0.3~ 0.4	4.1	浅黄橙	7.5YR8/4	3/5 残存 表土剥ぎ下
256	土鍾	1	L1	4	(3.90)	1.10	0.45	4.6	灰白	10YR8/2	3/5 残存 欠損あり 一部黒色に変化している
257	土鍾	1	J2		4.60	1.65	0.45	11.2	灰白	2.5Y8/1	完形 西壁
258	土鍾	1	H3		5.35	2.05	0.70	18.5	灰白	10YR8/1	完形 N0.134
259	土鍾	1	C4	6	4.80	3.00	—	37.6	淡黄橙	10YR8/4	完形
260	羽口	1	J2	6	(10.2)	(7.7)	(2.5)		灰白	2.5Y 7/1	指ナデ
261	羽口	1	K2	6	(14.3)	(7.1)	(2.8)		褐灰	10YR 6/1	板ナデ
263	土鍾	2	SDB9	埋1	4.50	1.40	0.45~ 0.5	6.6	灰白	2.5Y8/2	完形
264	土鍾	2	SDB9	埋1	(5.20)	1.20	0.30	6.4	灰白	10YR8/2	ほぼ完形 欠損あり
352	土鍾	2	M4	7b	3.80	1.20	0.40	4.1	浅黄橙	10YR8/4	完形
353	土鍾	2	M4	7b	3.70	1.25	0.50	4.7	浅黄橙	10YR8/3	完形 一部黒色に変化している
354	土鍾	2	M2	6	(2.75)	0.85	0.30	1.5	にぶい赤褐	5YR5/3	1/2 残存 欠損あり
355	土鍾	2	M4	6	(3.00)	0.90	0.40	2.3	浅黄橙	10YR8/4	2/3 残存 欠損あり
356	土鍾	2	M5	6	(3.00)	0.90	0.40	2.2	黄橙	10YR8/4	2/3 残存 欠損あり
357	土鍾	2	M6	6	(2.90)	1.00	0.50	2.1	浅黄橙	10YR8/3	2/3 残存 欠損あり
358	土鍾	2	M5	6	2.90	1.35	0.30	3.9	灰白	10YR8/2	完形
359	土鍾	2	M5	6	(3.10)	1.20	0.40	3.7	橙	7.5YR6/6	ほぼ完形 欠損あり
360	土鍾	2	M5	6	3.35	1.05	0.35	2.9	浅黄橙	10YR8/3	ほぼ完形 欠損あり
361	土鍾	2	M4	6	3.35	1.20	0.4~ 0.55	3.9	にぶい黄橙	10YR7/4	ほぼ完形 欠損あり
362	土鍾	2	M4	6	3.50	1.30	0.35	5.4	浅黄橙	10YR8/3	完形
363	土鍾	2	M4	6	3.50	1.55	0.60	7.2	灰白	10YR8/2	ほぼ完形
364	土鍾	2	L2	6	(3.30)	1.20	0.4~ 0.45	3.5	浅黄橙	10YR8/4	2/3 残存 欠損あり
365	土鍾	2	L2	6	3.70	1.25	0.45	4.8	にぶい褐	7.5YR6/3	ほぼ完形 欠損あり
366	土鍾	2	M4	6	(3.60)	1.05	0.45	3.1	にぶい黄橙	10YR7/3	3/4 残存 欠損あり
367	土鍾	2	L2	6b	(4.00)	1.30	0.40	4.1	橙	5YR7/6	3/4 残存 欠損あり 工具によるナデ痕らしきキズあり
368	土鍾	2	M5	6	3.70	1.50	0.40	7.8	にぶい橙	5YR7/4	ほぼ完形 欠損あり
369	土鍾	2	M4	6	3.50	1.85	0.70	9.0	灰白	2.5Y8/2	ほぼ完形
370	土鍾	2	M5	6	4.20	1.00	0.35~ 0.4	4.0	浅黄橙	10YR8/4	完形
371	土鍾	2	L2	6c	4.40	1.15	0.3~ 0.4	5.6	浅黄橙	7.5YR8/3	完形
372	土鍾	2	M2	6	(4.55)	1.20	0.45	5.7	灰白	10YR8/2	4/5 残存 欠損あり
373	土鍾	2	L2	6	(4.80)	0.95	0.25	4.1	にぶい黄橙	10YR6/3	ほぼ完形 欠損あり
374	土鍾	2	L2	6b	(3.90)	1.20	0.40	4.9	灰白	5YR8/2	3/4 残存 欠損あり 欠損部分がきれいにナデられている
375	土鍾	2	L2	6	(3.90)	1.45	0.40	8.2	にぶい黄橙	10YR6/4	4/5 残存 欠損あり
376	土鍾	2	M4	6	4.50	1.40	0.50	8.2	オリーブ黒	7.5Y3/1	完形 全体が黒色に変化している
377	土鍾	2	M4	6	4.60	1.45	0.45	9.4	にぶい黄橙	10YR7/2	完形 一部黒色に変化している
378	土鍾	2	M5	6	5.10	1.05	0.30	5.2	にぶい橙	7.5YR7/4	完形

RP番号	形式	区	造構	層	全長	幅	孔径	重さ (g)	土色名	色調	備考
379	土鍾	2	M4	6	4.90	1.10	0.40	4.9	にぶい黄橙	10YR7/3	4/5 残存 欠損あり
380	土鍾	2	L2	6	5.20	1.20	0.40	4.7	橙 黄灰	2.5YR6/6 2.5Y5/1	4/5 残存 欠損あり 半分ほど黒色に変化している
381	土鍾	2	M2	6	5.80	1.15	0.35	6.2	にぶい橙	5YR7/3	完形
382	土鍾	2	M4	5	3.30	1.60	0.50	5.9	浅黄橙	7.5YR8/4	完形
465	土鍾	3	J6	7	(2.85)	0.95	0.35	2.3	橙	7.5YR7/6	3/5 残存 欠損あり
466	土鍾	3	L6	6	(3.80)	1.30	0.40	5.7	褐灰	10YR4/1	ほぼ完形 全体に鉄分が付着 欠損あり 全体が黒色に変化している
467	土鍾	3		1	5.20	1.50	0.40	11.7	にぶい橙	7.5YR7/4	ほぼ完形 欠損あり 表土割ぎ
468	土鍾	3	SK37	埋1	4.80	1.75	0.55~ 0.6	13.0	にぶい黄褐	10YR5/3	完形
469	土鍾	3		4	7.25	1.75	0.50	21.1	黄灰	2.5Y5/1	完形 外面に指頭圧痕が見られる 全体が黒色に変化している 他に出土した土鍾より大振りの土鍾
470	土鍾	3		5	5.50	4.50		68.9	灰白	2.5Y8/1	完形 一部に鉄分付着
473	土鍾	4	SB75	埋1	5.70	2.00	0.30	15.7	灰白	2.5Y8/1	ほぼ完形 欠損あり pit10
478	土鍾	4	SD9	埋5	(3.30)	0.80	0.25	1.8	灰白	2.5Y8/2	ほぼ完形 欠損あり 断面の胎土が黒色に変化している
479	土鍾	4	SD9	埋1	(3.70)	0.80	0.30	1.9	浅黄橙	10YR8/3	3/5 残存 欠損あり
519	土鍾	4	SK160	埋1	(4.00)	1.20	0.40	4.4	にぶい黄橙	10YR7/2	4/5 残存 欠損あり
636	土鍾	4	N5	7	(1.95)	1.20	0.55	2.3	橙	5YR7/6	1/5 残存 欠損あり
637	土鍾	4	N5	7	(3.00)	1.00	0.35	2.5	にぶい黄橙	10YR7/3	ほぼ完形 欠損あり
638	土鍾	4	N5	7	3.80	1.35	0.40	5.2	にぶい橙	7.5YR7/4	完形
639	土鍾	4	N5	7	3.35	1.25	0.35	3.7	浅黄橙	10YR8/3	ほぼ完形 欠損あり
640	土鍾	4	N5	7	3.90	1.25	0.40	5.1	浅黄橙	10YR8/4	ほぼ完形 欠損あり 一部黒色に変化している
641	土鍾	4	M5	7	3.50	1.70	0.50	8.2	灰白	10YR8/1	完形
642	土鍾	4	N5	7	3.90	1.10	0.35	4.9	にぶい橙	7.5YR6/4	完形
643	土鍾	4	P4	7	(3.80)	1.00	0.30	3.2	灰白	10YR8/2	2/3 残存 欠損あり
644	土鍾	4	P4	7	(3.70)	1.50	0.45	6.6	灰白	7.5YR8/2	2/3 残存 欠損あり 一部黒色に変化している
645	土鍾	4	K4	7	(4.00)	1.70	0.60	8.8	灰	N5/	2/3 残存 欠損あり 全体が黒色に変化している
646	土鍾	4	O4	7	(5.50)	1.40	0.60	8.0	橙	2.5YR6/8	2/3 残存 欠損あり 内外面に朱泥の塗りあり
647	土鍾	4	N5	7	4.95	1.80	0.50	13.3	にぶい橙	7.5YR7/3	完形 一部黒色に変化している
648	土鍾	4	P4	7	5.40	1.35	0.40	15.1	橙 灰白	5YR6/6 10YR8/2	ほぼ完形
649	土鍾	4	N5	7	6.00	1.40	0.50	9.4	灰白	7.5YR8/2	完形 一部黒色に変化している
650	土鍾	4	R4	6	6.40	2.20	0.60	22.5	にぶい黄橙	10YR7/2	2/3 残存 欠損あり 全体が黒色に変化している 他に出土した土鍾より大振りの土鍾
651	土鍾	4	N5	6	4.05	1.90	0.50	13.3	灰白	2.5Y8/2	完形 一部黒色に変化している
652	土鍾	4	P4	6b	2.40	1.80	0.50	6.1	灰白	10YR8/2	ほぼ完形
653	土鍾	4	R4	6	4.10	1.15	0.35	4.3	灰	5Y4/1	ほぼ完形
654	土鍾	4	O4	6	(4.20)	1.30	0.40	7.0	灰白	2.5Y8/1	4/5 残存 欠損あり
655	土鍾	4	O4	6	(4.70)	1.00	0.40	4.1	浅黄橙	10YR8/4	ほぼ完形 欠損あり 半分ほど黒色に変化している
656	土鍾	4	O4	4	(4.50)	1.15	0.2~ 0.4	3.4	赤橙	10R6/6	4/5 残存 欠損あり 一部黒色に変化している
657	土鍾	4	SD71	埋1	5.25	1.20	0.40	7.7	灰白	10YR8/2	完形
658	土鍾	4		1	5.80	1.30	0.40	9.9	灰白	2.5Y8/1	完形 表土割ぎ下

RP番号	形式	区	造構	層	全長	幅	孔径	重さ (g)	土色名	色調	備考
659	羽口	4	R4	4	(6.0)	(4.1)			浅黄橙	10YR 8/3	板ナデ
660	不明	4	pit53	埋1	(14.9)	4.5	-		灰白	2.5Y 8/2	器種は不明 四角柱のような面に成形され、 器先の形を呈する
662	羽口	5	SD496	埋1	13.0	(6.8)	2.5~ 3.0		にぶい橙 灰白	5YR 7/4 N 7/	指頭圧痕
670	土鉢	5	SD312	埋1	3.75	1.10	0.40	3.8	黄灰	2.5Y6/1	完形 一部黒色に変化している
671	土鉢	5	SD312	埋1	3.90	1.30	0.50	4.6	浅黄橙	10YR8/3	完形
672	土鉢	5	SD312	埋1	3.85	1.60	0.35	8.9	黒褐	2.5Y3/1	完形 全体が黒色に変化している
797	土鉢	5	SD1	埋1	(3.30)	1.40	0.40	6.0	灰白	10YR8/2	3/4 残存 欠損あり
798	土鉢	5	SD1	6	(3.30)	1.10	0.35	3.1	灰白	N8/	1/2 残存 欠損あり
799	土鉢	5	SD1	6	3.30	1.35	0.50	4.6	灰白	2.5Y8/1	完形
800	土鉢	5	SD1	6	4.30	1.50	0.40	6.7	灰白	10YR8/2	完形
801	土鉢	5	SD1	6	(3.40)	1.40	0.40	5.8	にぶい黄橙	10YR7/3	1/2 残存 欠損あり
802	羽口	5 2	SD1	6	(4.4)	(6.9)	(2.9)		灰白 灰	5YR 8/1 N 6/	
1039	土鉢	5	05	7	3.20	1.15	0.35	3.5	橙	5YR6/6	ほぼ完形 欠損あり
1040	土鉢	5	05	7	3.30	1.10	0.30	3.6	にぶい橙	7.5YR7/4	ほぼ完形 欠損あり 外面に鉄分付着
1041	土鉢	5	05	7	3.10	1.20	0.35	3.1	橙	7.5YR7/6	2/3 残存 欠損あり
1042	土鉢	5	05	7	3.50	1.50	0.40	6.5	橙	5YR6/6	ほぼ完形 欠損あり
1043	土鉢	5	H5	7	3.80	1.20	0.35	4.6	にぶい橙	7.5YR7/4	ほぼ完形 欠損あり
1044	土鉢	5	14	7	3.70	1.40	0.50	4.7	橙 灰白	2.5YR7/6 7.5YR8/1	完形 一部黒色に変化している
1045	土鉢	5	15	7	4.00	1.45	0.35	6.7	灰白	10YR8/1	完形
1046	土鉢	5	05	7	4.00	1.50	0.35~ 0.4	7.8	にぶい橙	7.5YR7/4	完形
1047	土鉢	5	05	7	4.10	1.40	0.40	6.3	にぶい黄橙	10YR7/3	ほぼ完形 欠損あり
1048	土鉢	5	05	7	4.10	1.40	0.40	6.8	浅黄橙	10YR8/4	ほぼ完形 欠損あり
1049	土鉢	5	F5	7	4.10	1.10	0.40	4.0	橙	7.5YR7/6	完形
1050	土鉢	5	05	7	3.90	1.60	0.40	8.0	浅黄橙	10YR8/3	完形 一部黒色に変化している
1051	土鉢	5	F5	7	4.50	1.45	0.30	7.5	橙 灰白	5YR7/6 10YR8/2	完形
1052	土鉢	5	05	7	4.75	1.50	0.45	9.2	橙	5YR7/6	完形
1053	土鉢	5	J3	7	4.30	1.90	0.50	13.3	にぶい黄橙	10YR7/2	ほぼ完形 欠損あり
1054	羽口	5	14	7	(3.7)	(3.0)	(0.7)		橙	5YR 6/6	羽口
1055	土鉢	5	02	6	(2.20)	0.65	0.20	1.1	浅黄橙	10YR8/3	1/3 残存 欠損あり 穴の中が黒色に変化して いる
1056	土鉢	5	M1	6	(3.10)	1.85	0.25	2.8	褐灰	7.5YR4/1	3/5 残存 欠損あり 全体が黒色に変化して いる
1057	土鉢	5	M2	6	(2.90)	0.80	0.20	1.8	橙	5YR7/6	2/3 残存 欠損あり
1058	土鉢	5	13	6	(2.70)	0.95	0.40	2.4	にぶい黄橙	10YR7/4	1/3 残存 欠損あり
1059	土鉢	5	N2	6	(3.30)	0.80	0.35	1.8	灰白	10YR8/2	3/4 残存 欠損あり
1060	土鉢	5		6	(3.10)	1.05	0.30	2.7	橙	7.5YR7/6	2/3 残存 欠損あり
1061	土鉢	5	01	6	(3.60)	1.10	0.40	3.5	にぶい橙	5YR6/4	2/3 残存 欠損あり
1062	土鉢	5	M3	6	(3.40)	1.10	0.35	3.1	浅黄橙	10YR8/4	3/4 残存 欠損あり
1063	土鉢	5	N2	6	(3.90)	0.90	0.20	3.2	にぶい黄橙	10YR7/3	4/5 残存 欠損あり
1064	土鉢	5	J3	6	(3.70)	1.15	0.40	4.1	橙	2.5YR7/8	2/3 残存 欠損あり 一部黒色に変化して いる
1065	土鉢	5	M2	6	(3.90)	0.95	0.20	3.7	にぶい黄橙	10YR7/2	2/3 残存 欠損あり
1066	土鉢	5	M2	6	4.10	1.10	0.35	4.2	にぶい黄橙	10YR6/3	ほぼ完形 一部黒色に変化している

RP番号	形式	区	造構	層	全長	幅	孔径	重さ (g)	土色名	色調	備考
1067	土鉢	5	M3	6	(4.00)	1.30	0.35~ 0.4	4.9	灰白	10YR8/1	4/5 残存 欠損あり 廃棄後に鉄分が付着
1068	土鉢	5	02	6	4.60	1.10	0.40	5.3	浅黄	2.5Y7/3	完形 廃棄後に付いた黒変が見られる
1069	土鉢	5	N2	6	4.30	1.65	0.55	9.7	橙	5YR7/6	ほぼ完形 欠損あり
1070	土鉢	5	M2	6	(4.90)	1.40	0.50	9.2	浅黄橙	10YR8/3	4/5 残存 欠損あり
1071	土鉢	5		6	5.10	1.25	0.45	8.3	浅黄橙	10YR8/3	完形
1072	土鉢	5	M3	6	4.40	3.70		33.1	灰白	2.5Y8/1	ほぼ完形 一部黒色に変化している
1073	土鉢	5	M2	6	5.40	0.90	0.20	4.8	浅黄橙	10YR8/4	完形
1074	土鉢	5		6	5.90	1.80	0.6~ 0.65	13.6	黒	N3/	完形 全体が黒色に変化している
1075	土鉢	5	14	6	(5.50)	2.20	0.70	19.0	灰白	N8/	5/6 残存 欠損あり 矢竹の通り穴痕がみえる 外面に朱泥の塗りあり 他に出土した土鉢より大振りの土鉢
1076	土鉢	5		5	(3.40)	1.15	0.35	2.6	橙	5YR6/6	1/2 残存 欠損あり 北東
1077	土鉢	5		5	4.15	1.20	0.35	5.5	橙	5YR7/6	完形
1078	土鉢	5		5	3.70	1.50	0.40	7.5	淡黄	2.5Y8/3	完形
1079	土鉢	5		5	3.80	1.70	0.40	8.7	橙	2.5YR6/8	完形 一部褐色に変色している
1080	土鉢	5		1	3.60	1.00	0.35	3.2	浅黄橙	7.5YR8/4	ほぼ完形 欠損あり 表土剥ぎ
1081	土鉢	5		1	3.40	1.40	0.30	7.6	にぶい黄橙	10YR7/4	完形 表土剥ぎ
1082	土鉢	5	N1	1	(4.75)	0.85	0.25~ 0.3	3.8	にぶい黄橙	10YR7/2	4/5 残存 欠損あり 一部黒色に変化している 表土剥ぎ
1083	土鉢	5			(5.60)	1.45	0.55	9.3	灰白	5Y8/1	5/6 残存 欠損あり 外面に朱泥の塗りあり
1084	土鉢	5	SK481	埋1	3.60	1.45	0.40	6.2	にぶい黄橙	10YR7/3	完形
1085	土鉢	5	SK116	埋1	3.90	1.60	0.40	8.9	浅黄橙	10YR8/3	完形 破棄後に変化したのか、黒色に変化している
1086	土鉢	5	SK328	埋1	3.65	2.10	0.5~ 0.6	12.3	灰 橙	10YR8/2 7.5YR6/8	完形
1087	紡錘車	5	SK307	埋1	5.80	1.10	0.70	37.6	浅黄橙	7.5YR8/4	完形
1036	平瓦	5		6	7.8	7.4	1.9	-	灰白 灰	N 8/ N 4/	
1037	平瓦	5		6	9.7	6.7	1.8	-	灰白 浅黄橙	N 7/ 7.5YR 8/4	
1038	椀瓦	5		6	8.0	6.5	2.1	-	暗灰	N 3/	

表4 出土石器一覧

RO 番号	区	遺構	層	器種	石材	長さ	幅	厚み	重さ (g)	備考
2	1	B4	7	砥石	リンサイト (天草陶石)	11.4	2.8	2.7	151.0	2面使用している
3	1	B4	7	磨石	輝石安山岩	6.3	5.6	4.8	179.0	2面使用している 側面の一部に赤褐色の色 が付着している
4	1	J2	6	石錘	輝石安山岩	5.0	3.2	1.8	31.2	堆積岩の節理だが入んだ所を利用して紐を 巻き使用
5	1	L2	6	紡錘車	砂岩	5.6	(2.9)	1.1	30.8	孔径 0.7mm
6	1	B5	6	砥石	砂岩	10.9	12.0	2.2	348.0	砥石の側面一部のみ残存 大部分は割れて 欠損している
7	1		6	台石	砂岩	14.2	10.0	1.6	537.0	3面に擦り痕あり
8	1	L2	6	凹石	輝石安山岩	9.2	8.4	4.2	377.0	表裏に凹部が見られる
9	1	J2	6	不明	輝石安山岩	10.6	6.5	5.9	543.8	凹部の所に紐を巻いて使用 全体に薄く茶 褐色化している
10	1	J2	6	敲石	輝石安山岩	13.2	9.0	5.9	975.0	2面敲部が見られる
11	1	D4	6	台石	安山岩	24.8	7.8	7.5	2004.8	底面は茶褐色の色が付いている
12	1	J2	5	砥石	砂岩	4.4	3.6	2.4	69.0	刃を研いだのか、中心に使用痕が見られる 3面使用している 中砥
13	1	L2	5	石錘	滑石	3.5	1.7	1.6	12.0	二次加工して石錘として再利用
14	1	J2	5	磨石	輝石安山岩	9.4	8.8	8.8	1048.1	一部赤褐色化している
15	1	J2	5	凹石	輝石安山岩	15.9	13.5	5.5	1247.5	表裏に凹部が見られる
16	1			砥石	砂岩	9.7	5.2	1.1	154.6	2面に擦り痕あり 中砥 試掘
17	1	H3		砥石	砂岩	10.2	7.1	1.2	161.0	4面使用している
18	1	南	1	凹石	輝石安山岩	11.4	10.7	5.6	586.0	表裏に凹部が見られる 表土剥ぎ
19	1	J2		凹石	輝石安山岩	13.3	10.5	6.3	119.1	表裏に凹部が見られる
20	1	G2		敲石	輝石安山岩	10.8	8.6	5.2	543.8	敲き痕、擦り痕あり
21	1	D4		敲石	輝石安山岩	14.3	5.0	4.9	393.0	手に握り握るのに丁度いい大きさ 鉄付着
31	2	SX7	1	磨石	輝石安山岩	5.2	5.2	3.2	101.6	片手で握るのに丁度いい大きさ
32	2	L4	6	磨石		7.5	7.4	0.9	93.7	円盤形に打ちかいた後に、回りを磨って整 えている
33	2	L2	6c	磨石	輝石安山岩	5.3	4.4	3.5	101.7	片手で握るのに丁度いい大きさ
34	2	L3	6c下	磨石		7.1	3.7	2.7	122.0	表面には磨った痕が見られる
35	2	L2	6	凹石	輝石安山岩	8.4	6.3	5.5	391.5	3面に凹部が見られる 側面に成形時の打痕 あり
36	2	L2	6	凹石		11.1	7.7	5.2	671.4	表裏に凹部あり 側面に成形時の打痕あり
37	2	L2	5	凹石	輝石安山岩	11.8	9.3	4.7	760.1	凹部あり
38	2	L2	6	台石		19.4	7.6	6.6	1591.1	台石として使用
39	2	L2	6	いかり石	安山岩	22.1	7.6	5.1	1390.3	糸を巻き使用 表面がデコボコしている
40	2		1	石錘	滑石	4.9	1.9	1.8	22.6	石錘を再使用 表土剥ぎ
41	2			石錘		10.9	8.7	6.9	816.4	紐をくくり付けた痕が一字に深く残って いる
42	2	L2		敲石		15.0	4.7	3.8	420.4	細長く断面が三角形を成す 両端より中央 が低い
43	2	M2		凹石	輝石安山岩	15.3	11.2	6.2	1315.0	表裏に凹部が見られる
44	2			凹石	輝石安山岩	14.5	13.3	7.5	1600.5	凹部1面 柱の下
45	2	L2	1	凹石	輝石安山岩	9.3	7.6	3.5	370.9	表裏に凹部あり
53	3	L6	7	浮子	軽石	7.9	3.5	4.5	28.9	浮子 意図的に上下切られている

RO 番号	区	遺構	層	器種	石材	長さ	幅	厚み	重さ (g)	備考
54	3	K6	7	砥石	リソイダイト (天草陶石)	6.7	7.3	3.4	229.0	3面砥面あり 表面に小さな工具を研いだ痕が残る 裏面は欠損している 仕上げ砥
55	3	K6	7	磨石	砂岩	9.0	8.0	4.6	384.0	あまり使用痕が見られない
56	3	L6	7	凹石		9.8	9.6	6.8	500.1	凹部1面
57	3	17	7c	石錘	輝石安山岩	15.0	5.5	4.3	437.9	紐をまわした痕が残る
58	3		1	片刃石斧		10.6	1.6	1.6	31.2	石盤 一部欠損している 表土剥ぎ
61	4	S874	埋1	石皿	砂岩	13.2	10.6	4.3	1725.0	表裏に打痕、擦痕あり ツルツルしている 一部黒色化している 被蝕によるもの
63	4	S875	埋1	砥石	リソイダイト (天草陶石)	5.2	5.5	5.2	231.0	5面砥面あり 仕上げ砥
64	4	S875	埋1	磨石		15.0	11.7	6.7	1744.0	表裏擦ったり、敲いたりしている 全体的に黒変している
65	4	S877	埋1	凹石	輝石安山岩	9.1	7.3	5.7	414.4	表裏凹部あり
68	4	S09	埋1	石錘	滑石	4.0	1.3	1.0	6.4	
69	4	S09	埋1	不明		8.0	6.1	1.2	116.7	表面はツルツルしている 使用痕が見られない
70	4	SK27	埋1	凹石		11.4	11.3	3.4	483.1	凹部4面あり
72	4	SK160	埋1	磨石		12.5	9.9	3.8	690.4	表面は平らで、裏面は丸みを帯びている楕円形
73	4	SK160	埋1	凹石		13.5	9.0	4.0	682.2	表面に使用痕あり
74	4	SK160	埋1	凹石		16.1	8.2	4.0	667.3	直径16cm程度の円盤形石器 1/2残存 丁寧に成形されている
75	4	S89	埋1	砥石		13.4	5.8	4.6	387.0	砥面がハッキリしない 形は重である
76	4	S89	埋1	凹石		11.4	11.3	3.4	483.1	表裏凹部あり 南東部に一部黒色に変化している
77	4	P4	7	不明		10.4	7.3	5.6	481.4	用途不明 3面とも平らである
78	4	P4	7	砥石	砂岩	11.6	8.0	5.2	497.0	砥面3面 裏面に打痕のような痕がある 一部赤褐色の色の付着が見られる 黒色に変化している部分も一部あり
79	4	P4	7	磨石		9.9	8.3	4.6	524.7	表裏使用している 一部赤褐色の色の付着が見られる
80	4	P5	7	凹石		9.8	7.0	3.3	270.3	表に凹部、裏に打痕あり
81	4	04	7	磨石	輝石安山岩	7.8	6.8	5.7	440.6	表裏に磨面あり
82	4	04	7	凹石		10.4	7.5	3.8	413.7	表裏凹部あり 側面に紐を結んで使用した痕跡あり
83	4	04	7	凹石	輝石安山岩	13.5	11.9	9.2	1488.8	表面にわずかに凹部あり
84	4	P4	7	不明		12.4	6.5	3.3	299.0	先端部に打痕が見られる
85	4	M5	7	砥石	リソイダイト (天草陶石)	7.9	4.8	4.6	230.4	3面使用
86	4	M5	6	砥石	リソイダイト (天草陶石)	4.4	4.3		95.1	砥面が4面 全体的に鉄分が付着
87	4	R4	4	不明		11.6	4.6	4.2	282.7	スリコギとして使用
93	5	S8565 (SS66)	埋1	凹石	輝石安山岩	24.5	15.8	9.6	4835.8	表面は凹み2cm径7cmの凹面あり 裏にも若干凹部が見られる
94	5	S0572	埋1	凹石		14.0	10.8	4.8	753.3	表裏凹部あり 側面に打痕あり 敲石としても使用
96	5	SD1	埋2c	片刃石斧		9.9	1.2	1.8	36.7	先端両方に刃が見られる 側面に若干の凹みを確認できる 側面に擦痕あり
97	5	SD1	6	砥石	砂岩	9.7	7.4	1.8	183.6	砥面として3面使用 中砥
98	5	SD1	6	不明	角閃石安山岩	5.5	4.8	1.7	45.4	側面や表裏を、成形する際に磨いている
99	5	SD1	埋1	不明	緑石	6.0	6.0	2.9	22.4	表裏擦痕あり

RO 番号	区	造構	層	器種	石材	長さ	幅	厚み	重さ (g)	備考
100	5	20 (SK68)	埋1	凹石	安山岩	11.3	10.8	6.7	1159.6	表裏凹部あり 裏面に擦った痕が見られる側面は叩いて調整している
102	5	SK562	埋1	砥石	砂岩	8.3	8.1	1.1	73.3	表面ツルツル 裏面は欠損後砥石として使用中
103	5	SK72	埋1	磨製石斧	蛇紋岩	6.8~	2.9	1.5	42.5	割れやすい石材のため欠損
104	5	02	7	石錘	滑石	5.0	1.9	1.8	26.8	成形した際の面取りの痕が顕著に見られる
105	5	N1	7	紡錘車	リンソイダイト (天草陶石)	4.4~	2.6	1.7	22.8	1/3 残存 欠損後に外面に鉄分が付着
106	5	14	7a	紡錘車	砂岩	5.5	5.4	1.7	69.2	孔径 0.8mm 成形が丁寧である
107	5	N2	6	石錘	滑石	6.3	2.8	2.3	50.1	二次使用品 石錘の中心に穿孔している
108	5	N2	6	石錘	滑石	7.0	2.4	1.9	55.1	成形した際の面取りの痕が顕著に見られる
109	5		6	磨製石斧	蛇紋岩	7.7~	4.4	1.4	64.8	割れやすい石材である 擦痕は見られない
110	5	N2	6	片刃石斧	砂岩	9.8~	2.4	1.7	82.0	柱状片刃石斧 刃部は欠損 擦痕は見られない
111	5	N1	6	磨石	輝石安山岩	6.7~	5.1	5.0	245.5	先端部に擦痕あり 表裏に擦痕が若干見られる 形は歪である
112	5	N2	6	砥石	輝石安山岩	5.8	5.3	3.5	129.5	表裏、擦痕や筋部が見られる
113	5	G5	6	凹石		6.8	6.8	4.2	198.5	表裏凹部あり 全体的に赤紫色を帯びている
114	5		5	紡錘車		4.1	4.2	1.1	31.1	両面ツルツルしている 成形時についた擦痕が見られる
115	5		5	砥石	輝石安山岩	10.9	9.8	6.9	983.4	廃棄後に付着した赤褐色の色が付着
116	5	N2	1	石錘	滑石	3.0	1.1	1.0	4.8	ほぼ完形 一部欠損 表土
117	5	N2	1	石錘	滑石	5.0	2.1	2.1	27.1	大きく欠損している 表土
148	5		1	巡方		3.5	3.1	0.7	11.6	ミガキが表裏にあり 表はつや消しをしている 45° の角度で幅 5mmほどの面取り 上端にも面取りあり 試掘 20Tr

表5 出土滑石製品一覧表

RO 番号	区	遺構	層	器種	石材	全長 (口径)	幅 (底径)	厚み (残存高)	孔径	重さ (g)	備考
1	1	SA93	埋1	石鍋	滑石	-	-	(6.8)		147.2	外面は細かい髷でケズリ出し出ている 反転復元
22	1	J2	1	石鍋	滑石	(22.4)	-	(4.7)		170.6	外面は幅7mm位の髷で多方向にケズリ、髷以下は煤付着 内面は不定方向の丁寧な調整 反転復元
23	1	I2	5	二次加工品	滑石	(24.0)	-	(7.3)		138.3	外面は細かい髷ケズリ、髷以下は煤付着 内面は不定方向の丁寧な調整 髷部分は二次加工による絶ち落としがある 反転復元
24	1	I2	5	石鍋	滑石	-	-	(4.1)		45.3	内面に工具痕あり 外面煤付着
25	1	K2	5	二次加工品	滑石	7.0	8.5	2.3		188	内外面に髷によるケズリ 長方形に二次加工
26	1	D4	6	石鍋	滑石	(33.6)	-	(8.6)		257.4	外面は細かい髷でケズリ 髷部分はケズリ出し、髷以下は煤付着 反転復元
27	1	J2	6	二次加工品	滑石	-	-	(3.4)	0.5	30.8	外面は髷によるケズリ、煤付着 二次加工による穿孔途中のものが見られる
28	1	J2	6	二次加工品	滑石	3.3	5.5	1.1	0.7	29	外面は髷による細かいケズリ 穿孔1ヶ所あり
29	1	L2	6	二次加工品	滑石	5.0	10.0	1.6	0.7	103.6	石鍋の底部 穿孔1ヶ所あり、穿孔と外面に煤付着しているため、穿孔した後による被熱が考えられる
30	1	I2	6	二次加工品	滑石	2.3	3.1	1.1		9.1	把手部分 二次加工による蓋のつまみ部分
46	2	L2	6	石鍋	滑石	(27.4)	-	(4.6)		114.2	内外面に髷によるケズリ 外面煤付着 反転復元
47	2	L2	6	石鍋	滑石	-	-	(5.5)		44	髷部分は細かい髷で横方向にケズリ、煤付着
48	2	M5	6	石鍋	滑石	-	-	(7.8)		275.5	外面は髷によるケズリが顕著で、髷部分は削り出し、煤付着 内面は多方向にケズリ 反転復元
49	2	L.2	6	二次加工品	滑石	8.4	5.1	1.3	0.7	103.3	外面は髷によるケズリがしっかりと残り、煤付着 穿孔1ヶ所あり
50	2	L2 L3	6	二次加工品	滑石	-	(17.8)	(5.6)	0.9~ 1.0	231.1	外面は髷によるケズリ 穿孔2ヶ所あり 断面の一部に工具で削った線状痕あり
51	2	L2	6	石鍋	滑石	15.6	5.2	1.7		191.8	石鍋の底部 底裏に髷によるケズリと擦痕 内面に炭化物付着
52	2	L.2	6	二次加工品	滑石	4.3	4.8	1.5	0.8	44.6	外面は髷によるケズリ、煤付着 穿孔1ヶ所あり
59	3		5	二次加工品	滑石	4.0	5.1	1.1		42.7	内外面に擦痕あり 方形に二次加工
60	3	Pit24	埋1	二次加工品	滑石	-	(26.3)	(4.4)		388.5	外面は髷によるケズリが顕著に残る 割れ口に髷の痕あり
62	4	SB75	埋1	二次加工品	滑石	6.7	2.8	1.7		33.4	外面煤付着
66	4	SB77	埋1	不明	滑石	9.5	6.9	1.5	0.6~ 1.0	193.6	表面は大量に炭化物が付着する 穿孔6ヶ所あり(孔径は種々) 方形に二次加工
67	4	SD9	埋1	石鍋	滑石	(22.0)	-	(7.9)		345.5	口縁から肩部まで残存 外面は髷によるケズリ、煤付着 二次加工 穿孔の痕あり
71	4	SK43	埋1	二次加工品	滑石	3.1	1.9	1.5		9.3	外面は髷によるケズリ 蓋に二次加工したもの
88	4	Q4	4	二次加工品	滑石	4.0	2.4	1.6		20	加工部に髷によるケズリ
89	4	Q4	6	二次加工品	滑石	2.6	6.5	1.6		42.9	表面炭化物付着 長方形に二次加工した断面2面に工具で削った痕あり
90	4	Pit102	埋1	二次加工品	滑石	8.7	2.4	1.2		57.2	石鍋の口縁部の一部 表面は髷によるケズリ
91	4	R4	6	二次加工品	滑石	6.8	4.2	1.2	0.5	43.7	穿孔1ヶ所あり 方形に二次加工
92	4	Q4	7	二次加工品	滑石	-	(24.0)	(5.5)		288	外面は丁寧な調整、底裏は粗い髷ケズリで煤付着 内面は工具で削った痕 穿孔1ヶ所あり
95	5	SD1	埋1	二次加工品	滑石	4.1	2.5	2.0	0.9	32.2	石鍋の把手を二次加工 穿孔1ヶ所あり
101	5	SK544	埋1	二次加工品	滑石	-	-	(2.5)		108.1	外面は髷によるケズリ、炭化物付着 二次加工による断面3か所に工具痕あり

RO 番号	区	遺構	層	器種	石材	全長 (口径)	幅 (底径)	厚み (残存高)	孔径	重さ (g)	備考
118	5	N3	6	二次加工品	滑石	(36.4)	-	(9.8)		313.9	外面は髷によるケズリ、煤付着 穿孔1ヶ所あり
119	5	M2	6	石鍋	滑石	(19.8)	-	(4.3)		61.4	外面は髷によるケズリ、煤付着 一部把手部残る
120	5	M2	6	石鍋	滑石	(9.8)	(7.6)	(3.2)		37.1	口縁から底部際まで1/4残存 外面は髷でケズリ、内面は斜めに工具痕 反転復元
121	5	N2	6	石鍋	滑石	(16.3)	-	(5.4)	0.6	119.2	髷以下は煤付着 穿孔1ヶ所あり 孔にも鉄分付着
122	5	N2	6	二次加工品	滑石	(33.2)	-	(4.0)	1.1	108.3	外面は髷によるケズリ 穿孔1ヶ所あり 断面1部に髷の痕あり 廃棄後鉄分付着
123	5	N2	6	二次加工品	滑石	-	(24.0)	(3.0)		158	外面は髷によるケズリ 内面は煤付着 穿孔2ヶ所あり 工具による切込み3ヶ所あり
124	5	M3	6	二次加工品	滑石	6.2	5.6	1.6		62.4	外面は髷によるケズリ、煤付着 内面は工具痕 把手部一部残る 穿孔途中のもの1ヶ所あり
125	5	J3	6	二次加工品	滑石	5.8	6.9	1.6	0.5~ 0.7	117.1	外面は髷によるケズリ 内面工具痕あり 穿孔3ヶ所あり
126	5	N2	6	二次加工品	滑石	2.5	3.1	1.3	1.0	18	両方からあけた穿孔1ヶ所あり 正方形に二次加工
127	5	M2	6	二次加工品	滑石	8.1	3.9	3.2		116.9	髷によるケズリ残る 髷部分煤付着 穿孔途中のもの2ヶ所あり
128	5	N2	6	二次加工品	滑石	5.1	4.6	1.8		50.1	外面煤付着 髷部分を打ち砕いて成形 穿孔途中のもの1ヶ所あり
129	5	N3	6	二次加工品	滑石	4.1	2.3	2.0	0.5	19.6	蓋に二次加工したもの 穿孔1ヶ所あり
130	5	N2	6	二次加工品	滑石	6.7	3.5	1.6		44	煤付着面1面あり 蓋面に二次加工 穿孔2ヶ所3ヶ所目は穿孔途中
131	5	M2	6	二次加工品	滑石	5.0	3.5	2.4		43.6	穿孔1ヶ所あり 未貫通の穿孔中のもの1ヶ所あり
132	5	M3	6	二次加工品	滑石	4.4	5.1	1.2		66.9	方形に二次加工 穿孔途中のもの1ヶ所あり
133	5	O2	6	石鍋	滑石	3.8	3.0	1.5	0.7	34.8	外面は髷によるケズリ、煤付着 穿孔3ヶ所あり
134	5	M2	6	二次加工品	滑石	4.6	3.5	2.6	0.8	52.4	外面は髷のケズリ 内面は煤付着 穿孔1ヶ所あり
135	5	M2	6	二次加工品	滑石	9.3	6.8	1.8		143.7	炭化物付着 穿孔1ヶ所あり 工具痕残る
136	5	M2	6	二次加工品	滑石	12.1	12.0	1.9		258.5	底部部分を長方形に二次加工し、打ち砕いた
137	5	O2	6	二次加工品	黒雲母片岩	6.2	4.2	2.3		88.7	1面はケズリと煤付着 鋭い工具で削ったもしくは砥いだ痕あり 方形に二次加工
138	5	M1	6	二次加工品	滑石	7.0	6.4	2.7		117.7	把手部分を方形に二次加工
139	5	M2	6	不明	滑石	2.5	3.5	2.4		38.4	把手部分を二次加工
140	5	N2	6	二次加工品	滑石	2.1	7.1	2.2		53.5	髷部分を二次加工途中のもの
141	5		6	不明	滑石	2.6	7.3	1.9		48.6	口縁部分 外面煤付着
142	5	M2	6	二次加工品	滑石	3.9	3.8	2.5		30.3	石鍋の把手部を二次加工
143	5	N2	6	二次加工品	滑石	2.7	1.9	2.1		17.8	煤付着面1面あり 方形に二次加工
144	5		6	二次加工品	滑石	2.8	3.5	3.4		43	石鍋の把手部を二次加工
145	5	1	1	二次加工品	滑石	11.0	5.8	3.2	0.6	206.1	底部部分 外面煤付着 内面工具痕残る 両方からあけた穿孔1ヶ所あり
146	5		1	二次加工品	滑石	6.8	5.1	2.4		152.5	内外面煤付着 両方から穴をあけた穿孔1ヶ所あり 長方形に髷で削っており、側面4面に髷の痕が残る
147	5			二次加工品	滑石	3.5	3.0	4.2		60.9	内面工具痕 石鍋の把手を二次加工して成形を途中でやめている



## 4 写真図版

遺構写真  
遺物写真

Fotograf

2区 SB2 完掘状況 (N→S)



2区 SB47 完掘状況 (E→W)



2区 SX7 遺物出土状況 (E→W)



3区 SB5 完掘状況 (S→N)



3区 SD42 完掘状況(W-E)



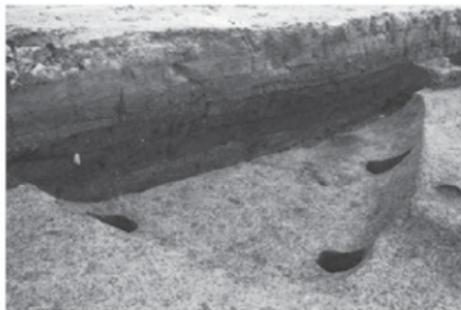
4区 SB61 完掘状況(S-N)

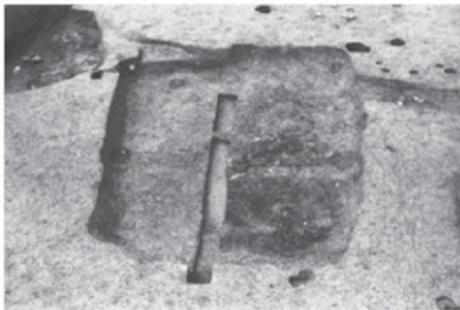


4区 SB88 完掘状況(S-N)



4区 SB74 完掘状況(S-N)





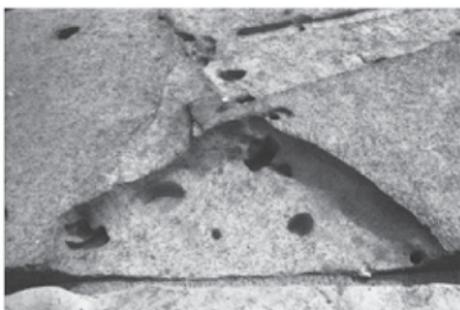
4区 SB75 灰面核出(S-N)



4区 SB75 完掘状況(S-N)



4区 SB77 灰面核出(E-W)



4区 SB77 完掘状況(W-E)

4区 SD9 遺物出土状況 (E→W)



4区 SD9 完掘状況 (E→W)



5区 SB517 完掘状況 (S→N)



5区 SD1 完掘状況



5区 SK197 遺物出土状況 (S→N)



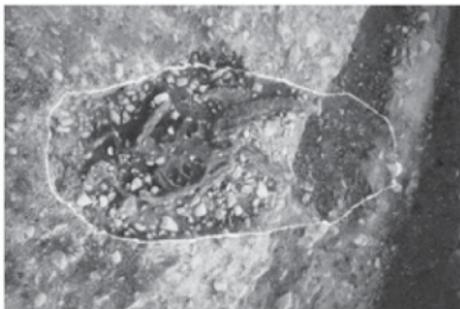
5区 SK602 検出状況 (N→S)



5区 SK597 人骨出土状況 (N→S)



5区 SK504 人骨出土状況 (W→E)



1区 7層 出土土器



1区 6層 出土土器 (土師器)



1区 6層 出土土器 (須恵器)



2区 SK112 出土土器



2区 7層 出土土器



2区 6層 出土土器 (土師器)



2区 6層 出土土器 (須恵器)



3区 SK36 出土土器



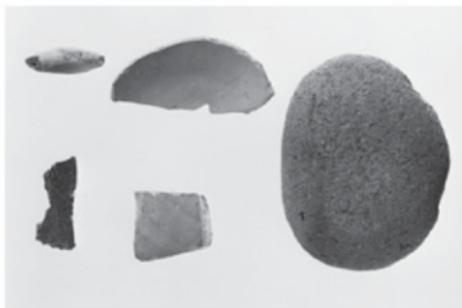
3区 7層 出土土器



4区 SB74 出土石器



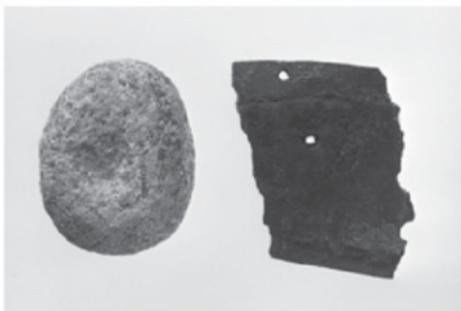
4区 SB75 出土遺物



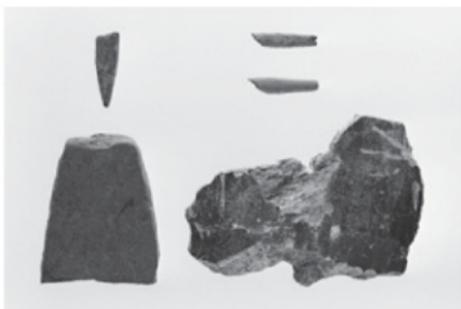
4区 SB77 出土土器



4区 SB77 出土遺物



4区 SD9 出土遺物



4区 SD9 出土土器



4区 SK160 出土遺物



4区 SK160 出土土器



4区 SK225 出土土器



4区 SK228 出土土器



4区 8層 出土土器



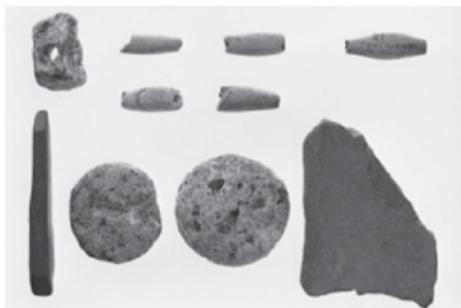
4区 7層 出土土器(土師器)



4区 6層 出土土器



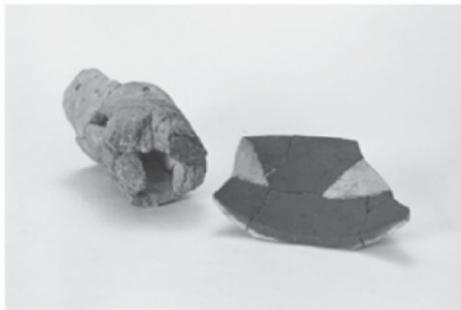
5区 SD1 出土遺物



5区 SD312 出土土器



5区 SD496 出土遺物



5区 SK120 出土遺物



5区 SK197 出土遺物



5区 SK602 出土土器





5区 SX597 出土土器



5区 SX504 出土土器



5区 その他遺構出土土器



5区 7層 出土土器（土師器）

5区 6層 出土土器



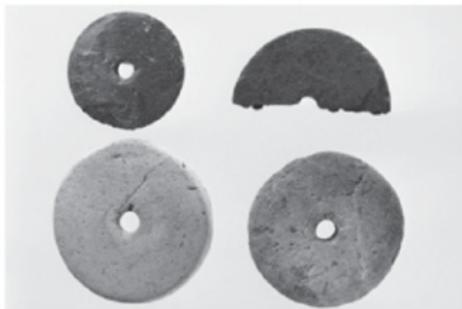
5区 5層 出土土器（土師器）



土製品（糶羽口）



石製品と土製品（紡錘車）

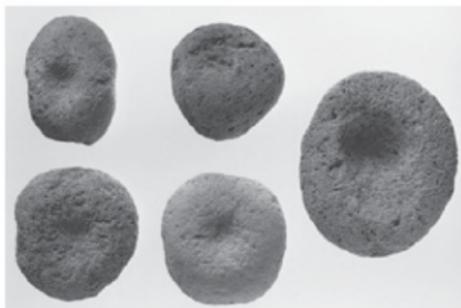




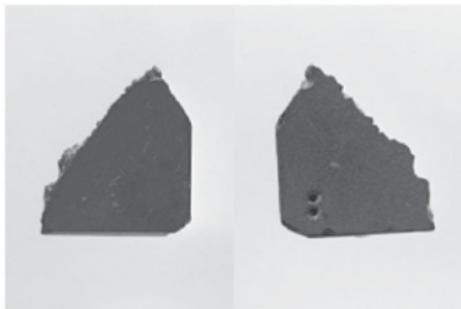
石器（砥石）



石器（石斧）



石器（凹石）



石製品（巡方）

報告書抄録

ふりがな	はなおかふるまちいせき2
書名	花岡古町遺跡2
副書名	南九州西回り自動車道(日奈久芦北道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
巻次	2
シリーズ名	熊本県文化財調査報告
シリーズ番号	第292集
編集者名	宮崎敬士
編集機関	熊本県教育委員会
所在地	〒 862-8609 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 TEL 096-383-1111(内線6716)
発行年月日	西暦 2013年 3月 31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
はなおかふるまちいせき 花岡古町遺跡	<small>くもとけいんあしあてん あしあてんまちはなおか</small> 熊本県葦北郡 花岡大字花岡	43482	038	32度 17分 56秒	130度 30分 47秒	20041108 ～ 20070208	6,750㎡	道路建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
花岡古町遺跡	集落跡	中世	<b>掘立柱建物</b> 10棟 <b>竪穴建物</b> 3 <b>櫓</b> <b>櫓列</b> <b>溝</b> 9条 <b>基</b> 6条 <b>基</b> 3基	土師器、須恵器、瓦器、陶磁器、青磁	中世城館(東の城)の下に展開する集落集落の縁辺部に相当する地区を調査 基群3基のうち2基には、それぞれ同安楽青磁樹1点が副葬されている。 竪穴建物は、炭化物、埴土が床面に分布し、滑石製石鎖再加工品、凹石等が出土した。
	集落跡	古代	<b>自然流路</b> 1条	土師器、須恵器、須恵器模倣土師器	古代の集落 集落の縁辺部に相当する地区を調査 墨書土器、鹿書土器が多数出土
	散布地	古墳時代 弥生時代 縄文時代		須恵器、弥生土器、縄文土器	河川の堆積作用により周辺の集落等から流入した遺物が出土

要約	<p>花岡古町遺跡は、熊本県葦北郡芦北町大字花岡に所在する遺跡である。</p> <p>花岡古町遺跡の西には、佐敷川が西流し、その右岸に花岡古町遺跡、左岸に花岡木崎遺跡が位置する。佐敷には中世城が2城存在する。一つは佐敷城であり花岡城と別称する。他の一つは東の城であり、佐敷平地の中央山塊に位置した、稗の山城と別称される。</p> <p>花岡古町遺跡は、佐敷城に先行した東の城の城下町に相当する位置をとり、人吉往還の方向と同主軸をとる掘立柱建物等により構成される集落跡である。</p> <p>今次調査では中世集落の縁辺部に相当する地区を調査し、密度が高くない掘立柱建物群、基群及び土坑群、遺構密度が低い河川敷(低地)が地形に対応した形で展開していることが判明した。併せて、竪穴建物3棟も調査され、集落と工房との位置関係を捉えることができる調査となった。</p> <p>なお、古代の自然流路から墨書土器、鹿書土器が多量出土している。古代駅伝制に係る「佐敷色」木簡が出土した花岡木崎遺跡が近接していること併せて、芦北町佐敷の地が交通の要衝として重要な位置を占めていたことが判明する調査である。</p>
----	---

熊本県文化財調査報告 第292集

## 花岡古町遺跡2

南九州西回り自動車道（日奈久芦北道路）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

発行年月日 平成25年3月31日

編集・発行 熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本県熊本市中央区水前寺 6-18-1

印刷・製本 コロニー印刷

〒860-0051 熊本県熊本市西区二本木 3-12-37

発 行 者：熊本県教育委員会  
所 属：教育総務局文化課  
発行年度：平成24年度

この電子書籍は、熊本県文化財調査報告第 292 集を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名： 花岡古町遺跡

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

電話： 096-383-1111

URL： <http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：2015 年 12 月 8 日